観大眞寫外、本日、那支、鮮朝

森羅萬象



대한민국
국회도서관
등록
1972 2 29
152407

以游名山

雲養金先植

如臨其境

章宗祥

自序

人生享樂의 多き은 처음브터 一로 固より 足らず と雖も 未だ 旅行の 如く 有益にして 多趣味なるは 之あらず、而も 其の 旅行たる 徒に 國內の 小天地に 跼蹐たらんより 烟波漂渺 世界に 放浪して 隨處の 風光を 鑑賞し 異域の 文物に 接觸するの 優れるに 如くはなし、唯だ 各人の 趣好に 深淺あり 著眼に 甲乙あり 故に 一의 旅行을 了한 者 其 感懷를 語하나 特殊의 題目에 就하야는 其의 眞髓를 捕捉하야 得たりとすべきも 是れを 萬人에게 奬めて 必ずしも 剴切なりと 謂ふべからず、獨り 寫眞의 技는 當面 難解의 事象를 明快 直截하야 何人의 眼前에도 打開하야 倏忽 至大의 感興을 湧起하야 起するに 於て 復た 異論あるを 聽かず、況んや 宇內의 廣き 各國 各民族 共히 起源과 歷史를 異히하고 特異의 文化는 特定의 國土에 發達하는 로 故に 此間 精微의 觀察을 行はんとせば 所詮 單純

ᄒᆞᆫ 의 에만 ᄒᆞ야 치못ᄒᆞᆯ 이잇도
なる筆舌の解釋にのみ倚賴ᄒᆞする能はざるの憾あるをや。

是れ가로 실社가 微力敢て치안코 揣らず巨貲를 投ᄒᆞ야 社員을 歐米
의 地에 特派ᄒᆞ야 南船北馬二春秋遍く히 各國の政治、交通、産業、金融
敎育、美術、宗敎等諸般의 事項에 亘ᄒᆞ야 히 親しく目睹ᄒᆞᆫ 所의
實況을 撮影케 ᄒᆞᆫ 所以인 ᄃᆡ 頃者其의 齎ᄒᆞ야 歸ᄒᆞᆫ 것이
慮數千、中에 就ᄒᆞ야 가잇ᄂᆞᆫ 光彩あり興趣あるものを拔萃ᄒᆞ야 이를
從ᄒᆞ고 序次를 逐ᄒᆞ야 纂輯ᄒᆞᆫ 것을 ᄒᆞᆫ 것이 題ᄒᆞ야 最近世界寫眞大觀이라
名ᄒᆞ고 玆에 之를 公刊ᄒᆞᄂᆞᆫ 機會를 得ᄒᆞ엿도다 만일 그것이 若し夫れ時勢의 進運
에 치안코 져ᄒᆞᄂᆞᆫ 히 後れざらんとするの士幸に本書를 坐右로ᄒᆞ고 なし以て世界壯
遊의 快樂을 頒ち併ᄒᆞ야 世界的眼光을 一新ᄒᆞᄂᆞᆫ 됨을 資料たるを
得ᄒᆞ면 編者의 望은 이 足ᄒᆞ다 ᄒᆞ노라 謂ふべし。

大正六年春季

編者識

卷頭

世界交通全圖
各國皇帝竝에元首……一
各國貨幣(一)……二
各國紙幣(二)……三
各國郵便切手(其一)……四
各國郵便切手(其二)……五

日本

宮城二重橋……六
東京市……七
東京停車場……八
兩國橋……九
橫濱港……一〇
日光陽明門……一一
日本三景(松島、天の橋立、嚴島)……一二
富士山……一三
伏見桃山御陵(京都)……一四
大阪市……一五
伊勢大廟……一六
神戸港……一七
敦賀港……一八

朝鮮

釜山……一九
平壤府……二〇
浮碧樓……二一
京城府……二二
崇禮門……二三
昌德宮……二四
總督府新廳舍……二五
金剛山萬物相……二六
鴨綠江의鐵橋……二七

支那

北京宮城……二八
北京市街……二九
天津……三〇

萬里의長城……三一
奉天……三二
營口……三三
大連……三四
旅順……三五
香港……三六
上海……三七
膠洲灣(青島)……三八

露西亞

베도로되랴도
ペトログラド……三九
니고라이一世의銅像
ニコライ一世の銅像……四〇
彼得大帝의居宅……四一
露國々會議事堂……四二
니고라이
ニコライ停車場……四三
莫斯科……四四
皇室(冬宮)と라
歷山記念柱……四五
루미안쯔오ー
ルミアンツオー帝室博物館……四六
砲의
帝王……四七
바지루
聖バジル寺院……四八
莫斯科의劇場……四九
바ー子의
バークの油田……五〇
와루소ー
ワルソー市……五一
와루소ー의
ワルソーの王宮……五二
우라디미ー루
ウラジミール大學……五三
露西亞의舞踏……五四
도무스子
トムスク市……五五
베도로빠우로우스子
ペトロパウロウスク市……五六
浦鹽斯德……五七
西伯利亞鐵道……五八
哈爾賓停車場……五九

英吉利

倫敦……六〇
밧긴아무
バッキンガム宮殿……六一
英國々會議事堂……六二
高等法院……六三
英蘭銀行……六四
倫敦塔……六五
다의ー부릿디
タワーブリッヂ(塔橋)……六六

倫敦地下鐵道……六七
國立繪畫館……六八
대ー무쓰
テームズ河岸……六九
水晶宮……七〇
요ー구의
ヨークの大僧正……七一
구리닛디의
グリニッチの王立天文臺……七二
警官及陸海軍人召集事務所……七三
겜부릿디
ケンブリッチ大學……七四
옥구스후오ー도
オックスフオード……七五
倫敦의貧民……七六

佛蘭西

巴里……七七
우에루사이
ヴェルサイユ宮殿……七八
자데스
チャレス十世王의鳳輦……七九
佛蘭西國會議事堂……八〇
巴里市廳……八一
루ー우루
ルーヴル博物館……八二
나포레온의
ナポレオンの筆蹟と肖像……八三
곱부에루
エップエル塔……八四
구란바레ー
グランパレー……八五
구란도오베라
グランド・オペラ……八六
巴里人의服裝……八七
佛蘭西家庭의團欒……八八
巴里의貧民……八九
마루세ー유
馬耳塞……九〇
샤도와쓰에후
巖窟島……九一
보루도ー의
ボルドーの葡萄園……九二
모니고의
モナコの賭博場……九三

獨逸

伯林……九四
獨逸皇宮……九五
아릿ー도릿히
フリードリッヒ皇帝博物館……九六
獨逸帝國議事院……九七
伯林大學……九八
伯林遊就館……九九
伯林中央寺院……一〇〇
비스마루구
ビスマルク記念像……一〇一
獨逸皇室의劇場……一〇二

기-루 キール軍港……一〇三
후랑구후오루도 フランクフォルト……一〇四
예무스의 エムスの鐵泉場……一〇五
쓰레멘 ブレメン市……一〇六
라인 萊茵(ライン)……一〇七
도레스텐 ドレステン市……一〇八
쓰우이게루 ツウインゲル大博物館……一〇九
索遜瑞西(サキソンスイツル)……一一〇
한부루구 漢堡市(ハンブルグ)……一一一
하-겐벡구 ハーゲンベック動物園……一一二

墺地利洪牙利

維納市……一一三
維納の宮殿……一一四
墺國國會議事堂……一一五
納維市廳……一一六
維納大學……一一七
維納帝室劇場……一一八
부다뻬스도 ブダペスト市……一一九
洪牙利の王城……一二〇
洪牙利國會議事堂……一二一
부다뻬스도의 ブダペストの高等法院……一二二
도란시룻와니아의 トランシルヴァニアの風俗……一二三

伊太利

羅馬市……一二四
와디간 ヴァチカン宮殿……一二五
센도피다 セントピーター寺院……一二六
羅馬의고로세아무 羅馬のコロセアム……一二七
베니스 ベニス市……一二八
도-지 ドーシ宮殿……一二九
피-사의 ピーザの斜塔……一三〇
네-쁘루스 ネープルス市……一三一
미라노 ミラノ大寺院……一三二
人間의化石……一三三
후이렌쓰에 フィレンツエ市……一三四
伊太利農民의風俗……一三五
伊太利貧民의生活狀態……一三六
세의아 ゼノア港……一三七

瑞西

세네부아 ゼネヴァ市……一三八
루세루누의 ルセルヌの仙境……一三九
인데루니ー젠의 インテルニーケンの腰掛茶屋……一四〇
왜의 瑞西の風俗と兒童……一四一
몬도루ー의 モントルー村の景色……一四二

白耳義

부랏세루 ブラッセル市……一四三
白耳義의 王宮……一四四
白耳義國會議事堂……一四五
白耳義の高等法院……一四六
부루쥬의 ブルージュの運河……一四七
와데루로의 ワーテルローの古戰場……一四八
리에ー주 リエージュ市……一四九
아스디에ー루의 アスチエールの名邑……一五〇
안도와ー쁘 アントワープ港……一五一
안도와ー쁘 アントワープ中央停車場……一五二

和蘭

마무스데루다무 アムステルダム……一五三
마무스데루다무의 アムステルダムの運河……一五四
마루젠의 マルケンの孤島……一五五
海牙……一五六
和蘭農村의 狀態……一五七

亞米利加

桑港……一五八
華盛頓府……一五九
合衆國々會議事堂……一六〇
大統領就任式의 光景……一六一
印刷局國務省及陸海軍省……一六二
市俄古……一六三
紐育……一六四
고론비야 コロンビヤ大學……一六五
紐育의 大旅館……一六六
고ー도 ゴート島의 海兵團……一六七
米大陸의 移民……一六八

米國の農業……一六九
나이아가라의 ナイアガラの大瀑布……一七〇
米國に住する印度人……一七一
가리포르니아의 カルフォルニアの巨木……一七二
勃士敦市(ボストン)……一七三
몬트리오루 モントリオル市……一七四
구에벡구 クエベック市……一七五
墨西哥市……一七六
데완테페구 テワンテペク美人の風俗……一七七
伯剌西爾珈琲の採收……一七八
祕露荒蕪地灌漑の光景……一七九
巴奈馬運河……一八〇
南米の土人……一八一

印度及南洋

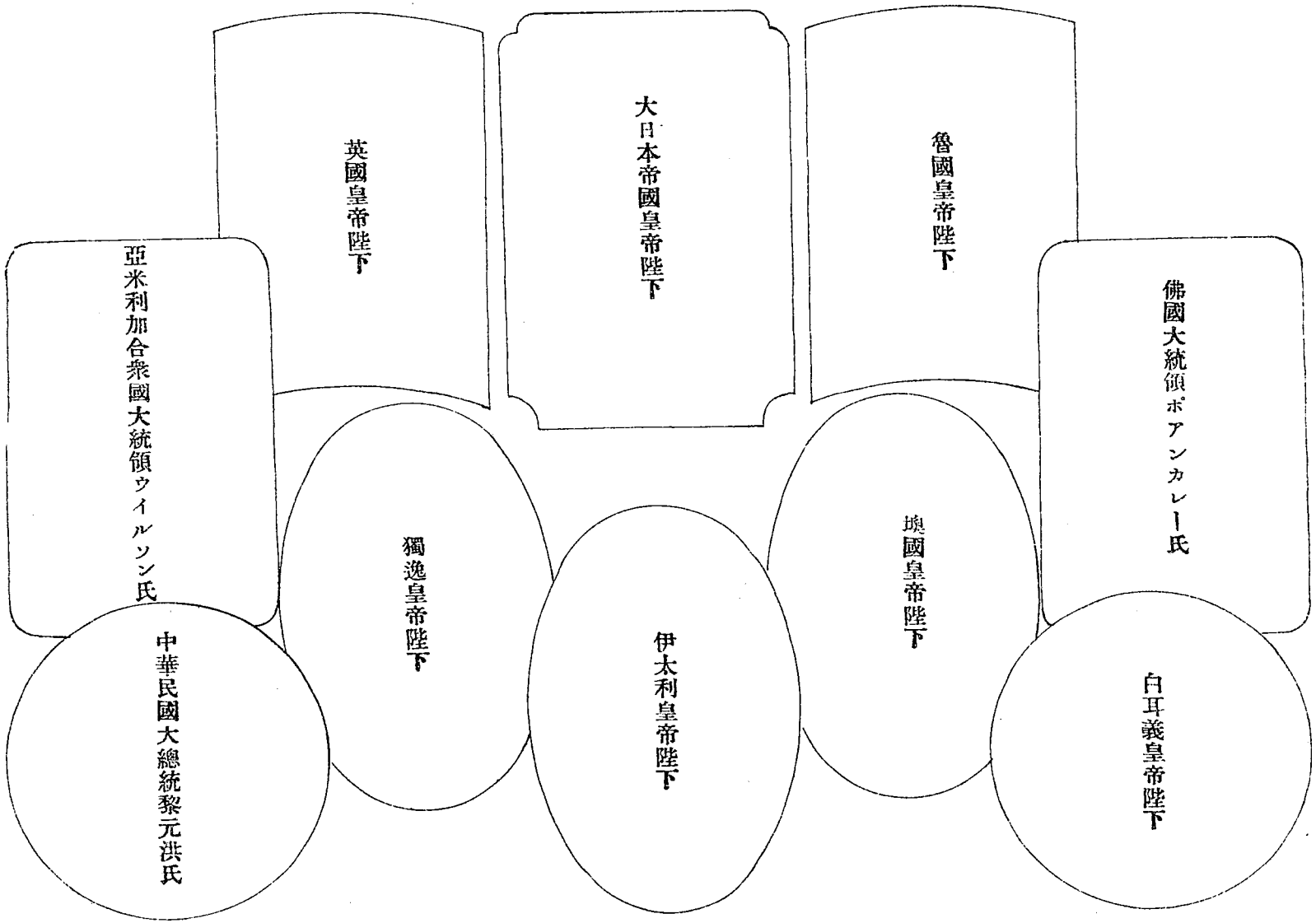
가루강스다 カルカッタ……一八二
佛敎の靈地가야의 ガヤの涅槃……一八三
印度부다가야의 ブダガヤの大本山……一八四
고론보 コロンボ市街……一八五
新嘉坡(シンガポール)……一八六
암부 ヤップ島各酋長の妻……一八七
도랏구 トラック島土人の舞裝……一八八

目次索引の注意

一、本書は寫眞と對照して一頁毎に說明を附せり。

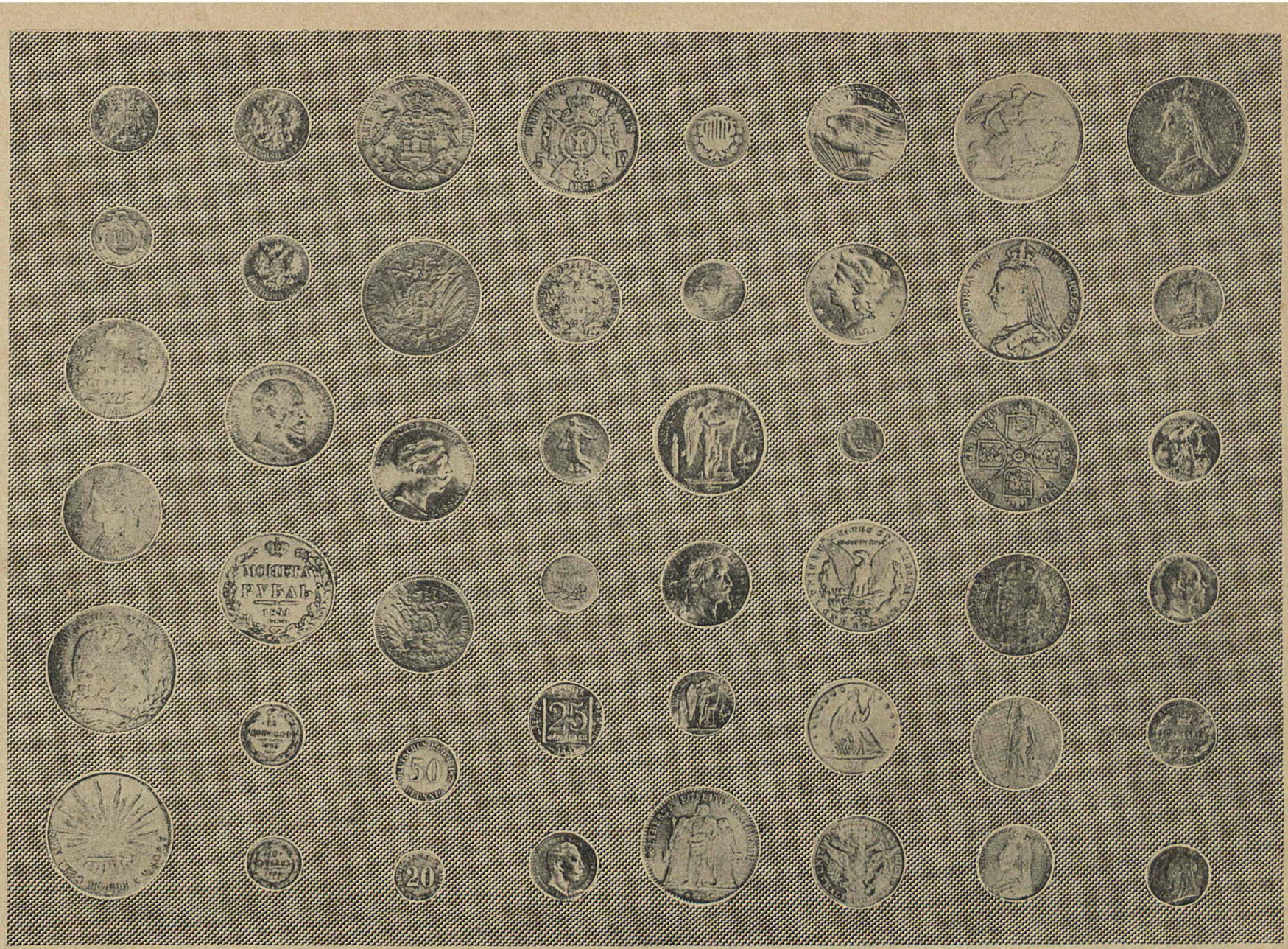
一、目次を索引するは記事の左右上部にある日本數字(目次と同じ)に據るべし。

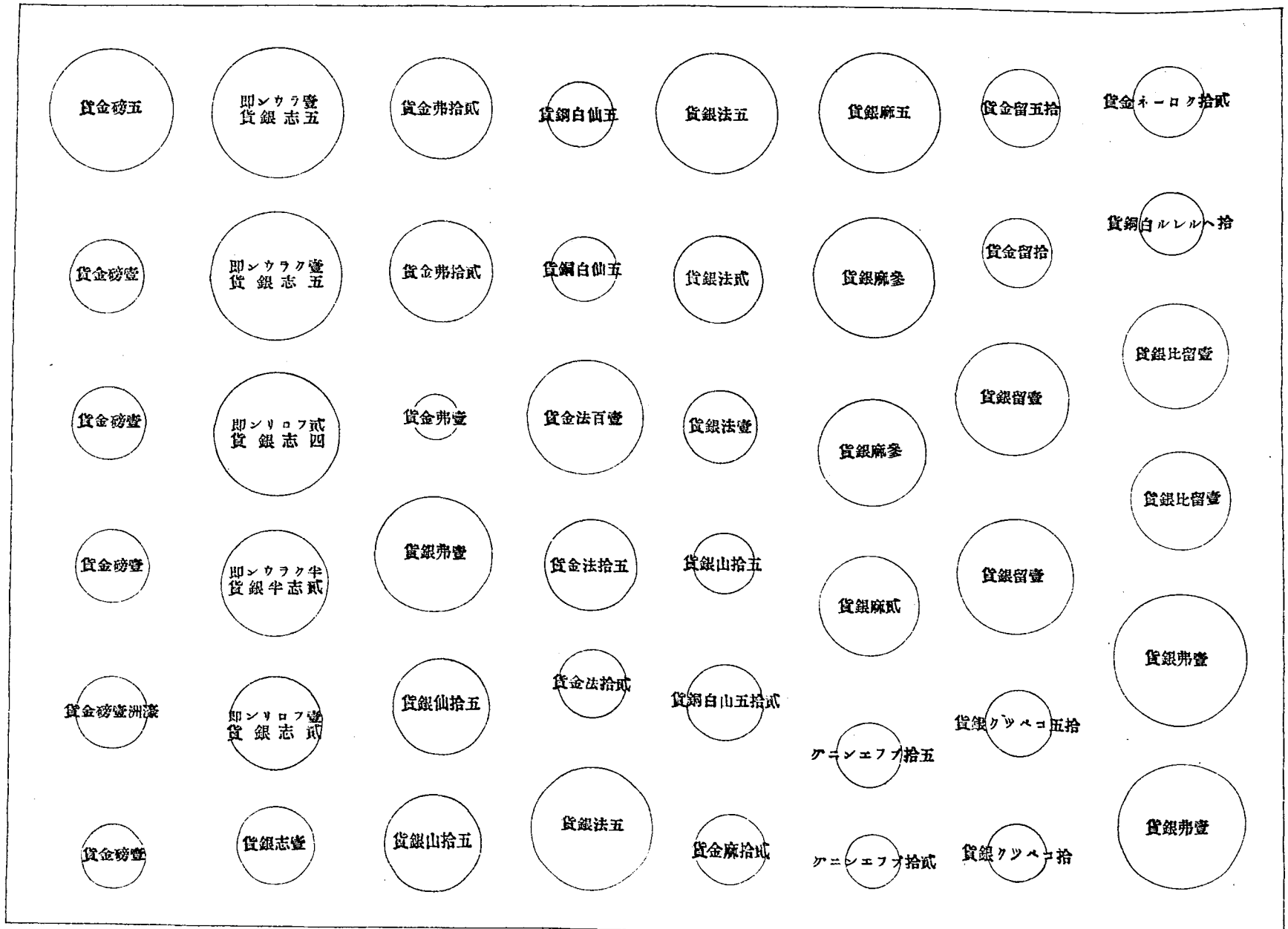
一、記事の中央下にある歐文數字は記事の丁數を追ふたるものに過ぎず。

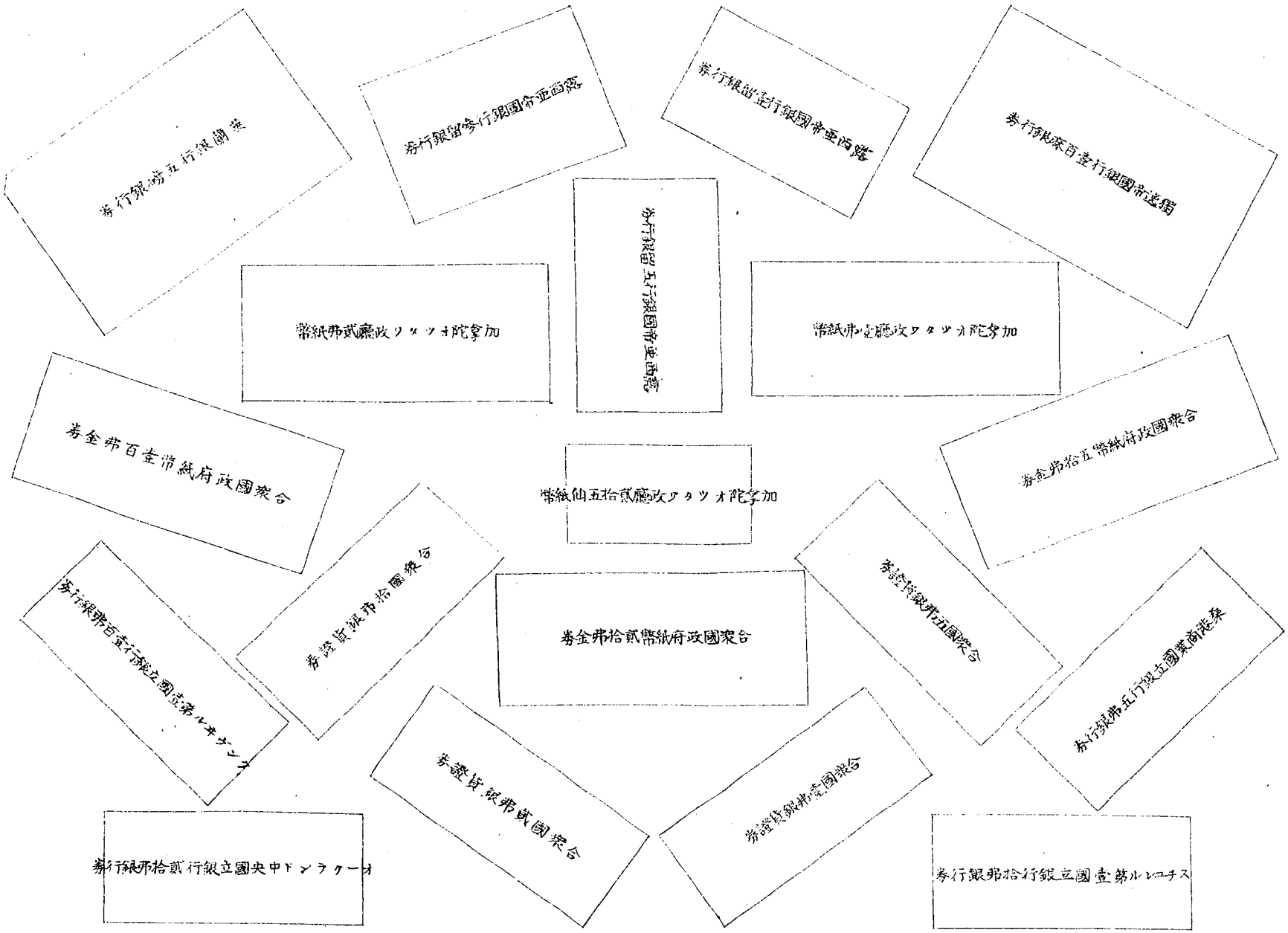

英國皇帝陛下
大日本帝國皇帝陛下
魯國皇帝陛下
亞米利加合衆國大統領ウイルソン氏
獨逸皇帝陛下
伊太利皇帝陛下
墺國皇帝陛下
佛國大統領ポアンカレー氏
中華民國大總統黎元洪氏
白耳義皇帝陛下

국회
도서관 장서

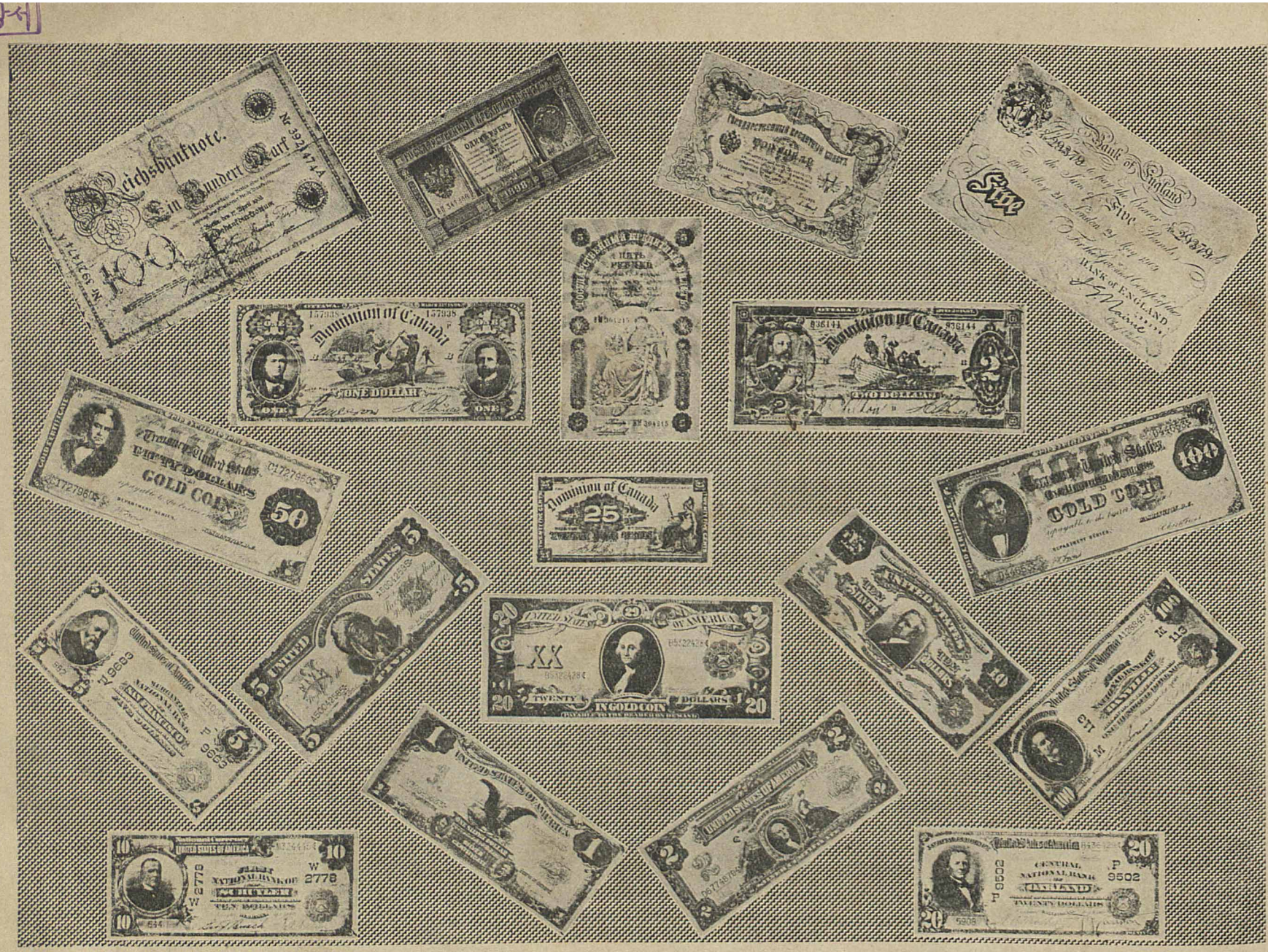



МОНЕТА
РУБЛЬ
25
50
20

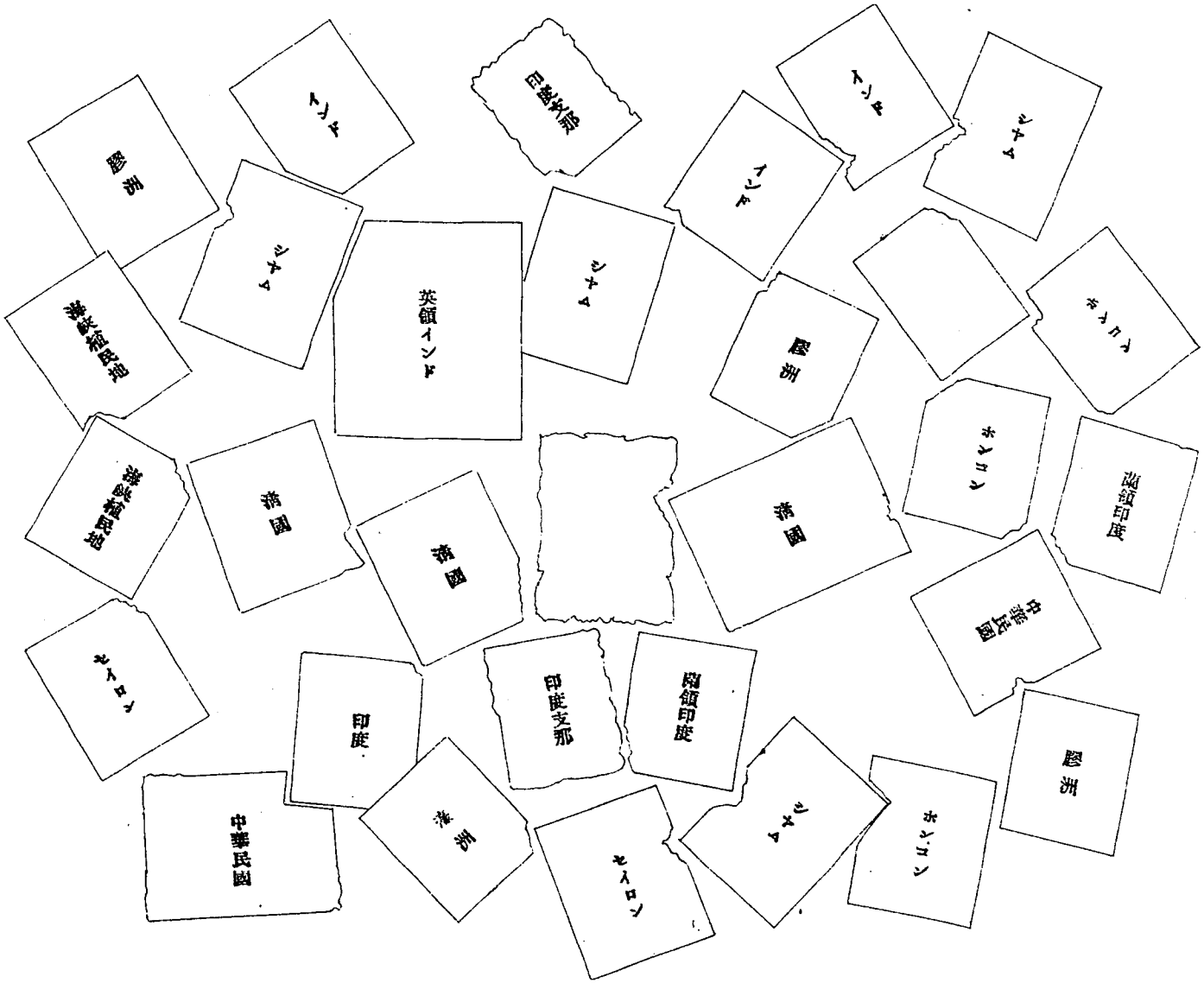

貨金磅五
即ンウラ壹
貨銀志五
貨金弗拾貳
貨銅白仙五
貨銀法五
貨銀麻五
貨金留五拾
貨金ネーロク拾貳
貨金磅壹
即ンウラク壹
貨銀志五
貨金弗拾貳
貨銅白仙五
貨銀法貳
貨銀麻參
貨金留拾
貨銅白ルレルヘ拾
貨金磅壹
即ンロフ貳
貨銀志四
貨金弗壹
貨金法百壹
貨銀法壹
貨銀麻參
貨銀留壹
貨銀比留壹
貨金磅壹
即ンウラク半
貨銀半志貳
貨銀弗壹
貨金法拾五
貨銀山拾五
貨銀麻貳
貨銀留壹
貨銀比留壹
貨金磅壹洲濠
即ンロフ壹
貨銀志貳
貨銀仙拾五
貨金法拾貳
貨銅白山五拾貳
ケニンエフオ拾五
貨銀クツペコ五拾
貨銀弗壹
貨金磅壹
貨銀志壹
貨銀山拾五
貨銀法五
貨金麻拾貳
ケニンエフオ拾貳
貨銀クツペコ拾
貨銀弗壹

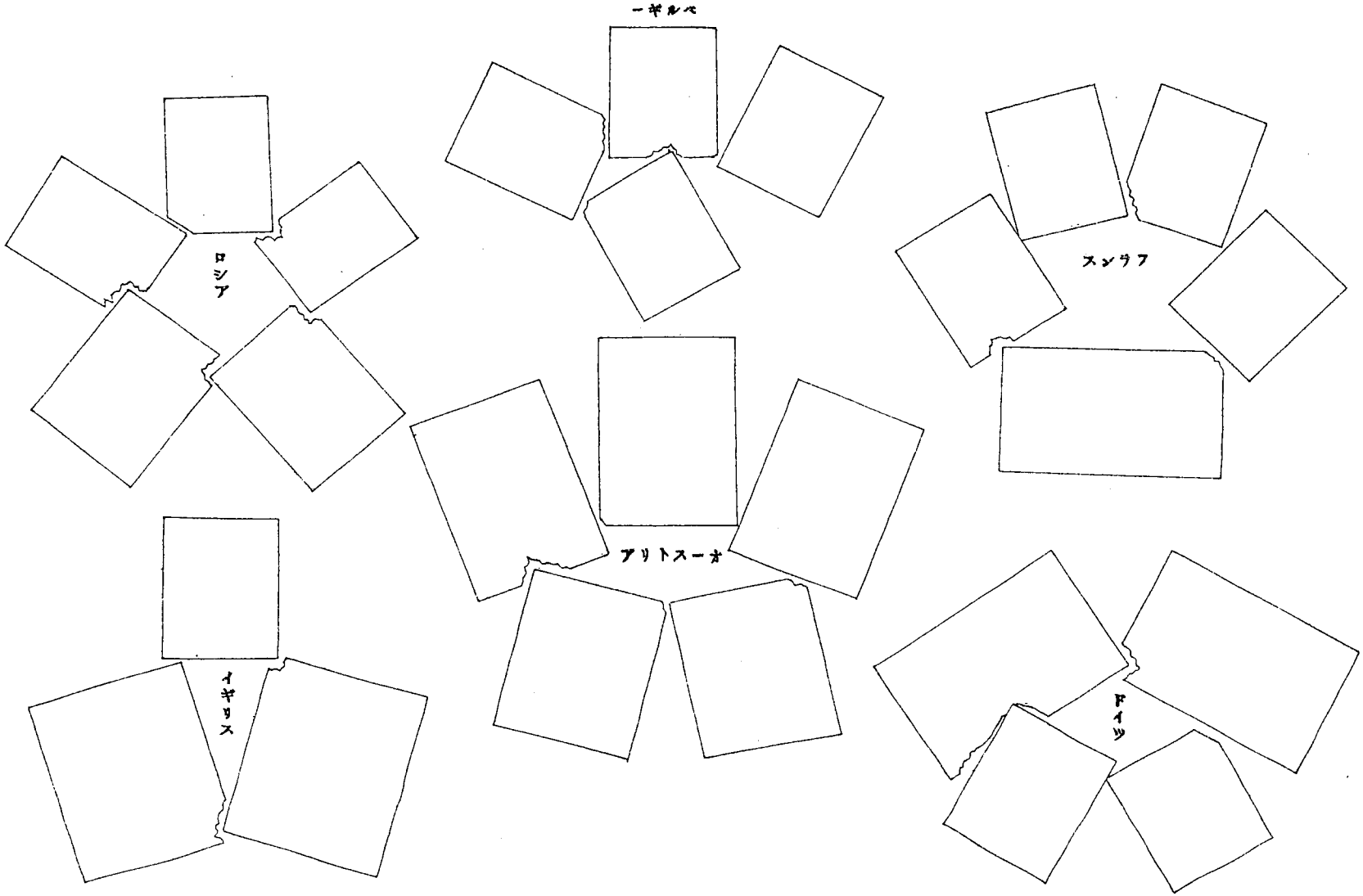

券行銀弗五行銀關來
券行銀留券行銀國帝亜西露
券行銀留五行銀國帝亜西露
券行銀弗百壹行銀國帝亜西露
券行銀弗百壹行銀國帝亜西露
帶紙弗貳廳政ヲタツオ陀拿加
帶紙弗壹廳政ヲタツオ陀拿加
券金弗百壹帶紙府政國衆合
帶紙仙五拾貳廳政ヲタツオ陀拿加
券金弗拾五帶紙府政國衆合
券行銀弗百壹行銀立國壹第ルヰカンナ
券證貨銀弗拾國衆合
券金弗拾貳幣紙府政國衆合
券證貨銀弗壹國衆合
券行銀弗五行銀立國業商港紐
券行銀弗拾貳行銀立國央中ドンラクーオ
券證貨銀弗貳國衆合
券證貨銀弗壹國衆合
券行銀弗拾行銀立國壹第ルレコチス

관 장서


Reichsbanknote.
Nr 3921474A
Hundert Mark
Dominion of Canada
ONE DOLLAR
TWO DOLLARS
Bank of England
Five Pounds
GOLD COIN
UNITED STATES OF AMERICA
TWENTY DOLLARS
IN GOLD COIN
TEN DOLLARS
FIVE DOLLARS
GENERAL NATIONAL BANK
INDIANA
TWENTY DOLLARS


SIAM
INDIA POSTAGE
HALF ANNA
INDO-CHINE
ONE ANNA
INDIA POSTAGE
KIAUTSCHOU
10 PFENNIG
HONG KONG
FOUR CENTS
STRAITS SETTLEMENTS
POSTAGE
5c
KIAUTSCHOU
CENTS
HONG KONG
6 CENTS
22½ CENT
INDO-CHINE
R F
10
NED. INDIE
CEYLON
POSTAGE
5c
KIAUTSCHOU
1 CENT
HONG KONG
2c TWO CENTS
12½ CENT
CEYLON POSTAGE
3c
KIAUTSCHOU
10 CENTS
THE REPUBLIC OF CHINA
POSTAGE
IN COMMEMORATION OF THE REPUBLIC


露西
イラク
日本委任
イラク
シャム
英領インド
シャム
シャム
露西
ペルシャ
海峡植民地
蒙古
シャム
蒲國
蒲國
蒲國
ビルマ
海峡植民地
蒲國
中華民國
ビルマ
印度支那
蘭領印度
印度
中華民國
蒲國
セイロン
シャム
ボルネオ
露西


ベルギー
ロシア
スロヴァキア
アルトスーダ
イギリス
ドイツ


REPUBLIQUE FRANÇAISE
POSTES
5
20c
30c
35c
50
REPVBLIQVE FRANCAISE
BELGIQUE-BELGIE
10
25 BELGIQUE 25
20
POSTES BELGIQUE
POSTZEGELS
35
KAISERLICHE KÖNIGLICHE
OSTERREICHISCHE POST
60 HELLER 60
50 HELLER 50
1
2
4
КОП
ПОШТОВАЯ МАРКА
СЕМЬКОПѢЕ
HALFPENNY
POSTAGE & REVENUE
2/6
TWO SHILLINGS & SIXPENCE
POSTAGE
5s
FIVE SHILLINGS
REICHSPOST
PF 20 PF
DEUTSCHES REICH

日本

我(わが)國(くに)の太古(たいこ)は伊弉諾尊(イザナギノミコト)、伊弉冉尊(イザナミノミコト)の二神(にしん)が大八洲國(オオヤシマノクニ)をつくり給(たま)ひ、また天照大神(アマテラスオオミカミ)、素戔嗚尊(スサノヲノミコト)を生(う)み給(たま)へり、天照大神(あまてらすおおみかみ)が乃(すなわ)ち御孫瓊瓊杵尊(ニニギノミコト)に勅(ちょく)して『豐葦原瑞穗國(トヨアシハラミヅホノクニ)は我(わ)が子孫(しそん)の君(きみ)たるべき地(ち)なり汝皇孫(なんじすめみま)ゆいて治(おさ)めよ、天日嗣(アマツヒツギ)の榮(さかえ)まさんこと、天壤(てんじょう)とともに窮(きわ)まなかるべし』と宣(のたま)へり、我大日本帝國の皇基は實に此に胚まり萬世一系の天皇を奉戴して天壤無窮たるは世界に其比を見ざる所にして、我が臣民の幸福之に過ぐるものはない。

我が帝國は亞細亞洲の極東、北太平洋中に羅列せる島嶼國にして東北より斜に南西に延び、宛かも蝸牛の脫殼して東北に匍匐し角を振るの狀を呈して居る、東は渺々たる北太平洋に臨み、北は千島海峽竝に亞細亞露西亞と境し、西は日本海、新領土朝鮮又は黃海、東支那海、臺灣海峽によりて西伯利亞及び中華民國(支那)に對し、南はバーシー水道を隔てゝ亞米利加合衆國領フィリッピン諸島と相對し、全長凡そ一千三百里の間に斷續して世界の最狹長國である、而して開國以來大陸の戰亂に關與せず、又他國の侵害を受けたることなく、獨立して能く健實の發展を爲し且つ史蹟に汚點を留めざりしもの、卽ち是れ本邦自然の形成に負ふ所も多かつたのである。

我國は六大島、二群島、二列島、一大半島とに大別し、周圍一里以上の島嶼約五百と其他總數四千に近き數多の島嶼より成り、其總面積約四萬三千方里を有す、卽ち中央の最大島を本州(本土)と稱し北海道、臺灣、樺太四國之に次ぎ、二列島は千島、琉球にして、二群島とは小笠原島及び澎湖島を云ひ、其他重なるものは佐渡、淡路、對島、隱岐、壹岐等である、

本邦の地勢は東西約六十里、南北約一千里餘、人口約七千萬を算す、山嶽重疊して大平原少きも概ね氣候溫暖、土壤肥沃にして殖産興業の天資を供し從つて本邦經濟界を裨益すること多く、且つ山紫水明の風光に富み世界の樂園と稱せらるゝ。

我が大和民族の起原に就ては、或は海外よりの歸化人及び土族、蝦夷等の異種族の混血ありたるとするも、然し亞細亞の絶東に卓立して大陸種族との因緣を絶ち、氣候風土も異なり、自ら習俗、氣風、言語を異にし、所謂大和民族なるものを形成するに至り、大率此の國土を開き給ひし國祖の後裔とも云ふべく、然れども最近版圖の擴大するに從ひ更に人種も複雜を來し所謂大和民族、アイヌ種族、支那種族、ギリヤク種族、オロッコ種族、韓族等の七種に分れて居る、而して全種族の支配者たる大和民族の風俗を概說すれば、古來實著なる自然風を貴び、華美の風を避け、艶麗なるよりも寧ろ幽婉なるを尙び、濃厚よりは却つて淡泊なるを愛す、而して性質活達敏捷にして思考力に富み、信義を重んじ、結合力强く誠實にして忠君愛國の念深き國民性を有す、由來質素勤勉は邦人の特性なるも近時滔々として奢侈に流れ大に剛健質實の風を缺くの傾向あるは慨嘆に堪へざる所、吾人同胞は須らく此缺點を矯正して、天稟の美德に努め併せて大國民の襟度を養成せねばならぬ。

我國は古來より國民一般の敎育に意を用ひたるが如く、昔時天智天皇の御代に於て既に學校を開設し子弟を敎育せられし以來、大學を開き國學院を

設け或は一家一族の間に私立學塾を起して敎育を奬勵した、更に維新以後に於て大に發達し、現今に於ては大學校、高等學校、中學校を始め全國到る所に小學校の設立せざるなく、國民敎育の基礎は玆に全く確立された、宗敎に於ては日本國民として安寧秩序を妨げず、又義務に背かざる限りは、信敎の自由を有し、現今最も多く信奉せらるゝは神敎、佛敎、基督敎等である。

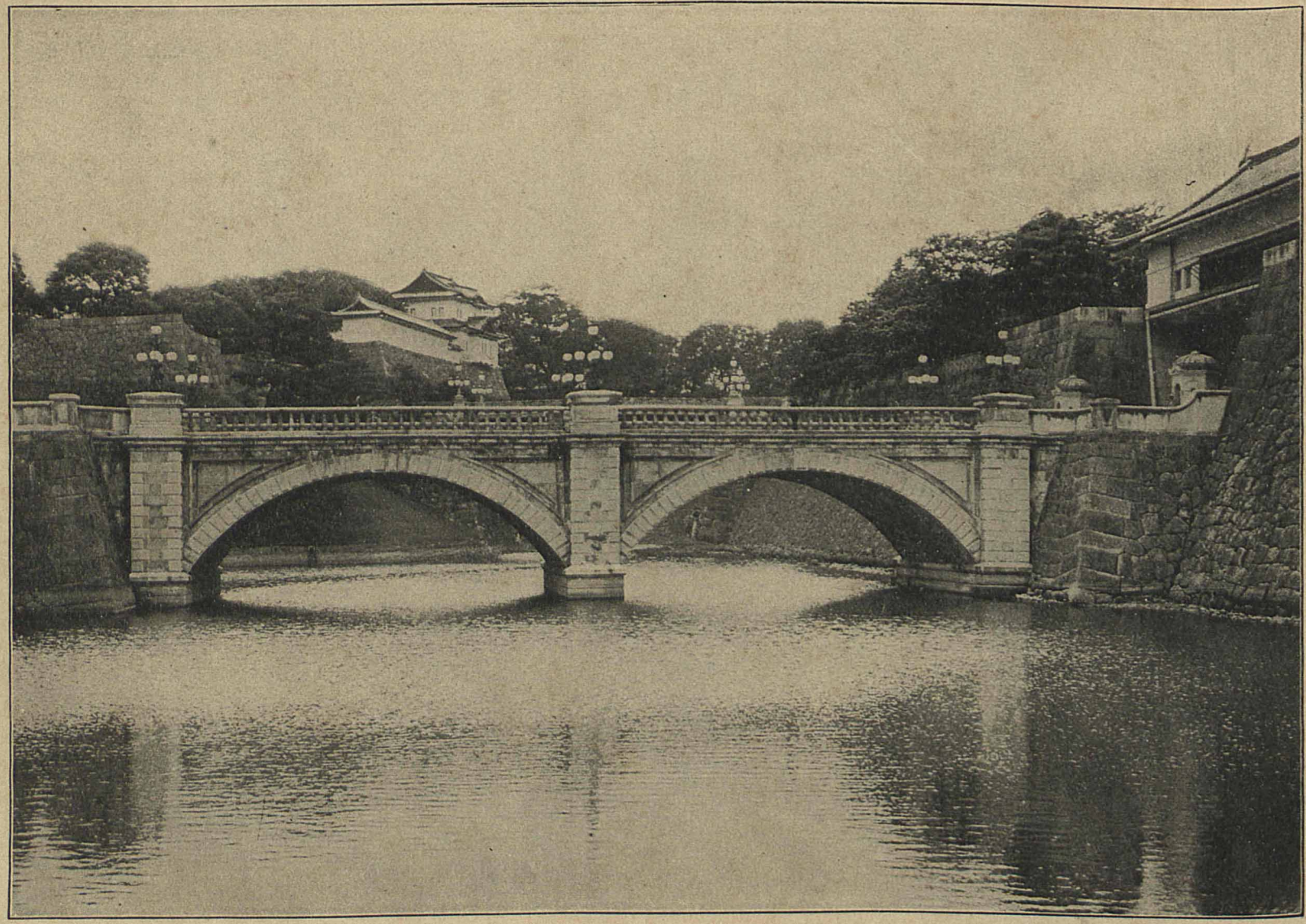
産業の方面に至ては自然の恩惠多く、卽ち氣候溫暖にして土地肥沃なれば天産物も概ね豐饒なり、古來「瑞穗國」と稱し農を以て國本となし世々之を奬勵して來た、然れども農家一戶の平均耕地約一町に過ぎざる世界最小農地の國である、工業は國民の意匠、手工共に巧なるが爲め東洋美術國」と稱せらるゝも其多くは工藝美術に屬し大規模の工業少なかりしも近時各種の機械的工業も勃興し漸次發展しつゝあり、就中生絲の如きは最も重要のものである、商業に至つては我が國封建割據の時代は各々一地方に區劃し交通不便に加へて通貨も各藩每に異なり商業甚だ幼稚なりしも維新以來漸次發達し、近時內地商業及び外國貿易は著しき隆盛を示すに至つた、從つて交通も亦大に發達し海陸共に輸送機關も完備せられ、鐵道の我が版圖に延長せるもの現今約一萬哩餘に達す、要するに東亞の全面を掩ふ我日本の姿勢は、自ら東洋の覇權を掌るべき使命を有し、又全亞細亞の文化啓發の囑望を雙肩に擔ふ、我が帝國の前途益々多事多望なると共に吾人の任務重且つ大なるを知るべし。

宮城二重橋

宮城は舊江戸城にして周圍約二里に亙れる城壁を爲して居る、太田道灌の築きし所、後ち德川氏累代の居城であつた、舊城內は本丸、西丸、二の丸、三の丸に分れ、平川、大手、和田倉、馬場先、櫻田、半藏、田安、竹橋の八門を設け其中央には內櫻田、坂下の諸門ありて前苑と舊本丸及び西の丸とに分つて居る。

皇居は舊西の丸の地にあり卽ち舊城內の西南に當り德川時代に隱退又は嗣君の居宅に充てられた所である、先帝陛下が明治二年三月東幸し給ひ、爾來皇居と奠められたが、京都の人心遷都を欲せざる爲め暫らく假皇居と稱せられた、然るに明治八年五月假皇居は炎上せられ、乃ち避けて德川邸に臨御し、次で明治十七年更に皇居新營工事を起して二十一年十月竣工を告げ、二十二年一月遷御し給ひ、號して宮城と云ふ、其構造は日本風にして內部は表、奧の二つに分れ、表御殿は正殿、豐明殿、御座所、御學問所、鳳凰間、千種間、牡丹間、廣間、北間、溜間、御車寄受附間、東御車寄受附間、脫帽所、吸煙所、溫氣所等なりと承る。

二重橋は其名の如く二重に架せられたのであつて、卽ち石を以て疊みたる下橋を南行して之を渡り、更に西行して再び北行すれば上橋を過ぎて初めて禁門に入る、正殿、豐明殿等の瓦甍は高く紫雲靄靄たる間に聳え其の構造の壯嚴なる、一般拜觀者をして自ら襟を正し首を垂れて長へに君が代の安泰を祈らしむ、此寫眞は卽ち二重橋附近の光景である。





東京市

東京市は我國の首府にして亦東洋第一の大都會である。昔足利時代に江戸氏の居地として海濱の一孤村なりしが、太田道灌此地に城を築きてより江戸の名漸く著はれ其後德川家康江戸を以て居城となし、爾來幾多の變遷を經て明治元年先帝京都より車駕東幸の後ち此地を帝都と奠め給ひ、江戸を改めて東京と稱し、文武百寮を置かる、次で二十一年市制を布き爾來面目全く一新し萬般の機關悉く備はり今や世界第四の都會と稱せらる、

市街は武藏の南部東京灣に瀕し東西二里二十六町、南北三里十二町、面積四方里餘あり、全市は十五區に分る、昔は八百八町と稱せしが今は一千五百四十二町の多きに及び人口實に二百五十萬餘を數へ、其急劇の發達は世人をして驚倒せしむ。

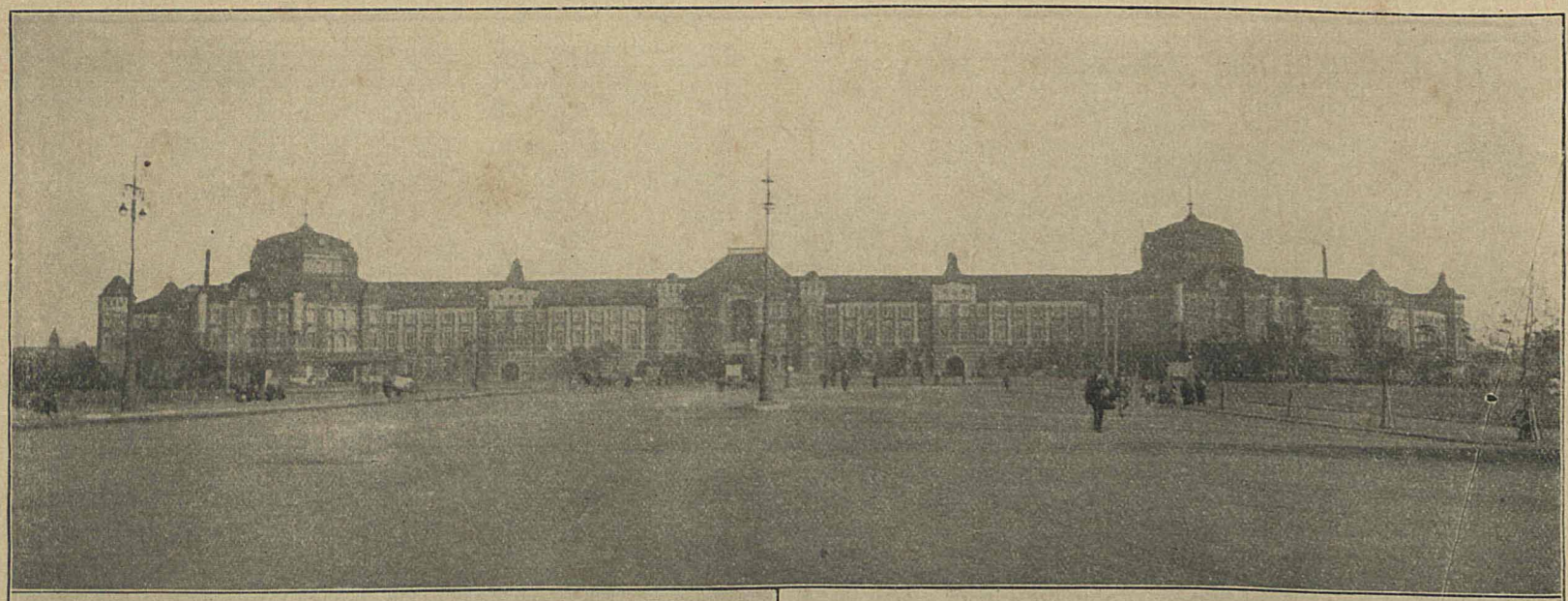
本市は政治的樞要の位置を占め亦文藝、經濟、軍事、交通上の一大中心であり、又商工業の中心である、全國の百貨悉く此地に集散し關西の大阪と共に實に我國の二大商業都會と稱せらる、從つて鐵道も此地を起點として內地各線に連絡し內外人の來往と百貨の輸送とは頗る頻繁を極めて居る、

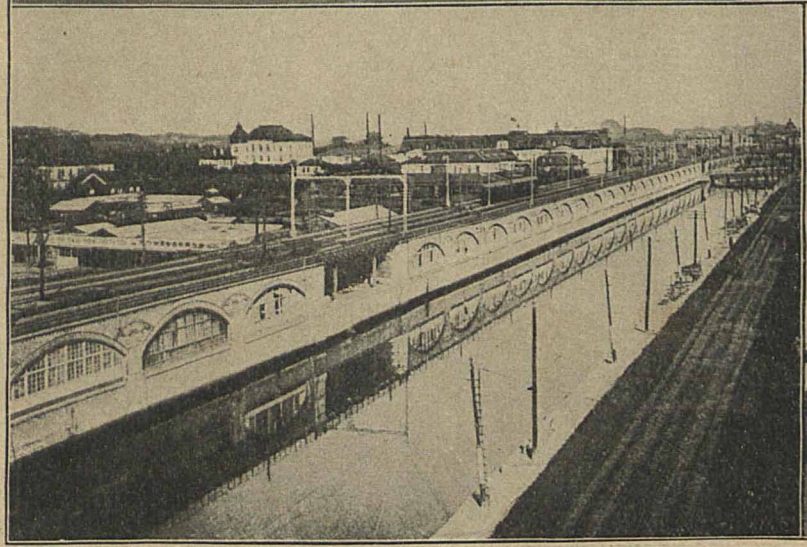
市內の最も繁華な所は京橋銀座通、日本橋通、神田小川町通にして大廈高樓軒を連ね人車の來往甚だ雜閙を極む、又麹町の中央丘上に巍然として聳ゆるは皇居である、東京は京都と共に遊覽的の二大都府と稱せられ、名所舊跡も甚だ多く、來遊外客の一度此都に入るや、觀るもの聞くもの味ふもの、悉く滿足せざるはなく實に娛樂的別天地と激賞せらる、此寫眞は日本橋附近の光景である。

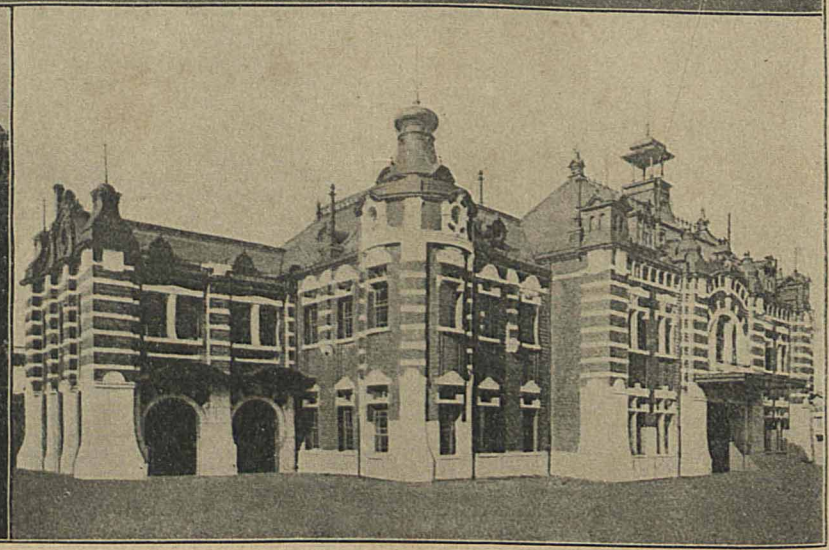
東京停車場

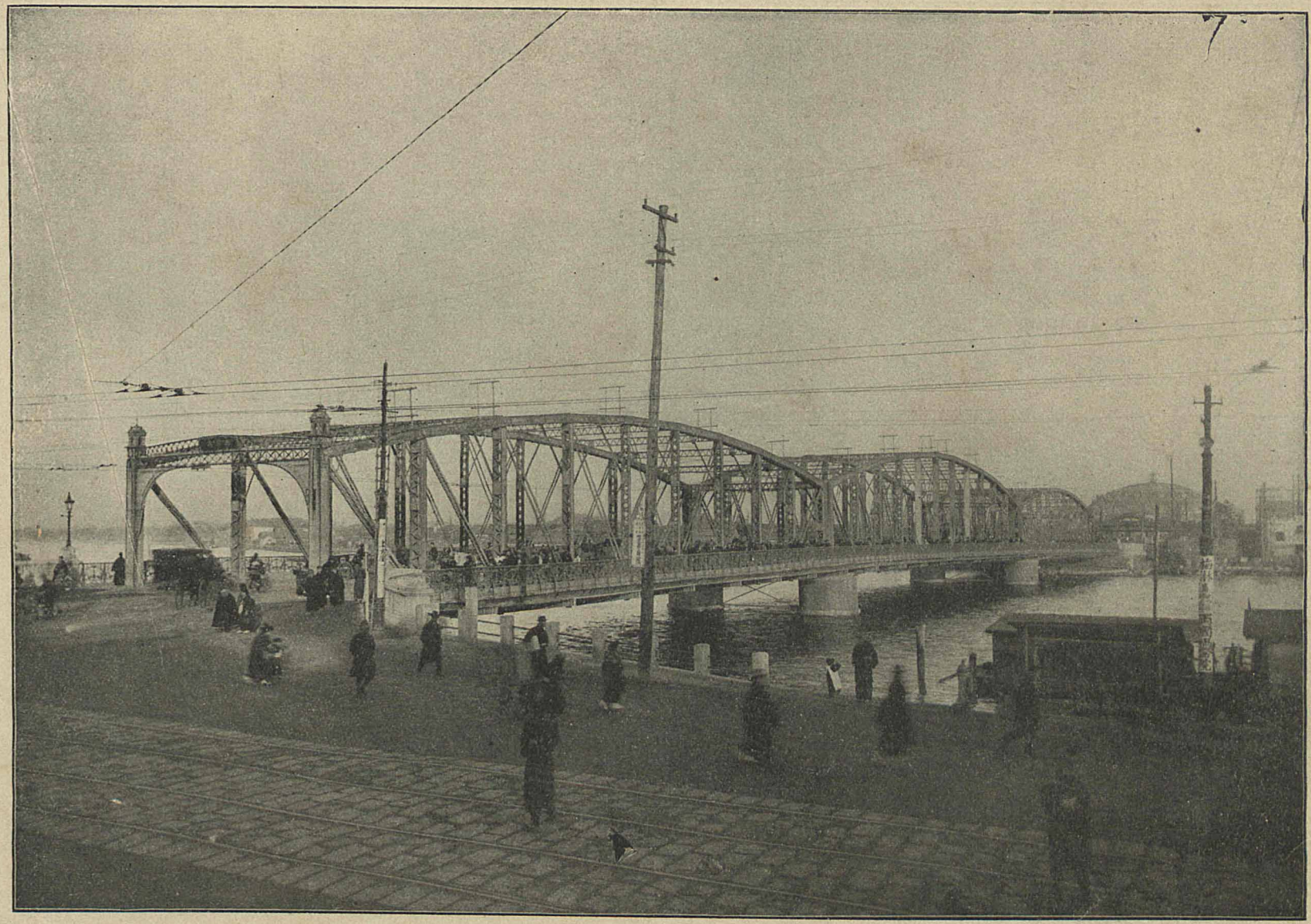
東京市는 大日本帝國의 首府인데 東洋第一의 大都會라 政治、文藝、經濟、交通、遊覽의 中心으로 內外國人의 來往頻繁한 것은 말할 것 아니라 百貨의 一大集散地라 從하야 市街에 八箇의 停車場을 有하얏다。

東京停車場은 明治四十一年三月부터 地盤工事에 著手하야 辰野工學博士及葛西工學士兩氏의 設計에 依하야 大正三年三月로써 以上을 要하얏다고 云하며、停車場의 構造는 루네쓰산스式인데 最新的 技術의 精巧를 極하야 居る、建物은 長さ 百八十四間、幅 最小十一間으로부터 最大二十二間에 及하고 其의 建坪의 總面積은 七千二百四十二坪、概ね三層으로 되가 高さ 約五十尺、左右八角의 廣大室을 有하고 其의 最高塔部까지를 百五十二尺이라 하고、全部 鐵骨인데 煉瓦及び石材를 用하고 床은 鐵筋混凝土耐火構造로 하얏다라 屋根의 表面은 銅板及び石盤葺로 하얏으며、停車場構內의 總面積은 約六萬五千三百坪을 有하고 乘降場을 八箇所에 分하니 內四箇는 電車專用、他는 汽車專用에 充하고、四箇의 出入口를 設하얏스나 其中央은 帝室專用、右方高塔下에 在る 것은 乘車客의 入口、左方高塔下에 在る 것은 降車客의 出口로 하고、又待合室及び 切符賣場은 一、二、三等에 區別하야 만일 바도 혼잡이 업고、其宏大의 建築과 設備의 完全과는 東洋第一의 停車場이라 稱하야 可하며、內地及び 海外에 來往する 에는 總히 此驛이 起點이 된다、尙日本의 嚆矢라 할 元의 新橋驛은 汐留驛과 改稱하고 今や 貨物扱所로 하야 僅에 名殘을 留하얏다라 居る、上圖는 東京驛、下는 新橋驛及び 高架鐵道線附近의 光景이다。









兩國橋

兩國橋는 隅田川의 本流에 架設된것이라、萬治三年의 創設에 係り 昔時川의 東은 下總國、川의 西는 武藏國에 屬함으로써 此名이 起つた、隅田川은 市의 東部를 貫流하야 東京灣에 注ぎ、川幅廣くして水深く水流도 亦緩なるを以て汽艇、船筏常に上下して居る、此川に架するは永代橋、新大橋、兩國橋厩橋、吾妻橋인데 이에 千住大橋를 加へて東都六大橋의 名あり、彼의 忠臣義士가 吉良의 屋敷에서 猛然夜襲하야 忠烈悲壯을 演せしもの誠に人をして當時의 光景을 追懷케함에 足る도다、此橋는 以前木橋이더니、今은 堅牢なる鐵橋로되엿더라고 橋의 兩側은 步道로하고 中央은 車道로되엿더라 東岸一帶의 堤防을 向島라稱하야 花時、納涼、秋草、月見、雪見等四季의 遊息地로되야 東都名稱의 一에 數へらる、又兩國의 川開き로써 毎年八月上旬에 大仕掛의 煙花를 打ち上ぐるを例로하니、見物人은 水陸共에 群集하야 殆んど立錐의 餘地가업시 非常의 雜閙을 極한다。

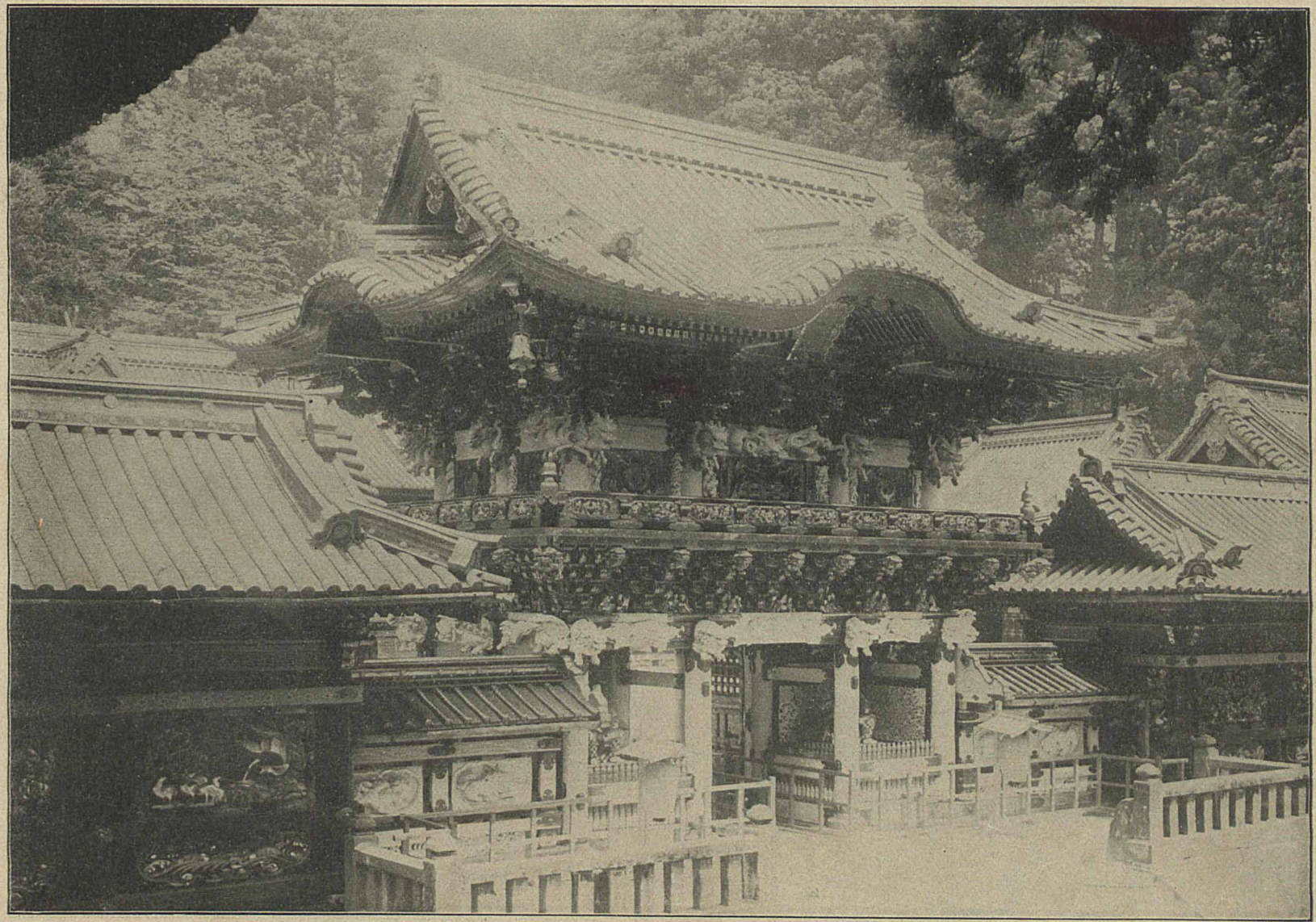
兩國橋를 東으로 渡れば本所區에 屬し間もなく宏大의 建物이 聳えるは卽ち兩國의 國技館이라、明治四十二年五月의 竣工인데 鐵骨塗와 鐵、硝子로 成り構造는 圓形인데 中央에 形屋을 設け四周를 觀覽席으로 充て、觀客優히 一萬六千을 容るゝに足る、此傍에 있는 寺를 回向院이라稱하니、明曆의 大火에 燒死或은 溺死된者十萬八千餘人의 屍를 埋葬하고 此寺를 建て 毎年回向을 爲하더라、古來より我國獨特의 相撲은 此地內에 行はれたが、今은 國技館內에서 毎年一月、五月의 二回本場所大相撲라稱하고 力士의 技倆을 奮つて大和民族의 氣魂을 發揮하더라 居る。

橫濱港

橫濱은 神奈川縣廳의 所在地인데 東京市를 距ること 八里 東京灣의 西濱에 位置하니 東京으로부터 汽車程 一時間에 達하며, 昔一小漁村이던 것이 安政六年 開港된 以來 漸次 繁華의 端緒를 開하였다. 市街는 東西 一里二十一町, 南北 二里七町, 周圍 九里十二町을 有하고, 市中의 街路는 廣潔하고 家屋도 壯大하며, 特히 本町, 辨天通, 南, 北通, 中通, 太田町과 如한 것은 商業最히 繁盛을 極하며, 外國人의 多數는 市街 東南部의 高丘上에 住居하야 何れも 洋風의 高層인 建築을 成하고 居하며, 最近의 人口 約五十萬, 外國居留民 約六千餘를 數하니, 我國第一의 貿易港이라 稱せられ 亦 我國第四位의 都會이다.

港灣은 本牧十二天鼻로부터 南方을 抱하야 風波를 遮하는 一帶의 丘陵은 港의 背後를 圍하고, 本牧十二天鼻와 鶴見川口와를 連絡せる 一直線內로써 橫濱港의 總稱이라 하며, 其幅 約四里에 亘하고 港內 水深이 殊히 深하며 神奈川舊砲臺와의 間에 防波堤를 築하고, 更히 長さ 六町에 達하는 棧橋를 架하야 港의 中央에 突出케 하고, 一萬噸 以上의 大船巨舶은 直히 棧橋에 橫付함이 出來하고, 更히 最近에 至하야 二百三十五萬圓의 巨資를 投하야 築港工事를 施せり, 其工事는 東과 北에 二防堤를 築하고, 別히 棧橋를 埠頭에 架하고, 更히 棧橋와 橫濱停車場과의 間에 鐵道를 連絡케 하고, 大船巨舶은 直히 埠頭에 橫付함을 得하야 益々 其規模를 一新하였다. 年々 船舶의 出入 約四百萬噸 以上에 及하며 貿易額 無慮 五億萬餘로 註せらるる 近時 神戶港의 繁盛과 共히 稍々 衰頹의 傾向이 있으나 是れ 本州中의 良港たる 地位를 失한 것이 아니다.





日光陽明門

日光町は下野國宇都宮の西北二十五哩、卽ち東照宮の所在地にして世俗に「日光を見ずんば結構を語る勿れ」と稱せらるゝ、抑も此地が結構の代名詞となるまで稱へらるゝに至りし原因は、德川家康の宗廟地たるのみならず天然の絶勝に於て天下に卓越し、加ふるに德川將軍の絶大なる權力と、天下名匠の技術と併せて名勝の天下に響きし所以である、日光町の西北に聳立するを二荒山と稱し其最高峰は男體山（八、五〇〇尺）である、日光の左方に大谷川の急流ありて之に架せるは神橋と稱し朱欄珠碧水に映ず、橋を渡りて左に坂路を登れば右に輪王寺あり、其正面は卽ち東照宮にして德川家康の遺骸は其の後方の山腹寶塔の下に葬らる、更に其近傍に三代將軍家光を葬りたる大猷廟あり、何れも德川幕府の偉力を以て天下の諸侯より莫大の寄附を徵し海內名工の精華を盡して造營せしものなれば靈殿樓閣何れ宗廟中最も著名の建築である、廣さ二十四尺、横十二尺の一層樓にして鋼製の瓦葺となし欄柵梁柱は總て聖賢、哲人、龍虎、麟鳳及び百華を彫刻し金銀珠玉を鏤めて其の華美壯麗實に人目を眩射す、殊に陽明門は日光の一度此宗廟に入るや四邊の壯麗美觀は終日之を看盡し能はずと云ふ。

更に東照宮の背景なる山中には有名なる華嚴の瀧其他を合せて七十二瀑あり亦日光の山中三里餘に中禪寺湖あり、山紫水明の地にして內外人の別莊多く、近時日光に來遊する者四十萬餘を數ふと云ふ。

日本三景(松島、天の橋立、嚴島)

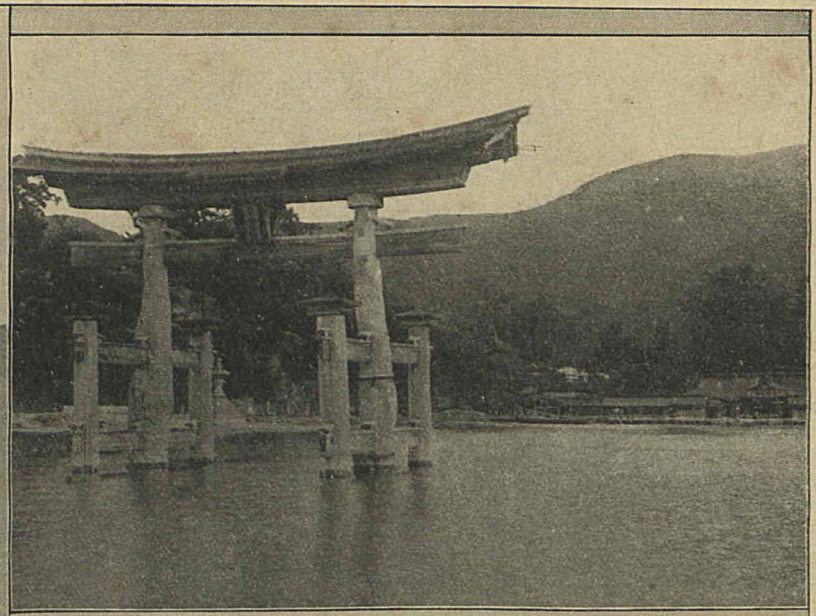
松島、天の橋立、嚴島は共に日本三景として古來より著名の勝地である。

松島は陸前國にあり數百の群島其間に點在し奇巖翠松海水と相映じて影濃かに、或は高く立てるあり、或は低く海波に枝の垂れるあり、或は潮風の爲に自然的屈曲の妙趣を添へるものありて、其間に帆船の點在、汽艇の來往白鷗の海波に遊ぶもの等其奇勝絶景は到底筆舌に盡し難く亦五大堂、觀瀾亭、瑞巖寺、雄島、鹽竈等の勝地を始め奥羽の大都會たる仙臺の名所舊跡あり。

天の橋立は丹後國宮津灣に在り、一條の沙洲は遠く北より南に斗出すること約二十七町四十間、幅三十七間、其南端は小海峽を成して居る、而して老松稚樹共に洲上一帶の白砂と竝立し其高さ數尺を超えず、之を遠く望めば恰かも長洲の海上に浮びて翠松一字を畫せるが如く、碧水天と連り天上亦橋あるに似たるを以て此名あり、其絶景賞すべく、尙宮津港は有名な繁華の地「二度と行くまい丹後の宮津、縞の財布が空になる」との俗歌あるを見れば古來より此地に杖を曳く觀客の勝景に醉興せしものあるを偲ばしむ。

嚴島は安藝國に在り俗に宮島と云ふ、嚴島神社は島の北端に位し山色水光の明媚を以て天下の勝地たり、此神社は平清盛之を造營し、本殿、拜殿社殿相連りて海潮の上に斗出し、一度滿潮となれば玉樓瑠璃盤上に浮び、百八の長廊下は恰も海波に浮ぶが如く、紫爛碧波に映じて其風雅實に壯觀を極む、此寫眞の右上は松島、左上は嚴島、中央下は天の橋立の三景を示したものである。









富士山

富士山は海抜實に一萬四千尺甲駿二國に跨りて聳立し周圍に劍ヶ峰、釋迦、八須志、伊豆、成就駒、淺間、三島嶽等所謂八峰の秀靈を集め其英姿恰も白扇を倒懸せるが如く天邊八朶の玉芙蓉は玲瓏として朝暾に輝き雄姿秀容名狀すべからざる世界の名山である、富士山麓の盡くる所より絶頂迄六里之を十區に分ち一區を一合と稱し十合にして頂上に達す、溫度盛夏平均五度九、富士登山の四口と稱し吉田口、須走口、須山口、大宮口の東西南北の四方より登るのである。

富士山頂に大空穴あり卽ち往古の噴火口で直徑十三丁其形恰も摺鉢の如く深さ數千仞に及び坑底には常に千歲の雪を蓄ふ、絶頂よりは約數十里(朝鮮里數四五百里)の地平面卽ち十三州を展望し得る、卽ち西南は駿遠三勢の海岸遙に雲煙の間に隱見し北は遠く筑波、日光、淺間の諸山近くは白根、鳳凰、八ヶ嶽等の諸山は宛がら蟻行列の横はれるが如く、更に眼を轉ずれば太平洋の煙波淼漫として際涯なく水天髣髴たるを見る、此際眼界諸方に展開して其壯快は自然身の峻險に在るを忘るゝが如く或は只飄然として虛空の中に立てるの思あり、是より所謂御八嶺廻り(俗にお鉢廻り)をすれば賽の河原を過ぎて銀明水の淸泉を掬び、親不知、馬の脊越、雷巖、釋迦の割石の嶮を越え再び金明水の淸冽を味はひて之を終り、歸路は沙走の道を一蹴して下れば僅に三時間にして麓に達することが出來る、世界著名の靈峰と稱して近時盛夏中には內外人の登山者は頗る多い。

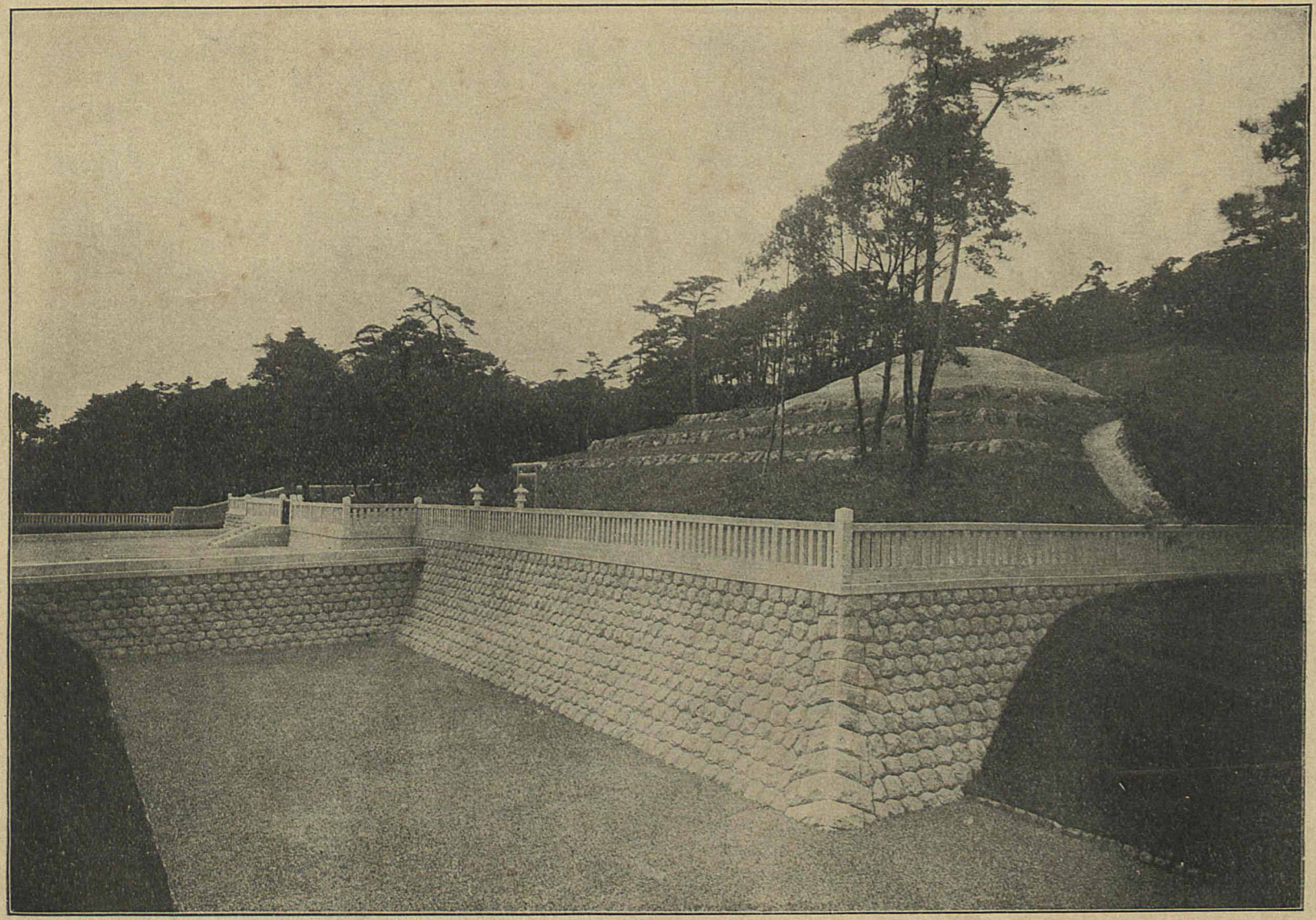
伏見桃山御陵(京都)

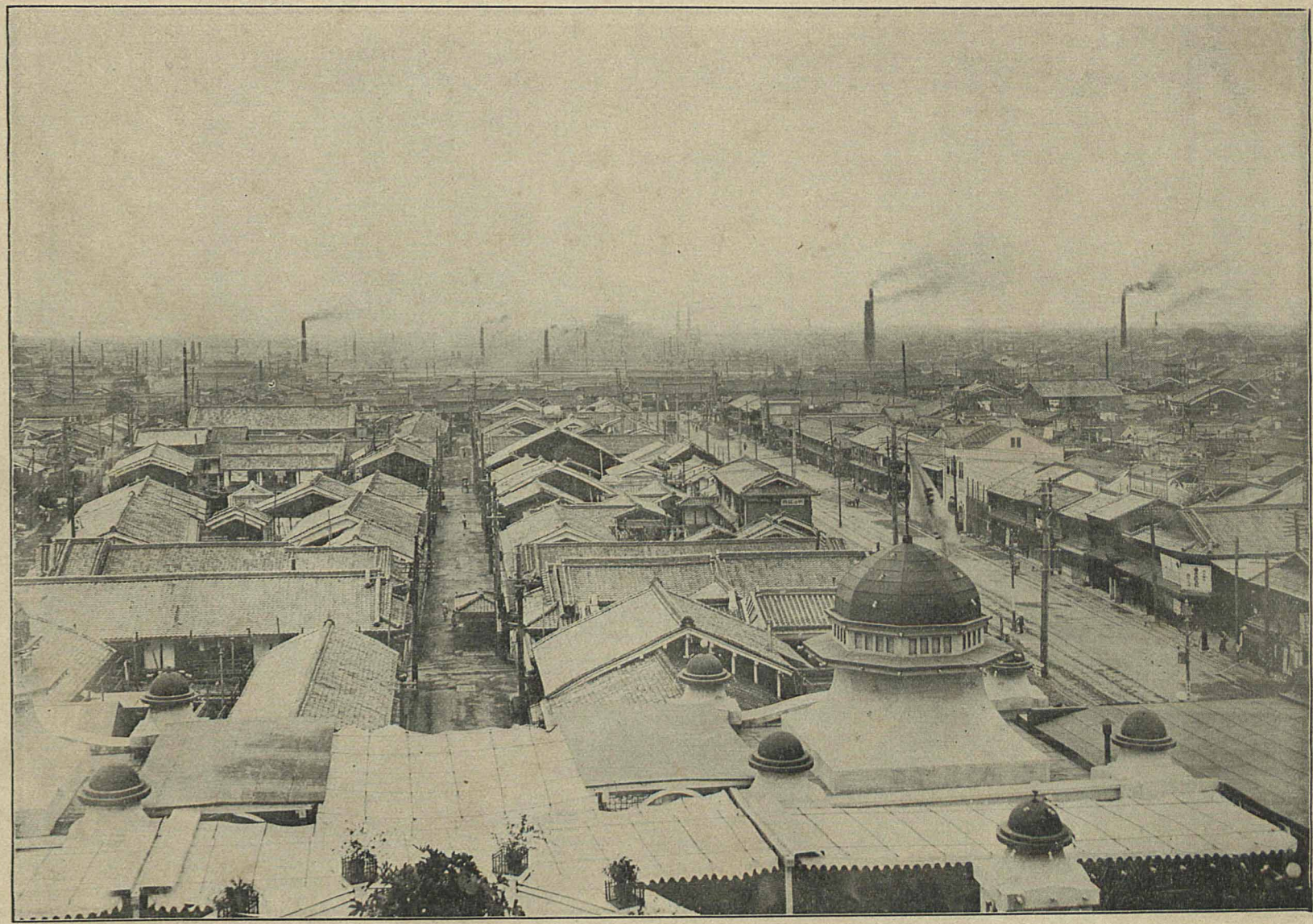
京都市는 京都平野의 北에 位置하니, 東京을 距하기 百三十里餘, 大阪을 距하기 十三里, 東海道線, 關西鐵道線, 京都鐵道線等의 交通要衝의 地點인데 我國 第三의 都會이다. 此地는 桓武天皇의 延曆十三年都를 奠하신 以來明治二年의 東京御遷都에 至하기 迄實로 千七十五年間의 舊帝都인데, 此間文化의 淵源을 爲하고 又變亂의 中心이라, 東에 加茂川, 西에 桂川을 控하고, 北은 所謂 北山一帶의 山嶺을 負하고, 東은 三十六峰眠함과 如하고 西는 嵐山, 天王山을 繞하고, 南은 宇治川을 隔하야 奈良丘陵이 서서, 山紫水明하게 하고 하여 其名勝古蹟에 富함은 世界에 其比를 見치 못할 너라로써 此를 以하여 歷史的, 義術的, 遊覽的都會의 稱하는 所以이다.

現今의 京都御所는 東洞院에서 舊萬里小路에 至하고, 鷹司에서 一條의 上에 及하기 東西百三十七間, 南北二百四十七間, 此奥에 在하신 것을 紫宸殿이라 하야 御卽位의 大禮及び大嘗祭는 當御所에서 行하기로 定하여 給하셔더라 의 ぬ。

桃山御陵은 伏見에 在하니, 此地에 元豐臣秀吉의 築하신 伏見城이 있으니 豐臣氏亡함에 及하여 城址는 桃林이 되므로써 桃山이라 稱하심을 以하여 桃山이라 稱하는 것이니, 要害의 地에 して 古戰場이었던 것이다. 明治天皇陛下가 去る 明治四十五年七月三十日 崩御遊ばされ, 大正元年八月十四日 此地에 奉葬하셨더라 의 である。

更에 桃山御陵의 東에 伏見桃山東御陵이 있으니, 卽ち 昭憲皇太后의 御陵である。 明治天皇의 皇后이신 ましてて、 大正三年四月十二日 崩御遊ばされ, 同年五月二十六日 此地에 奉葬하심을 ましてて、 大正三年四月十二日 崩御遊ばされ, 同年五月二十六日 此地에 奉葬하셔야 る、 兩御陵共에 內外人의 參拜者 常에 絶하지 아니하니 참으로 寫眞은 桃山御陵이라 である。





大阪市

大阪은幾內의平野를控하고、西는大阪灣에臨하고又瀨戶內海에서브터中國、四國、九州와相通하고、且つ日本의中央에位하니實로我國第二의大都會たるのみならず內外貿易의一大中心을占하고、人口約百五十萬餘을有하니此地는古의難波津이라稱하는西海鎭制의要地인듸仁德帝의皇居을置かれ、南北朝時代는常히兩軍爭鬪의苍となりし所、有名なる大阪城은豐臣秀吉之를築き天下에號令함으로브터都府를形成したのであるが豐臣氏亡びて德川氏의領有에歸し幕府諸侯又此에集하고、爾來最히繁盛에向つた、今や交通은海에陸에四通八達하야全國의中央要地를占하고且つ朝鮮及支那와의直接連絡關係를有함으로以て百貨의一大集散地로된이라、商工的經濟的都府인듸東京과其雌雄을爭하야잇스나つゝあるが、元來大阪人은勤儉力行함에因하야잇고且つ商業的材幹에富む故로以て現今의隆盛을促した主因이라、近時工業의發達特히著しく大規模의建築工場煙突의林立して煤煙을吐く光景은遖がに我國工業의第一とし오て又煙의都라稱할만하얏더라、그리셔貨物의集散은大阪附近及び中國四國、九州等을最多하고、近時築港을施하야、我國第三位의貿易港으로稱せられ益々發達의趨勢를呈せり、亦遊覽的都府인듸名所舊蹟도多하고、大阪城、高津神社、四天王寺、天滿天神、中島公園、殊히道頓堀에는幾多의演劇場이잇서셔東京의淺草와同히觀客常히雜沓을極하고居る、尙附近에和歌의浦其他의探勝地多하니、此寫眞은市街의一部을示한것이로라。

伊勢大廟

伊勢の大廟は伊勢國宇治山田市にあり龜山驛より分岐して特に參宮鐵道を敷設せられ此地が終點となつて居る所謂「神聖都府」の稱ありて本邦人の參拜者常に絶へず、外宮は山田に、內宮は宇治にあり、而して外宮は山田驛より數町の所に在り、內宮は是より更に一里餘の宇治に在る。

外宮は豐受大神を祀れる所にして、雄略天皇の御宇、天照大神の託宣により丹波國眞名井原より移し奉れるものなりと云ふ、宮域八十一町步、神苑一萬五千坪を有し、老杉森嚴として天日を覆ひ、境內の幽邃靜穩なるは參拜者をして自ら崇敬の念を起さしむるものあり、社殿は悉く古雅素朴を主として萱葺の建築である、御屋根には千木、鰹木を備へ、高欄には五色の玉を飾り其構造總て神代の古風を以て夙に世に知られて居る、豐受大神は伊諾尊の御子（第二十五子）なる雅產靈神の御子にまし、此神は頭上に蠶と桑を生じ、臍の中に五穀を生ぜる卽ち產業の神にして、農人に幸福を與へ給へるより此地に產業の神を皇祖と共に祀られたのである。

內宮は宇治にあり、天照大神を祀りし所にして五十鈴川の淸流は社前を流れ老杉鬱蒼として社殿の四邊を圍み其の構造外宮と異なることなく、誠に莊嚴なること人をして崇拜の念を惹起せしむ、宇治山田の東方には有名なる二見ヶ浦の勝地あり、二箇の巨巖海中に屹立し其の絶景賞すべく、更に關西本線に移れば奈良の舊蹟あり、此寫眞は內宮、外宮の社殿である。



神戸港

神戸市は兵庫縣廳の所在地にして、昔は寂寞たる一漁村なりしが、慶應二年開港以來繁盛に赴き爾來著しく發達し、最近の人口約五十萬餘を有し日本五港中橫濱港と共に外國の二大貿易港と稱せられ又我國第五の都會である、神戸港は大阪灣の北方、瀨戸內海の風波靜かなる所に灣入して海水深く大船巨舶は海岸近く碇泊するに便なり、東北に亙れる山脈の翠巒は海灣と相對し風光亦絶佳を極む、舊湊川水路の砂洲は長く海中に突出し、其東を神戸港、西を兵庫港と云ふ、而して東は近畿、東山、東海、北陸等の連絡あり、西は山陰、山陽、四國、九州を控へて運輸交通の中心を占め百貨の集散夥しく從つて內外の貿易亦頗る殷賑を極め輸出入額實に巨億に達す、市街中、榮町通り及び元町通りは神戸金融の中心にして、銀行、會社、大商店軒を並べ商業最も繁盛である、海岸通りに至れば多聞町通りは運輸交通の中心を占め百貨輻輳して雜閙を極む、又此地に有名なる川崎造船所がある。

尙神戸の東方西宮町附近一帶は所謂「灘の酒」と稱し清酒釀造盛にして日本第一である、又神戸附近の名勝舊蹟甚だ多く、楠正成を祀れる湊川神社は社殿壯嚴、境內七千餘坪此中に「嗚呼忠臣楠子の墓」の碑あり、西方には須磨浦、明石浦ありて白砂翠松海邊に連り、前面の孤島淡路島を控へ風光絶佳「かたつむり角振りわけよ須磨明石」の俳句さへある、更に須磨の西方には一の谷鵯越の古戰場がある、此寫眞は港灣に沿ふ市街の一部を示す。

敦賀港

敦賀港は越前國にして敦賀灣頭に位置し三面悉く山嶽を以て圍繞し、港内水深くして海波穩なれば大船巨舶の碇舶に最も便なり、貿易港の一にして又日本海第一の商港たるのみならず軍事上重要の港であつて、現に歩兵第十八旅團司令部の在る所である、港界は赤崎より蛭子崎に至る一線内にして水深約七尋内外に達す、敦賀町は南北八町、東西十六町海岸に沿ひ、人口約二萬餘を有す、市街の東北端なる泉村の一小岬に金崎停車場ありて北陸支線の終點である、此地は浦鹽斯徳に向つて定期航海あり、即ち西伯利亞鐵道に依りて歐亞大陸交通連絡の要衝に當つて居る、而して大阪商船會社の汽船と、露國義勇艦隊の汽船が敦賀及浦鹽斯徳間の定期航海を以て連絡して居るが、大阪商船會社の直航路は毎週一回敦賀と浦鹽間を發著せしめ、露國義勇艦隊の汽船は毎週二回宛雙方より發著せしむ、兩者共に此航海期間は約四十時間内外にして達するを得べく、海中に棧橋を設け又稅關波止場あり。

敦賀は昔笥飯浦と稱し古代より著名の地である、金崎神社は官幣中社にして、延元の昔新田義貞、義顯、皇太皇恒良親王及び第一の王子尊良親王を奉じ、此城に據りて回復を計りしも、足利の大軍來襲する所となり、屢々苦戰して遂に敵し難く、恒良親王は自殺し、尊良親王は敵に捕へられた古戰場である、又市の東端なる氣比神社には仲哀、應仁の二帝及び神功皇后を合祀せらる。



朝鮮

【一】

今を去る凡そ三千年前、支那の殷の王族箕子、北朝鮮の地に封ぜられ平壤に都してより之を古朝鮮の祖と稱せらる、後に至り新羅、高麗、百濟の三國時代もあつた、此時代が神功皇后の親征により新羅は我國に降り百濟王近省古王も又歲貢を致して屬國となり、其後醍醐天皇延喜十八年に至り再び高麗起りて松岳山の南(現今の京城府)に都し、更に我が元中九年に於て李成桂なる者高麗を滅して國號を朝鮮と稱し即ち現今李朝の祖である、而して李成桂を太祖康獻王と云ひ今の李王殿下は太祖よりし第二十八代に在らせらる、明治三十二年大韓帝國と號せしが、爾來屢々内亂蜂起して累を他國に及ぼし一は人民の幸福を害し一は世界紛擾の禍源となり、延いては其利害得失を同ふせる我日本の前途にも影響する所勘なからず、茲に於て兩國間の親密なる關係を結び和衷協力して相互の幸福を增進せんが爲め、明治四十三年八月を以て日韓併合は成立し東洋の平和を永遠に確保するの基礎を作り、復た朝鮮と號するに至つた、世界の變亂頻々たる今日、兩國民の前途實に多幸と云ふべきである。

朝鮮は亞細亞大陸の東方に突出せる半島にして北は長白山脈、鴨綠江、圖們江の一部を以て支那の奉天、吉林二省及び露領西伯利亞の沿海州に接し東は日本海を隔てゝ我が本州と相對し、南は朝鮮海峽を以て一衣帶水我が九州と相連り、西は一帶黃海に瀕し、即ち日、支、露三國の間に介在して其位置は恰も歐羅巴大陸の南方に突出せる伊太利に類似して居る。

朝鮮は廣袤東西約六十里、南北約二百五十里にして面積一萬四千百二十餘方里を有し日本内地の約二分の一より稍々廣い、最近までは八道なりしが現今では行政上之を十三道に分つ、即ち中部は京幾道、江原道、北部は咸鏡北道、平安北道、平安南道、南部は忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尙北道、慶尙南道である、最近の調査に依れば朝鮮の人口は約千六百萬餘に達すと云ふ、人種は數種の民族混合にして或は土人と印度種族と云ひ、或は土民と滿洲族の混和と云ひ、或は支那蒙古種とも云ふて居る。

更に風俗を觀察すれば、朝鮮人の衣服は支那明朝時代の遺風にして中流以下は四季白衣の綿服を用ひ、上衣は赤古里(チョゴリー)と稱し筒袖にして丈短く、袴は廣袴(リッコン)と云ふて右腿の脇に一口を開てある、又婦人の上衣は極めて短く僅かに胸に達するのみ、外出の時は長衣(チャーゴッレー)と稱する、日本の鎌倉時代の被衣(カツギ)の如きものを用ひて居る、衣服の色は白色多きも中には黒色、淡黃色、青色、其他種々のものがある、又上下の別なく冠をかぶり白足袋を穿つを常とし特に上等社會の人は室内でも足袋を用ふ、朝鮮人の食事としては米を主要食物とし副食物は牛豚、魚肉類及び野菜を用ひ、食後は茶を用ひ、米のとぎ水を煮沸して飲用し又果實を食す。

中央政治は京城に總督府を置き其長官たる總督は朝鮮の軍政、民政其の他一切を統轄し其の補佐として警務總監を置き其の下に總督官房並に内務、度支部、農商工、司法の四部を置き、又諮詢機關として中樞院を設け、

更に守備軍を指揮するを以て駐屯軍司令長官を置くこと。

地方政治は全國を十三道に分ちて各道に長官を置き、其の下の府には府尹、郡には郡守あり、又鬱陵島、濟州島には島司を置きて其の管下の行政事務を掌らしめ又面長なるものありて我内地町村長の如く各地方を治めて居る、

教育の方面に於ては内地人を教育するものと、朝鮮人を教育するものとの二種に分れ、内地の方は各地に公立小學校を始め中學校、專門學校、商業學校、高等女學校等を設け、又朝鮮人の方も近時著しき發達をして來たが今や重要の道路は太部分完成なりしが明治四十三年以來鋭意改修を計り重要の道路は太部分完成し來り、鐵道は京釜、京義、京元、湖南等四線の開通を見るに至り今や交通機關も完備せられ、海運も亦近時大に發達し、内地を起點として朝鮮沿岸に航するもの、又は朝鮮沿岸に寄航して外國に到るもの、或は朝鮮を起點として沿岸に航するものと外國に航するものがある、貿易場として輸移出入高の最も多きは釜山にして之に次ぐは仁川、京城とし其他鎭南浦、元山、木浦、新義州、龍巖浦、平壤、大邱、清津、城津、馬山浦、行巖浦等である、輸移出品の重要なるものは農產物を最多とし即ち米、豆類、牛皮、綿花、人參等である、水產物としては乾魚、鯨肉及鯨油、肥料用乾魚を重とし、鑛產物は金、地金、金礦、石炭、鐵礦、黑鉛等である、又輸移入品の重なるものは綿織物、米、粟、各飮食物、綿絲類、小麥粉、糖果、衣服及附屬品、麻及絹織物、毛織物、油類、器械、木材、鐵等である、朝鮮は農業を以て國の財源とし耕地田畑二百八十五萬町を有すと云ふ。

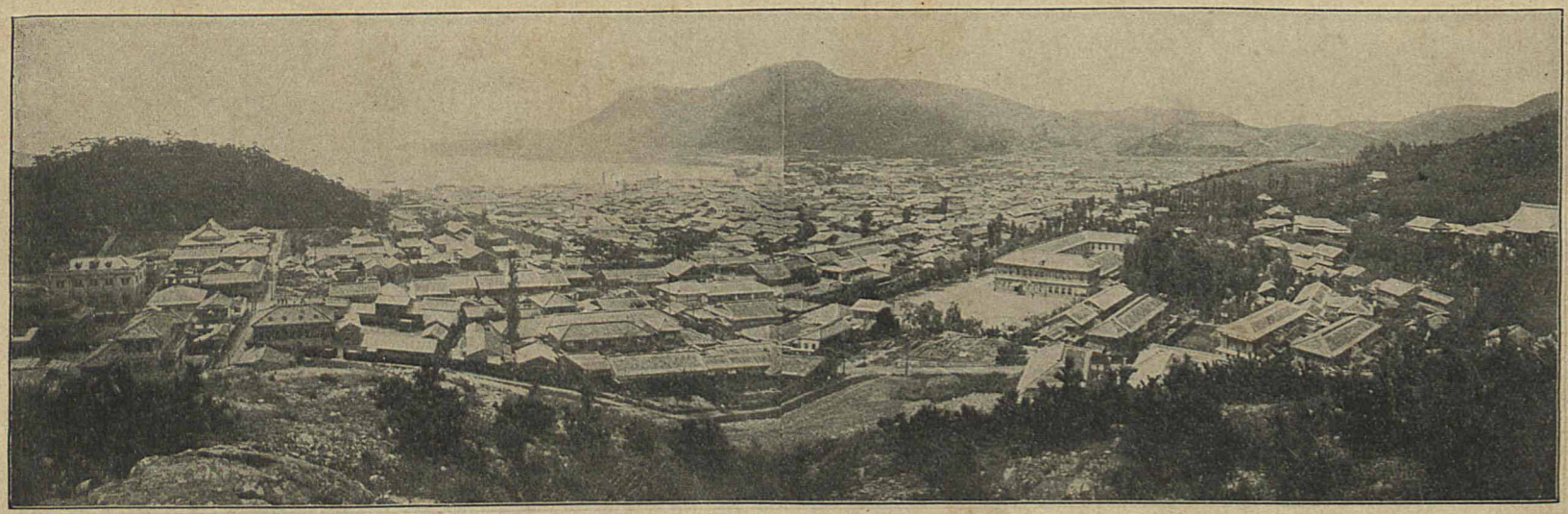
釜山

釜山は朝鮮半島の東南端慶尙道にある商港であつて我が對馬と海路僅かに三十浬、灣口には絶影島があり、港内二口を有し東部は廣濶にして海水深く大船巨舶の出入碇泊に便なり、我日本とは上古より交通もあつたが中古に至つて居留地を設け明治六年日韓貿易の開港場となし同十五年に至り開放して弘く海外諸國との貿易を開始されたのである。

此地は京釜鐵道に依り京城に達するを得て内地南部よりの咽喉たるのみならず西伯利亞鐵道と共に歐洲大陸の交通機關も完備せんとする今日、當港は著しき發達を促し、最近の調査に依れば人口三萬五千餘、輸移出入總額二千七百五十萬圓に達して居る、尙當港は輸入物貨を内地に移送し又沿岸の馬山、木浦、鎭南の諸港とも交通連絡ありて沿岸貿易も漸次發達して居るが、近き將來に於て三線連絡運輸の曉は滿蒙及び露領方面に於ける貨物の出入激增を見るべく全朝鮮の貿易港を代表する趨勢を呈して居る。

當港は英、米、佛、露、清の居留民も多く就中本邦人が多數を占めて居る、本邦の居留地は龍頭、龍尾の二山を含める海岸に街をなして居る、尙明治四十三年九月合邦と同時に府廳を置かる、市街は老松鬱蒼たる龍頭山を圍繞し街區整然として外觀を備ひ又市街電車の便もある、附近に東萊及海雲臺の溫泉場、文祿役其他の名所ありて歐亞觀客の足を止むるもの尠くない。







平壤府

平壤은 往古殷의 箕子의 子孫衛滿、此地에 都ᄒᆞᆫ 以來九百年餘의 首府인ᄃᆡ 高麗도 亦屢々玆에 都ᄒᆞ야 西京이라 稱ᄒᆞ여 居ᄒᆞᆫ、此地는 平安南道의 西南部에 있서 서ᄒᆞ 大同江의 北岸에 臨ᄒᆞ고 後로 大城山을 負ᄒᆞ고 東南에는 大平野를 控ᄒᆞ고、又支那에 通ᄒᆞᄂᆞᆫ 義州街道의 要衝에 當ᄒᆞᄂᆞᆫ 水陸交通의 至便ᄒᆞᆫ 됨은 勿論天險要害의 地點으로 ᄒᆞ여 半島中第一이라 ᄒᆞᆯ 것이다、故로 古來ᄇᆞ터 半島政治上의 中心으로 되고 又軍事上의 策源地로 되야 往古ᄇᆞ터 屢々兵亂의 巷으로 됨은 인ᄃᆡ 所以로서、文祿의 役을 始ᄒᆞ야 近くは日淸役에 於ᄒᆞ야 激戰을 極ᄒᆞ야 特히 我가 大島旅團의 將卒이 最ᄒᆞ 苦戰奮鬪ᄒᆞ야 陷落식힌 일은 히 知ᄒᆞᄂᆞᆫ 바이다、市街는 內城、中城、外城、東北城의 四區에 分ᄒᆞ야 있ᄂᆞ니、內城은 周圍에 城壁을 繞ᄒᆞ고、大同、朱雀、靜海、七星의 四門을 設ᄒᆞ고、街衢는 秩序整然ᄒᆞ야 舊都의 風을 存ᄒᆞ여 居ᄒᆞᆫ다。

此地에는 西京離宮、平安南道廳、平壤府廳、覆審法院、旅團司令部等이 있고、明治三十一年五月群山、馬山、城津과 共히 開放된 것이다、最近의 人口約六萬으로 註ᄒᆞ야 朝鮮第二의 都會로 되엿ᄃᆞᆫ다。朝鮮人大部分을 占ᄒᆞ야 內地人은 約八千餘人、支那人約八百人、外國人約百人의 標準이다、此地는 平南支線의 起點이오 又京義鐵道의 要驛이다、又海運은 平壤에서 二里半의 下流에 在ᄒᆞᆫ 萬景袋의 間은 朝鮮艀船에 依ᄒᆞ야 連絡ᄒᆞ고 鎭南浦과 平壤間의 汽船을 航行ᄒᆞ야 居ᄒᆞᆫ다、平壤에는 箕子廟、牡丹臺、玄武門、乙密臺、七星門等의 舊蹟이 있고 又附近에 有名ᄒᆞᆫ 無煙炭의 炭坑이 있다。

浮碧樓

【二一】

浮碧樓는 平壤乙密臺下永明寺의 東에 在ᄒᆞ니 高麗時代의 建造인ᄃᆡ 樓의 長さ이 七間 廣さ 四間 大同江에 面ᄒᆞ야 聳ゆる 數十尺의 斷崖에 設けらる、夕陽의 影은 恰사히 眼下을 繞ᄅᆞ는 長江의 碧藍이 含과 ᄒᆞ고 欄에 倚ᄅᆞ야 ᄅᆞᆯ 廻らせば 近く 節面白き 漁歌를 聞くべく、遠く 綾羅島의 彼方에는 烟樹蒼茫 人影亦渺々 眞히 天下의 絶景이라 ᄒᆞᆯ 만ᄒᆞ다、樓의 近傍은 近年 牡丹臺公園으로ᄒᆞ고 ᄅᆞᆯ ᄒᆞ야 修理를 加ひ 一般觀客의 便利에 供ᄒᆞ고 有名なる 永明寺、朝天石、臘石塔、涵碧亭、石壁題刻等은 何れも 이던지 樓를 離ᄅᆞᄂᆞ 기 ᄒᆞ히 僅かに 十數步 乃至 數十步를 出ぬのである、平壤은 檀君箕子 高句麗의 古都인ᄃᆡ 高麗時代에는 西京이라 ᄒᆞ고 稱し 其後 平壤이라 呼ぶに 至れり、北에 牡丹峰을 負ᄒᆞ고 前面은 大同江에 臨み 東西南 一帶는 廣濶ᄒᆞᆫ 平野이라 石築의 城堞은 周圍 二萬四千五百尺 高さ 十三尺을 有ᄒᆞ니 此의 城堞은 을 ᄒᆞ기 四百九十年前의 改築이라 ᄒᆞ엿고 後更에 修築을 爲し 從前은 으로 六門을 有し、其의 東門을 長慶、西門을 普通、南門을 合毬、北門을 七星、正東門을 大同、正南門을 正陽門이라 稱ᄒᆞ더라 居た、平壤은 舊市街와 新市街과의 二區로 ᄒᆞ고 人口 約五萬이 有ᄒᆞ니 京城에 亞ぐ 朝鮮의 大都會이라 ᄒᆞ며 而して 舊市街는 朝鮮人의 商業最ᄒᆞ히 繁盛にして 新市街는 內地人의 經營者 多く ᄒᆞ야 近年에 至り ᄒᆞ야 漸次發展의 狀況을 呈ᄒᆞ더라 ᄒᆞ며、此地는 古より 屢々 兵亂의 巷으로ᄃᆡ고 ᄅᆡ에는 ᄇᆞ터 近くは 日淸、日露의 戰跡이잇서셔 自然의 勝景과 共히 高麗王朝時代의 史蹟이 富ᄒᆞ고 ᄃᆡ더라 居る。





京城府

京城は朝鮮の首府にして地理的優勝の位置を占めて居る、市街の周圍には高さ十尺、厚さ二十尺、周圍四里十五丁の城壁を繞らし東に興仁門、西に敦義門、南に崇禮門、北に肅靖門其他を合せて八門を設けてある、市街は東西三十町、南北二十四町あり、近時市區を改正して鐘路を中心とせる二大道路即ち東西兩大門を連絡するものと、南大門に通ずるもの及び南大門附近の道路黃金町通り大平町通りの如きは漸次改修せられて市街の面目を一新するに至つた、卽ち大正二年度より總督府が二千三百萬圓の巨費を投じて市區改正を行つた結果である、殊に交通機關の完備と共に內地の大會社、支店、出張所又は大商店等の開設するもの多く、從つて市街各所に大建築を起し漸次街區の外觀を備へ且つ朝鮮人の都會に集中するもの多し、最近の人口は朝鮮人約二十六萬、內地人約六萬、外國人約二千五百に達す、市の北部には昌德宮、景福宮、昌慶宮、慶熙宮と稱し、元の宮城及び貴族の邸宅等大廈高墻を連ね其南方に慶運宮あり、又倭城臺には朝鮮總督府がある、新廳舍は三百餘萬圓を以て景福宮內に大正五年より工事に著手した。

京城は政治經濟の中心にして朝鮮開發の策源地である、市街商業の最も繁盛なるは泥峴、及び鐘路等を有名とし又南大門市場の如きは日鮮人の間に於て盛んに日用品の取引が行はれて居る、市內各所に電車も通じ又電信、電話、電燈瓦斯等の設備も完全し漸次文明的色彩を放つて來た、尙ほ京城には赤貧者一人も無きことは特に世界に誇る所である。

崇禮門

凡そ支那古來の市街は何れも其の周圍に城廓を繞らしたものであつて、此城廓市街は二種に分ち一は要害の防備を目的として市民を城壁内に住居せしめざるものと、一は民衆の保護を目的として市街を城壁で圍繞するものとある、朝鮮の市街も支那の影響を受け古代のものは多く城廓市街を成して居る、而して一般の城廓市街は後者に屬するもの多く京城も即ち其一である。

此崇禮門は京城の城廓に設けある八門中最も秀でたるものにして俗に南大門と稱して木覓山麓城廓の正南方に在り、今を去ること凡そ五百二十一年前の創建にして京城に於ける名稱の一に加へられて居る、門の左右は石材を以て高く築き石欄を設け、其欄上には大なる電燈を掲げあるを以て夜間の光景は恰も白晝の如くである、砌上の兩側には多くの植物又は花卉を植ゑ或は其間に奇石を配置し其壯嚴と美觀とは到底昔日の比ではない、門に掲げある扁額は有名なる工曹判書柳辰同の書にして今猶其墨痕は鮮かに存してある、此門は三南の大路に通ずるを以て物貨の出入及び車馬の來往最も頻繁なること四大門中第一である、此の如き樞要の位地に在るを以て近年市區の改正と共に門の左右に存在せる城壁を取り毀して通路を擴げ、電車又は車馬の如きは門の兩側を通行し徒歩する人のみ門内を往來して居る、專門家の鑑定に依れば此崇禮門の構造は伊太利に於ける二百年前の建築術に劣らぬと評せらる、以て其の技術の精巧を知るに足るべし。





昌德宮

昌德宮は京城の北、廣仕坊應峰の麓にありて現時の宮殿である元李朝太祖李成桂の創建にして文祿の役兵燹に罹り光海君元年に修築されたものである、南正門の敦化門を入りて更に進めば進善門あり其北にある仁政門を入れば仁政殿にして是れ卽ち宮闕の正殿である、曩に李王殿下の皇位に卽かれたとき慶運宮より此に移つて更に大修築された、重層入母屋造五門四面の大建築にして花崗石を以て築きたる二重の石壇上に建てられ其規模壯大裝飾絢爛として人目を眩射せしむ、宮殿内は天井を格天井とし入側の格間には五花の唐草模樣を作り、身舍の格間には雙鳳の文を畫き寶座は方形の高壇にして其の周圍に勾欄あり、又壇上中央には屛障ありて牡丹、龍、鳳凰等の彫刻をなし最も壯麗なる裝飾を施してある、更に寶座の上には天蓋あり、極めて纖麗なる組物を以て富贍なる軒飾を承け、下に精巧なる垂飾を有し又天井の中心に雙鳳を刻みあり、其周圍に寶珠雲紋を描き建物の内外共に結構壯嚴を極む。

更に承華樓より阪路を北に進めば大庭園内に蓮池ありて池に面して丘上に二層の大樓あるは宙宇樓として宮中の宴會所である、所謂昌德宮内の祕苑とは此樓閣以北の總稱である、是より一帶の風色幽邃靜寂を極め、更に北に向つて阪路を下れば玉流泉に至り風景更に一段の雅趣を加へ、四邊綠翠溪泉奇石の間に湧き眞に仙境の想あり、若し夫れ春陽百花滿開の季に至れば滿苑色彩を競ふて翠綠と相對し其絶勝譬へ難し、此寫眞は卽ち仁政殿の壯觀である。

總督府新廳舍

朝鮮總督府는 現今倭城臺에 設하엿스나 今回新廳舍를 建築하기로 되엿슴에 도다
ᄂᆞᆫ 바 今其設計의 槪要를 擧하면 新廳舍의 位地는 舊景福宮內勤政門의 前面에서 光化門에서 四十六間의 間隔을 保하고 新廳舍의 兩側及前面의 空地는 庭苑에 充하고 又後方의 古宮殿其他博物館에서 慶會樓에 亙하는 附近一帶의 地를 附屬區域으로 하고 構造는 間口七十一間 奥行三十九間 高さ地盤에서 軒蛇腹迄六十四尺의 五層으로 成하고 前面의 中央에 高さ百十七尺의 高塔을 建하고 內部의 左右에는 各三百四十坪의 中庭을 設하고 建坪은 二千百十五坪인데 總面積은 五千三百四十坪餘에 及하고 百八十一室에 區劃하는 바 建物은 鐵筋混凝土構造인데 柱間을 煉瓦積으로 하고 外部는 花崗石을 用하고 地階는 混凝土床의 上에 「アスフワルト」를 敷하고 屋根은 普通床과 同一의 構造로 中央塔屋은 鋼板葺으로 하니 建物의 內容은 正面大玄關을 昇하야 其內部를 大廣間에 充하고 中間의 三層은 大廣間을 中心으로 하고 周圍에 事務室 會議室 應接室 圖書室 特別食堂等을 配置하고 大會議室의 一部에는 御眞影奉安所를 設하고 其他는 宿直室을 始하야 雜室로 區分하고 外部로부터의 出入口는 七箇所를 設하고 出入口의 扉는 合金製又는 鐵製 地階及屋階에 於ける 倉庫의 扉는 鐵製 其他各室의 扉는 木製로 하고 窓硝子는 全部 鐵製로 하니 此工事期間은 大正五年度로부터 二年度迄八箇年으로 하고 工事豫算總額三百萬圓이라 하더라 ᄒᆞᆷ 此建築竣成의 曉는 東洋無比의 壯觀을 呈하는 ᄀᆞᆺ과 ᄒᆡ의 朝鮮의 一大面目을 刷新케 하는 것이더라 이더라 은 此寫眞은 卽ち新廳舍의 設計構造이더라 である。





金剛山萬物相

世人、日光을 見치못하면 結構라 하기 치안터는 可からず」と同時에「金剛山을 見치못하면 共에 其奇勝을 語할 資格이 업다고 하도 이아니라 亦誇言이아니라 金剛山은 朝鮮第一의 名山인듸 흠으로써 骨峯이라 하고 은 岩山白き을 以て 楓樹繁れるを以て 楓嶽と 도 云하ㅁ、古來より 詩人墨客의 此地에 杖을 曳く者頗る多く 彼の重疊せる岩石에 登山을 記念하는 흠에 의 氏名을 刻しあるに徴して明かである、此金剛山의 絶景奇勝은 如何에 文人墨客이라도 의 과로써 를 雖も人間の言葉や筆を以て到底大自然の實際を 解剖すること은 흠 出來치못할너라 ぬ。

一萬二千峯의 區域은 江原道北部의 通川、杆城、麟蹄、金城、淮陽의 五郡에 跨하야 大約十餘方里인듸 其最高峯은 毘盧五、三五八尺)之에 이의 에는 次ぐは集仙峯(四、九四七尺)象香峯(四、六四七尺)望軍臺(四、五八七尺)白馬峯(四、四九一尺)彌勒峯(四、三三五尺等이라 である、毘盧峯은 恰も 사히 群嶽을 壓하고 立し 山勢雄壯にして 인듸 를 峭峯鋸齒を 흠과 如하니 이를 之を 遠望하면 恰も 사히 玻璃高塔을 觀るの想あり、其の 立てたる 이잇고 의 西南에 日出、月出의 二嶽雙立하고 餘勢南에 走つて 獅子、香爐、青鶴の諸峯と 으로되니 東南에 走하는것은 하야 의 諸峯이라 되고 長慶、地藏、觀音의 諸峰으로되니 、此兩山脈의 深く谿谷을 成す所に內山の諸勝이 在하고 亦、將軍、雁門、白雲等の聯峰은 金剛山の正脈인듸 にして 東西の分水嶺으로되고 西下の谿流는 漢江으로되야 となり 黃海に注ぎ 하고 東下の谿流는 赤壁江으로되야 となりて日本海에 入하니 、俗に嶺西를 內金剛、嶺東을 外金剛이라 稱하니 、金剛은 四季風景の變化에 因하야 名稱された所以である、卽ち夏는 에는 蓬萊、秋는 楓嶽、冬은 에는 皆骨이라하야 にして 絶勝을 呈하니 、此寫眞은 外金剛萬物相の勝景을 撮影한것이라더 したものである。

鴨綠江鐵橋

鴨綠江は源を白頭山より發し咸鏡南道に於て慮川江及び長津江と合し、更に滿洲より渾江と蘇河との合流が義州に至りて一大江を成し一名靑河又は龍灣とも云ふて居る、更に三流に分れ、東を通天河と云ひ幅約百米突其中央を中江と稱して幅四百米突を有す、西は三江又は上江と云ひ幅約百米突にして此三流の會合が一大三角江を作りて黃海に注ぐ、水源より全長實に百八十餘里に上り朝鮮半島の最大長流にして亦日本第一の長流である、之に次ぐは大同江、漢江、錦江、洛東江、圖們江にして所謂朝鮮の六大江と云ひ、此江畔は古來歷朝の文化、戰鬪、建築、平和等の史蹟を留めたる所にして、將來も亦半島の產業は此の江畔に發達し半島の政治的關係も此の江畔に密接の關係あるを見れば此諸江は實に半島の生命と云ふべきである。

鴨綠江の鐵橋は其對岸なる安東驛と新義州とより架せるものにして明治四十四年十月を以て落成し（安奉線も同時に竣工）同年十一月一日より開通して茲に朝鮮鐵道は南滿洲鐵道と連絡するに至つたのである、此鐵橋の長さは三、〇九八呎にして架橋の左右兩側に各九呎餘の人道を設けたれば新義州と安東との交通最も便利となつた、橋の延長は內地の天龍川に架せる鐵橋に比して六百呎餘も長く實に我國第一の鐵橋である、特に鴨綠江の鐵橋は最新の技術に因り開閉式として船舶の航行に便にせる等其新式の鐵橋は本邦の嚆矢であつて、實に東亞支配者の一大機關と云ふべし。



中華民國 (支那)

中華民國(支那)은 數千年의 古き歷史를 有する國이라, 支那人은 始め中央亞細亞로브터 移りて支那本部에 入り 黃河及び楊子江附近に群居せる土人苗族을 放逐し 歲月을 經ると共に漸次人口增殖するに從ひ 各地에 分住して國을 建つるに至つた、支那는 建國以來屢々革命이있서서 歷代其國號를 異にしたのである、大古の事蹟은 詳かでないが、始め三皇五帝가있고 尋で 夏、殷、周、를 經て 秦の時代に至り 國內를 統一して其勢力을 鞏固となし更に漢の時代に入り 北方の匈奴や他種族을 征壓して殆んど昇天の勢であつたが、屢々內亂起りて漢の末に至り 魏、吳、蜀の三國鼎立となり次で兩晉南北朝と되야 互に爭亂絶えざりしも、隋に至りて統一し 其後唐の末より宋に及び 稍々振はなかつた、然るに蒙古族이興りて中國을 統一し 忽必烈の時代には中央亞細亞로브터 裏海亞剌比亞及び歐洲의 一部를 席捲し、終りに朝鮮을 征服して其勢に乘じ 我九州에 入寇したるも大敗に歸して了つた、是より漸次衰へて諸王도 分裂したが、後ち漢人朱元璋起りて明國을 建てた、然れども變亂常に絶へず、終に再び蒙古族이南下して清國을 建つるに至つた、爾來革命의 起ること頻々たりしが、遂に淸朝는 亡び 共和政體로되야 中華民國의 組織을 成すに至つたのである、建國以來實로 數千年의 間千變萬化極りなく國家混亂의 狀態であつた。

政治는 最近まで君主專制의 것을 共和政體로 改めて大總統(大統領과 同)을 置き、政治의 萬機를 總攬するとゝなつた、而して大總統은 卽ち政治上의 元首로되고 其下副總統이 있서서 外

交、內務、財政、海軍、陸軍、敎育、司法、農林、工商、交通의十部를置き고國務院의長官을總理라고云ひ、各部의長을總長이라고云ふ。

支那는亞細亞洲의中部로브터東部에亙れる大國であつて、北은阿爾泰山脈、興安嶺、東北은黑龍江을以て西伯利亞에境し、東은朝鮮及び黃海、東海、支那海에瀕し、南은히마라야山脈을以て印度支那及び印度에隣り、西は阿爾泰山脈에서西伯利亞及天山、葱領을以て露領中央亞細亞에境して居る、東西約一千三百里、南北約九百里에して總面積實로四百二十七萬七千百七十方哩에達し、亞細亞洲의四分의一、全世界陸地의約十二分의一을占め世界第三의大國으로稱せられて居る、而して支那는土地廣大에加へて大山巨嶽의鬱結せるが爲め從つて長大의河流도多く其大なるものは黃河及楊子江을始め黑龍江、遼河、白河、珠江等이である、鐵道는從來發達甚だ遲々たりしが近時外國人又는本國人에依つて敷設又는計畫中のものも尠なくない、其諸線이竣工의曉는支那는將에一大鐵道國으로될만하니其重なるものは京城、天津塘沽、津楡、關外(楡營)、東淸、山東、京漢、滬寧、淞滬、潮汕、龍州、津浦線等의鐵道이다라がある。

支那의人口는土地廣漠하야其正確의統計는得難하나最近의英國政家年鑑에依れば約四億四千萬人으로註せられ實로全世界總人口의約四分의一에達して居る、支那의重要物産은茶、棉花、大豆、蠶絲、石炭、鹽等이오である、種族은漢種、通古斯種、蒙古種、西藏種、土耳古種、苗人、等에分れ、就中漢種는住民中에於서最히優等의人種이라であつて支那本部의各省에住居하고或은滿洲에도分住して居るだ。

風俗과如き것도多數의人種이異함으로써氣風や習俗도하야치아니하니하

나가、支那本部의住民에就야概說하면、服裝은一般에上衣와下裳으로成하고、男子의上衣는窄袖인데前胸에鈕釦를附하고、裾는垂하며帶는結하고、女子의服은上被短하고袖가廣하며、頭髮은男子에在하야는中央의一部를存하야剃하고髮은組하야長히垂하고、女子의未婚者는前髮을分하고、既婚者는髮을剃하고花簪을戴함이例이더라、食物에至하야는西北部의地方은小麥、高粱、黍의類를食하고、東南部地方은米를常食으로하더라、支那本部의女子는足의小함을貴히하야幼少로브터足을纏束하야特히發育지못하게하며、足의底는彎曲하야馬蹄의狀을爲하야獨히步行하기難하게하야侍女의助에依하니、此纏足과阿片을喫하는것이此國의二大弊風이더라。

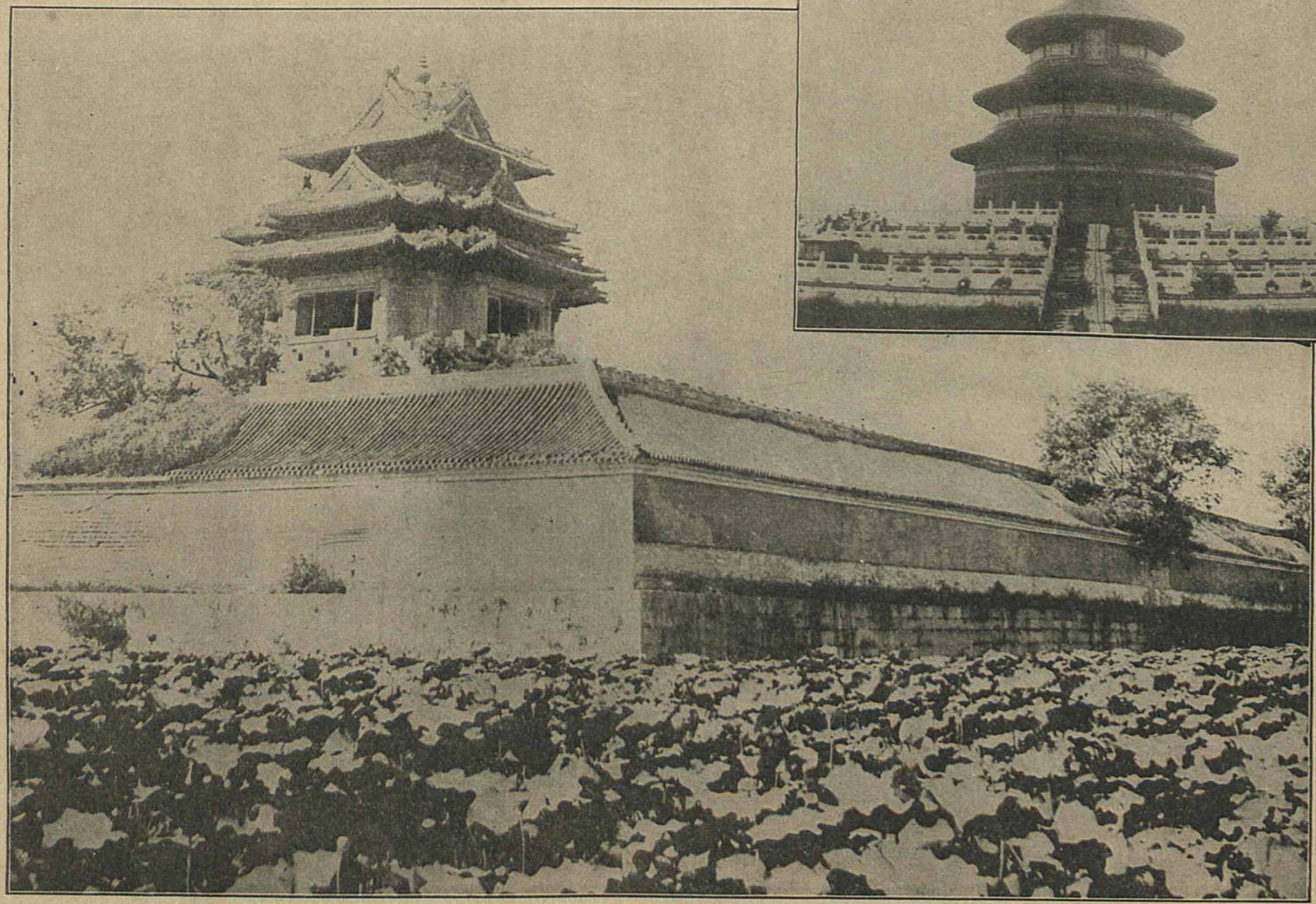
敎育의方面을觀察함에支那는人文夙히進하야歷代의君主는皆學校를設하야子弟를敎育식힘도하고官의爲에人을選함을主義로採하야只賢者를陶養하야一般에는之를普及지못하게하며、直接으로賢者를出하야間接으로는萬民을澤코저한것이라하니、國民의族階中士를以하야君子로하고農商工을小人이라하야多數의人種이면同一치아니하나一般其特性을云하면、勤儉力行과如き점도이라하고、且つ吝嗇의性質에富함이잇스나、忍耐의性質에富하야能히蓄財心에富함이라、而して支那人은先天的에商業的材幹을有하야我が國의近江商人과如き特長을有하고、又는大阪商人의如き冒險的氣象은性質及び資力의點에於て頭角을抽하니、山西人은內地商業、廣東人은外國貿易을主로하니、是를支那商業界의二大勢力이라稱하고居る、尙八十八箇의貿易港의內支那本部의大中心點은上海인데、北部는天津、南部는廣東、中部는漢口、滿洲는大連、牛莊等이中心地로되얏더라。

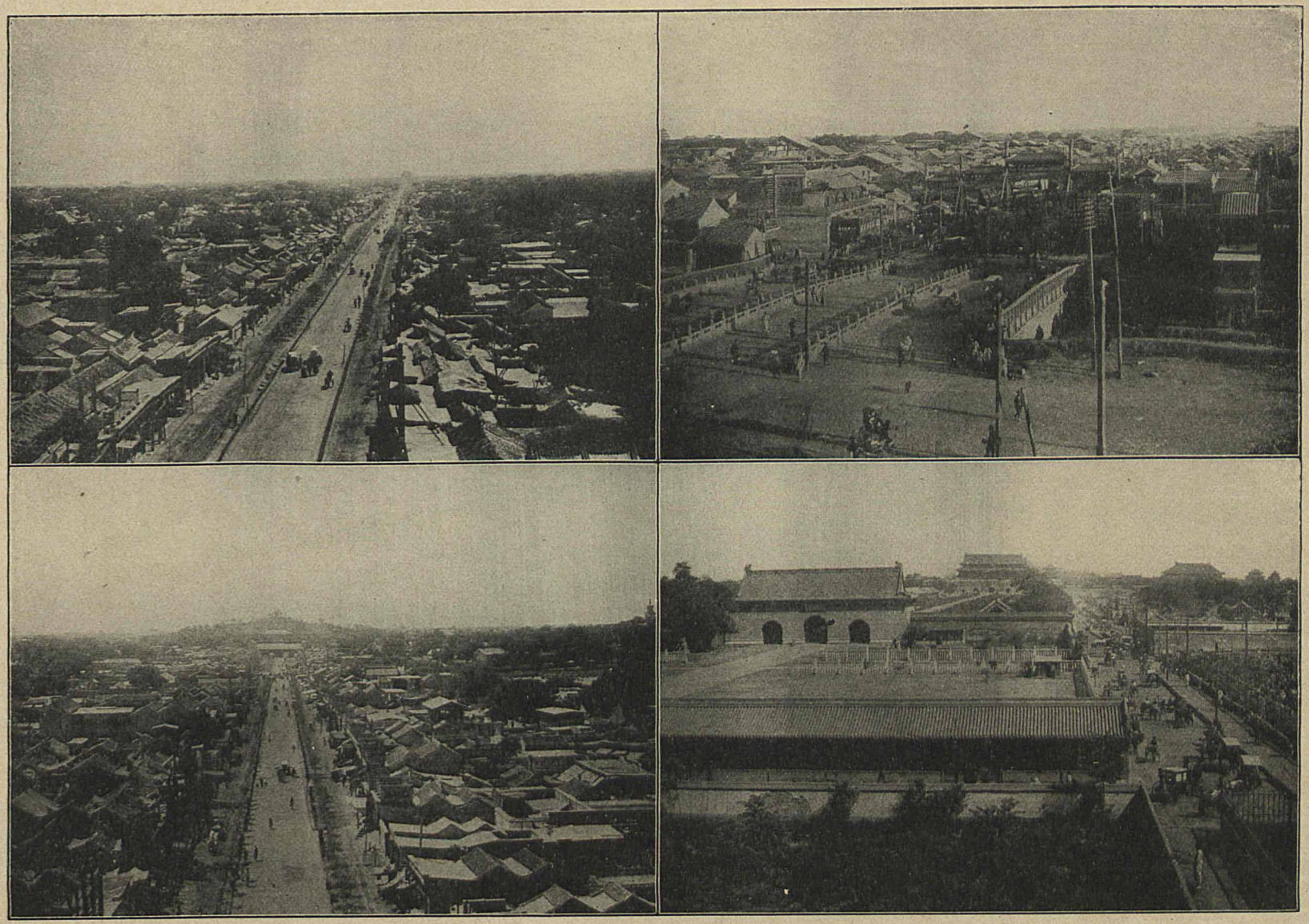
北京宮城

北京宮城은內城과外城으로分하니、內城의周圍는約六里인데堞壁을繞하고其高さ三丈五尺厚さ五丈餘에及하니、悉く煉瓦로橫み重ねて四方に九門を設けてゐる、門樓の高さ何れも五丈餘に達し、宏大壯觀を極めて居る、外城は內城の南に附きて東西に長く南北に短く略ぼ長方形を成し其の周圍約四里餘あり、堞壁は內城に比すれば稍々小にして門樓の規模も亦內城には及ばぬ。

內城の中央は皇居にして周圍約一里十町餘、黃瓦、朱壁の墻を繞らし其高さ一丈八尺厚さ六尺に及ぶ、皇城の西邊に廣大の苑囿あるを西苑と稱し中に大液池ありて其中央に大理石で造れる橋梁を架せるを金鰲、玉蝀と云ふ、又紫禁城內には宮殿、樓門は參差として散列し黃屋、朱壁日光に映じて燦爛たるを見る、養心殿は皇帝、皇后が起居せられ、其北なる翊坤宮は皇太后の坐臥せらる處である、宮殿の建築は精巧と云ふに非ざるも莊嚴の趣がある。寫眞の右上は北京天壇、左下は北京內城を示す。

內城にて觀るべきものは孔子の廟と雍和宮である、內城の東北隅に孔廟あり又大成門を入れば大成殿ありて此中に孔子及び十哲の靈位を安置して在る、又大成殿の前には淸の歷代皇帝の建てた牌樓竝列し門外には貴顯士名の碑も多い、雍和宮は喇嘛敎の伽藍にして僧侶三四百人も居る、外城には天壇、先農壇が永定門內の大路を挾みて東西に竝立す、東を天壇と稱して天を祭り、西を先農壇と稱へ皇帝の農を祭る所である。





北京市街

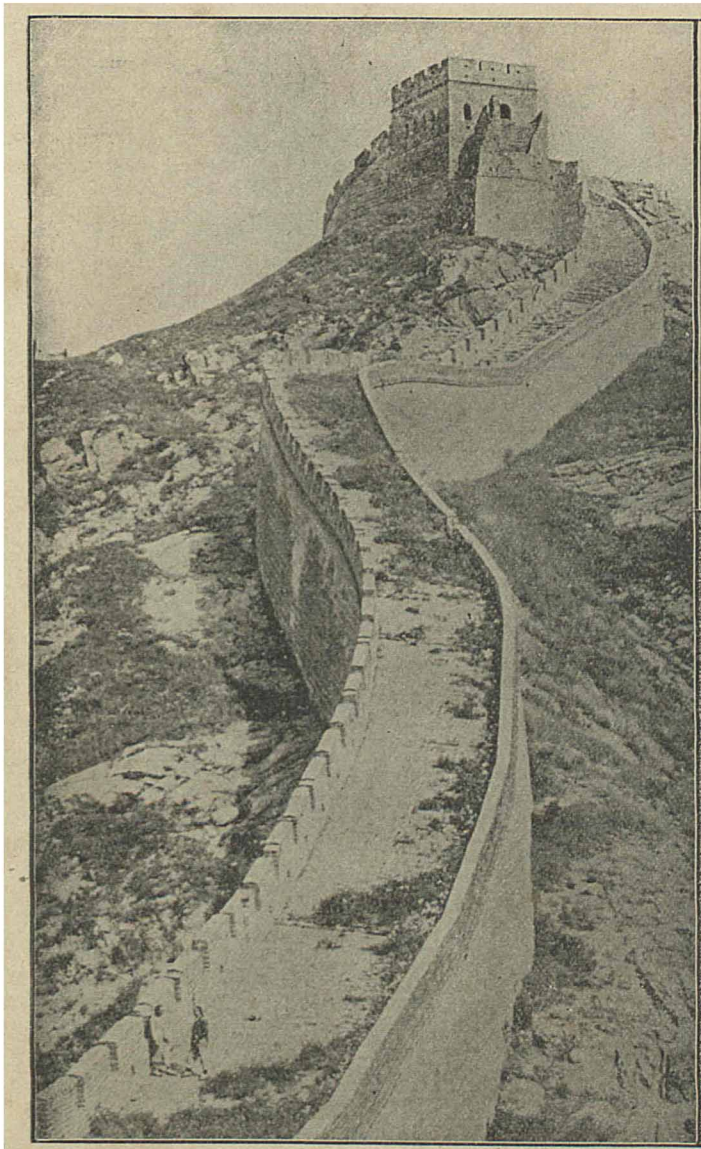
北京は支那の首都であつて直隷省順天府に在り、西北は一帶の山脈を擁し、東は遙かに渤海を控へ、南は渺茫千里の平原である、現今は交通も發達して鐵道も敷設され、一は天津を經て塘沽に至るものと一は保定府を經て遠く湖北省の漢口に達することが出來る、前者は滿洲の鐵道とも連絡を有し近時に至り交通は最も便利となつた、人口は最近の調査に依れば約百萬と稱せらる。

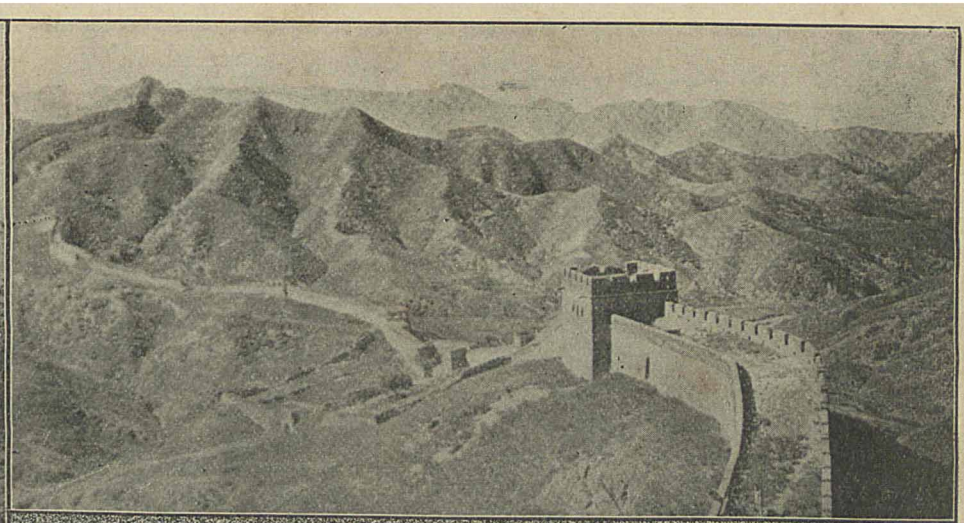
市街は整然たる區劃を成して居る、而して內城の東西には南北に通ずる一條の大街ありて東は崇文門より安定門に達し、西は宣武門より各德勝門に至り、又北邊には東西に通ずる大街ありて東直門に達す、外城の六街は正陽門より永定門に至るを正陽大街と稱し、更に東西に通ずるを廣寧大街と云ひ、是等の大街を基準として縱橫には無數の小街を成して居る、大街の道幅は約二十間餘ありて車道と步道とを區別しあり家屋は概して煉瓦より成り二層の建物極めて少く其舊き家屋は觀るべき價値なきも最近の建築物は漸次外觀の美を備へて居る、最も繁華な處は內城の東四牌樓附近と外城の正陽大街の北部にして百貨輻輳し商業殷賑を極めて居る、殊に正陽大街の西方なる琉璃廠附近に至れば書肆、骨董商軒を竝べ、縹帙、黃帙、黃卷等は閣に滿ち、玉器、銅器、磁器、書畫の類を陳列してある、道路を行く大官は轎子に坐して出入するを常とするが、中流以上の人は多く騾車にて往來する。寫眞の上段右は前門大街、左は東直門大街、下段の右中華門大街、左後門大街とす。

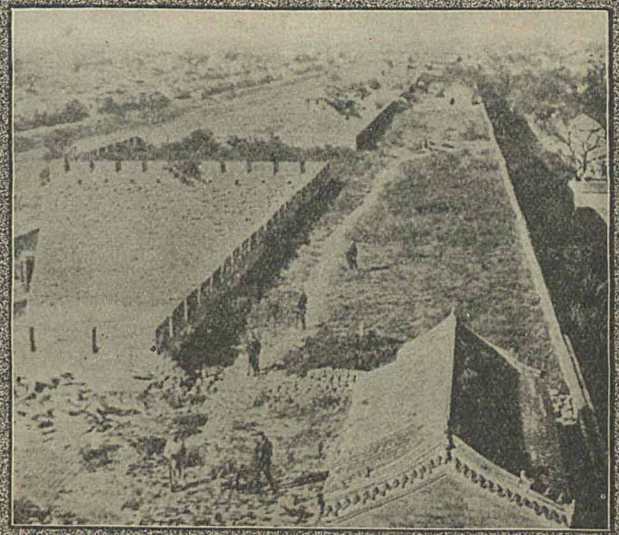
天津

天津府は北京を距る二十九里の地に位置して北京塘沽線の鐵道連絡あり又津浦鐵道の起點地である、東は直隸灣に通じ西は山西陝西省と連絡を有し南は河南及び山東省の北部に接し北は蒙古及び滿洲を控へ附近一帶は廣漠たる平野であり殊に白河と大運河との會流點に在りて亦北京に入る門戸である、天津が此の如く要衝の地位を占め且つ其の商業的勢力範圍も頗る廣大なれば、南北貨物の集散地たり又北方貿易の中心として實に支那四大貿易港の一に屬し亦單に貿易の要地たるのみならず政治上の樞府となつて居る。

最近の調査に依れば人口約九十萬を數へ豪商の店舖軒を竝べ商業最も活潑にして繁盛を極めて居る、市街は古くより周圍約三哩餘の城壁を以て繞らし、街衢は城の內外に區劃を成しありしが、北淸事件の起りし當時此地は戰亂の巷と化して市民は一時避難し市街の內外到る所破壞せらるゝの慘狀を呈したのであつた、北部は省城地卽ち支那街にして南方白河を距る約一哩に紫竹林ありて外人の居留地となつて居る、本邦領事館及郵便局、三井物產會社の支店等もあり、現今本邦人の在留するもの頗る多數に達して居る、天津の重要なる貿易品としては輸出品、羊毛、獸皮、鹽、棗、落花生豚毛、製藥、麥稈眞田等であつて、輸入品は綿布、綿絲、石油、砂糖、木材鱗寸、鐵道用具、機械等が重なるものである。







萬里의 長城

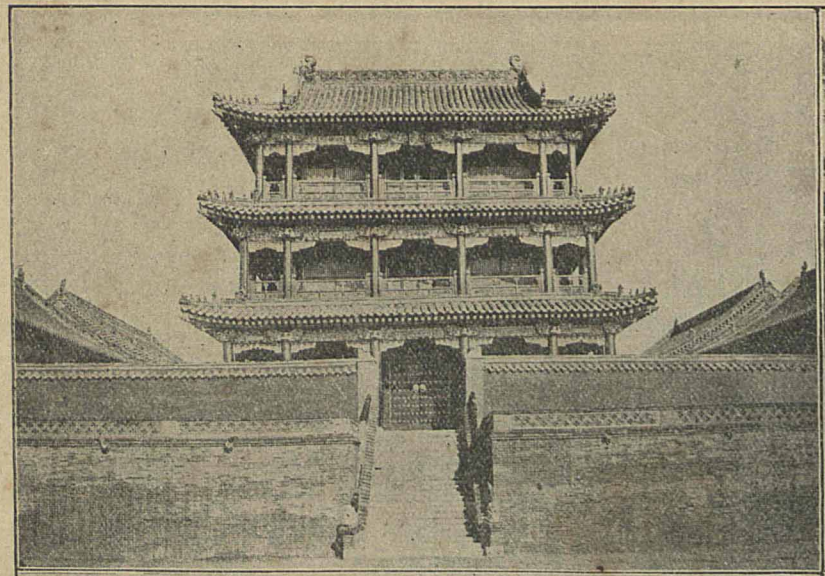
萬里의 長城은 世人의 能く 知る 所인데 其 延長의 廣大なるを 以て 世界에 名高き ものである、 今 其의 歷史의 大要를 示せば、 秦始皇이 全盛의 時代에 於て 其 臣下 蒙恬なる 者에 命하야 三十萬의 大兵을 率ゐて 北戎을 驅逐하고 又 河南을 攻略して 茲에 長城을 築いた ものである、 其 延長은 卽ち 臨兆た る 甘肅 鞏昌府로부터 遼東의 方面에 及んで 居た と 云ふ、 此間 一方 山海關은 滿洲와의 境에 在りて 長城은 其 北에 連つて 居る、 山海關은 南은 海에 臨み 其間 僅かに 數町을 隔て 關을 設けて 滿洲의 咽喉를 扼し、 關門에는 「天下第一關」이라 榜して あつた、 市街는 臨榆라 云ひ 海岸より 約一里의 地에 あり て 現今은 鐵道도 開通して 居る。

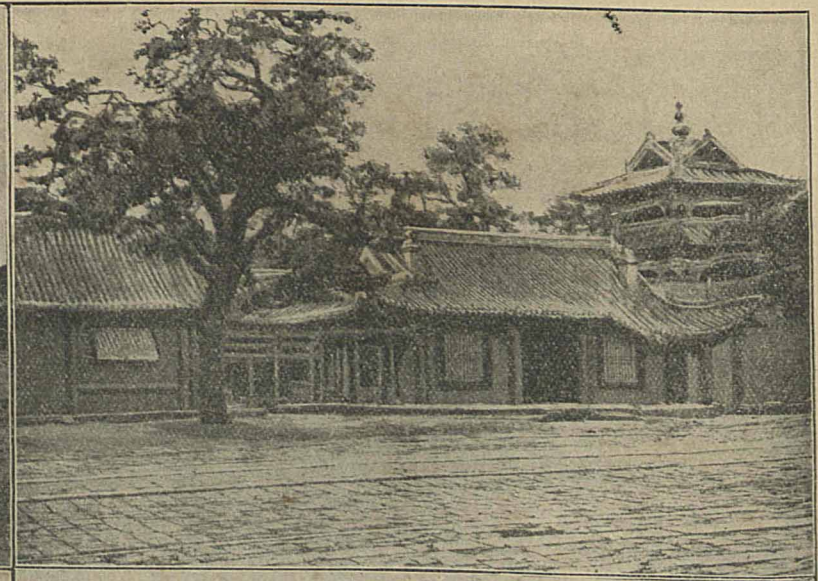
萬里의 長城은 築造 當時의 ものは 幾星霜을 經て 漸次 頽敗し 百二의 秦關塵土에 沒せられて 見る 影도 なく 又 現在의 長城과는 其의 位置도 異なつて 居た のである が、 明의 世에 至りて 現今의 長城을 築造された ものの で、 直隸省과 山西省의 間에 있는 延長 五百三十二里의 極邊墻、 三百六十二里의 次邊墻은 其의 最も 大な る ものであつて、 次를 陝西의 長城と 云ひ、 東黃河로부터 甘肅寧夏府에 接し 延長 二百四十五里、 又 新邊墻、 衝邊墻이라 稱する 長城이 있스니 前者는 黃河 索橋より 起りて 莊浪衛界의 土門山에 至る 間을 云함이오、 後者는 黃河西岸에 沿ふて 蘭州府의 北을 繞りて 涼州의 界에 至り 共에 明朝萬歷年間의 築造이더라、 萬里의 長城이 最大土木工事로서 此와 如き 延長을 成せる 것은 卽ち 世界에 名의 있는 所以더라 である。

奉天

奉天은 一에 盛京又는 穆克德音(ムクデン)이라 稱하니 淸祖發祥의 地이라 愛親覺羅氏의 盛할 時代에 都하심으로써 名所舊蹟도 多하고 宮城은 奉天城의 中央에 있으니 二百六十餘年前의 建造인데 周圍는 甎墻을 繞하야 東西三十三丈、南北八十九丈、東門과 西門과의 中間에 南向의 大門있을 大淸門이라 稱하니 宮殿의 正門이오 門內의 東西에 各々二層樓있을 飛龍閣、翔鳳閣이라 云하니 宮內所藏의 寶器는 今此閣에 藏하고 在하며 又門의 正門에 崇政殿있은 皇帝의 政을 聽하시는 所이라 奉天은 堅固의 城廓을 成하니 內城은 方形인데 四面에 各二門을 設하고 外廓도 方形인데 全府를 包하고 居하며 城內는 四條의 大街를 成하고 中央을 四平街라 呼하니 豪商櫛比하야 最繁盛을 極하고 居하며 城外에 在한 것을 外關市街라 稱하더라

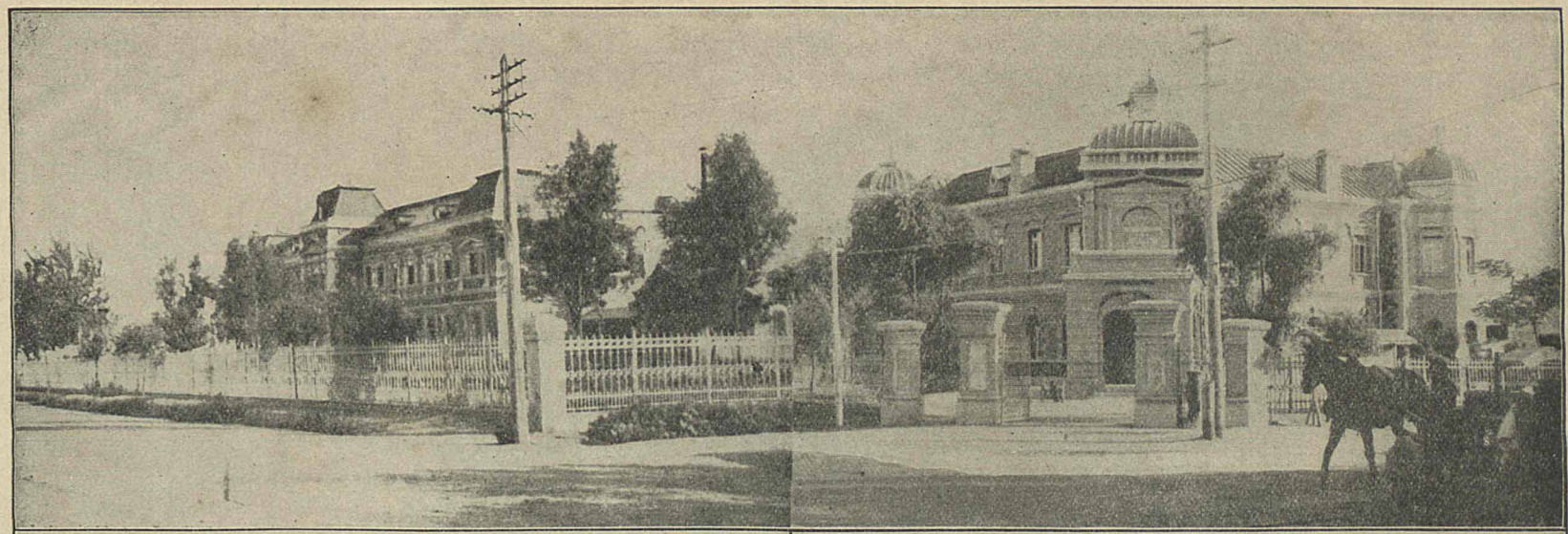
奉天은 滿洲第一의 都會이오 又滿洲의 政治的中心이라 奉天都督은 此地에 駐在하야 奉天省의 主宰할 만한 文武의 大權을 掌握하고 居하며 我가 總領事도 此地에 駐在하야 本邦人의 在留하는 이가 日々 益々 多함을 加하며 南滿鐵道는 西方約一里에 停車場이 있고 又新民屯安東縣에도 鐵道의 連絡이 있어서 交通最히 至便하야 百貨의 集散地로 되니 重要의 物貨는 高粱、大豆、綠豆、黑豆及び其他雜穀、獸皮、獸毛等이오 尙奉天의 南에 蘇家屯驛있어 其東方三十一哩에는 撫順炭田이 있어서 日露戰役에 於하야 獲得한 有名의 炭山인데 南滿鐵道會社가 開掘하더라 居하며 日露戰役中奉天最後의 大激戰場으로 되야 世人의 今尙記憶하는 所이더라 하는 所이다。

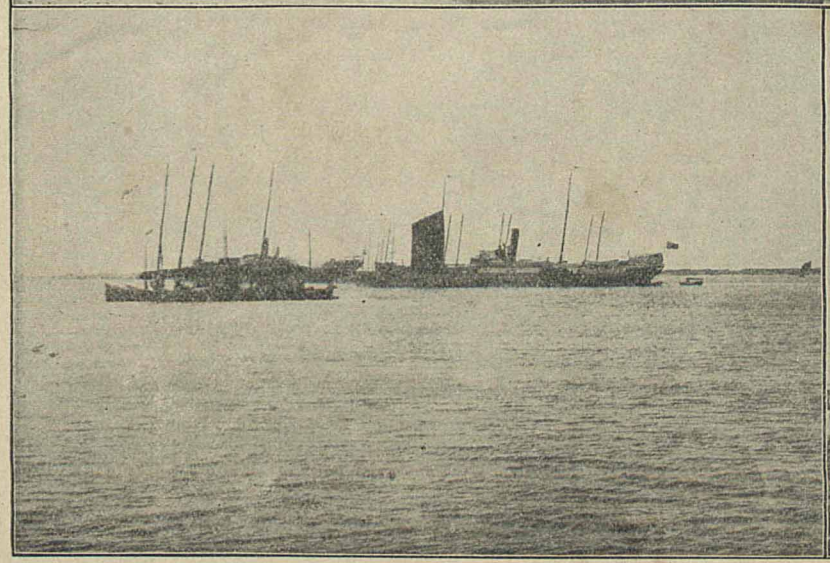







J.LLEWELLYN&CO LTD







營口

營口市街는 遼河의 左岸인데 河口를 遡ること十三浬、牛莊城의 西南一里半의 地에 있어 俗에 牛莊(ニウチヤン)이라고도 하니 久しき前より北清の重要なる開港場인데、各國領事館을 置いた所であり今尙外國人의 居留地도 있고 大連의 未だ盛んならざる前은 滿洲의 大豆와 豆粕을 輸出하는 唯一의 關門이었다、東清鐵道는 此地의 東端에 在る牛家屯(ニウチヤトン)까지를 하고 又遼河의 右岸에는 支那의 關外鐵道를 敷設하야 山海關、太沽(タークー)、天津(テンシン)을 經하야 北京에 連絡된것인데、營口는 實로 支那東北方의 鎖鑰이라、然れども冬季十二月より翌春二月까지는 遼河悉く結氷하야 船舶을 動かし難きは一大缺點이라、支那市街는 遼河畔의 南方에 있어서 稍々繁華를 爲하야 埠頭에 지야子(ジヤンク)船은 林立하여 있고 日本市街는 營口로부터 東方牛家屯停車場까지 一里半의 間에 在りて壯麗なる煉瓦家屋은 道를 挾んで 建設せられ 支那市街에 比して一層의 美觀을 添へて居る、人口約五萬居留民約三千에 達하고 本邦人의 經營하는 水道、電氣、製油、製粉業等도 盛んでである。

營口는 日清戰役에 於て我軍의 占領せし所なりしが、北清事變의 際露國이 之를 支那에 還附하였다、重要輸出品은 大豆、豆粕、豆油等인데、近年大連에 壓倒さるゝの傾向あるも 數十年來의 貿易港으로 勢力今尙衰へず、貿易港으로되야 大連、營口의 競爭은 我が對滿貿易에 影響있슴을 多하야

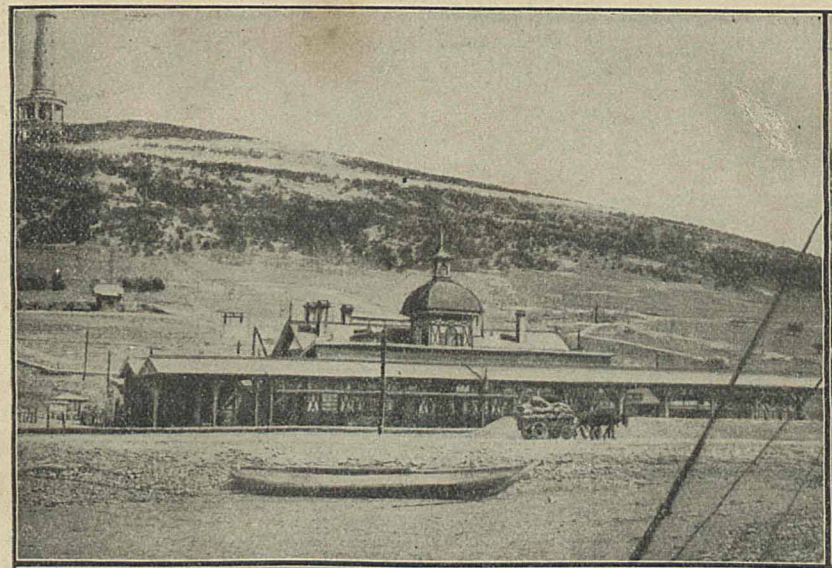
大連

大連市は大連灣に臨み遼東半島第一の商港にして柳樹屯と相對し大連灣ビクトリア灣にあり、ビヂ子ドリヤ山に續いて露國が莫大の費用を投じて經營せられたのである、本港に於ける大棧橋の長さ五町、幅五十間にして此に鐵道を通じ其の前面には二百間餘の防波堤ありて港内は靜穩である、堤側の深さ十八呎より三十呎に及び干潮の時と雖も吃水約二十尺の大汽船十餘隻を横付けとなし、板子を架して貨物の積下ろしを爲す大貨物は起重機に依りて轉載し得る仕掛となし、第一より第五までの埠頭あり又錨地の廣袤東西九浬、南北八浬に達す。

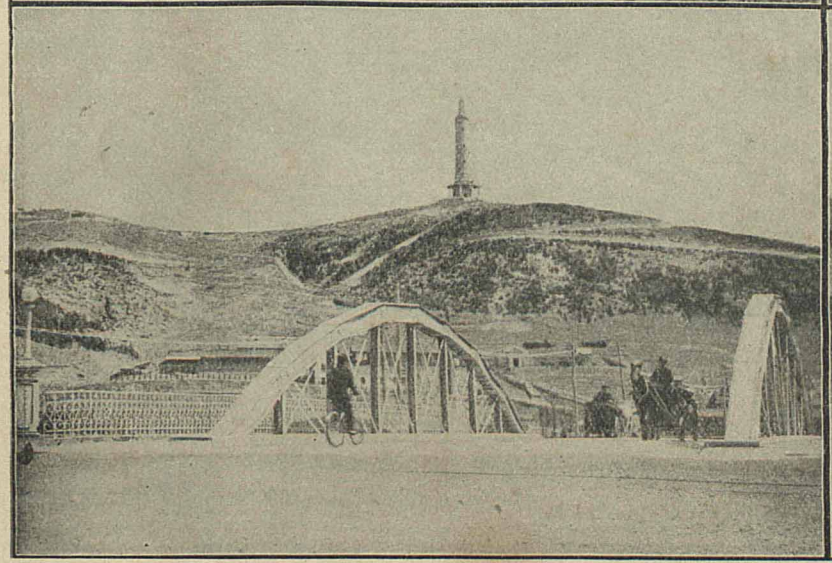
大連は元と青泥窪と稱した一漁村なりしが露國が占領後ダルニーと改めて新市街の經營や大築港を施して自由貿易港を開いたのであつた、日露戰役後に於て我國の支配に屬したのであるが、占領後八箇月即ち明治三十八年二月紀元節の祝日を以て大連と改めたのである。

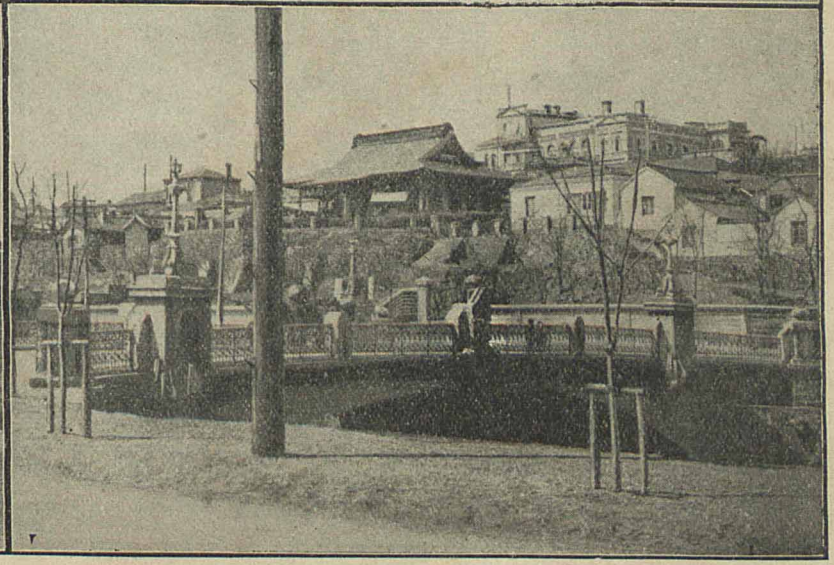
今や新築せられた日本風の建物も多數にして商店軒を並べある外觀は殆んど内地の市街に異なる所なく、現今に於ては三井物産會社や大倉組の製油所、淺野の石油貯藏所其他東洋第一と誇れる電燈會社等各事業の勃興と共に商業も漸次發展に向つて居る、此地は南滿洲鐵道の起點にして且つ我が内地の諸港及び上海等に定期航海もあり貿易亦隆盛である、南滿洲鐵道會社、民政署、海務局、通信管理局等の設けあり、人口約六萬を數ふ。











旅順

旅順市은 遼半南島의 南端、直隷海峽을 扼하는 所에 이라、此地는 丘陵重疊하야 四面을 擁하고、西에 老鐵山、東에 黃金山이 있고 에 이어 內에 一小灣을 抱하여 居る、灣內東西三千米突、南北約一千六百米突인데 에 이르러 東西에 分하니、東港은 狹하나 海水深하야 大小艦船의 出入에 便하고、西港은 廣하나 淺하야 大船의 碇泊은 치못하고、周圍의 丘陵에는 堅牢無比의 諸砲臺를 築하였고、市街는 新舊의 二部에 分하니 其의 舊市街는 支那의 建設인데 에 있고 東部에 있고、新市街는 露國의 經營인데 에 있어 西部에 있다、此地는 夙히 世人의 知하는 如く 日淸戰役 以來 日露戰役의 兩度에 於て 難攻不落이라 誇稱하던 堅壘도 我が 勇猛將卒의 攻擊에 依つて 陷落되고、今や 我國의 支配에 屬한 것인데 에 있는데、特히 日露戰役에 於て 乃木將軍指揮下의 各師團이 勇猛奮戰하야 屍山血河의 慘憺壯烈은 共히 鬼神을 泣かしむべきものがあつた、乃木將軍이 敵將ステッセルの降を容れて會見した 記念地や 當時媾和條約에 調印した 民舍는 今尙依然として 存하는데 에 있어 又白玉山上에는 日露戰役記念의 表忠塔이 있으니 其의 高さ二百十八尺、塔內에 螺旋形의 階段을 設けて 登覽의 便에 供せられた、我が 幾萬戰死將卒의 英魂毅魄도 此地에 留つて 長へに 護國의 鎭인 됨을 得하면 皆な 喜んで 瞑した のであらう。

旅順은 明治四十三年七月其一部를 開放하야 商港으로 하야、此地에 關東都督府、鎭守府、要塞司令部、高等法院、地方 法院、民政署、工科學堂、中學校等이 있어서 大正四年市制를 布かれた。

香港

香港은 廣東省의 珠江口에 於ける一小島에 있는 인데 英國의 領地이니 實로 世界最良港의 一이라 稱せられ東西洋往復의 船舶으로 悉く寄港せざるものはない、ビクトリア市는 島의 北西岸에 있고 船舶의 出入最も頻繁にして貨物의 集散盛んなること東洋에 其比를 見ざる位である、本港이 斯와 如히 隆盛의 貿易港으로 된것은 其位置良好にして港灣의 優良なると、英領인 데 自由貿易으로 하야 其의 設備의 完全等이 主되는 原因이니 即ち北은 支那를 控へ、西南은 南亞細亞、南洋諸島及び濠洲를 控へ、遠く東洋及び西洋航路의 要衝點에 在るが爲め此一小島가 自ら東洋貿易의 中心을 占むる所以である。

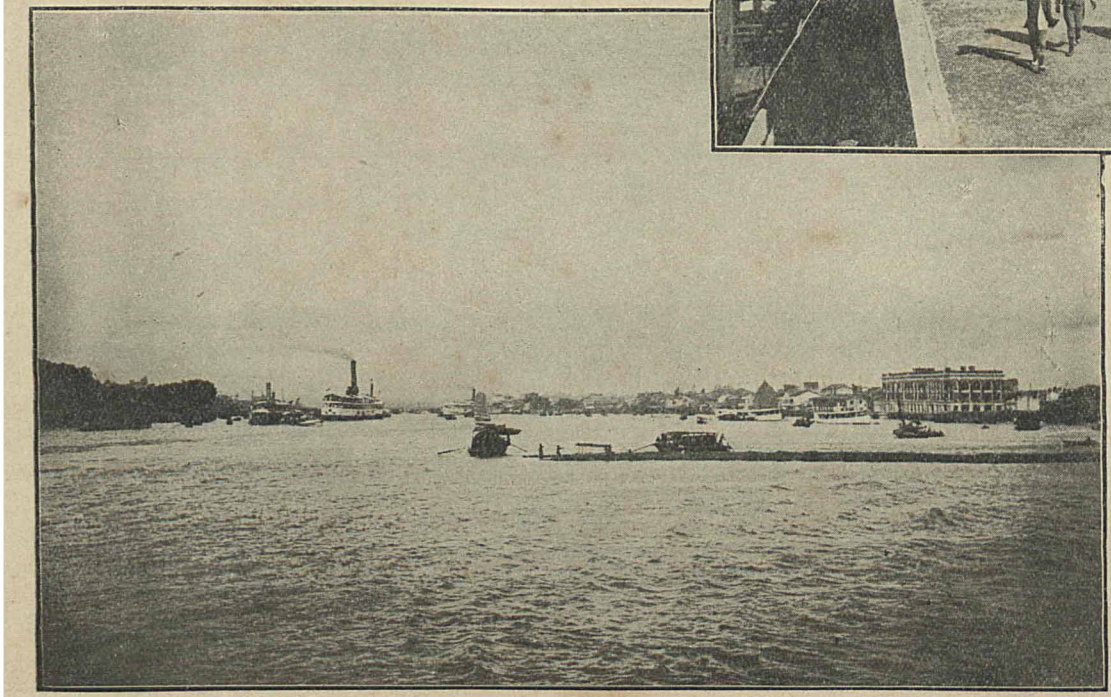
香港의 市街는 海岸에 沿하야 山麓을 繞り 其長さ四哩에 及び、山腹의 斜面에 建設せる街をなし、其最高所에는 別莊住宅多く、事務所는 海岸地에 設けて ある、비구도리야街를 除く外皆外國居留民의 住宅인 데 煉瓦의 高樓大厦櫛比して 宏壯의 外觀을 備へ人口는 約四十萬에 達す、本港의 重要なる貿易品은 石炭、米、阿片、砂糖、綿絲、綿布、石油、生絲、海產物等である、

尙此地의 奇觀とすべきは卽ちビクトリア嶺을 負ふてケーブルカー는 山巓山麓의 兩所를 發して旅客의 便을 計る、其仕組는 山上에 一つの絞車를 置き 蒸氣力으로 之를 回旋せしめ六七吋의 綱索을 其絞車에 纏ひ、又索의 兩端에 客車各一個를 固縛し 山上에 絞車를 回旋せば互に客車는 上下するのである。









上海

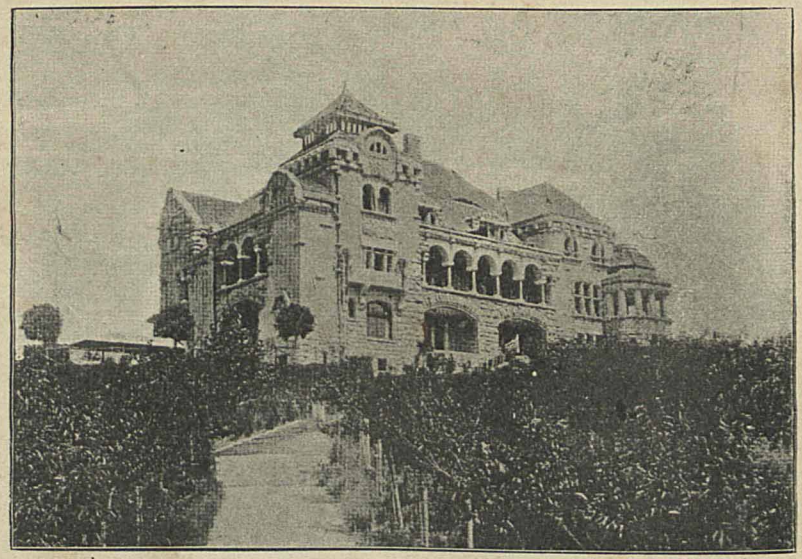
上海는 一에 申江又는 滬江이라 云ᄒᆞ니 黃浦及ᄇᆡ 吳淞兩江의 會流ᄒᆞᄂᆞᆫ 所ᄋᆡ인ᄃᆡ 楊子江을 遡ᄒᆞ야 四十八浬更ᄒᆡ 吳淞江口로브터 十三浬를 上ᄒᆞ야 水運의 至便은 勿論吳淞에 通ᄒᆞᄂᆞᆫ 淞滬鐵道의 敷設이잇스니 此地方一帶沃野인ᄃᆡ 物産이 富ᄒᆞ고 上海ᄂᆞᆫ 其中央에 位置ᄒᆞ엿더라 海는 其中央에 位置ᄒᆞ엿더라

十九世紀의 前半까지ᄂᆞᆫ 廣東及ᄇᆡ 寧波과 二港이 南淸貿易의 中心이라 稱ᄒᆞ더니 居たのであるが、阿片戰爭の後一八四三年英淸間に締結された南京條約に據り開港ᄒᆞ야 以來著しき發達을 促ᄒᆞ야 現今에 於ᄂᆞᆫ 東洋唯一의 貿易市場이라 稱ᄒᆞᆷ에 至ᄅᆞ엿더라 當港輸出品의 重要ᄒᆞᆫ 것은 生絲、茶、米、棉花인ᄃᆡ 이에 次ᄀᆞᄂᆞᆫ 麻、煙草、藍等이라 輸入品은 綿絲綿織物、毛織物、鐵、石炭、石油、砂糖、棉花、生絲、麥桿、眞田、煙草、金銀、阿片이오 其他麥粉、海產物、木材、樟腦、馬鈴薯、硫黃、人參、燐寸、陶器、煙草、洋傘等이라 上海ᄂᆞᆫ 貿易港으로 繁榮ᄒᆞᆯ ᄲᅮᆫ아니라 金融市場으로도 東洋의 中心이라 市街의 建築物은 何れも 壯觀을 極ᄒᆞ고 又東西의 來往ᄒᆞᄂᆞᆫ 者多ᄒᆞ야 各國의 領事館도 置いてある、街路車馬의 往來織るが如ᄒᆞᆫ 頻繁ᄒᆞᆫ 光景은 確ᄒᆞᆨ히 世界에 名잇ᄂᆞᆫ 貿易市場을 表示ᄒᆞ엿더라

膠州灣（青島）

膠州灣은 山東半島의 南方頸部에 잇스니 灣內는 廣く 直徑十五浬에 達하는 水深도 고く、青島는 其首府인데 灣의 東南半島에 잇더라 此地는 元來 寂寥極まる一漁村에 過ぎざりしが、獨逸이 租借地로 して 占領以來 莫大의 資本을 投하야 築港工事를 起して 軍港과 商港으로 고 分ち 海上에는 浮船渠를 備へ 殆んど 歐洲式의 一大港으로 되고 陸上에는 青島와 濟南間二百四十七哩의 鐵道를 敷設하고 且つ 堤內에는 長さ七百二十米突과 四百米突의 二大棧橋를 架하고 埠頭에 陸揚け의 貨物은 直히 鐵道輸送의 便なる 設備로 되야 實로 北支那의 香港을 凌駕せんとするが 如き著しく 發展したのである、膠州灣은 千八百九十七年（明治三十年）獨逸의 宣教師가 殺害せられた 要償으로 して 占領하고 北京條約에 據り 九十九年間 租借したのである、其租借區域은 九百二十方粁의 外附帶地三百七十方粁、海面五百五十方粁に 達하야、中立地는 膠州灣의 中央을 中心으로 して 圓形의 地七千百方粁である、青島市街는 總て 洋風의 建築으로 して 壯觀을 備へ 別に 支那人의 爲めに 北方三哩의 臺東鎭에 一市街를 建設してある、而して 租借地의 管轄은 獨逸海軍省에 屬하고 海軍將校를 總督으로 任じ、獨逸兵及支那兵若干을 以て 守備せしめて 居た、此くして 獨逸은 東洋에 一大根據를 築き 漸次東亞에 覇權을 掌握코져 하더니 歐洲戰亂의 勃發과 共에 遂に 日獨戰と なり 東洋一의 堅壘로 誇りたる 敵도 我が 精銳なる 陸海軍의 總攻擊八日에 して 陷落하고、今や 旭旗는 煌々として 青島에 飜つて 居る。







露西亞

露西亞の建國は遠く九世紀に起り、卽ち瑞典のノルマン人は自らワリヤーグと稱したが、當時バルト海沿岸の蒙古種フイン人は之をルス(漕者)と呼んだ、是れ抑も露西亞と云ふ國名の起源であつて卽ちルスに因んだものだと云ふ、而して現在露國人の大部は大ロシヤ卽ちロスキーと云ふスラブ人種にして歐羅巴露西亞の中部に居住し數多の種族に分れて屢々爭ひしたが、十六世紀に至りイヴアンヴァシロ、ヴヰッツなるもの韃靼人を破り獨立して「ザール」となり、是より百餘年を經てペテロ大帝卽位するに及び露國は初めて歐洲諸强國に列し、聰明英敏の大帝は西歐の文明を知り經國の大方針を立てた。

露西亞は歐羅巴の東北部に位する大國にして亞細亞に屬する西伯利亞を併せて一大帝國を成した、卽ち北は北氷洋に臨み、東はウラル山脈及びウラル河を以て亞細亞に接し、南は黒海に瀕し、マニチ河及び裏海を隔てゝ亞細亞に連り、西は瑞典、那威に接してバルト海に臨み又獨逸、墺地利匈牙利、羅馬尼に隣る、東西一千八百哩、南北約二千三百哩、面積百九十九萬五千七百四十方哩にして、更に亞細亞の領地を加ふれば全露西亞の總面積八百六十四萬七千餘方哩に達し、歐羅巴全體の二倍、我日本の三十三倍、地球陸地の七分の一を占めて居る。

人種はスラブ人最大多數を占め其他フ・イン人、タタール人、土耳古人、韃靼

人、猶太人、가루마쓰子 카루마ック人、사모니도 サモニド人等其人種의複雜なるは實로世界에稀
ᄒᆞ더라 である、歐羅巴露西亞의人口는芬蘭及び波蘭을併ᄒᆞ야約一億四千에達ᄒᆞ고歐
洲全體人口의約三割我日本의約二倍에比例ᄒᆞ오尙露西亞全體의總人口는實로一
億六千餘에達ᄒᆞ다稱ᄒᆞ더라 せられて居る、然ᄒᆞ나尨大なる面積에比ᄒᆞ면人口는
實로稀薄ᄒᆞ야一方哩僅히七十餘人에過ᄒᆞ지못ᄒᆞ다云ふことである。
政治는久히專制政體이더니 なりしが過去十數年來政治的覺醒의域에入ᄒᆞ야殊히日
露戰役後로自由民權의主張益々熾ᄒᆞ야、明治三十八年以來立憲政體
로되엇더라 となつた、現皇帝는니고라이二世라稱ᄒᆞ는ᄃᆡ오政治上의元首로ᄒᆞ고又露國
宗敎上의監督者이더라 である、中央政府에는參議院、元老院、敎務院、內閣等의政
治機關이잇고 がある、又地方政治는全國을五總督管區、六十八州、六百二十五郡으로ᄒᆞ고
總督、知事가잇서셔이를管轄ᄒᆞ니、其總督은現皇帝를代表ᄒᆞ야文
武一切의事務를統轄ᄒᆞ고、知事는之를管治ᄒᆞ는것이라 ᄒᆞ니、而ᄒᆞ야露國이
世界의有名ᄒᆞᆫ陸軍國으로稱ᄒᆞ는것은海陸共히境界線長ᄒᆞᆫ이故로軍備에全
力을盡ᄒᆞ는所以이라 である、産業의方面을觀察ᄒᆞ면古來로農本國인ᄃᆡ人民
의大部分은農民이더라 である、裸麥、大麥、燕麥、黑麥、小麥을始ᄒᆞ야亞麻、大麻
馬鈴薯、煙草等의重要産物을出ᄒᆞ고、就中大麥、裸麥、大麻、亞麻는世界第
一이라稱ᄒᆞ더라 と稱せらる、農業은露國無二의富源ᄃᆡᆫ은勿論、歐洲第一의農業國으로
ᄒᆞ야耕地實로一億三千萬町에達ᄒᆞ다云ふ、之에次ぐは林産인ᄃᆡ森林의面
積約二億餘町에及ᄒᆞ야一ヶ年의産額約四億餘圓에達ᄒᆞ니、歐洲第一의林産國이
である、其他水産及び鑛産도尠치아니ᄒᆞ나特히烏拉爾山脈은各種의鑛産에富み
鐵、金、白金의産多ᄒᆞ고就中白金은世界第一이더라 である。
交通은最近著히發達ᄒᆞ야陸上에는多數의河流、運河及び鐵道를敷設ᄒᆞ고、

海上에는 船舶의 交通最히 繁하니 而して 生産地와 商業地와의 連絡輸送의 機關도 完備하여 居る、鐵道의 如きは 莫斯科를 中心으로하고 全國에 普及하야 其線路의 延長도 歐洲第一이오 殊히 西伯利亞鐵道의 連絡은 實에 世界의 大交通路를 開いた。

露國의 宗教는 希臘正教인데 官府にては 天主正教라 云ふ、此正教는 國立의 教會たるのみならず 又國民의 教會である、政府도 國民도 正教會의 信徒될뿐아니라 政府도 國民도 正教會의 信徒됨으로써 愛國忠君의 第一保證과 心得、政府의 用語에 於てすら 異宗派를 外教たるを以て 愛國忠君の第一保證と心得、政府の用語に於てすら異宗派を外教라 稱함과 같은 것은 卽ち 自家의 宗族을 同一視하기 難き을 表示せるものである、と稱ふが如きは 卽ち自家の宗族を同一視し難きを表示せるものである、

그리하여 一般에 舊教派라 하면 波蘭人을 意味하고、新教派라 하면 獨逸人을 而して一般に舊教派と云へば波蘭人を意味し、新教派と云へば獨逸人を意味하더라

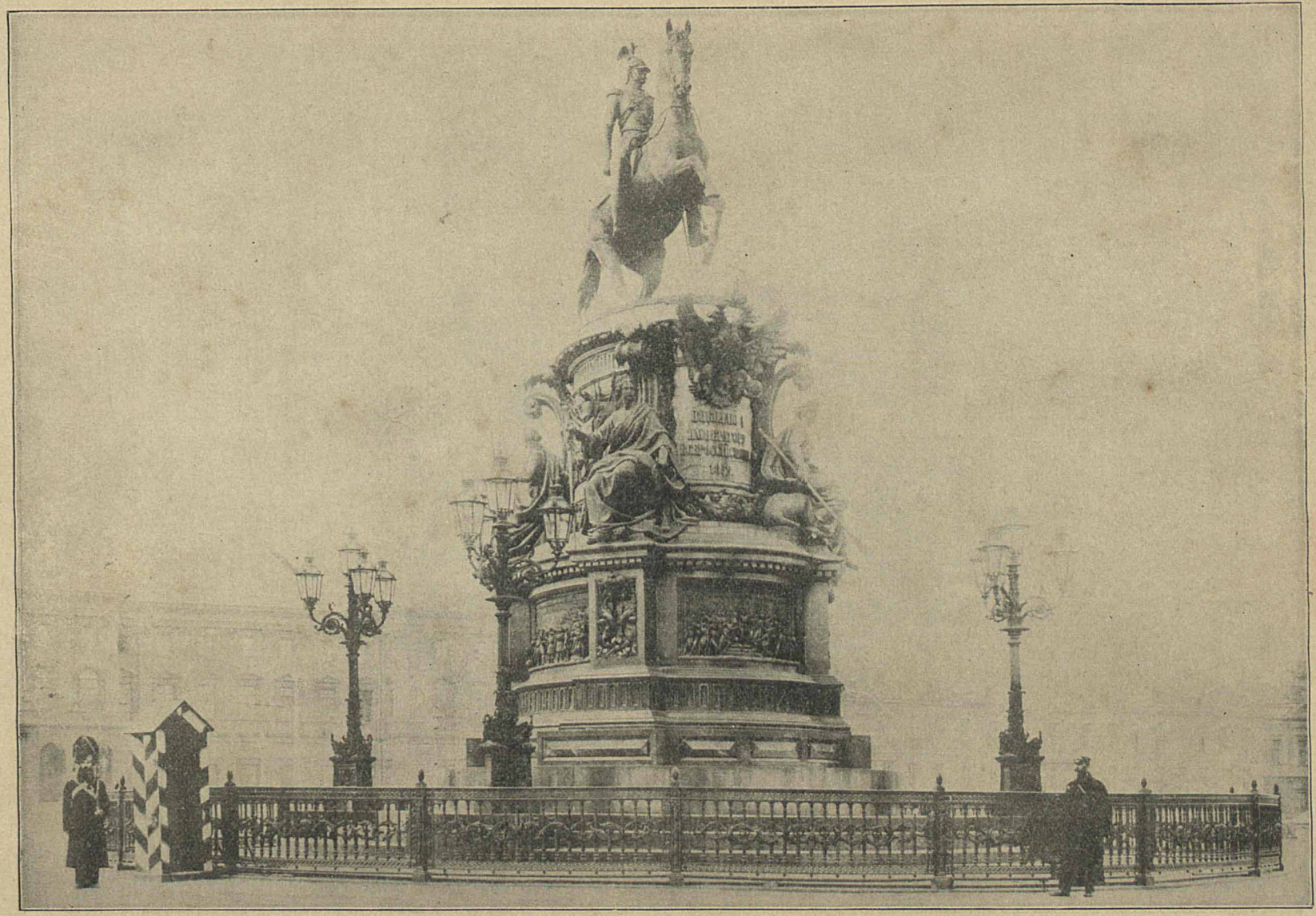
更에 人情風俗을 觀察함에 露國의 家族組織은 古來의 習俗에 據하고 財産은 兄弟間에 分配하고 男子는 同等의 權利를 有하고、貴族社會의 道德腐敗는 歐洲第一로 稱하는 바이나 下層社會는 比較的 純潔한 것이 있고、又上流의 婦人이 淫靡輕薄하야 一般의 性質より之を 觀れば 露國人은 天然及び氣候와의 爭鬪에 依り 忍耐力을 養成せる 結果、困難에 堪へ 敢て 死를 恐れず、故로 兵士として 最適である、又比較的 同情心에 富み、自己의 苦痛으로써 以て 隣人의 苦痛을 察し、之に 同情을 表し、友誼、親愛、測隱、慈善是れに 國民的性情である。

뻬도로구라도 ペトログラド

뻬도로구라도는 처음에 ペトログラドは元と 聖彼得堡と稱하니 바루도의 バルト海の 東灣、후인란도 フインランド 灣의 東隅 네바河口에 跨하는 露西亞帝國의 首府이라 一九一四年八月露國이 獨逸과 戰端을 開하기에 至하야 所謂獨逸讀みの 聖彼得堡를 廢하고 今의 名으로 改하였더라 此府는 뻬데로 大帝의 創建인데 爾來大帝國의 西方歐羅巴에 對하는 門戶로서 漸次發達하니 最近의 人口約二百八十萬餘를 數하는 世界第八位의 都會이라 市街는 十三區에 分하고 各區間에 運河가 縱橫하야 殊에 네부스키-쑤로스뻬구 セント・ピーターズブルク 街路能히 整頓하고 도시 네바쓰의 ネヴァの 大河는 市街를 貫流하니 之에 架하는 有名한 니콜라이 橋의 如きは 七本의 橋脚을 有하고 花崗石及鐵製의 最新式架橋로서 最히 壯麗를 極하는 것이 더라 居る、其他壯嚴한 冬宮殿이며 宏壯한 寺院、諸官衙、商店、大學、博物館 圖書館、植物園、兵器廠等을 初하야 大廈高樓는 純然한 西歐風의 建築이라 特히 露都에서 著しく 目에 觸하는 것은 寺院이라 金의 十字架가 燦然하야 碧空高く 聳え立ち、就中聖 아이사쓰구 イザック 寺院의 壯大なること 世界에 其比를 見ない。

何れの國にも 宗教上の 奇習あるが 特に此國人の 宗教心は 非常に熱烈なものである、又歐洲의 最大湖水라 稱하는 라도가 로브터 을 源を發する ネヴァの大河は市街を貫流し、之に架する有名の ニコライ橋の如きは 七本の橋脚を有し花崗石及び鐵製の最新式架橋にして最も壯麗を極むるもの である、都人の特色로 認むべきものは、第一服裝であつて、卽ち市民の男子는 單에 文武官과 學生에 限らず 人口의 約十分の一は一種の制服を著用して 居る、尙此地는 市街도 新しく 歷史的의 名所는 少ないが、先づ冬宮의 壯麗、寺院、네바쓰의 ネバ川の 結氷 등은 世人의 目을 惹くものがある。





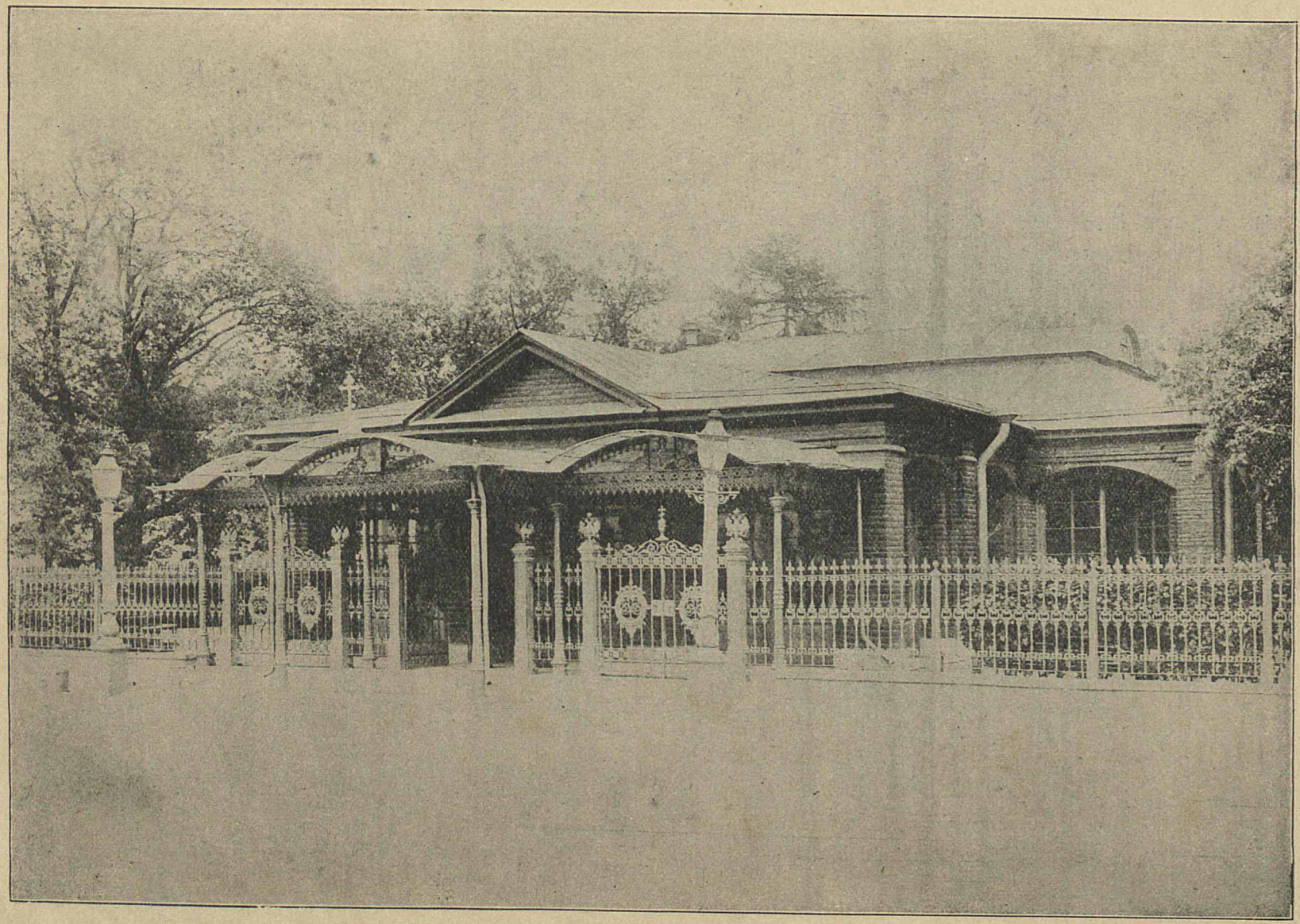
니고라이 ニコライ一世의 銅像

英傑ニコライ一世의 覇業은 夙에 世人의 知ᄒᆞᄂᆞᆫ 所이나, 佛蘭西革命風動의 後에 至ᄒᆞ야 露西亞의 南圖는 西歐諸國과 干戈相見ᄒᆞᆷ이 幾度인지 치못ᄒᆞ니 抑도 當時歐羅巴의 均衡을 動ᄒᆞᆷ은 露、墺、普、英、佛의 五强國인ᄃᆡ ᄂᆞᆫ 墺地利는 革命叛亂의 憂에 遭ᄒᆞ야 露西亞의 援助를 德으로ᄒᆞ고, 普魯西王室은 露西亞帝室과 親姻을 通ᄒᆞ고 佛蘭西ᄂᆞᆫ 新興帝國平和를 宣ᄒᆞ야 外를 國ᄒᆞᄂᆞᆫ 餘力이업고 英吉利ᄂᆞᆫ 처음브터 佛帝를 치안코 素より 信ᄒᆞ지 아니ᄒᆞ고, 又總理アベルデイン公은 露帝의 舊友인ᄃᆡ 히 ᄂᆞᆫ 라ᄒᆞ야 ニコライ一世는 久しく土耳古侵略의 大望을 抱ᄒᆞ야 好機此際에 在りとなつた、ニコライ一世의 銅像인ᄃᆡ 은 니고라이 ニコライ一世의 銅像にして一八五九年クロット도 루롯 男의 鑄造에 係り 此寫眞은 卽ち 니고라이 ニコライ一世の銅像にして一八五九年クロット男の鑄造に係り 세도로구라도 ペトログラド屈指の大伽藍聖이사구 イサク寺院の南方、아라ー マリー廣場の中央に建設され 南下ᄒᆞ야바루간 し、南下してバルガン半島에 手를 下ᄒᆞ야 遂에 露土戰爭을 惹起ᄒᆞ야 土耳古를 大敗에 歸케ᄒᆞ고, 或은 波斯를 討ᄒᆞ야 裏海의 南岸地方을 得히 更에 西伯利亞의 侵略에 意를 用ᄒᆞ고, 又諸般의 政治를 改善ᄒᆞ고 軍備를 整ᄒᆞᄂᆞᆫ 等十九世紀前半에 於서 露西亞國運의 基礎를 固케ᄒᆞᆫ 것이더라 れたものである、高さ四十九呎に達し、臺石은 各種의 戰利品에 象으로ᄒᆞ고 て、青銅의 彫刻을 以으로서 裝飾ᄒᆞ고, 其周圍의 浮彫ᄂᆞᆫ 何れ이던지 帝의 一代에 於서 ᄒᆞ니 의 逸筆을 描寫ᄒᆞ고, 又皇帝가 親衛騎士의 甲冑에 王冠의 猛鷲를 附ᄒᆞᆫ 兜를 戴ᄒᆞ고 ᄒᆞᆫ 駿馬에 跨りたる英姿威風은 凛然として四隣을 壓ᄒᆞ야 ᄒᆞ고 居る、又正義、武力 知識、信仰을 象徵ᄒᆞᆫ 四個의 坐像은 皇妃及皇女를 모데루로 ᄒᆞᆫ 逸作이더라 である。

彼得大帝의 居宅

彼得大帝는 聰明英敏하고 氣力이 富하며、露國이 未だ 良港을 有치 못함을 慨하고、西洋文明을 輸入하고 海港을 得하야 海軍의 擴張을 圖하고、一六九六年土耳古로서 아조후 アゾフ海地方을 奪取하고 黑海에 出口를 得하야 軍港으로 하고 要塞를 築하고 民家三千을 移하고、次에 瑞典王カロロ十二世와 戰하야 波羅的海沿岸을 奪取하고、一七〇三年 네바ー河口에 彼得堡府를 新設하고、翌年瑞典과 和約하고 明히 波羅的海東岸의 占有權을 得하야 其宿望을 達한 것이더라 尙大帝는 奮然志를 決하야 蘭英等의 諸國에 遊하며、造船術其他諸種의 技藝를 修하고 歸國의 後益々沿海領土의 擴張과 風俗制度의 刷新을 圖하야 爾來漸次國土의 擴張과 國力의 發展基礎를 作하였더라

此寫眞은 大帝의 古第라 稱하니、舊莫斯科는 西歐諸國과 交通不便함으로 一七〇三年此地를 經營하고、莫大의 費用을 投하야 네바ー河口를 掘り割り하야 市中에 河를 通하니 一은 要塞로 하고 一은 海運의 便을 計하고、新히 此處에 遷都하고 諸官衙를 移하야 國都를 奠하니、此時大帝는 네바ー河畔의 森林을 開하고 茲에 質素한 木造의 小舍를 設하야 住宅에 充하니、其의 間口六十二呎、奥行二十呎의 平家建인데 僅히 二室과 一小房(간)의 みである、左의 寢室에는 大帝의 常に身邊을 離치 안는다 云ふ 救世主의 聖畫는 金色燦然한 額面인데 祭司의 僧侶晝夜交代하야 祈禱하더라 右의 居室에는 椅子、腰掛及び大帝의 手製로 成한 諸什器 이잇고 又小舍의 裏에는 端艇이잇스니 이는 帝親히 船을 造하야 日々對岸에 渡하야 皇城과 市街의 位置를 指揮한 記念으로 保存되여더라 되여 在る。





露國國會議事堂

의 先づ沿革の大要を槪說すれば、露國は國運發展의 基礎成りてより歷代의 皇帝는 南下의 志를 抱き「海를 求めよ」とは露國傳來의 國是なるが如く、從て幾度か諸邦と衝突した、一八五三年 크리미아 戰爭으로 되야 英佛과 干戈를 交へしも 戰ひ敗れ 且つ 니고라스 崩じ 아레기산도루 에 アレキサンドル二世位に卽き 파리 和議를 結び、遂に露國의 雄圖는 挫折し 更に鋒을 轉じて中亞より 南下せんと計り 軍備의 大擴張을 斷行し、後ち 바르간半島를 略せんとして 遂に露土戰爭으로 되니 亦常に東方淸國에 容喙して立脚地를 固めんと企畫し、一八六〇年에 至り 烏蘇里江東一帶의 地를 得て 浦鹽斯德을 建設した、其後益々淸國에 勢力扶植을 圖り 遂に日露의 戰役으로 되야 大敗した、茲に於てか自由民權의 主張은 各地에 勃興하야 或은 革命起りて到底官僚의 抑壓する手段이 업서 遂に 니고라이二世는 一九〇四年에 勅令을 發し、人民의 權利、地方議會의 權限擴張、勞働者保護、宗敎上의 寬容等宣告를 爲し、更に一九〇五年憲法을 發布し 續て 國會의 設立을 見るに至り、爾來露國의 代議制는 過去十星霜을 經過して漸次發達되엿도다 議事堂은 一七八三年 가사 린二世의 建設된 도-리도 인데 リン宮殿にして室內의 裝飾은 善美를 盡し、會議室은 元의 冬園인데 四百四十四個의 議席을 有する大廣間이라、議員은 페도로子라도 グラド及び莫斯科를 首とし二十八縣其他主なる大都市로부터 選擧하는 것이나 有權者를 代表する選擧委員會라는 것이 있서서 이를 選擧する、會期中은 多數異人種의 露國으로 되야 議會는 非常히 紛擾をなす。

니고라이 ニコライ停車場

歐羅巴洲의 陸上에는 今や鐵道縱橫으로 貫通하니 其總延長은 世界鐵道의 三分의一에 達すと稱せらる、殊に有名なるアルプス山脈の如きは今や各所に長大なる隧道を穿ち、數條の鐵道之を橫斷して西伯利亞鐵道の連絡と共に歐亞大陸의 一大交通을 開き 東西의 來往益々繁くなつた。

茲에 示せる寫眞はペトログラドの有名なるニコライ停車場にして現皇帝ニコライ二世의 聖代를 永世에 記念せんが爲め特히 命名한 것이더라、其規模의 宏大와 壯麗美觀은 此首都의 七箇停車場中第一인 쓰나멘스야廣場에 在하야 舊都莫斯科에 向하는 列車의 基點이더라、尙此地는 特히 莫斯科를 經하야 디에리아빈스크에 至하야 西伯利亞鐵道와 連絡하야 西歐交通路의 中心點으로 되엿더라 チェリアビンスクに至りて西伯利亞鐵道と連絡し西歐交通路の中心點となつて居る、故에 日夜東西에서 發著하는 汽車는 黑煙濛々として 機關의 轟々한 音은 耳를 聾케하고 從つて東西來往의 乘客은 織るが如く、殊히 莫斯科浦鹽間의 直行列車는 每週三回雙方으로 發하고、其中에 僅히 一回의 萬國寢臺會社의 列車가 잇스니 之는 途中乘換업시 設備도 完全함으로 何時든지 滿員と이 되야 停車場의 雜閙은 驚嘆할것이더라、니고라이 停車場은 夜間步廊(プラットホーム)에 煌々한 電燈(イルミネーション)裝飾을 施하야 列車發著의 時間을 示하고 旅客의 便을 計하엿더라 西伯利亞鐵道의 汽車는 車輛七八臺로 別히 食堂車를 連結하야 一列車를 成せる一二等客車인데 莫斯科、浦鹽斯德間一等乘車賃三百二十四留、二等二百三十留餘이더라 이더라である。





莫斯科

莫斯科는 露西亞의 舊首府인데 此國의 中央오가 河의 支流인 모스구바河畔에 있서서 露人은 今尙 聖地라 稱하니 此地는 西歐諸國 及 東亞細亞地方과 連絡하고 亦 西伯利亞鐵道의 基點地이라 府의 周圍四十哩에는 宮殿과 寺院이 頗히 多하고 殊히 寺院의 如하면 金의 十字架가 半空에 聳하여 居하며 又 크레무린 宮殿은 모스구바河의 中央丘上에 있고 모스구바河는 其下를 流하여 市街는 宮殿을 中心으로하고 車輪의 如히 其의 周圍를 繞하여 居하며 本府는 宗敎的 歷史的 都會인 뿐아니오 又 商業의 大中心으로 數條의 大鐵道 集中點이더라 이다.

구시무린 宮殿은 歷史甚히 古하야 恰사히 日本의 京都와 同하며 皇帝卽位의 戴冠과 葬祭의 大禮와는 此宮殿에서 行하는 例로하더라 이다.

陳列場 及 東宮御所 있어서 寶物 又 多하며 房室七百餘 이더라 이다.

와 砲彈과 山의 如히 積重 있는 那翁戰爭當時의 戰利品인 記念이라 이다.

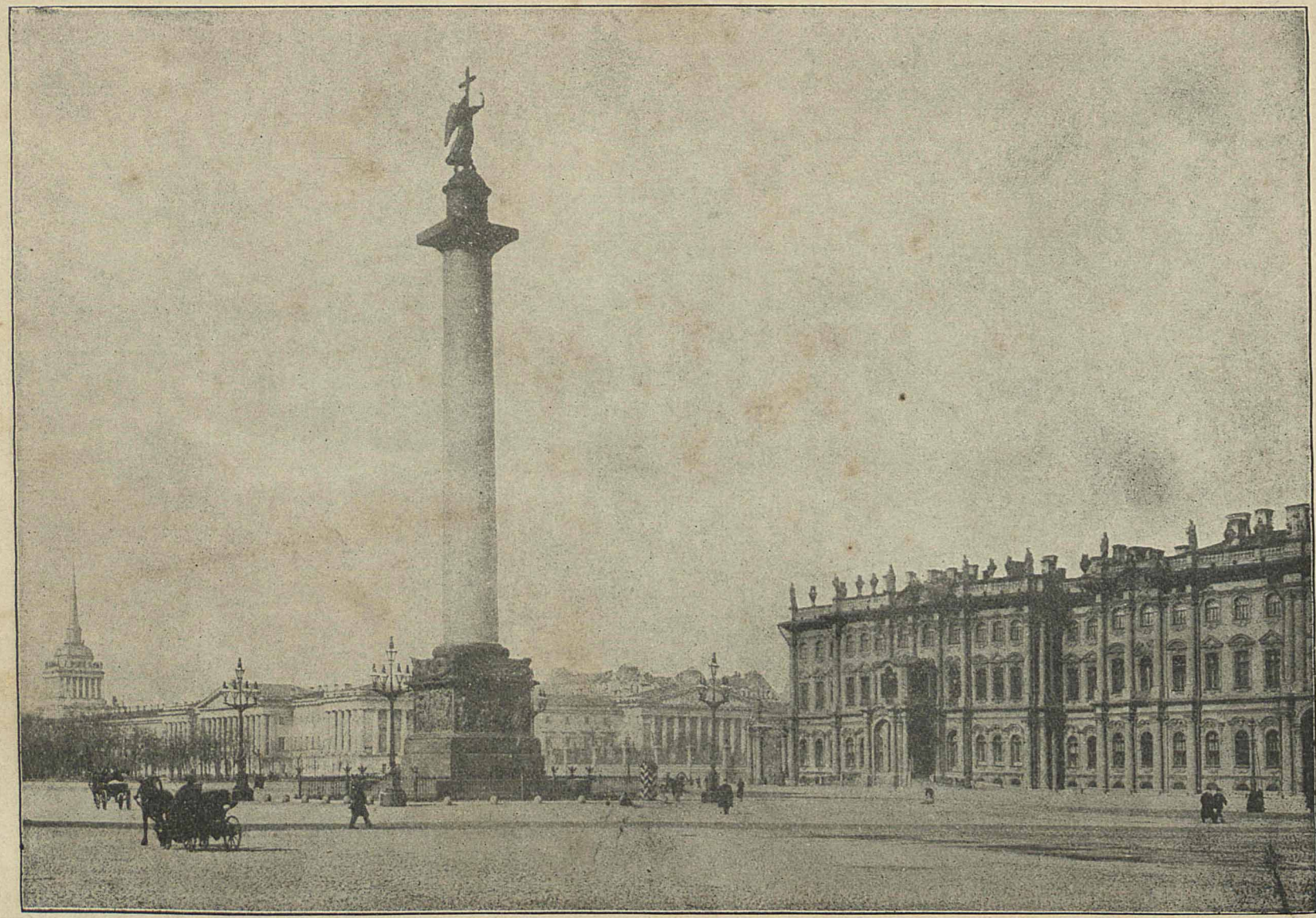
此宮殿은 外人旅客 何人이던지 觀하고 尙有名한 世界第一의 巨鐘은 이완베리기 리키塔의 前에 있스니 重量 凡五萬三千貫, 高가 二十七尺, 周圍廣한 所 六十八尺, 內에 二百人을 容하다 云하는 我가 大阪天王寺의 鐘에 比하여도 一層宏大하더라 이다.

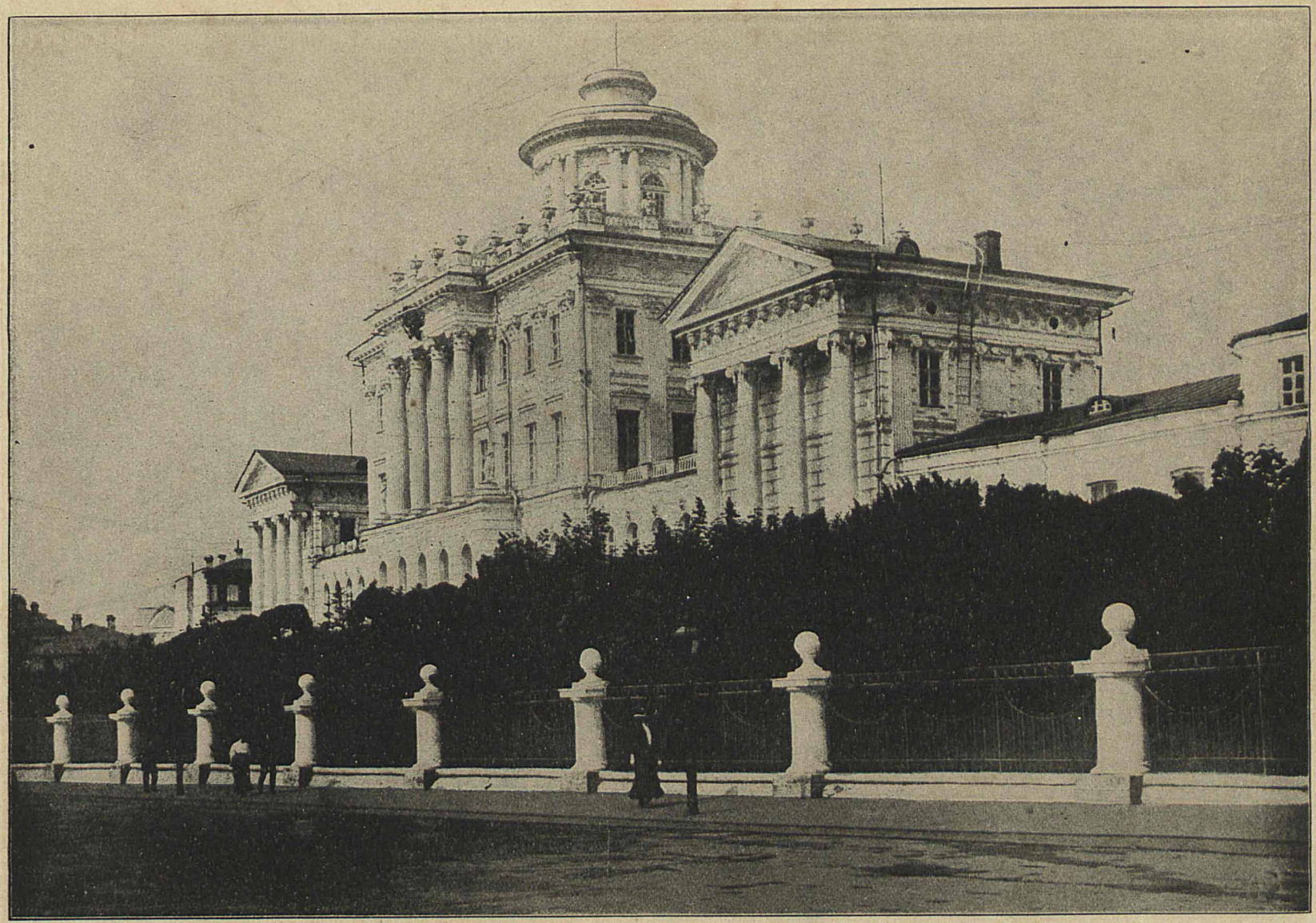
尙觀할만한 것은 名物의 一된 이완이더라 이다. 塔에서 瞰下하는 景은 世界眺望의 有名한 上의 十字架까지 高가 三百六十呎, 此塔에서 瞰下하는 景은 世界眺望의 有名한 一에 加하더라 이다. 市中街路에는 恰사히 東京의 辻待人力車와 如한 橋에 馬를 繫하고 客을 見하면 乘을 勸하고 又 大道雪의 上에 果物을 列하는 店과 乞食의 多한 것은 歐洲에 其類를 見치못할너라 이다.

皇室(冬宮)と歷山記念柱

冬宮とは卽ち皇城にして歷代の皇帝は冬季が交際の時期であるから此宮殿に住み、夏時に至れば此地を距る二十餘哩の地なるザルスコイセロの離宮に住せらるゝ故に普通此の皇城を稱して冬宮と呼んで居る、元彼得大帝の創建されたものであるが其後一部火災に罹り現在のものは改築されたり、此冬宮殿はネバー河の南岸に在りて皇族の宮殿も附近に竝んで居る、冬宮殿內の壯嚴美麗は實に人目を驚かしむべきものがある、彼得大帝以來歷代皇帝の玉座は一代毎に區別しあり、又憲法發布の式場たりしゲオルギー勳章殿竝に元師に謁見を賜ふ間の如きは何れも美觀を盡して居る、建物は間口三百八十四呎、奥行四百九十九呎、高さ九十二呎の宏壯なもので外部は悉く赭紅色で塗り立て最も壯麗を極めたものである、宮殿には門衞、守衞が警護して居るが宮殿內は何人にも願ひ出づれば拜觀を許すと云ふ。

尙冬宮殿の前面中央に高く聳立せるは歷山記念柱にして、是はニコライ一世が歷山王の偉業を記念せんが爲めに、一八三四年に建設されたものであつて、此巨柱は芬蘭產出の赭色花崗と云ふ一本の石にして其高さ九十九呎、直徑十三呎に達する奇石である、臺石は一塊の花崗石より成り、又頂上にある青銅製の大斗は高さ十三呎、其上に天主の銅像が立つて居る、卽ち此記念柱は奈翁戰爭當時の皇帝亞歷山一世が奈翁軍を莫斯科より擊退したる絶大の名譽を表彰されたものである。





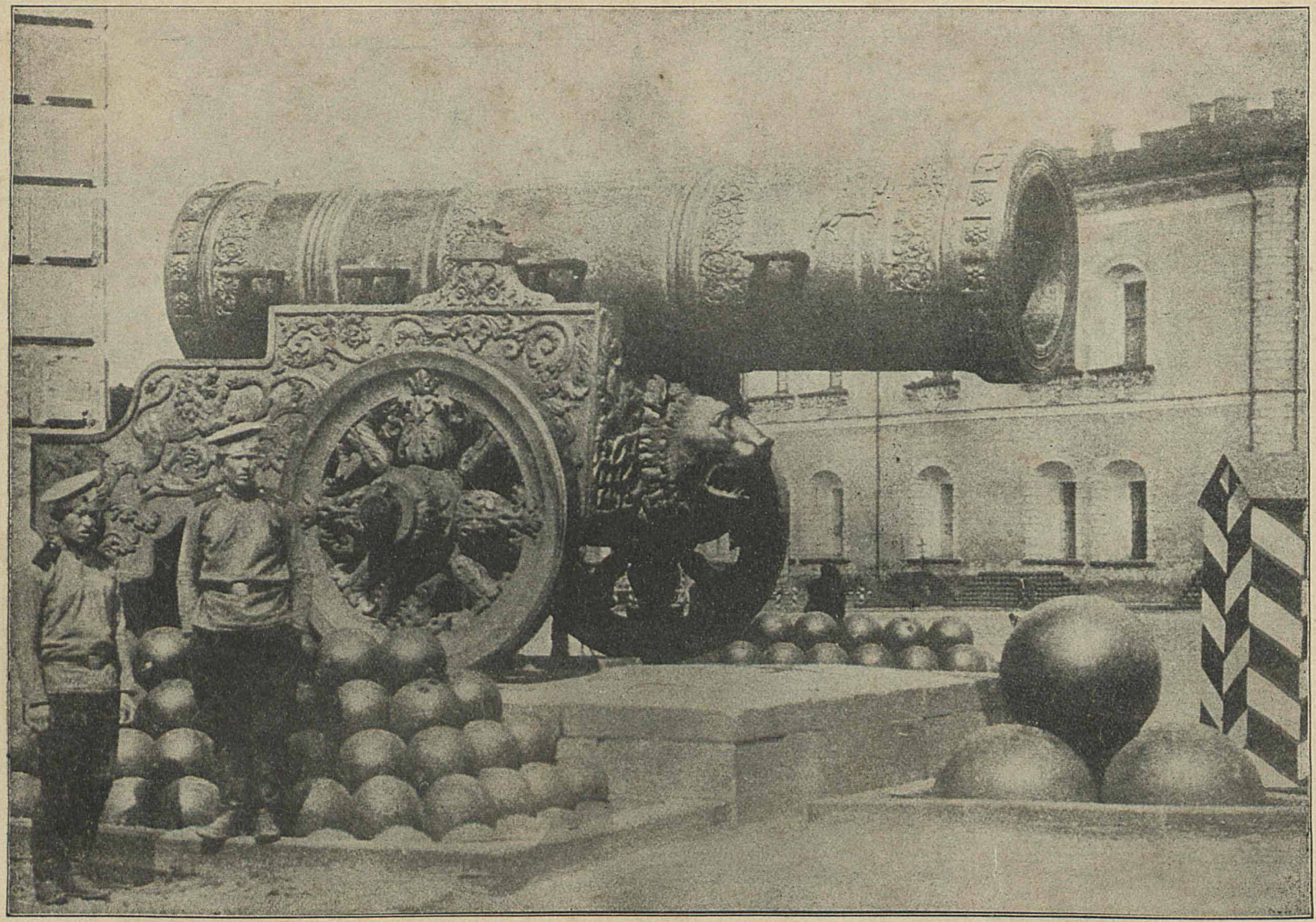
루미안쓰오ー ルミアンツオー帝室博物館

今は露國の帝都としてペトログラドに遷されたが、莫斯科は我が日本の京都と同じく舊首府であるから、從つてペトログラドの新都府に比して古く歷史を有し且つ名所舊蹟も多いのである、故に東西の觀光團は先づ此地に足を止むるものも少くない、殊に歷史的研究の資料も甚だ多い。

ルミアンツオー帝室博物館は莫斯科ツナメンカ街の小丘上に在りて世界に著名の博物館と稱せらる、一七八七年の建設されたものであつて建物は宏壯にして美觀を備ひて居る、館内に陳列してある古器物や其他美術品の貴きもの數多あり、此中に今を距ること百餘年前ニコライ・ルミヤツオフ伯が有ゆる方面より集めた逸品を獻納せしもの勘なからずと云ふ、尙圖書館に藏してある出版物は、宗教、歷史、古代の露語其他教育に關する名著の多きこと幾十萬卷なるを知らず、更に別室に移れば三百六十餘箇の人形を陳列されてあるが、是れは露國が九世紀の遠く建國以來多數の異人種ありて風俗も多種多樣であり、從つて時代の推移と共に服裝其他の習俗に幾多の變遷を示したるものなれば歷史的參考の好資料として頗る興趣の感に打たれる、次に繪畫陳列室と稱する別館に至れば、多年苦心して完成せられたイツノフの傑作と稱するピラトウスが基督教を羅馬市民に傳道せし書畫竝に露西亞の有名なる畫家の逸品或は歐洲諸國第一流の美術家が各々精巧なる技術を盡した繪畫等の陣列もある、近時寄贈品も遂年增加すると云ふ。

砲の帝王

莫斯科を見物する外客は何人でも此地の大鐘と巨砲の二大名物に早くも目が著くのであるが、「砲の帝王」と稱するはクレムリン宮殿の前に据へ付けてある一大巨砲にして觀る者何れも一驚せざるものなしと云ふて居る、其長さ約二十呎にして口徑三呎半、重量實に四十噸を有し、之に對する發射砲彈の重量は三噸餘にして一回の發射に要する火藥は約百四十貫餘を費すと云ふ世界無比のものである、此砲は一五八六年セオドウ二世が當時の有名なる鑄造家に命じて造られたものだと云ふ、十六世紀より依然として今尙存置してあるも、然し未だ嘗て一回も發射せられたことなきを見れば單に露國の武威を示す一種の裝飾品に過ぎざるの感あり、奈翁戰爭の時莫斯科の西方約六十哩の地に在るボロヂ村附近に於て露佛兩軍の大戰ありし際し露軍は敗退して莫斯科に入り、佛軍は益々追擊して此地に迫り遂に皇城に侵入して有ゆる猛威蠻行を逞ふせる當時此巨砲を敵の蹂躙に委せしめたが、奈翁も此巨砲には啞然として手を下さざりしと云ふ、尙クレムリン宮殿の前面及び廐舍の附近に幾萬の野砲を竝べてある、是れは奈翁戰爭當時の戰利品にして、卽ち露軍が敗れて佛軍の爲に蹂躙せらるるを憤慨し遂に府民は古來此の神聖なる名都を一炬に附し、時天漸く寒くして敵は防寒の準備なく又糧食に窮乏し奈翁の神算鬼策も今は盡きて全軍退却となりし、露軍は猛烈に之を擊退して遂に多數の武器を獲得せしものにて、今猶戰利品として存置されてある。





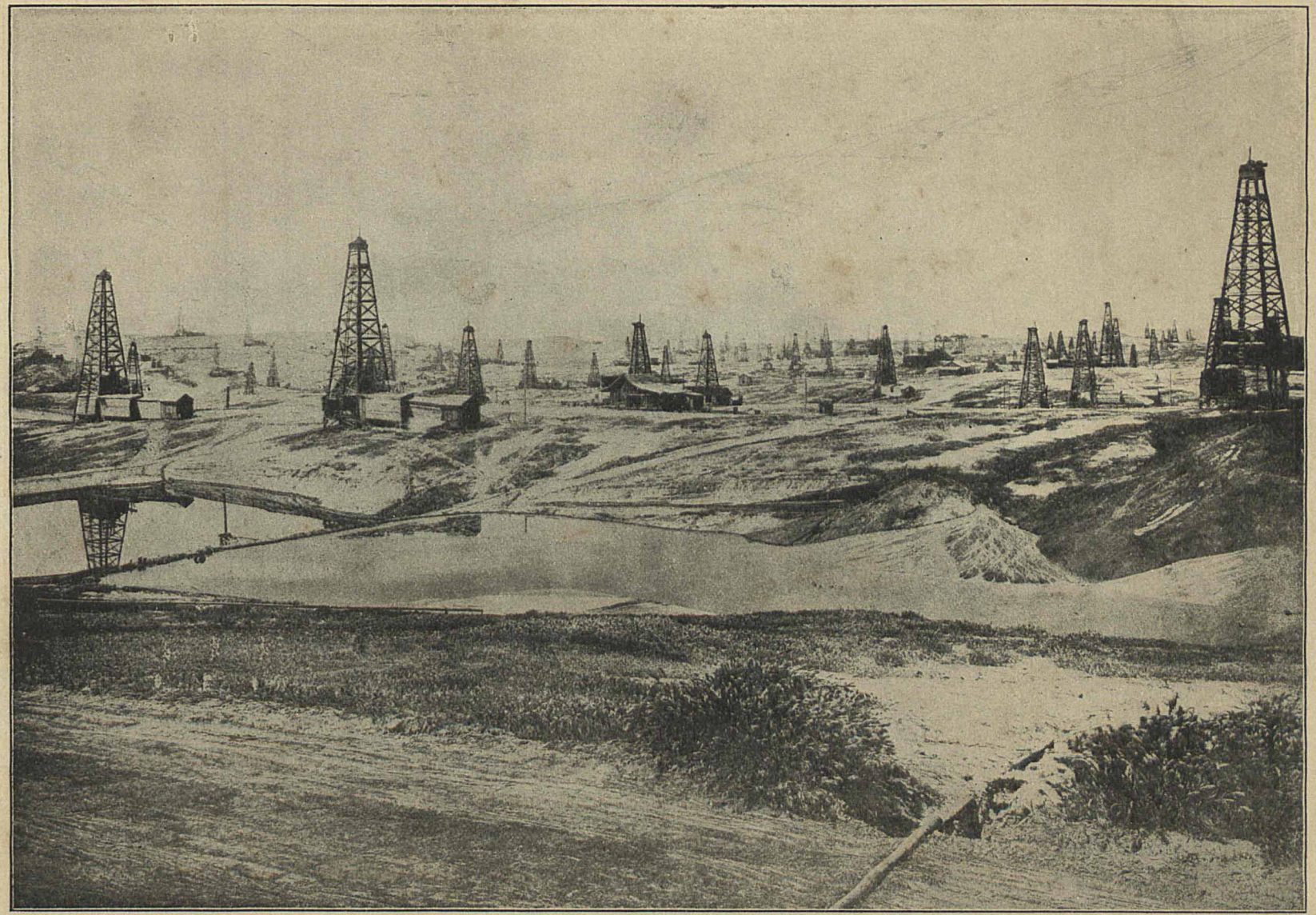
바지루 聖バミル寺院

露西亞國人의 宗教心에 熱烈ᄒᆞᆫ 것은 世界에 其比를 見지 못ᄒᆞᆯ 이라 ᄒᆞ는 바이니, 而ᄒᆞ야 그리셔 國教된 正教의 教長은 皇帝인ᄃᆡ 教務院을 帝國의 首都에 置ᄒᆞ고, 皇帝의 命을 受ᄒᆞ야 宗教에 關ᄒᆞᆫ 文學의 檢閲、裁判、財務、學校等의 事務를 行ᄒᆞᄂᆞᆫ 것이나 있는 바, 全國을 六十四箇의 宗區에 分ᄒᆞ고, 皇帝의 任命에 據ᄒᆞᆫ 僧官은 教務院의 指揮를 受ᄒᆞ야 이를 管轄ᄒᆞ야 居ᄒᆞᆫ 와 ᄒᆞ니, 此의 如ᄒᆞ히 露國이 宗教를 重んずるが爲め本國到ᄒᆞᄂᆞᆫ 所의 都會에셔 이ᄃᆞᆫ지 宏壯의 大建築된 寺院을 見지 못ᄒᆞᆯ ᄂᆞᆫ 업더라 ᄒᆞᄂᆞᆫ 바이니, 此寫眞은 莫斯科紅의 廣場의 南端에 建設ᄒᆞᆫ 聖바지루 寺院인ᄃᆡ 十二個의 圓蓋及び高層ᄒᆞᆫ 尖閣은 燦然ᄒᆞ야 半空에 聳え、多數의 小禮拜堂이 特種의 構造를 爲ᄒᆞᆫ 것은 著しく 觀客의 注目을 惹くのである、此等寺院은 古き歷史를 有ᄒᆞᄂᆞᆫ 바이니, 卽ち十三世紀의 頃은 韃靼의 酋長成吉汗의 爲めに征服ᄃᆡ으로브터 後二百年間其羈勒의 下에셔 苦ᄒᆞᆷ을 엿더니, 十六世紀半에 至ᄒᆞ야 再び韃靼人을 討ᄒᆞ야 가산(ガザン)을 占領ᄒᆞ고 征服ᄒᆞ식힌 威風堂々莫斯科에 凱旋ᄒᆞᆫ 이ᄃᆡ에 此의 戰捷을 永世에 記念ᄒᆞ기 爲ᄒᆞ야 建てられたものである、是より百餘年を經ᄒᆞ야 英傑彼得大帝의 卽位ᄒᆞᆷ에 及び、露西亞의 國運隆盛となりて歐洲諸强國에 列ᄒᆞᆫ 것이더라 ᄒᆞᄂᆞᆫ 바이니, 然るに一八一二年奈翁의 大軍이 莫科斯에 進擊ᄒᆞ야 奈翁一世ᄂᆞᆫ 郊外雀ヶ岡의 高丘에 陣ᄒᆞ고, 露帝로ᄒᆞ야금 城下의 盟을 爲케ᄒᆞ고져 ᄒᆞ시에 露軍은 火를 放ᄒᆞ야 全市를 焦土에 歸케ᄒᆞ야 大에 佛軍을 苦케ᄒᆞᆫ 것인 ᄃᆡ, 此寺院은 當時火災를 免れ後ち修繕을 加へたものである。

莫斯科의 劇場

露國의 劇場으로는 와세되도로라도의 二大都府를 重要히 하는것이오, 他의 小都會의 劇場에 하야는 히 의 인 디 見其閑散을 窺할너라 그리서 而して 露國의 劇場에는 舊式芝居や 生硬な 歌舞伎芝居도 인고 あれば 又曲歌各種의 流派를 集めた 最히 進步的의것도 잇서서 사의 의 ものも ある、恰かも 我が 東京의 帝國劇場과 歌舞伎座의 如き 流派や 又は 活動寫眞의 日本劇과 西洋劇과의 가잇슴과 하고 은 差ある が 如く 或は 男優、女優等其演劇의 主義や 趣向도 自ら 多種多樣의것도잇는 디 批評すれば 露國獨得의 形式은 發揮하여 스나 居るが、西歐諸國의 劇場에 하야는 規模와 其藝術과의 發達은 未だ 遲々たるの 感이잇더라 ある、然れども 露國의 劇界로는 其의 特色으로 稱すべき은 中央集注主義であつて 且つ 飜譯物의 脚本などは 一般에 歡迎되여 스니 て居る、故로 西歐第二流의 俳優는 屢々 莫斯科나 或은 페트로그라드의 各劇場을 巡遊하야 して 大히 喝采를 博すと 다 云ふことである、尙 近時 此二大都府의 帝室劇場과 如き 것은 は 附屬俳優學校의 機關을 場內에 設けられ 에 하야 毎年 多くの 優秀なる 俳優을 出して 居ると 云へば、稍々 過渡期로 되야 ありし 露國의 劇界도 早晩 革命을 見るならん と 期待され 더 て 居る、此の 如き 狀態와 의 으로 自然一般の 觀客도 漸次 其趣味를 向上하야 來れる 결과 은 現今 帝室劇場 등의 などの 組織은 稍々 舊式에 過ぐる とき 다는 批難의 聲로 高く、爲めに 各劇場과 の 如き 것은 は 漸次 改善하야 して 西歐劇界의 粹를 蒐め 益々 斬新의 組織을 企圖하고 且つ 俳優의 能率과 技術의 向上에 全力을 傾注して 居る と 云ふ 는 고 로 であるから、近く 其革新을 實現せらるる 것 더라 であらう。





バーク의 油田

바ー구의 バークの大油田은 裏海의 西岸 가부시에론 アプシェロン半島의 南端에 在하니, 最近의 調査에 依하면 每年約五億萬布度의 石腦油를 産出하니 油井實로 三千에 達코저하는 最히 大規模로써 되는 바ー구에 있어서 世界有名의 油田으로 天下에 知하여 있는 由來此地는 彼得大帝의 世에 至하야 海港을 得하야 盛히 海軍을 擴張하고 一七二三年南下하야 波斯를 討하야 裏面의 南岸地方을 獲得하고 更히 一八〇六年西岸一帶는 露國의 領有에 歸하야 以來益々海軍을 擴張하야 現今四海艦隊의 中, 裏海艦隊는 아스도라한을 根據로 定하고 要塞를 築하야 裏海沿岸의 警衛에 任하는 重要의 地點이라 最近의 人口約二十五萬을 數하다 云하니 而して 到る所의 油田은 猛烈한 勢로써 瓦斯를 噴出하니 其最히 盛한 것은 바ー구에 있어서 今作業도 益々發達하야 産出油는 鐵管으로써 各油井에서 直接製油所에 送하고 又鐵道를 敷設하야 海陸共에 輸送機關도 完備하야 到底我が寶田其他의 比할 바 아니라 重油의 性質로 하는 綠色을 帶하야 可燃性에 富한 液體로 成하고 從하야 製油의 技術도 益々發達精巧를 極하여 殊히 디요루니 고로쓰도의 ノー베루 精油所의 如き 바ー구의 最大한 規模로 하는 精油의 年額 約七千萬布度에 達하고 바ー구 全體의 總産額에 對하야는 頗る莫大한 것으로 하여 世界第一이라 稱せらる、 殊히 油質의 優良함에 하야 價格도 亦比較的 低廉한 것으로써 故를 以하여, 近時益々需要도 激增하야 來り露國重要輸出品中의 一에 加하여 있다 居る。

와루소ー 市
ワルソー市

와루소ー는비스쓰라 河畔에있스니 ワルソー市はビスツラ河畔にありて元波蘭王國의舊都이라、波蘭은其歷史古く、十八世紀의始め中歐에는佛蘭西隆昌의運成하고、西歐에는西班牙王位相續의亂이있슴에 當하고、東北歐洲에 於ける均衡을一轉したるは露國과瑞典의爭衡인데、露西亞가世界의强을以て誇るは實に此時に始つたのである、爾來北歐의大戰爭屢々起하야、始め波蘭은瑞典王十二世의奪ふ所と되고、なり其後幾多의變亂을經て遂に波蘭을露、普、墺三國에서分割すること、なり、更に一八一四年維也納會議에於て波蘭王國의首府として露國에併合せられたものである。

此地는우이스디유라 河左岸의小丘에位置하니 人口約九十萬에達하는、露國第三의都會이오 又波蘭地方商工業의中心たるのみならず歐洲大陸의中心을占めて居る、市中은舊市街와新市街와로分れ 一般家屋의構造其他의外觀은露西亞風과는趣を異にし寧ろ西歐式에擬せるの觀があり、波蘭人은氣質도稍々强剛의風あり 露國의支配下에屬するを不快として屢々叛亂을起すこと이있스나 遂に鎭壓せられ、現今에는獨逸에近接せる軍事上의要都로써堅固의要塞를築かれてある、此地는비스쓰라河의汽船航行의終點에在を以て水陸의交通에至便なるが爲め 商工業最히繁盛을極め 宮殿、總督府及び世界屈指의와루소ー大學等이있더라、然るに這回의歐洲戰亂에於て露國의四大要塞의一이라と稱する堅壘도遂に獨墺軍의占領する所となつた。





와루소ー의 ワルソーの王宮

波蘭은 獨逸과 墺國과의 間에 介在せる 位置에 인ᄃᆡ 軍事上 最ᄒᆞ 重要의 所이라 이다、此故로 露國은 常히 軍備를 怠치안코 ᄒᆞ지 아니ᄒᆞ며、殊히 首府의 附近에는 幾多의 堅壘를 築ᄒᆞ얏ᄂᆞᆫ데 卽ち 세스디유라 ビスチユラ 河右岸의 우오디오루기이 ウヲヂヨルギヰ 우스구 ヴスク、와루소ー 비스디유루 ワルソー及び ビスチユル 河兩岸의 이우안 イヴァンゴロッド、바구 バク 河岸의 구시스도 グレスト、리도우스기ー リトヴスキー 等에 堡壘를 設ᄒᆞ야 最ᄒᆞ 嚴重의 防禦를 施ᄒᆞ얏고 ᄒᆞ며、殊히 歐洲大戰으로 되야 露軍의 東普進入에 際ᄒᆞ야 直히 本國과의 連絡을 固ᄒᆞ야 日夜防備에 努ᄒᆞ얏ᄉᆞᆫ 것이더라 이다。

王宮은 마소우이아 マソヴィア 諸侯의 創建된 것이라 이다 ᄒᆞ고 云ふ、爾來屢々改築ᄒᆞ야 內外共에 結構壯麗를 極ᄒᆞ야 시기스문도 シギスムンド 三世以來歷代의 宮殿에 當ᄒᆞ얏ᄉᆞᆫ 것이 더라 이다、此宮殿內의 重要ᄒᆞᆫ 寶物도 치아니ᄒᆞ나 ᄒᆞ지 아니ᄒᆞ나 ᄒᆞ지 아니ᄒᆞ나 ᄒᆞ지

우라지미ー루 ウラジミール大學

우라지미ー루 은 우라지미ー루 의 露西亞의東南部ドニエープル河の流域なるキーエフと 稱する 所にあり、此地は 舊都の一 にして 宗教、文學도 盛하고 殊に 希臘敎徒의 如き 것은 「神聖都府」라 俗稱하야 最히 尊崇하는 所이더라 である、製糖或は 皮革의 製造를 始하야 商工業도 繁盛하고、又軍事上 重要의 地點으로 堅固의 堡壘를 築하고 있다、우라지미ー루 은 우라지미ー루 大學은 市立劇場과 相竝하야 天空高く 聳ゆる 宏壯의 建築物이 질바를 더라 である、同大學은 一八三四年 우이루나로브터 現在의 キーエフに 移された 것 인 데 이 것을 學生은 常히 三千餘를 有하고 生物學、古泉學其他 重要의 學術을 授하니 其의 研究資料의 豊富한 것은 실로 아니라 みならず、附屬圖書館의 如き 것은 數十萬餘의 珍奇なる 書籍을 秘藏하여 있다 である。

元來露國은 十中의 八九까지 農民이 大部分을 占함을 從하야 初等敎育이나마 에 普及하기 치못하니 도이다 書くこと 能はざる者도 あると 云ふ 程である、故로 大學其他 專門學校의 敎育을 受하는 者 甚히 稀하야 而 그러나 是等 高等敎育을 受くる 學生의 多くは 自由民權思想을 抱하야 遂에 虛無主義或は 無政府主義를 釀成する 傾向이 잇스니 あり、蓋し 虛無黨의 理論은 獨佛의 哲學批評或は 社會主義等에 胚胎하고 之に 露國의 政治、經濟、宗敎、人民等의 社會的性質을 附和하는 一種의 特色을 與へたる ものである、彼等은 爆烈彈을 武器로하고 陰謀暗殺을 事로하니 現今의 黨員이라는 이는 少氣銳의 男女로 三十歲以上의 者는 稀하고 其의 多くは 中年以後に 至り 年을 思想變轉하야 眞面目인 實際家로됨이 여이라 なるを 常とするが、兎に角此大學など 又혼것도 政治上의 策源地로 目하더라 せられて 居る。





露西亞의 舞踏

舞踏은 夙히 歐米에 於셔 盛ᄒᆞᆫ 게로 엿스나 露國의 舞踏은 特히 妙技를 極ᄒᆞᆫ 것이라 ᄒᆞᆯ 만ᄒᆞ며 世界何れの國을 問ᄒᆞ지 一般의 風俗을 觀察ᄒᆞᄂᆞᆫ 데 ᄒᆞ야 必ᄒᆞ 이잇스면 치못ᄒᆞᆯ 이라 ᄒᆞ며 露國과 ᄀᆞᆺ치 ᄒᆞᆫ 것은 의 特長이 잇슴은 ᄒᆞ야 總히 巴里風을 擬ᄒᆞ 야 ᄒᆞ며 ᄀᆞᆺ치 ᄒᆞᆫ 것은 ᄒᆞ

도무스구 トムスク市

도무스구는 도무스구 トムスク省廳의 所在地인데 오부河의 支流되는 도무トムスク市는 西伯利亞 도무스구 トムスク省廳의 所在地인데 오부河의 支流なるトム河畔에 在る西伯利亞中의 第三에 位하여 人口約十二萬餘에 達하여 居る、人種은 其種族頗る複雑なりしが古來の土人甚だ少なく、今や殆んど露西亞本部의 主인 스라쑤의 移住民이 大多數를 占めて居る、而して 유티셔たるスラブ族の 移住民が大多數を占めて居る、而して 西伯利亞의 政治는 地理上으로 西部西伯利亞、東部西伯利亞、黒龍江州及び沿海地方에 別하여、亦 行政上總督管區에 分하니、各總督은 其管轄區域의 文武統治權을 有하고、各總督 管區는 省、州에 分하야 知事之가 長官으로 되고 又省、州를 細別하야 府로 하고 府長을 置いてある。但しトボルスク及びトムスクの二省에 限하야 露西亞國內 務省의 直轄로 하였더라 도무스구의 二省に限り露西亞國內 務省の直轄となつて居る、此地는 支線에 依하야 西伯利亞鐵道에 連絡하고 各種의 製造工業도 盛히 하는데 約百餘의 製造工場은 何れも煙筒林立하야 黒煙을 吐하고 居る、殊に 西伯利亞中唯一의 도무스구 トムスク大學에서 主로 하은 法科、醫科의 二科를 敎授하고 又之에 附屬する 博物館、動物學陳列所、植物園、鑛物館圖書館等이 있는데 西伯利亞中學術의 淵源地로 하여 誇れる 地である、元來 西伯利亞는 廣漠たる 面積에 比하야 人口 甚だ 稀薄하니 露國은 夙히 東亞殖民政策에 鋭意하여 つあるのであるが、日露戰爭 以後 益々 盛んに 移民을 送하야 殊히 西伯利亞鐵道의 完成과 共히 幾多의 便宜를 與하야 一般移民의 奬勵에 努めつゝあるを 以て、近時 西伯利亞의 人口는 每年 著しき 增加率을 示하여 居る、露國이 此의 如き 大なる 志望으로써 東亞殖民政策에 汲々たるは 頗る 注目すべきものがある。





뻬도흐빠우로우스구 페트로파우로우스크市

뻬트로파우로우스크市는 堪察加半島의 東南岸에 있어서 아쏘디에 臨み天然의 良港에 して又半島의 首府となつて居る、此半島는 西伯利亞의 東部에 位置して南方に突出し、베ー린구와 오호쯔루와를 分ち其南端 로바도가 岬은 幅一里半의 占守海峽을 以て占守島と相對し、南北의 長さ 約二百八十哩、幅은 最も狹き所で三哩、廣き所는 百哩에 達し、軍事上重要地なるが爲め、오호쯔구에서 로 一八四九年オコツクより軍港을 此地に移して一時最も繁盛을 極めたりしが、一八五四年八月구리미야戰爭의 時英佛聯合艦隊의 來襲을 受け猛烈なる砲彈을 受けて要塞는 悉く破壞せられた、然れども露國艦隊을 殲滅すること能はず只運送船或は帆船의 拿捕된 것이더라 고 尙英佛艦隊는 更に陸戰隊을 上陸せしめて敵陣을 一擧에 衝かんと計りしも、當時此地의 知事たりし露國海軍大佐 사우오이고가 勇敢을 奮ひ死力을 盡して防戰最も努め英國의 뻬ー가ー大佐를 始め多數의 戰死者를 出さしめ、遂に敵을 擊退하니、當時 사우오이고는 大に偉勳을 奏し名聲을 博したのであつた、此戰爭後露國은 更に堅壘을 築き益々防備를 嚴にしたのであるが、翌一八五五年五月에 至り再び聯合艦隊의 襲擊する所となり猛烈なる砲火를 浴びて切角改築した堅壘는 又も破壞되는 運命에 陷り翌年ニコヲイブスクに軍港을 移したのである、爾來此地는 大に衰へ今や一小邑なるに過ぎず、我が北海道函館에서 理의 地인데 邦人의 在留者도 있더라 도 ある。

浦鹽斯德

浦鹽斯德은 元淸國의 領土이더니 一八六〇年의 北京條約에 據하야 露西亞의 領土로 되엿더라

此地는 세데로세-다-에 在한 彼得大帝灣에 臨한 軍港及 商港인데 碎氷船에 依하야 冬季도 船舶의 出入함이 可하고 西伯利亞의 沿岸及 日本의 諸港과 航路相開하며 海底電線을 長崎에 通하야 있는 現時東洋에 於한 露國唯一의 軍港으로 又要塞地이더라

이라 稱하야 鰊鮭의 漁獲最히 多하니 東方近海는 世界의 三大漁場이라 되엿더라

日露媾和條約의 結果 我國의 漁夫가 本域東海岸의 漁業에 從事하야 來하는 者도 頗히 多하더라

西伯利亞鐵道는 東淸鐵道와 相待하야 歐亞交通의 幹線이 되야 本域의 開拓을 助하는 것인데 長하니 浦鹽斯德과 航路의 中心으로 되엿더라

道는 更히 大連旅順에 延長한 것이나 今에 長春以南의 鐵道는 我國의 領有로 되엿더라

東方近海는 世界의 三大漁場이라 稱하야 鰊鮭의 漁獲最히 多하니 日露媾和條約의 結果 我國의 漁夫가 本域東海岸의 漁業에 從事하야 來하는 者도 頗히 多하더라

市街는 甚히 整齊치 못하나 西伯利亞鐵道의 完備와 共히 東亞及 西歐에 至하는 大陸的鐵道連絡의 至便을 開하야 東西의 來往漸히 繁榮을 加함과 共히 市街의 設備도 大히 面目을 更하야 來하더라

貿易으로 我國에서 輸出하는 것은 綿織物、蔬菜、果實等인데 近時日露의 關係益々緊密하야 浦鹽斯德에는 我가 總領事를 置하고 니고라이에프스크에는 領事가 駐在하야 居하더라。





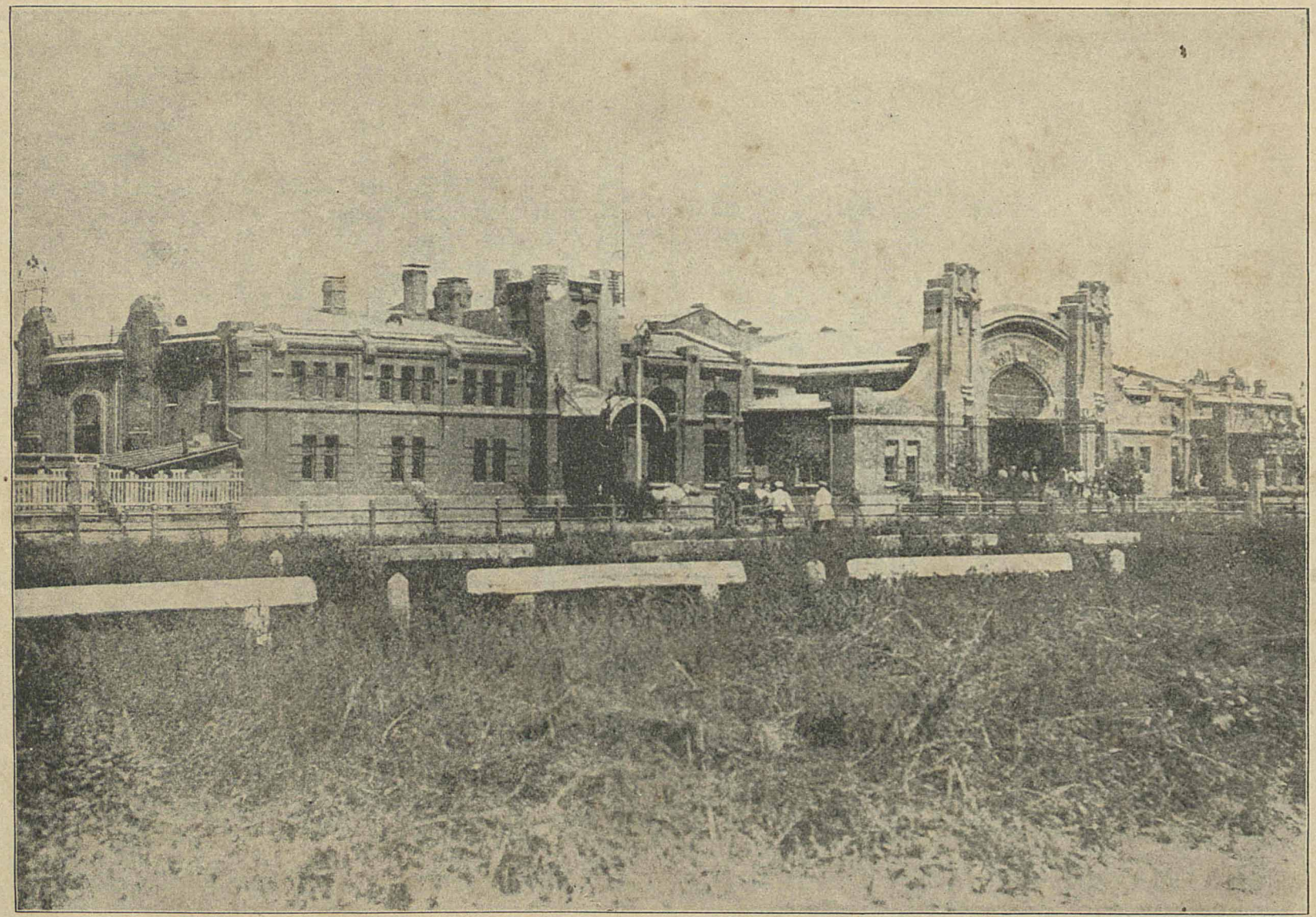
西伯利亞鐵道

西伯利亞鐵道는 延長實로 五千三百九十一哩에 達하엿도다 하면 디에리야빈 스구이루구ー쓰구 れば、チェリヤビンスク、イルラーツク間三千四十九露里、莫斯科、チェリヤビンスク間二千五十露里、이루구ー쓰구에서만지리야에 하는 全長一千四百二十四露里의 後貝(ザ・バイ)加爾鐵道、滿洲里(マンヂュリヤ)에서 쓰구라마디나야에 하는 一千三百八十八露里의 東淸鐵道、쓰구라마디나야에서 ボグラニチナヤ에 至하는 二千十七露里의 烏蘇(ウスリ)里鐵道等、莫斯科에서 디에리야빈 스구를 經由하야 浦鹽斯德에 至하는 徑路인 디라 와 히 히 의 最히 規模의 擴大를 交通機關의 完備된 것은 とである、此の如き 로구라도의 聯絡을 計하고 産業上 經濟上으로 國의 政治上 國內를 統一하야 페트로グラド 되얀 아니라 도 る 物質의 輸送其他에 於하야 露國의 利益莫大가 될 것인 디로 가 主로 되야 海上萬里의 波濤와 鬪하야 旅行을 常作하는 이가 比較的 短時日에 して 歐洲大陸을 經하야 西歐에 達함을 하고 通信의 如き 亦迅速히 에 其用務를 辨하는 가 全世界의 交通機關으로 新生面을 開拓된 것이라 られたのである、此寫眞에 揭げたるは ニコライエフスク 附近にしてオビ河에 架하니고라이에후스구 인 디 오비에 하는 有名な 大鐵橋를 撮影したものである。

哈爾賓停車場

此地는 元支那人의 一村落이더니, 松花江에 臨み水利의 便이잇슴에 加へて、一九〇三年에 至り 停車場의 完成함과 同時에 漸次繁華를 爲したのである、市街는 新市街、舊市街及び埠頭とに分れ、其新市街는 露國의 經營에係る、諸官衙及び我が總領事館을 始め 各國領事館이며 호텔 等은 多く 此所에잇고、又舊市街의 哈爾賓은 新市街より 約一里를 隔て 居る、尙松花江에 沿ふて 埠頭의 北方에 傳家甸이라 云ふ 支那人의 市街가잇서서 此地에는 露清銀行女學校、寺院等何れも 宏大な 露國風의 建築物이잇더라

回顧すれば 哈爾賓停車場의 落成した 翌年이 日露의 大戰을 開いた 年であつて、當時露軍의 爲에는 此停車場은 最も 樞要의 地點であつた、南山、旅順、大石橋、得利寺、遼陽、奉天等에 送る 露의 大軍은、露本國에서 悉く 此地를 經て 東清鐵道南線으로 輸送したのである、又奉天大會戰에서 敵의 根據를 衝いた後は 鐵嶺長春を經て 遠く 哈爾賓을 屠らんとは 我が同胞擧げて 期待した所であつて 此地는 深く 我が國民에 印象을 與へた 地である、南滿洲鐵道는 長春에 於て 東清鐵道南線과 連絡し 本線은 尙西方滿洲里에 至りて 西伯利亞鐵道と 稱せらる、此鐵道에 依りて 歐洲에 行くには 敦賀、浦鹽間을 往復する 露國義勇艦隊又は 大阪商船會社의 汽船、或は 門司에서 大連을 經て 南滿洲鐵道에 依るを 便とす、哈爾賓은 伊藤公의 鮮人安重根의 投じた 爆彈에 中つて 此地에서 悲壯な 最後를 遂げられたることは 共に 吾人의 腦裡에 感慨深きを 覺ゆるのである。



英吉利

英吉利는 歐羅巴大陸의 西北에 位하고、太西洋의 東北部에 橫ᄒᆞᆫ 島國인ᄃᆡ 大부리덴及び아이란도의 二大島其他散在せる五百餘의 諸島嶼로 成ᄒᆞ야 四面悉く海를 以て圍むこと我が日本と同じく、東은 北海를 隔ᄒᆞ야 노루웨이、덴마ᄅᆞ크、丁抹、獨逸、和蘭、白耳義에 對ᄒᆞ고、南은 一衣帶水의 英吉利海峽及びドーバー海峽으로 브터 佛蘭西와 相對ᄒᆞ고、蘇格蘭、英蘭、威爾斯의 三部로 成ᄒᆞ야、大不列顚國이라 稱ᄒᆞ니、面積約八萬八千餘方哩、更에 世界各方面의 領地及び保護地를 加ᄒᆞ면 總計千百五十三萬五千六百八十方哩餘를 算ᄒᆞ야 實로 全地球의 五分의一을 有ᄒᆞ고、人口無慮四億餘로 註せられ世界總人口의 約四分의一을 有ᄒᆞ엿더라。

英國은 始めケルッ人의 一派인부리돈에 住せしも羅馬의 시ー사ー에 依ᄒᆞ야 征せられ爾後四百餘年間羅馬의 半屬國이더니、後ち幾多의 變遷을 經て佛國의 北部인노루만디ー公ウイリアム은 ノルマン人을 率ねて入寇し、遂に此國의 王位에 卽き、ウイリアム一世라 稱ᄒᆞ고、次で十三世紀의 始에 至ᄅᆞ야 政治外交其當을 得지못ᄒᆞᆷ으로 爲め貴族間에 屢々論議起ᄒᆞ야 遂に一二一五年舊慣에 基ᄒᆞ야 大憲章에 署名ᄒᆞᆷ으로 ᄃᆡ야 英國은 始めて憲政의 基礎를 確立ᄒᆞ엿나니 ᄒᆞᆫ 것인ᄃᆡ、是實로 世界에 於ける立憲制度의 嚆矢であつた、爾後政治思想의 發達에 隨つて漸次民權擴張論各地에 勃興ᄒᆞ야 遂に州及び市의 代議士를 召集ᄒᆞ야 議會에 列せしむることゝなり、英國人民은 始めて玆에 參政權을 得ᄒᆞᄂᆞᆫ 同時에 上下兩院의 組織となり、エドワード一世以來代議制를 確立ᄒᆞ엿더라。

政體는 立憲世襲君主制인ᄃᆡ 立法權은 國會에 屬ᄒᆞ야 上下兩院에서 成ᄒᆞ니、上院을 貴族院、下院을 庶民院(衆議院と同じ)이라 云ᄒᆞ고、行政權은 君主이나 實際는

政黨에 依りて存立せる內閣である、亦租稅를 賦課하야 歲入을 議決하는 權은 下院의 獨占에 歸하고 內閣大臣은 公務上의 處置에 就き 下院에 對하야 責任이 있더라、英國政治組織의 特色이라는 것은、卽ち政治로써 單히 權爭의 具로 하지 아니하는 것이더라、性來英人은 人을 治함을 求하고 己를 治함에 努하는 것이다、又政治家는 責任의 自覺으로써 最大主眼으로 하고 而히 憲政의 趣旨에 背戾하야 醜體를 暴露함과 如き 것은 犯하지 아니한다、但し權力集中의 不完全으로 緊急政策의 實現하는 데에는 往々長日月을 要함과 如き 若干의 弊害도 있더라。

國防으로는 이오 且つ 世界各地에 領地를 有하고、加하야 海上權의 掌握에 因하야 專ら 海軍의 擴張을 計하야 今や 其의 勢力 偉大함이 世界第一의 海軍國으로 稱せらる、但し 陸軍에 至하야는 他의 歐洲大陸諸國의 兵員에 比하야 僅少한 것은 아니라 主로 하야 應募兵을 用하고、徵兵制度를 採用하지 아니하는 것은 此國의 缺點이다、歐洲戰亂勃發以來 徵兵制度의 必要를 感せざる 者는 未だ 其의 施行에 至ら ず、今や 兵制改革論은 國內에 到하는 所에 勃興하야 つゝ ある 도 있으나、

交通은 最히 發達하고 殊히 鐵道와 如き 것은 西紀一八三〇年 リバープールより マンチェスターに 至る 線을 敷設한 것은 世界에 於ける 鐵道의 嚆矢이다、現今의 如き 것은 國內에 到る 所에 蜘蛛의 巢의 如く 開通하야 延長約二萬五千餘哩에 達する 과 如き 것은 海國에 加へて 廣大의 領土를 有함으로써 以て 著しき 發達을 來하고 商船과 如き 것은 其의 噸數에 於て 世界商船의 約四割을 占하야 居る。

産業의 發達과 其旺盛なること 亦實로 世界第一이라 稱せらる、是等은 卽ち 英國

이 의 가 歐洲의 優良地를 占하야 鑛産、鐵其他의 産出多く、하고 工業에 便을 與하고、又廣大의 領地에서 廉價에 無限의 原料를 産出케하고 의 資本豐富にして且つ商工業の材幹に富み、하고 港灣多くして運輸に至便、하야 海軍力으로써 以て貿易을 保護するもの等이 偉大の發達을 促した主要の原因である、이라 貿易總額平均約百十億餘の巨額に達し、하니로 實に全世界貿易總額約五分の一を占めて居る。

人種으로는 아리안 種의 一派なるチュトン民族に屬し、인 디유돈 에 하고 住民의 大部分은 愛爾蘭(アイヤランド)及び蘇格蘭(スコツトランド)の人民はケルト種に屬す、은게루도 에 하니 英人の一般氣質は堅忍着實にして克己心に富み、하고 自尊の心は은잇스나 あるが虛榮心なく、이업고 一見應揚なるが如き함과 함도 를 함 事を處するに當りては果斷銳敏にして且つ勇氣と膽力を有し、하야는 이 하고 至誠을 尊ぶ、하고 亦英人は祖先の風을 存續し 하야 服裝の如き함과 함도 를 함 華美を好まず專ら實用을 主とし、치안코 하야 紳士は常にフロックコート、로쓰구고ー도 하후로 婦人の服裝は袖短く 하고 背廣く 하야 巴里婦人과는 가 趣を異にす。하더라

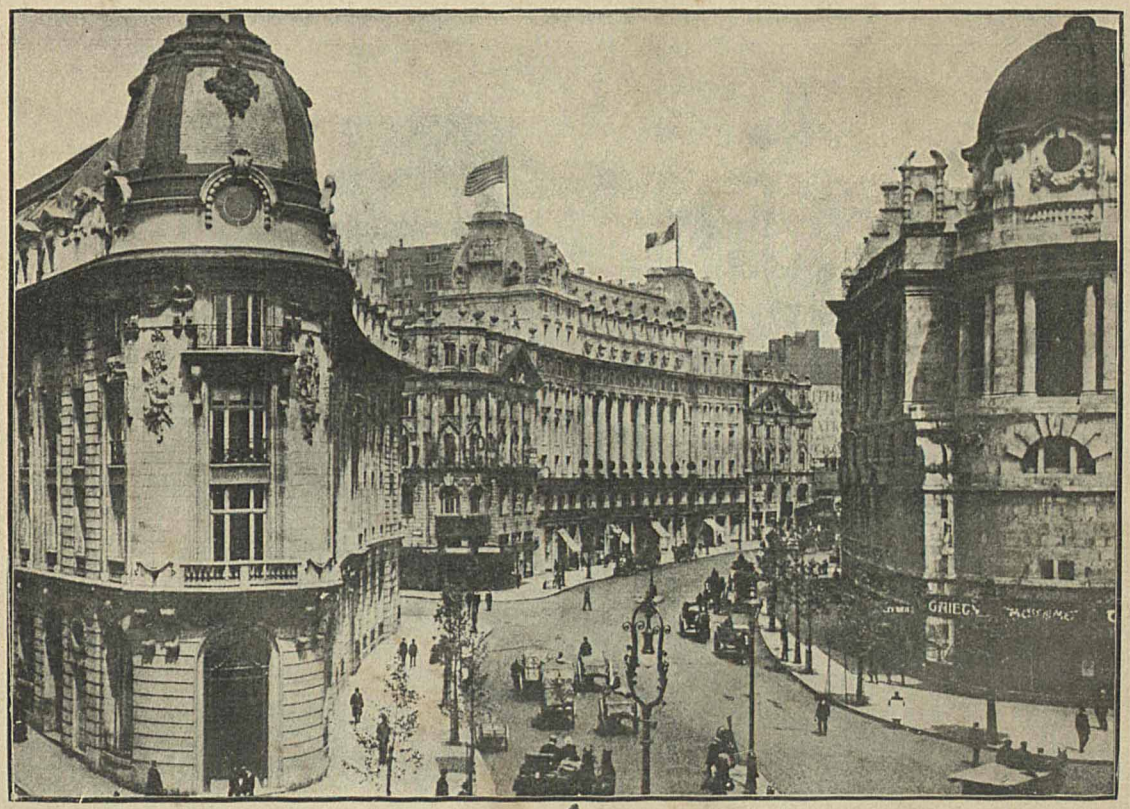
宗教는 英蘭(イングランド)及び威爾斯(ウエルス)には新教エピスコバル宗(イギリス教會)を國教とし、에는 에 세스고바루 잉기리스 를 하고、蘇格蘭には新教長老宗(スコットランド教會)を國教とし、에는 스곳도란도 를 하야 敢て信教の自由を拘束せず、하니 而して國民は保守的性質なれば頑固なる儀式に從ひ 인즉 禮拜は嚴格に 하야 守る、하고 亦英國の教育として其美を唱ふるものは中學に於ては이ー돈、ハイローを稱し、하니 大學に於てはケンブッリチ、겜부릿디、オックスフォードを稱す、로서 是等の中學及大學は人物を以て一大綱領と し 人格の養成品性の陶冶を爲すこと에 함에 努めて居る、하더라 今や英國は世界の文明을 壓倒して其の模範と なり 又海上に活躍して世界の覇王と なり、하야 全地球上の不日沒國と 이되니 이라 誇稱して 하고 居る。하는것이더라

倫敦

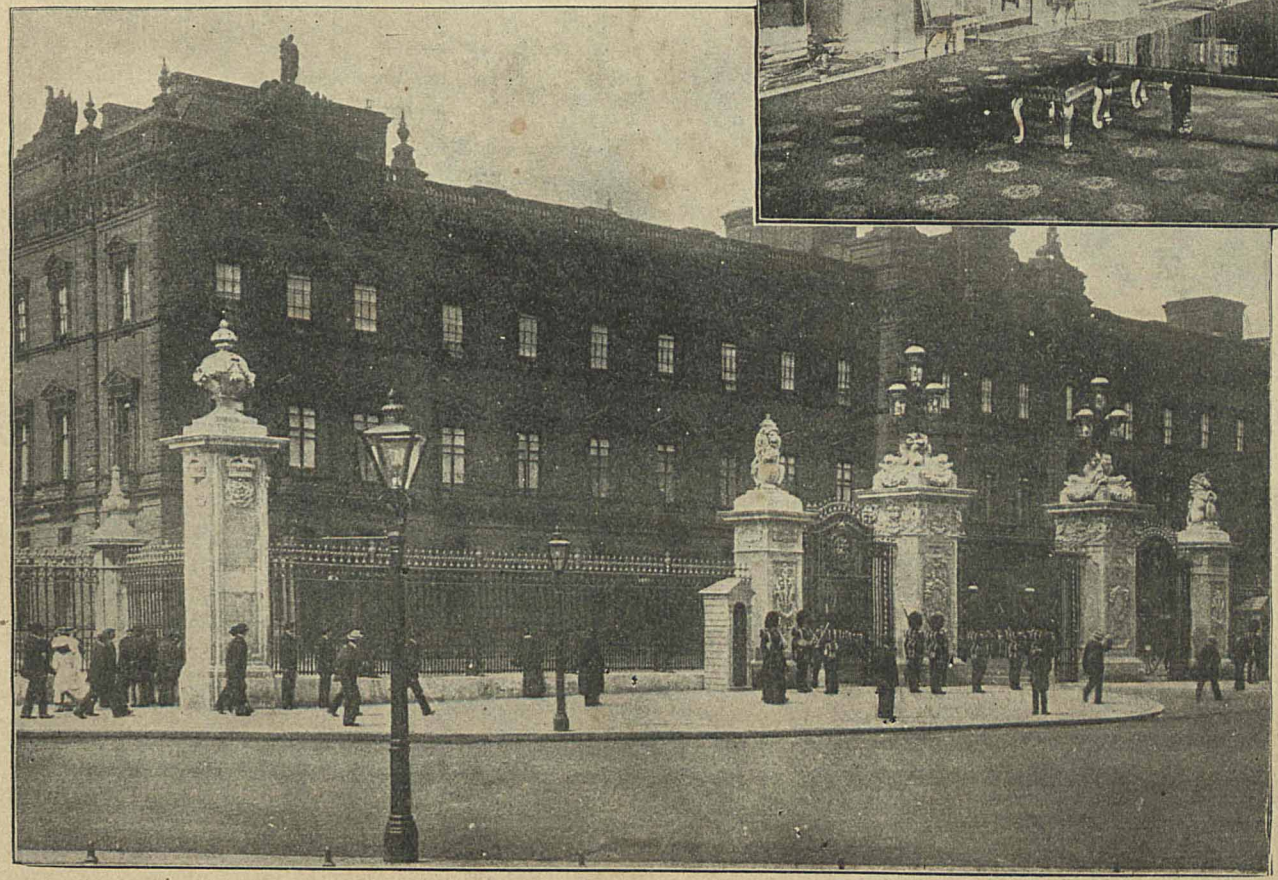
此地는 往古 켈트·브리톤 民族의 領有하는 所이더니 紀元八百〇九年에 至하야 사구손 의 에 셔구스 의 를 하고 東部 サクソン人의 有에 歸하여 ヨリ、ヨークス 王國의 首府를 置하고 玆에 始하여 倫敦이라 名稱함에 至한 所以이더라 이다。

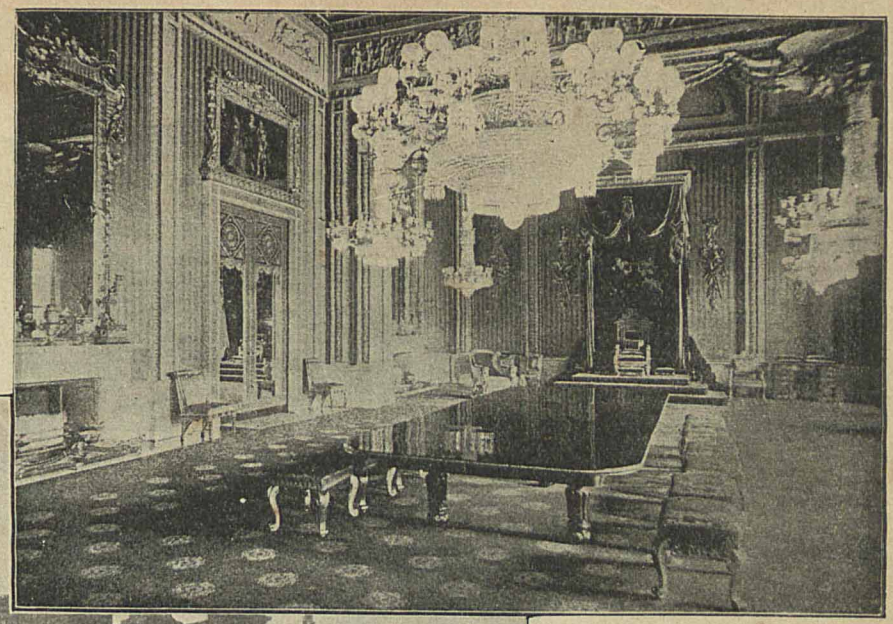
倫敦市街의 位地는 테ー무쓰 의 上流約五十哩의 地點에 在하니、十八世紀의 頃까지는 諸城門에 圍繞하여 있는 部分을 「舊倫敦」이라 稱하고 現今商業의 繁盛을 極하야 大倫敦의 中心地를 占하는 것만 아니라 東洋諸國과의 貿易上 英國中第一位로 있어 每年의 輸出額平均二十三億餘圓의 多きに 達하고、其重要한 産物은 茶、コヽア、綿布、羊毛布、鐵材、機械、麥粉等이지만、就中書籍出版業은 最히 盛하야 書舖四千五百有餘、書籍一箇年의 發行高約七千餘種을 數하고、新聞社의 數約五百六十餘의 多きに 達하고 道에 文明의 淵源地로 하여 其權威를 示하여 있다、之에 次하여 酒類의 釀造業도 又盛하야 各酒類의 輸出年額約七百五十萬圓에 及하고、其他音樂堂及び 劇場의 如き 것의 總數約四百餘를 有하고、馬車는 特히 自動車의 數를 合하면 實로 十七萬餘臺의 多きに 達한다 云ふ、以て 如何에 同市의 殷賑繁劇을 極함을 推知하기에 足하다。

大倫敦은 二十七區와 百十二敎區(パリシュ)를 包括한 것으로써 ミットルセッキス 州의 全部와、켄트、サレー、エセッキス、ハーツ 等諸州의 一部를 含하고 其廣袤六百六十萬哩、人口實로 七百五十八萬餘人에 達하여 있다。


GRIEGS







밧킹감아무 バッキンガム宮殿

英國은비구도리아의時代에히이國運의發達한것이라六十四年間에의國政의革新著대를니로실로理想的立憲君主로야된國民의尊崇을받한것이라이다。然한에女王은一九〇一年에의崩御의後ち에도와루도エドワルド七世之이를繼承하니시고、是亦聰明한君主世界平和의天使로서國民의敬慕厚く、爾來英國의國運益々隆盛을來케하여더라、一九一〇年五月同帝의崩御와히조共에現帝죠지五世位에卽하니시고、今や英國은上에聰明한君主를戴하야히上下常에協力一致以로써世界最大의勢力을有함에至하여더라、現今의皇帝는、大不列巓及愛爾蘭合衆王國의王인데히、一八六五年六月의御誕生하여더라。

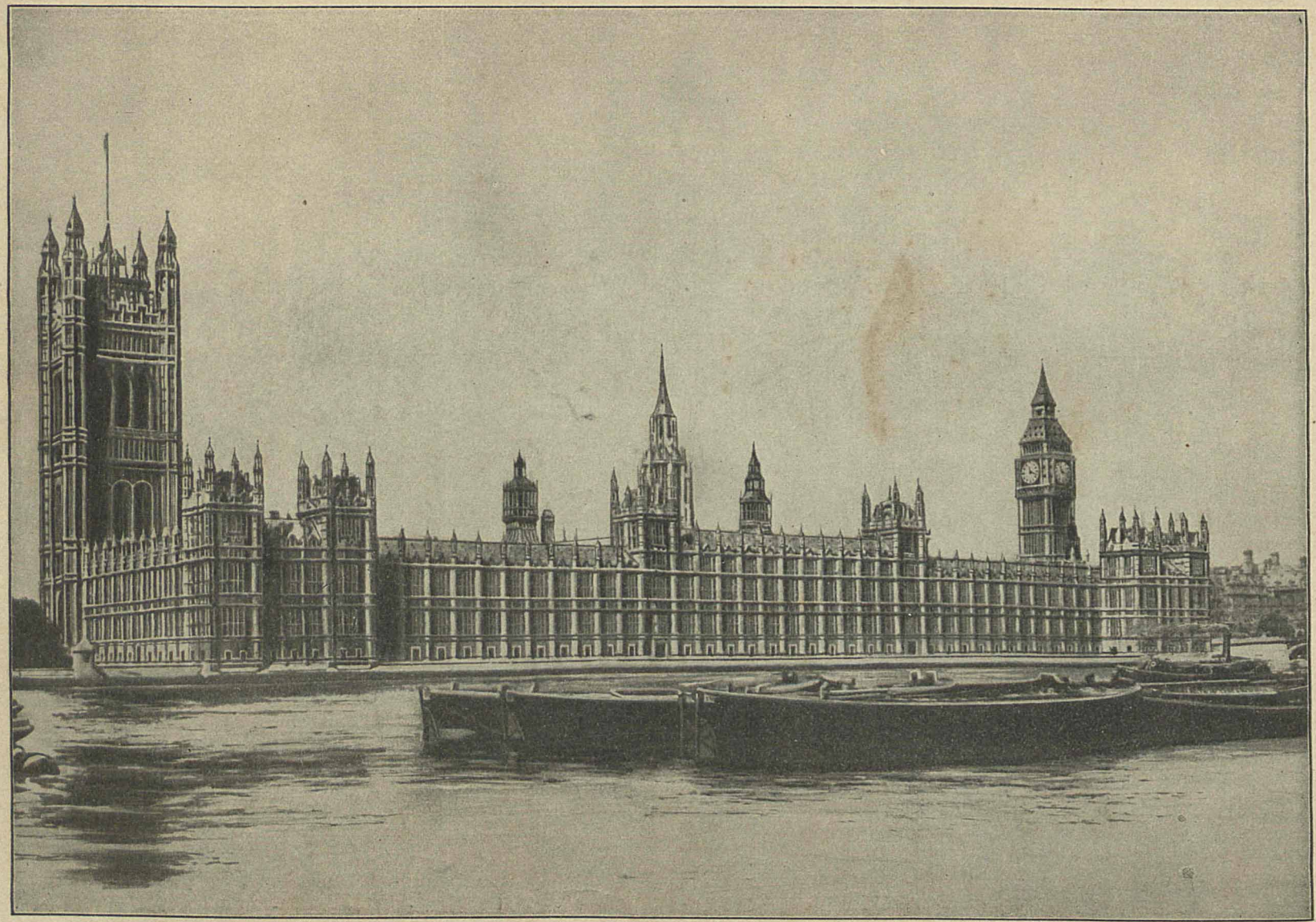
此寫眞은卽ち、밧킹감아무宮殿인데센도세ー무스公園의西端에位置하니、一七〇三年밧킹감아무公쏜세후이ー루니가ジョン・シェフィールドが建設한것인데히이니라。

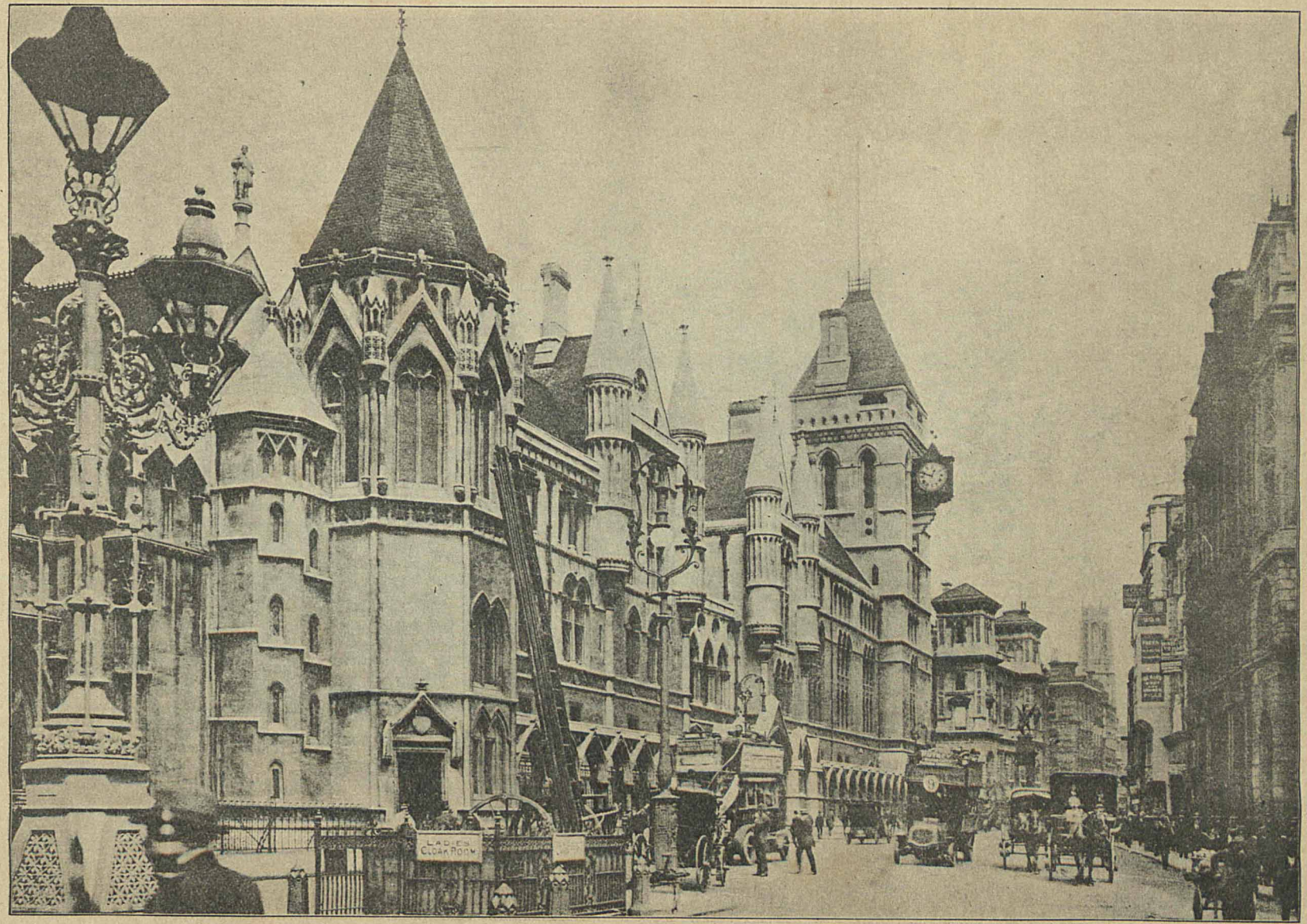
であつて、爾來皇帝의御殿으로定하니시고、東方의正面은間口三百六十呎에して一八四六年고ー쓰구ゴンック建築再興者부로ー아ブローアの設計에係하니시고、莊嚴한數多의居室及び大舞踏室などが增設되여더라の이てある。

宮殿은文藝復興式인데히して敢て外觀裝飾을施치안고さず寧ろ宏壯의感이있스니、室內의彫刻陳列室에는歷代의皇族과著名의政治家의肖像이오あり、亦庭園의方向에突出한平圓形의部分에는圖書館이오ある、玉座의間은宮殿中最히壯麗にして周圍에는戰爭을意味한彫刻其他結構精美를極하더라む。

英國國會議事堂

國會議事堂はテームズ河畔に在る多くの尖塔や保壁にて裝飾せるゴシック式の大建築であつて、チヤーレスバークの設計に係り、房室の數一千、建築費三千萬圓を要せりと云ふ、其の結構の宏大にして內外共に壯麗を極め殊に河畔に位置せるを以て風景も亦絶佳である、時計臺の高さ三百十八呎にして又有名のビクトリア塔は高さ三百四十呎あり、上院議員の數は不定であるが通常六百四十人內外とし、下院議員は英國本土四百六十五人、蘇格蘭七十三人、愛爾蘭百三人を出し其任期は七ヶ年である、又上院議員は第一世襲議員、第二勅選議員、第三官職選任議員、第四終身間選任議員、第五國會一期間選任議員の五種に分れて居る、又下院は坐席四百六十七にして議員數より少きが爲め悉く議員の出場する場合には坐席が不足する、議長席は正面の一段高き處にありて其正面中央にテーブルを一列に竝べ、左右には長き椅子が幾重にも竝列してある、其右方は政府黨、左方は反對黨所謂二大政黨の對立は英國代議制の特徵である、又議長席の後方一段高き所に美裝せる二箇の椅子あるは皇帝と皇后の席である、政府委員の席もなく、內閣大臣も代議士として議場の席に就き又演壇の設もなく、單に二黨對ひ合ふて鬪論するのである、新聞記者や傍聽席は議長の後方階上にある、英國の議會が秩序整然として一絲亂れず我が國會の如く騷擾することなきは流石立憲政治の總本家たる資格を表明して居る。




LADIES
CLOAK ROOM

高等法院

英國の法制の寛容なること、社會制裁の縝密なることは實に其極に達せりと云ふべきである、如何となれば社會制裁の最も行き屆き居ると同時に英人は一般に道德を尊ぶ性行を有し、誠實にして且つ信義を重んずるを以て大主義となすこと、如く、從つて是等善美の慣行等より法律制度も他國に比して寬大である、而して英國には我國の如く司法として主務省を置かず、其の司法行政は大法官統理の下に置かれ、大法官は又國務大臣の權能をも把持するものである、大法官の選任は總理大臣の奏薦によるのであるが、國家の優遇及び社會の崇敬は首相以上である、高等裁判所の判事は十年以上勤續の高等辯護士より採用すと云ふ。此寫眞は卽ち高等裁判所（我が大審院）にして一八八二年に開かれたのである、正面五百呎、長さ百八十呎、幅四十八呎、高さ八十呎にして、中央堂と稱するは特に建築の壯麗を極めて千以上の室を有すと云ふ。

英國が社會の秩序正しく且つ道德の善美なることは特に感心すべき一事である、つて、社會の交涉などは甚だ簡單にして或は證人なく、實印もなく確實なる契約書の作成をなすことなくして、而も完全に義務を履行するのである、故に一度悖德者若くは犯罪者は生涯社會に起つことが出來ぬ、殊に取引上に於ては極めて單簡にして、價格の多少を論ぜず、口約で前金なく又受取證なくして立派に行はれ、眞に社會道德の發達したものである。

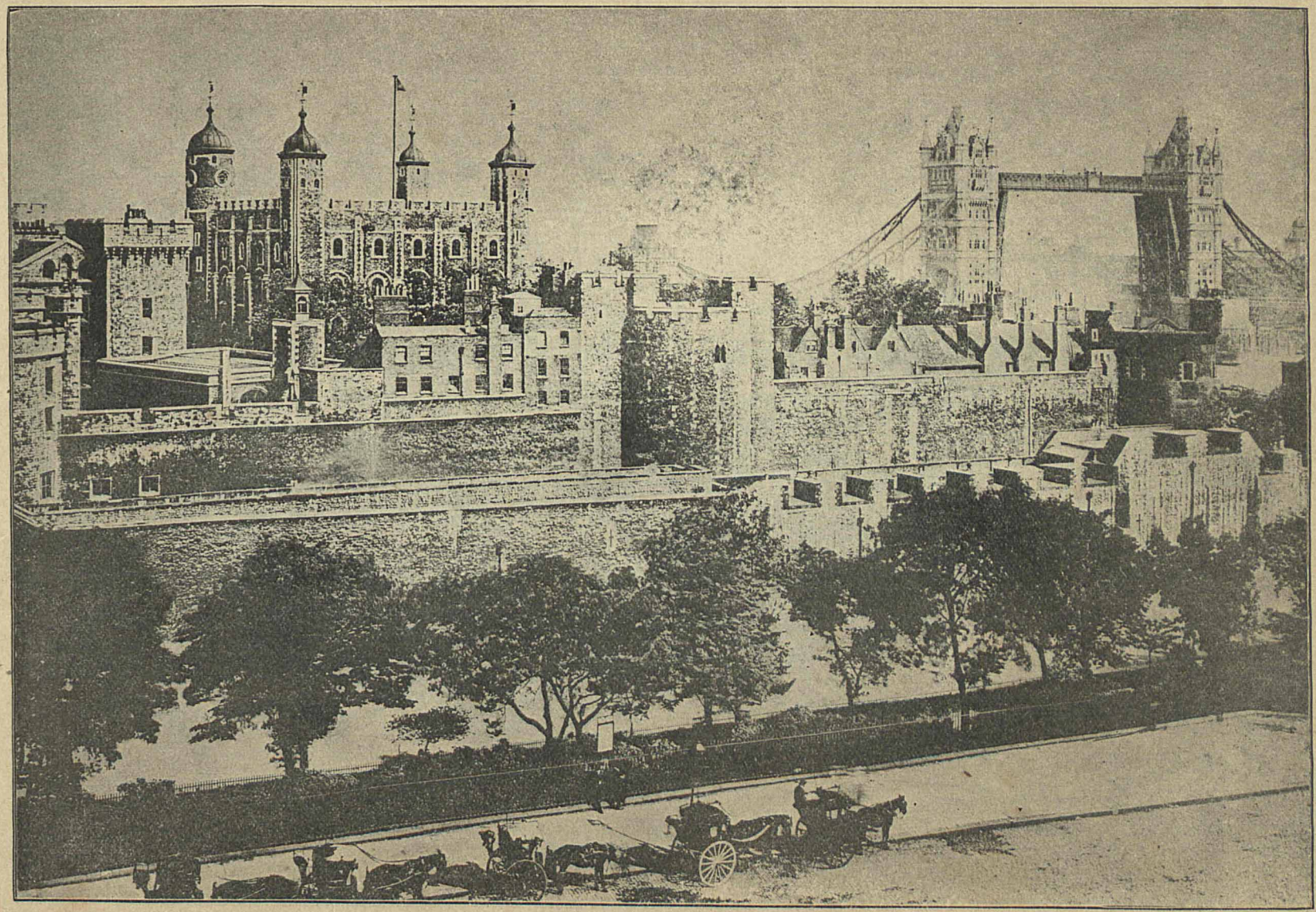
英蘭銀行

英國이 世界第一의 商工國됨과 同時에 其의 貿易의 過半은 倫敦에 於서 行하는 것이라 倫敦은 實로 世界經濟의 中心으로 千貨萬物은 世界各地로부터 此에 集散하야 自ら 世界의 一大市場됨을 아니라 世界金融의 中心으로되여 居る、倫敦埠頭의 總延長은 二十二哩인데 各棧橋의 間에 在る 水面은 二百六十町步에 及び 又七百基의 起重器는 貨物의 積卸에 頻繁을 極하야 倉庫內의 貨物其 價格幾億됨을 知치못하고 倫敦에 入港의 船舶은 一箇年平均約二千三百萬噸餘에 達하야 其의 盛觀眞에 驚くべきものである。

此地에 世界의 金融을 支配할만한 英蘭銀行이있슴은 實히 人의 知하는 所이라、此銀行은 一千六百九十四年의 建築인데、敷地는 約一萬坪을 有하고 資本金은 最初千四百萬磅에 過치못하더니、現今에 於ては資本高約一億四千五百五十萬磅餘에 達せりと云ふ、此銀行은 兌換紙幣發行의 權을 有하고、金庫에는 金銀의 正貨準備金二億을 藏하고、二億五千萬磅의 紙幣가 流通되여 居る、行員은 常에 一千人을 有하고、尙此銀行은 一日에 一萬五千種以上의 世界各國의 貨幣를 度하야 其의 相場을 調ぶるのであるから、英蘭銀行은 殆んど世界의 金融을 支配せらるゝのであつて實に世界第一의 銀行이라、此銀行의 番人은 赤チョッキに 薄紫의 燕尾服을 著用して 居るが 是は創立時代의 服裝なりと云ふ、尙附近은 取引所이더라 式取引所이더라 である。

其他市場의 中心으로 頗る 繁劇을 極하여 居る、此寫眞左는 英蘭銀行과 右는 株


IXEYS
SWAN VESTAS
61



倫敦塔

데-무스의 テームズ河の左岸水に臨みタワーブリッヂ(塔橋)の上に一段高く幾多の圓塔を成した大建築物が卽ち英國の歷史上有名なる倫敦塔である、八八五年ノルマン人の侵入せし時アルフレッド王に於て建設された古城にして、其の當時は河水深く塔内まで流れ入りしものなりしが今は空濠を存するのみである、

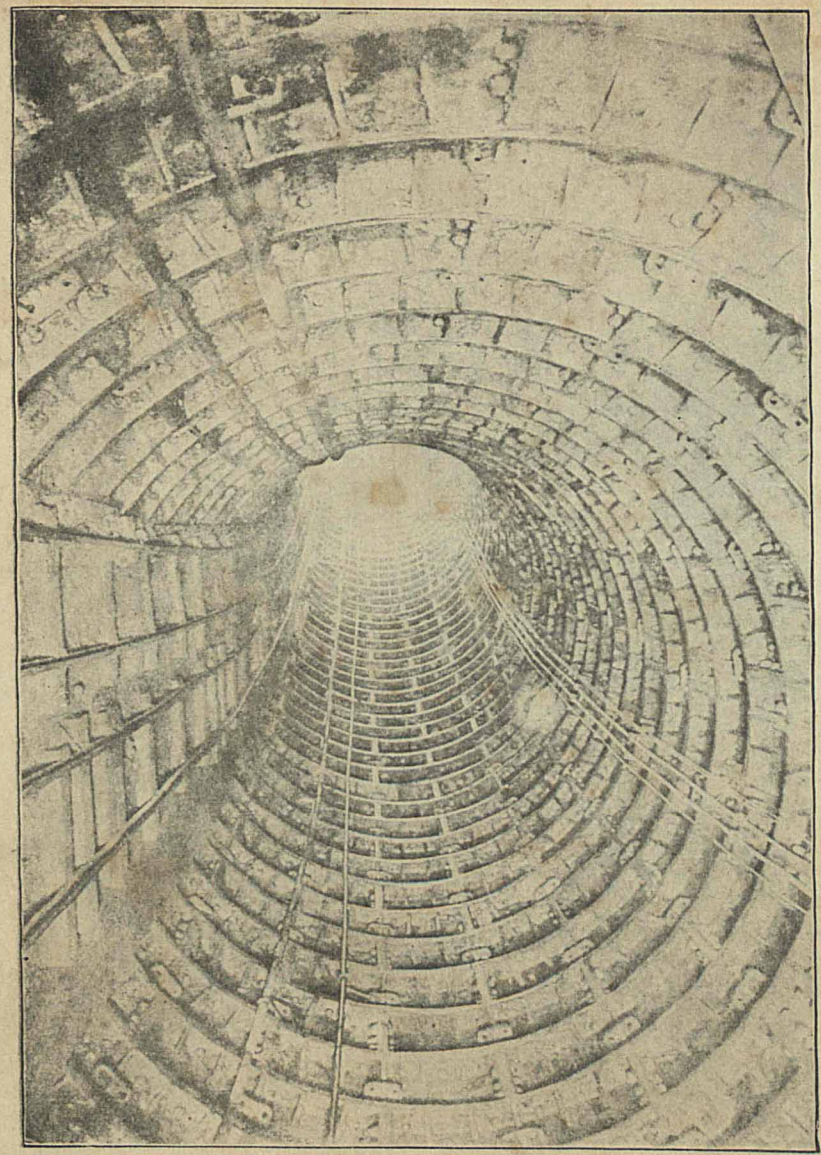
우이라야무 콘디로루 其後ウヰリヤム、コンチロル王が居住せられてより歷代の帝王また此所に居たのであるが、今は皇室の寶庫となり、古代の風俗をなしたる兵士が門衞をなし、樓上には幾多の寶物や武器等を陳列して塔と共に觀客の縱覽に供せられてある、石門を入れば數百年以來風打雨蝕の爲め赤煉瓦は變じて黑色となり、狹き石段を上れば古來の戰利品たる大砲其他の武器を陳列し、其の二階は十五六世紀の陳列所にして古代の甲冑其他の武器があり、更に別室には歷代の國王が卽位式に用ゐた衣冠がある、中にも純金に金剛石を彫刻せる王冠などは燦然として人目を射り、宛がら王室全盛の面影を想はしむるものがある、又構内の庭の中には古來多くの名士が繫がれたる牢獄と竝び、楓の樹の間に鐵網を張り廻したる斷頭場がある、是は曾て女王アン及び數人の王族が死刑に處せられたる所と標示されてある、更に庭を隔てゝ向ふ側の塔は舊時の牢獄にして其の獄舍の壁には古來幾多の名士が國事犯罪で永き間入獄中に爪で彫りたる文字や繪が明かに存し、人をして當時の慘況を想はしむ、

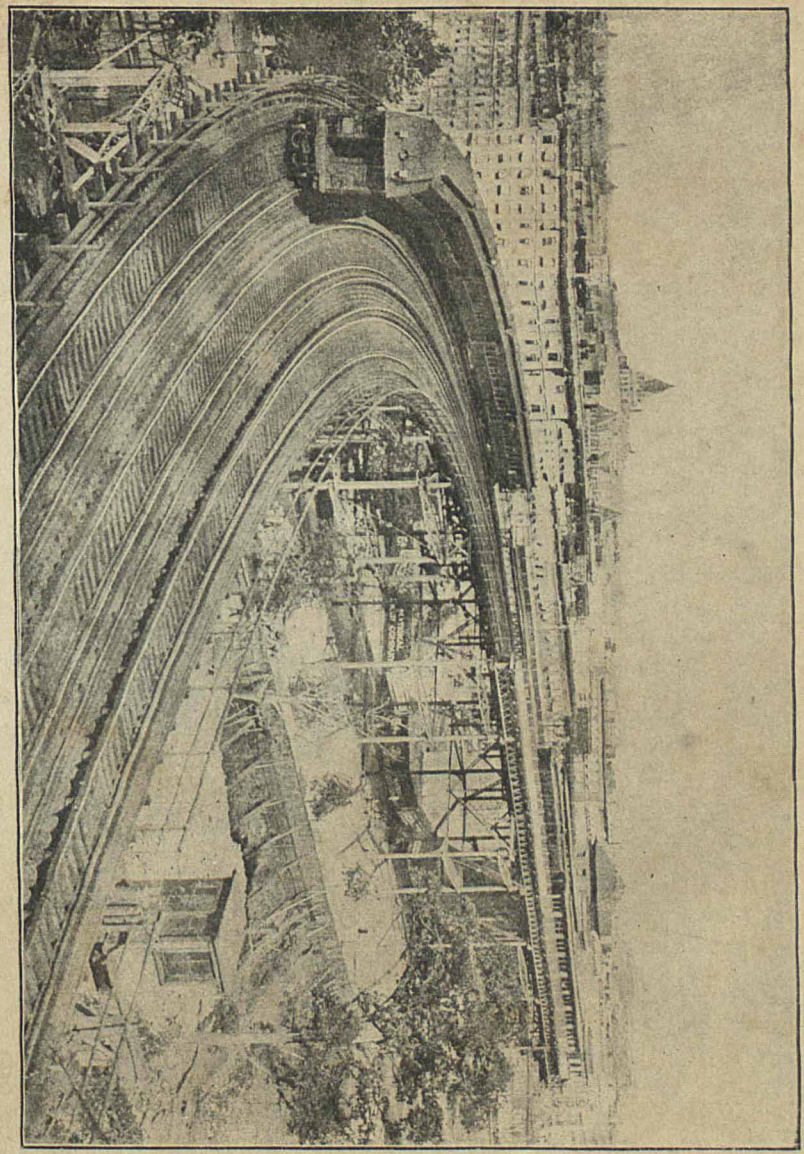
此寫眞は倫敦塔の外觀全部を示せるものである。

다의ㅣ부리디 타워ㅣ브리ッヂ(塔橋)

다와ㅣ부릿디라 함은 타워ㅣ브리ッヂ(塔橋)라 云へは倫塔名物の一として先づ觀客の早く目に著き易きものである、卽ち倫敦塔の側からテームズ河に架せられた大鐵橋を稱してタワーブリッヂと云ふ、ホレス、ジヨネス、ウルフ、パアトレー二氏の設計に係り、一八八二年より起工し九箇年にして竣成せられ、工費實に一千六百五十萬圓、維持費十五萬圓を要すと云ふことである、河の中央左右に石材を以て二大塔を建て其他は悉く鐵材を用ゐて組み立てたものであるが、橋の長さは約半哩あり、而して其の塔と塔との間は船舶の通行する毎に一の釦を押すときは其間二百間の釣橋は水壓の作用に依りて自由自在に開閉する裝置となつて居る、更に塔の階段を登ること百四十呎の高處には常歩通を通じ尙ほ水面上二十呎の處には車道を設けてある、而して船舶通行に際して釣橋が開きたるとき、通行を急ぐ人は塔の階段を登れば更に塔と塔との間は橋梁となつて居るから往來には少しも差支がない、此鐵橋は倫敦港に出入の船舶最も頻繁なれば如何なる巨船も之が通行に便利を與へ、又陸上の人や車の日々幾萬となく來往繁き所とて、水陸共に交通を完全せしむる目的に依りて設計せられたものである、其の裝置驚くべく實に倫敦の一大偉觀である、流石に交通機關の完備せること世界第一と誇稱するだけあつて、此塔橋が實用と美觀を兼備せる裝置の設計は明かに英人の特色を發揮して居る。







倫敦地下鐵道

英國의 交通은 實로 驚ᄒᆞᆯ만ᄒᆞᆫ 發達이라 海上은 世界의 覇王이라 稱ᄒᆞᆷ은 已히 勿論이나 陸上에서도 道路와 ᄀᆞᆺ은 것은 ᄅᆞᆯ 除ᄒᆞᆫ 外 世界中에 於ᄒᆞ야 最ᄒᆞ 開通ᄒᆞᆫ 國이라 而ᄒᆞ야 鐵道와 ᄀᆞᆺ은 것도 一八三〇年에 敷設ᄒᆞᆷ을 始ᄒᆞ야 今에 全國에 普及ᄒᆞ야 殆ᄒᆞ야 蜘蛛의 巢의 ᄀᆞᆺ치 線路를 成ᄒᆞ야 居ᄒᆞᆷ으로 倫敦과 ᄀᆞᆺ치는 高架鐵道 잇고 地下鐵道 잇고 電氣乘合車 가잇고 乘合馬車 가잇서 交通의 完備ᄒᆞᆷ이 實로 世界其比를 見ᄌᆞ 못ᄒᆞᆯ 所이라 就中 地下鐵道와 ᄀᆞᆺ치는 亦英國의 得意로 ᄒᆞᆫ 所인ᄃᆡ 一八九〇年에 始ᄒᆞ야 敷設ᄒᆞ야 爾來益々發達ᄒᆞᆫ 것이라 ᄀᆞ리셔 最初의 메트로폴리탄인 線路는 或 一部는 地下에 잇ᄂᆞᆫ 에 或一部는 街上에 架ᄒᆞᆫ 것인ᄃᆡ 甚ᄒᆞ 不經濟的의 設計ᄒᆞᆷ이 爲ᄒᆞ야 更에 發明ᄒᆞ야 ᄃᆡ유ー부 으로 된 ᄃᆡ유ー부 式이 되 淺ᄒᆞᆫ 은 二十呎深ᄒᆞᆫ 은 二百呎의 地下에 大鐵管을 埋ᄒᆞ고 其中에 電車를 通ᄒᆞᆫ 것이라 ᄀᆞ리셔 데ー무스의 河底를 ᄀᆞᆺ치 ᄒᆞ야 東西南北에 貫通聯絡ᄒᆞ야 居ᄒᆞᆫ 乘客은 停車場에 至ᄒᆞ야 昇降機 若ᄀᆞᆺ은 石階를 數段降ᄒᆞ야 其의 鐵道線路에 達ᄒᆞ니 此所에 切符賣口 가잇고 且つ 飮食店이며 雜誌店도 잇고 又電燈煌々ᄒᆞᆫ 으로 殆ᄒᆞᆫ 白晝의 地上에 異ᄒᆞᆫ 치안고 而ᄒᆞᆫ 數分間每에 마다 汽車는 往復ᄒᆞᆷ이 잇슴은 已히 ᄀᆞ리도 便利ᄒᆞᆫ 을 더라 乘客의 一度目的地에 至ᄒᆞ야 汽車에서 ᄂᆞᆯ 면 昇降機의 所에 至ᄒᆞ기에 二三百人 宛路上에 押し上ᄒᆞ고 昇降機의 戸를 開ᄒᆞᆫ 면 直에 大通에 出ᄒᆞᆫ 에 ᄂᆞᆫ 것이니 ᄎᆞᆷ 이 倫敦이 流石에 世界第一의 商工的大都府의 稱이 잇ᄂᆞᆫ 이라고 ᄒᆞᆫ 다 ᄒᆞᆯ 지니 如何에 交通機關이 完備ᄒᆞ고 且つ 殷賑繁劇을 極ᄒᆞ야 잇슴을 ᄒᆞᆫ 기에 足ᄒᆞᆫ 을 더라 ᄒᆞᆯ 가를 推知ᄒᆞᆯ 에 足ᄒᆞᆯ 을 더라。

國立繪畫館

國立繪畫館は世に英國の寶庫と呼ばるゝ美術館にして、倫敦トラフアルガー廣場の北端に在り、一八二四年議會の協賛を經てウイルキンスの設計に依り一八三二年より六箇年を要し、工費九十六萬磅の巨費を投じて竣工した大建築である、當時内部の陳列品としては甚だ微々たるものであつたが、漸次寄贈及び購入等に依り今や二十五の畫房に藏められるゝ名畫の數は實に一千百種を數ふとのことである、卽ち各國古今の繪畫は凡て年代を遂ひ或は學派に依りて伊太利、和蘭、佛蘭西、西班牙、英吉利等の諸派に分ち悉く世界の名畫として其粹を蒐めたものである、就中伊太利派のラフハエル筆マドンナの圖の如きは一八八四年に七十萬圓にて購入し、亦ヴアンダイク筆チアールス一世の像は十七萬五千圓で買へたるものと一々説明を附してある、其の美術の精華と陳列品の高價とは世人をして驚倒せしむ。

尙此東北方に當りて世界第一の大英博物館がある、卽ち古今東西の天工人作、工藝美術品の千種萬態を網羅してある、特に目に著くは埃及、印度、希臘、羅馬等の古物や世界各國未開人種の風俗製作品及び日本古代の甲冑、刀劍、馬具等があり、又圖書部に入れば各國古今の圖書を蒐め日本、支那の文學書もある、更に繪畫館の南側卽ちトラフアルガー廣場の中央、圓塔の上に立つトラフアルガー海戰の驍將提督ネルソンの銅像等觀覽すべきもの枚擧に遑あらず、此寫眞は國立繪畫館の外觀を撮影したものである。





데ー무스의 テームズの河畔

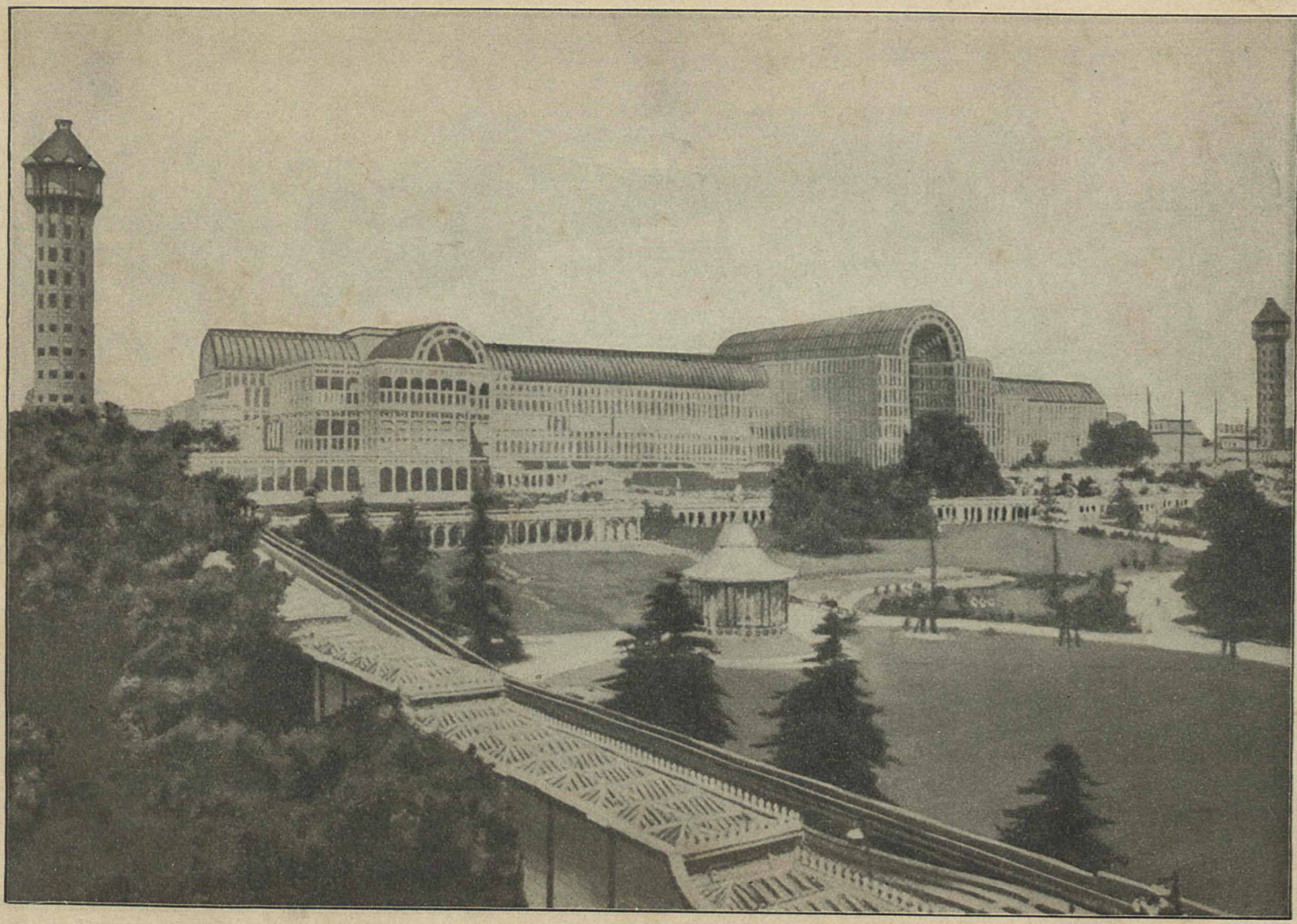
데ー무스는의을 テームズ河は其の源を英蘭東南部のコッヲルド山脈の南東麓より發し、初에에서를 めを南東に向つてを流れをオックスフオードを過ぎ、西方より來るケンネツト河를을 合せをて東流し、をを倫敦を經て廣き江灣を作り北海に注ぐのであつて全長約二百五十哩と云ふ、河幅は倫敦橋附近에서는에서이나는 に於て三百米突であるが河口は約七里에를 に達するを所あり、倫敦橋よりグリニッチの上流に至る間の水深は十二呎乃至十三四呎인데의시는 にして滿潮のときは十七八呎에를 に及び本流はレクレードまで遡ることが出來る、亦八百噸以上の大船は倫敦橋의은の下流(約二里半)인무라와구 なるプラックヲール附近まで遡るを常とし更に運河によりて他の河に連絡す。

有名なヴィクトリア堤岸は一八六四年より一八七〇年に亙り七箇年間を要し工費二百萬磅の巨資を投じて建設されたものであつて延長實に二千三百碼에를 に達して居る、道路は幅二十呎의와の車道とに分ち、殊にテームズ河に接する部分は河水の氾濫を防ぐ爲め厚さ八呎の花崗石を以て築壁障となしあり、又堤岸の下には三箇の隧道を通じて交通の便に供してある、我が東京の隅田川東岸一帶の向島附近と稍々風趣を同ふして居る、而してテームズ河は上流に遡るに從ひ水色漸く濃碧を加へ、又堤岸附近には貴顯紳士の別莊多く堤上には深綠の芝生に種々の花卉を栽植し四邊の風光實に絶佳を極む、所謂倫敦の遊息地として此所に杖を曳くもの常に絶えず、殊に夏季の舟遊びは最も盛んである。

水晶宮

水晶宮は倫敦を距る約十哩を隔てたるシイデンハムと云ふ地に在る、一八五一年ハイド公園に開かれた第一勸業博覽會建物の一部を此所に移して改築せられしものなりと云ふ、全部鐵骨にして屋根及び周圍は硝子を以て之を覆ひ、長さ千六百八呎、其の中央部の長さ三百九十呎、幅百二十呎、高さ百七十五呎の大建築物である、內部は到る所透明にして之を望めば宛がら水晶の建てるが如く見ゆるを以て此名が起つた所以である。

水晶宮は四千の坐席を有する音樂堂と二千餘の觀客を容るゝ劇場を始めとし、動物園、水族館、繪畫室、圖書館、料理店、諸種の賣店等がある、更に其の周圍には三十五萬坪の附屬庭園を有し、或は築山あり、泉水あり、噴水あり、花卉、盆栽等あり、或はフートボールの競技もあれば自轉車の競爭もあり、殊に四季に應じて夫々趣向を代へて種々の見世物は巧に設備されてある、殆んど我が東京の淺草公園のやうな場所と同じであつて、之は私立會社の經營に屬し一定の入場料を徵收して觀客を容るゝのである、家族や小兒を連れて此地に來れば終日遊び暮しても飽くるを知らざる樂園である から倫敦其他國內より集まる見物人は常に雜鬧を極めて居る、此庭園の附近に停車場の設けありて、倫敦の間を特に往來する汽車と、此地を通過して更に遠距離を往復する汽車とありて、一時間毎に發車し、僅々一時間で倫敦を往復し得るのである、此寫眞は水晶宮の外觀である。



요ー구의 ヨークの大僧正

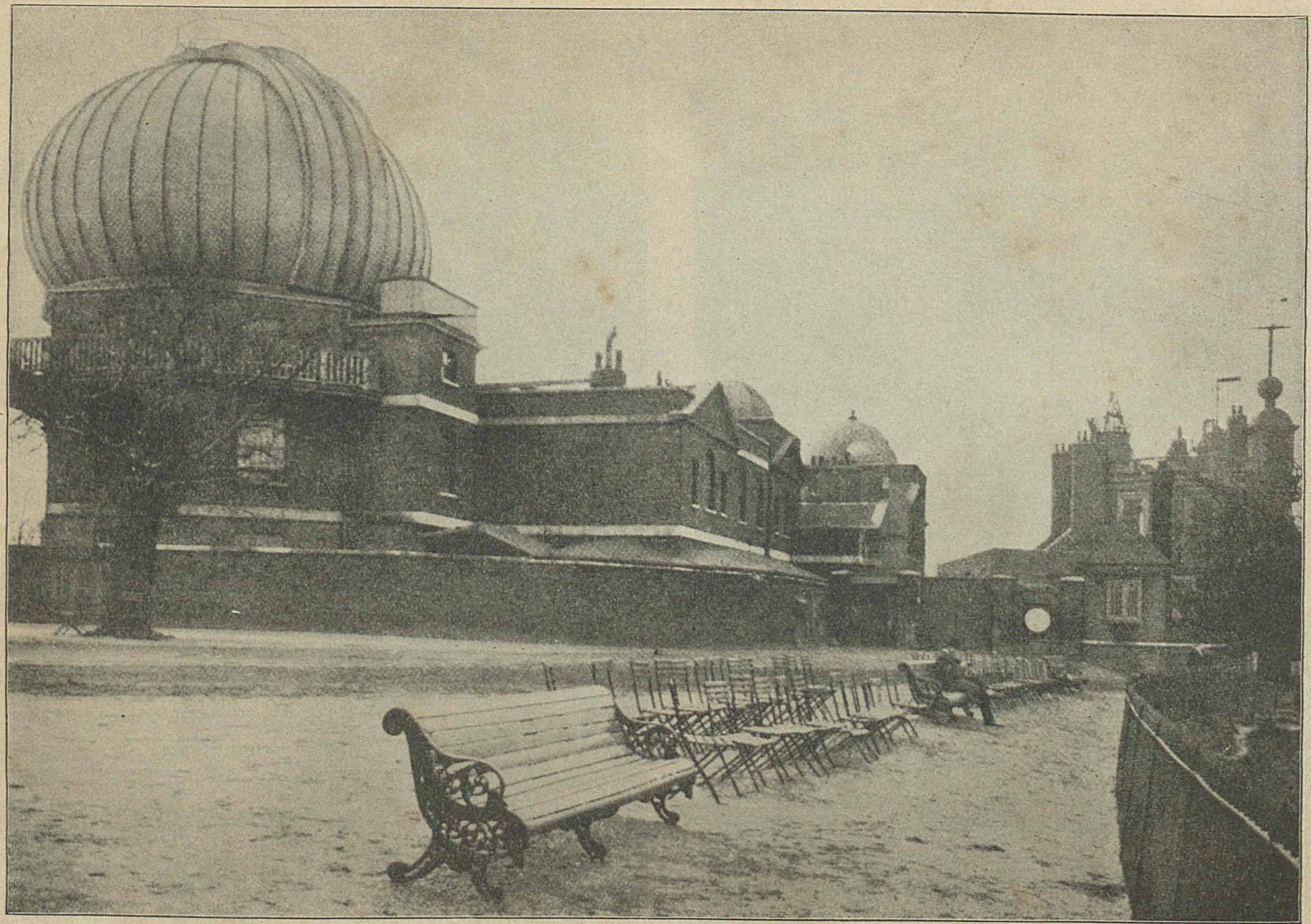
英國의 宗教로 特色으로 見ᄒᆞᆯ만ᄒᆞᆫ것은 一般英人의 性質이 保守的임으로 信仰에도 ᄒᆞᆫ히 眞面目으로 頑固ᄒᆞᆫ 儀式에 從ᄒᆞ야 古風의 神學研究를 ᄒᆞ고 ᄂᆞᆯ이서 日曜日의 禮拜를 嚴格히 行ᄒᆞᆷ과 ᄀᆞᆺ치 ᄒᆞᆫ것은 歐洲中에 其比를 見ᄌᆞ 못ᄒᆞᆯ 所이오 ᄒᆞᆫ히 ᄒᆞᆫ 現象을 呈ᄒᆞᆷ은 其의 一方에 國教의 盛ᄒᆞᆫ과 同時에 之에 反抗ᄒᆞ야 立ᄒᆞᆫ 自由教會의 如ᄒᆞᆫ것은 非常ᄒᆞᆫ 勢力을 有ᄒᆞ야 常에 社會의 改良에 注意ᄒᆞ야 感化救恤의 道를 講ᄒᆞ야 居ᄒᆞᆫ다라 英國에는 規模宏壯의 寺院도 ᄒᆞᆫ나 多いが、彼の有名なるウキスト、ミンスターと云ふ皇室의 菩提所의 大寺院과 ᄀᆞᆺ치 ᄒᆞᆫ것은 우이루리야무 곤게로루이 始めて此寺院에서 王位에 卽かれてより歷代의 英國王이 此所에서 卽位式을 擧ᄒᆞ고 亦歷代王室의 墳墓도 此所에 在ᄒᆞ야 門外에는 巡査가 護衛ᄒᆞ고 寺院에는 著名의 大僧正이 常에 守護讀經ᄒᆞᆫ다라 居ᄒᆞᆫ 所이더라 である。

玆에 揭ᄒᆞᆫ 寫眞은 現요ー구 大僧正 고스모、고ー돈、란구 인ᄃᆡ 에 ᄒᆞᆫ 金紫錦襴ᄒᆞᆫ 正裝의 法衣를 著用ᄒᆞ고 居ᄒᆞᆫ 所이라 ᄒᆞᆫ 것이다 ゴードン•ラングにして式に用ゆる 간ᄃᆞ나ー베리ー와 요ー구에 駐在ᄒᆞ야 ᄒᆞᆫ니 其의 간ᄃᆞ나ー베리ー管區를 支配ᄒᆞᆫ 高僧은 ターベリーとヨークに駐在せられ其のカンターベリー管區を支配する高僧は 大英國의 總管長이라 稱ᄒᆞ고 요ー구의 管區를 支配ᄒᆞᆫ 高僧은 單히 英國의 總管長이라 稱ᄒᆞ야 ᄒᆞᆫ니 ヨークの管區を支配する高僧は單に英國の總管長と稱せられて居る、從つて現今宮廷에 於ける 席次도 カンターベリー 大僧正은 英國皇帝의 血族의 次에 位ᄒᆞ고 요ー구 大僧正은 其의 次席이라 ᄒᆞᆫ다라 ヨーク大僧正は其の次席である、大僧正은 大教正이라 稱ᄒᆞ고 僧正의 監督或은 特殊의 權能을 有ᄒᆞ야 教會規約의 件에 關ᄒᆞ야는 僧正의 下ᄒᆞᆫ 裁斷에 對ᄒᆞᆫ 控訴를 聽ᄒᆞᆷ으로 되엿더라 ことになつて居る。

구리닛디의 グリニッヂの王立天文臺

구리닛디는 グリニッヂは倫敦市의 에 셴 도보—루 을 기를 倫敦の南東方セントポール寺院を距る約 五哩의 인데 데—무스 의 이잇스니 テームズ河の右岸にある、此地는 有名 き 天文臺 에서 世界經度의 起算點으로 함은 브터 에 를는바이라 구리닛디 의 丘上에 巍峩 를야 として 聳ゆる 建物 인데 であつて、此天文臺는 一六七五年 디야—레스 チャーレス二世 の創建に係り 의 其の建築用材の 와 き것은 데이루베리— 如きは倫敦塔及びテイルベリー 로셔 要塞より運 んで建てられしものなりと云ふ、 를야 건이라 きでんで建てられしものなりと云ふ、 를더라 其後一八九九年に至り 에 를야 改築せられ、 を고 現今は海軍大學校を始め、 은 를 야 甲鐵船製造所其他諸機械製造所等を設置されてゐる。 를 엿더라

本初子午線と 이라 稱するものは所謂此天文臺の經度を云ふものである、即ち英國の天文學者は此の 의 天文臺の子午線を 을 基準として 으로 를는것이니 計算するのである。 를는것이니 인데 であつて毎日午後一時に於て公定時刻を 을 此地で 에서 決定し、 를고 海洋上にある 에잇는 船舶の 의 經度を定むるを目的とするのである。 함을 으로 를는것이니 其方法は午後一時の 을 定刻を期し 를야 竿上の色球を以て信號をなし、同時に之を 를 國內の主要なる 의 都市に通報して 되는 에 를니 居る、館內には直徑二十八吋の 에는 屈折望遠鏡 의 에는 에잇고 에는 에 를고 에는 에 를야 에 를 에 를 에 를






23
9998

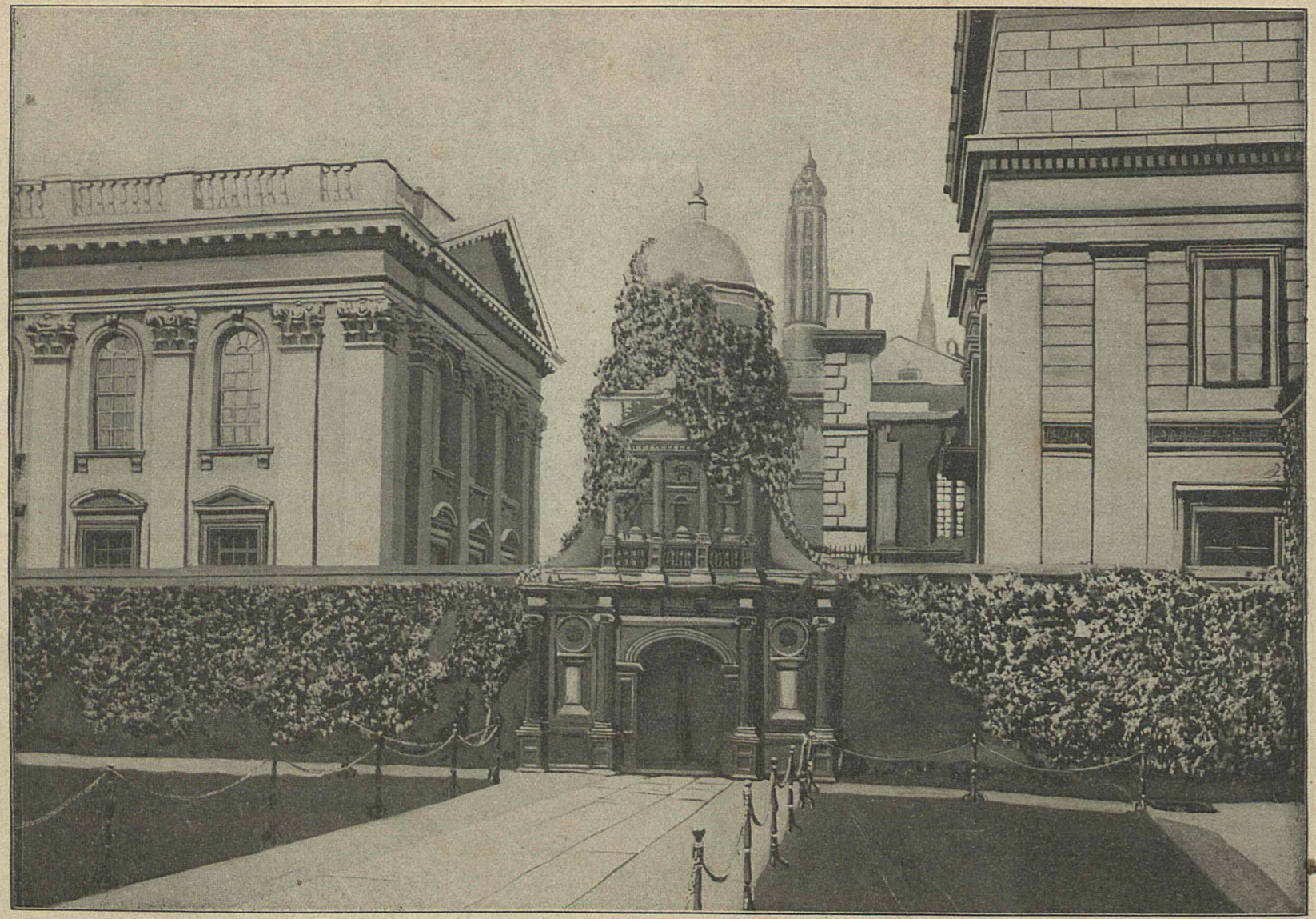
警官及陸海軍人召集事務所

英國は社會制裁の行き届き居る結果として法律制度も寛大なるが爲め從つて司法警察の用務も我國の如く常に錯綜頻繁のものでない、即ち社會の制裁は法律以外の法律として其の緻密なる點に於て感ずべきものがある、而して英國の紳士は即ち我が國昔の武士と同じく其の禮節を守り、品格を重んじ、體面を尊び、德義を重んじ、職分に殉するを常とし此美風は中下流社會にも普及して居る、故に暴行犯罪者の如きは至つて少なく巡査は罪惡の監視者と云ふよりは寧ろ交通頻繁なる街路に在りて通行人の衝突を避け或は通路の案内等を重なる任務となし、一定の服裝の外に銃劍も佩用して居ないのである。

英國に於ては從來徵兵制度を採用せず陸海軍共に應募兵を以て組織せられ殊に陸軍の如きは單に英本國及び植民地を防禦するに過ぎざるものであるが、此廣告中に各兵士の服裝、給料、家庭の手當等に關する主要の點を示してある、英國は歐洲戰亂の勃發以來徵募兵に漸く困難せるものゝ如く今や兵制改革の議論國內に沸騰して居る、此寫眞中右は巡査にして街路の交叉點に立つて通行人を警戒して居る所、左は海陸兵の徵募事務所の受附にして兵士の立番せる所である。

켐부릿디 ケンブリッヂ大學

켐부릿디(ケンブリッヂ)大學은 倫敦의 東北方鐵路五十八哩의 켐부릿디(劍橋)에 잇서서 옷구스、후오-도(オックス、フオード)大學과 共히 有名한 것이라 이지는 十二世紀의 頃까지 微々한 一鄕校이더니 一二三三年始히 大學으로 되고 爾後幾多의 變遷을 經하야 現今은 十八箇의 가시-디가 잇서서 大히 規模를 廣張하야 百五十의 敎授와 三千七百의 學生을 養成하여 居る、構內最히 廣く 且つ 歷史的 遺物이 富んで 居ること 코 옷구스、후오-도에 決して オックス、フオード大學에 遜色이 업고 就中大規模의 것은 쓰리니디、가시-디오 カレーヂである、且つ 其의 附屬圖書館과 如き 것은 센도、쇼-루의 カレーヂでは 세계 第一이라 稱하는 것인데 이 구리스도후아 신의 設計에 係る ものにして 十萬卷餘의 書籍과 二千餘의 古記錄 등이 藏하여 잇다 하며 而して 特히 가시-디를 有名ならしめた ものは ツリニチ、カレーヂ의 크라이스도、가시-디에는 미루돈의 手植의 樹木이 잇고 又トリニチ-カレーヂには 뉴-돈의 觀測所의 遺跡을 存하여 잇고 更히 시도니-가시-디에는 구로미우에루가 起臥하였다 云ふ 部屋이 今도 殘하여 잇고 又ケー學坊의 謙遜、德義、名譽의 三大門을 設하여 잇슴은 히 建築上의 好參考로 知られて 居る、英國敎育의 特色이 人物養成으로써 一大綱領으로 하고 一定의 理想典型에 從하야 敎育함은 即ち 是等의 大學이 何れも 古來의 歷史的 遺物을 存置하고 且つ 古來英雄의 遺蹟을 尊崇保護하야 陶冶의 實效를 擧코저 하는 所以이더라。





牛津(オックスフォード)市

牛津市는 倫敦의 西北鐵路約六十三哩의 地、디예루우루와데이(チェルウルとテームズ)河에 跨하야 人口約數萬을 有하는 一城邑이라、此地는 옷구스(오이도)、후오이도(フオード)大學의 所在地인데、겜부주디과(ケンブリッヂ)大學과 히의 同히 世界著名의 大學으로써 夙에 世人에 知하여더라 하여、

居る、此의 大學의 起原은 遠く十二世紀의 初めにして一五七〇年에 리사베스(エリサベス)朝에 至하야 牛津市에 散在せる二十一箇의 가시쓰디(カレッヂ)學坊及び二箇의 홀(ホール)을 總稱하야 옷구스、후오이도(オックス、フオード)大學이라 名づけたのである、附近一帶平野にして樹木繁茂하고 四邊의 綠草青々として街路清淨을 極め、此間에 點在しつゝある宏壯의 校舍가 到하는 所에 聳え居るは一見恰사히 校舍가 全市를 成すの壯觀을 呈して居る、想컨데 玆에 至하면 文學의 淵源地로서 幾多의 學者를 作하야 出하는 古き歷史있슴을 感케함에 足하더라、此大學은 國王을 始め 全國의 貴族及び富豪家의 寄附金에 依하야 經營せられ 財力頗히 豐富である、此地에는 보이도안(ボードアン)圖書館이 있서서 七八十萬卷의 書籍과 數萬餘種의 古き貨幣를 蒐하고、亦아미유(アシュモレアン)博物館의 設けありて 其名畫逸品을 藏せる 것의 치안코(ちあんこ)히 少なからず。更にクリストチアーチ(クライストチアーチ)學坊에 至하면 此大學中의 最大宏壯なるもの인데 其의 食堂에는 出身者의 傑士偉人의 肖像等이 揭げてある、又마구다신(マグダレン)學坊은 最히 風致에 富하야 老木鬱蒼たる 公園中에 在하니、每月五日의 早朝에는 學生一同此의 塔上에 셔서 五六의 讃美歌를 歌함은 헨리이(ヘンリー)브디(七)世時代よりの例である、옷구스、후오이도(オックス、フオード)大學의 學生은 約數千에 達하다고 云하더라

倫敦의 貧民

流石에 七百萬餘의 人口를 有한 世界의 大都府로 呼하는 倫敦의 繁華는 實로 想像以外의 것이라 하겠다、其의 最히 繁華한 街에 至하면 巨萬의 通行人은 互히 肩과 膝을 押하고 合하고 或은 人車、馬車、電車、自働車、自轉車等頻々として 往來하니 其의 混雜은 到底名狀할수업는 것이라 하바―도와 콘바―ト街의 如き 것은 大銀行과 取引所等의 大建物이 櫛比하야 一層의 雜鬧을 極하여 居る。

然하되 世界第一의 大都府라 稱하야 此와 如히 繁華함에 拘치안코 或る方面에 至하면 貧民窟의 街를 見함에 히 甚だ異樣의 感에 打たれるのである、是卽ち倫敦의 이―스도、엔도 라 稱하는 有名한 貧民窟이라 하야、所謂猶太人의 根據라 云ふ イースト・エンド街と 觀念은 업고 單히 利己一點인고로 富라 하는 外에는 更히 眼中에 何物도 업는것이라 하겠다、英國各都會의 街上에 徘徊하야 雜多의 小品을 賣하고 있는데 猶太人이라 하는 수 많이 猶太人である と 云ふことである、倫敦市中의 繁華한 街上에 常히 出沒하야 或은 一見紳士風을 裝하고 雜誌繪畫를 賣하고 或은 旅客의 後를 追하여 繪葉書나 地圖를 賣り付けんとするあり、其他 日用雜品과 化粧品、飮食品等凡て小物의 商品으로 有ゆる季節向의 것을 賣하니 히 東京의 緣日(エンニチ)라고도 할만하더라、人의 集合한 場所などには 이つて 居る、殊에 이―스도、엔도를 根據으로 하는 猶太人은 洩함이 업시 なく 徘徊하여 居る、此寫眞의 右は 大道에 花卉를 賣하는 婦人이오、左는 女易者である、如何히 文明國或은 最 大富國이라 하나 と 云ふ 貧民의 風俗及び生活狀態에 大差는 업는것 又더라 である。


LADIES&GENTS
THESE INNOCENT
LITTLE BIRDS TALE A
PLANET FROM THE BOX



佛蘭西

佛蘭西는 歐羅巴洲中의 西部에 位하야 太西洋岸より 地中海의 海岸에 至하기 迄大陸을 有하니 實로 歐羅巴洲中의 要部를 占めて 居る、北東은 白耳義、ルクセンブルグ、獨逸과 相接하고、北西는 英吉利海峽 及び ドーバー海峽에 依りて 英國と相對하고、東은 유ー라山脈에 依りて 瑞西と 境界をなし、東南部는 아루뿌스山脈에 依りて 伊太利에 接하고、南은 地中海에 臨み、南西는 삐레시니ー山脈에 依りて 西班牙와 相連하고、西方은 一帶ビスカヤ灣에 瀕して 居る、東西五百五十哩、南北六十五哩、全面積二十萬七千五十餘方哩、本國으로는 朝鮮을 加へたる 我が日本より も 稍々狹少なれども、他に 殖民地 及び 保護地를 加ふれば 四百九十八萬三千百八十六方哩餘에 及び、人口約五千萬餘를 算하더라。

歐洲의 歷史를 繙けば 第一에 佛蘭西革命이 全歐의 天地를 震動せしめたことは 何人も 感慨深きを 覺ゆるのである、此國은 十六世紀의 末 부루본朝의 헨리ー四世가 王位에 卽かれて 以來漸く 國運의 基礎를 作り、次でルイ十四世에 至りて 大に 人材를 登用し、外交、軍事、財政、敎育、産業、交通、貿易等의 奬勵에 力을 用ひ、爾來漸次 國運發展의 域에 進み、十七世紀의 後에 至りて 歐洲文化의 中心으로 되엿더라、然るに 昌隆極まりて 衰弊生ずるは 自然의 理にして免れ難き 所であるが、十七八世紀의 際 佛蘭西가 中歐에 勢威를 逞ふして、ルイ十四世의 豪奢其の極に達し、晩年에 及んで 旣に 國力의 銷耗를 來し、而も 尙ほ 苟安을 貪り 一時를 彌縫しつゝ あるのみならず、飽迄 君主의 尊嚴을 示さ

져ᄒᆞ야 을 ᄒᆞ고 ᄒᆞ 식 한 로
ᆫ다ᄒᆞ고 國民을 壓制ᄒᆞᆫ 結果ᄒᆞᄂᆞᆫ 遂ᄒᆞ 歐羅巴를 震動ᄒᆞ 식ᄒᆞᆫ 大革命의 端緒ᄒᆞ로

되엿더라 ᄒᆞᆫ 이 ᄒᆞᆫ 의 으로된 ᄒᆞ 의
ᄒᆞᆫ 것이다ᄒᆞᆫ 바, 卽ᄎᆞ ルイ十六世ᄂᆞᆫ 革命의 犧牲ᄒᆞᆫ 으로 ᄒᆞ 의 ᄒᆞᆫ 은 遂ᄒᆞ 國民의 掌裡

에 ᄒᆞ엿스나 된 나파레온은 로브터 을
ᄒᆞᆫ 歸ᄒᆞ엿스나, 一八〇二年第一統領ᄒᆞᆫ 이ᄒᆞᆫ ナポレオン第一世에 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을 ᄒᆞ고 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을

ᄒᆞ야 로 ᄒᆞᆫ 에 ᄒᆞᆫ 에 ᄒᆞ야 의 를 ᄒᆞᆫ 는 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을
握ᄒᆞ고 不世出의 天才로 機智雄略ᄒᆞᆫ 에 依ᄒᆞ야 內는 國民의 擾亂을 鎭ᄒᆞ고, 外는 掌伊太

利, 西班牙, 獨逸等의 各國을 屈服케ᄒᆞ야 ᄒᆞ 의 에 ᄒᆞ 엿더라 ᄒᆞ 의
ᄒᆞᆫ 것이다. 爾來大陸을 併呑코져ᄒᆞ야 全歐에 猛威를 逞ᄒᆞᆫ 셴도헤시 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을

ᄒᆞ고 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을
ᄒᆞᆫ 것이다. 爾來大陸을 併呑코져ᄒᆞ야 全歐에 猛威를 逞ᄒᆞᆫ 셴도헤시 ᄒᆞ 의 ᄒᆞ 을

佛國의 產業狀態를 觀察함의 農業은 氣候溫和에 して 土地도 概ね平坦肥沃な 故로 穀類의 產額도 多く、殊에 小麥의 如きは 露國에 次ぐ 歐洲第二의 產地である、又 養蠶과 葡萄의 如きも 國內到る 所에 產し 世界第四位를 占めて 居る、工業의 最も 盛んなるは 織物業にして 絹織物이 第一とし 毛織、麻布等之에 次ぐ、殊히 葡萄酒의 製造은 世界第一이라 稱せられ、シヤンペン 酒は 本國의 特產物にして、其他 林檎酒、부란데! 의 釀造等도 盛んである、更에 化學工藝에 至つては石鹼、製紙、製油等을 重とす、商業은 外國貿易甚だ 盛んにして 世界의 第八位에 居る。敎育制度와 如きは 甚だ 統一을 缺くのみならず 其의 目的으로 する 所は 寧ろ 少數의 天才를 養ひ 出さんとするに 外ならず、多數國民의 智識德性을 涵養함과 如きは 殆んど 閑却する의 感がある、故로 其의 國力의 盛衰는 偶々 非凡의 天才現出에 依りて 發揮せらるゝ 場合も 尠からざるべく、從つて 由來常識的의 國柄でない、佛國人의 生活狀態는 其의 首府なる 巴里人을 標準으로 すれば 大差가 없고 はない、彼等은 一見華美에 流るゝ 傾きあるが 如く 豫想すれども 其의 皮相의 觀察로는 事實의 大에 反する 것이다 彼等은 至つて 貯蓄心에 富み 又節儉을 主とし 自己의 必要에 應じ 分限에 應じて 敢て 無用의 奢侈する 것이 없고 更에 奇異의 現象이라 云ふべきは 佛國이 歐洲의 列强에 伍伴し 且つ 文明의 極에 達しつゝ あるに 拘はらず、人口의 增加せざる 一事는 世人의 意外에 感ずる 所である、是れ 固より 種々의 因緣あるべきも、貯蓄心의 盛んなること、婦人의 容色을 損ずるを 忌み、財產均等分配의 法制等이 重大의 原因と 되るが 如く、憂國經世의 士는 夙에 人口增加의 奬勵를 絶叫する 未だ 其의 反應을 見지 못하니、同國의 前途甚だ 寒心에 堪へぬ 것이다。

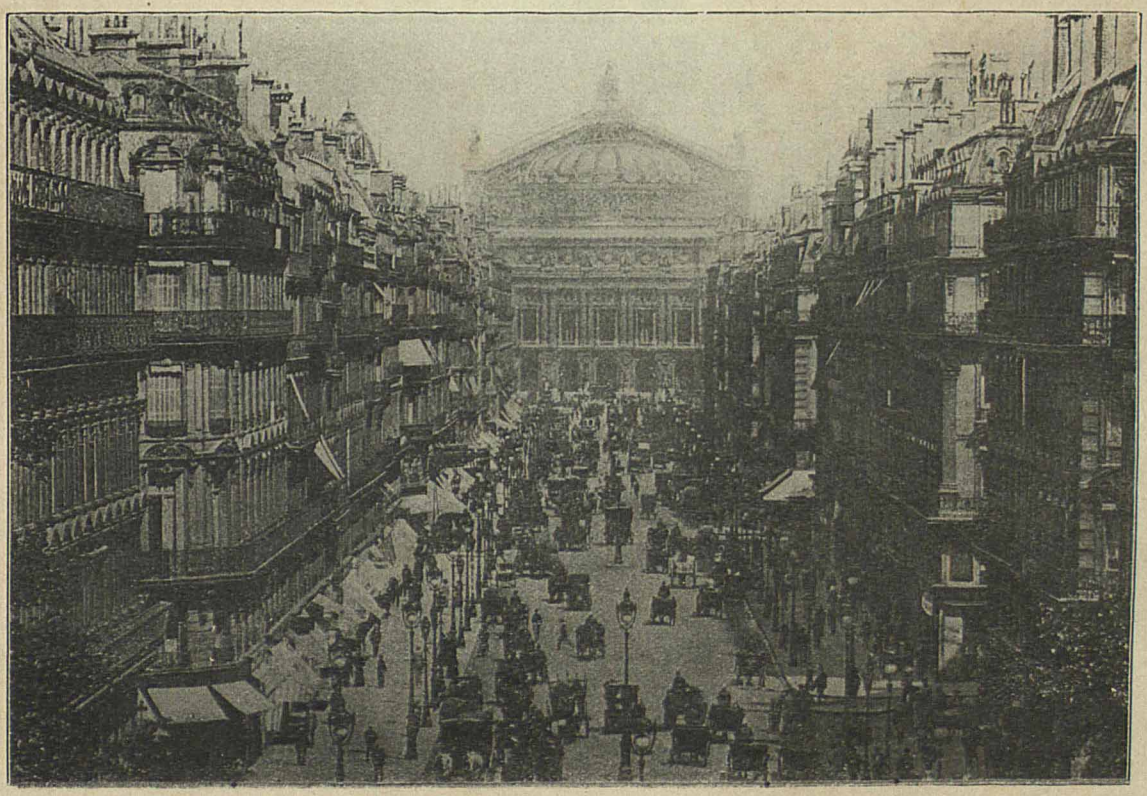
巴里

巴里는紀元前시ー시ー가고ー루을에고ー루이세ー누シーザーがゴール族を征服した時代に、ゴール人がセーヌ河岸에群居を야一漁村이더니에를야附近에住居せし種族의名을取を야巴里라고名け、九八七年カペ王朝의祖ヒユ•カペ王殆んど佛國을統一を고首府를此地에奠めを니、路易十四世에及を야市街의美觀을呈せ영더라。

巴里는세ー누의兩岸及び其의河中의一島에建設된歐洲第二의大都府인데して亦世界의第三位에居る、市街의繁華와建築物의宏大壯麗なること은世界에其의比를見치못を고、氣候亦溫和にを야各種의娛樂機關도完備됨으로써에世人이此地를稱を고、或은娛樂的都府又은世界의樂園이라云ふて居る、巴里는文學이며美術이며繪畫、彫刻其他歌舞音樂에至기까지最も盛んにを야て世界의美術的中心라고도稱すべく、且つ數多의大學을始め各種의學校多を고、而して圖書館、博物館의設備完全함과共에文藝研究의中心이더라。

市街의最も美麗繁華なるはコンコルト廣場及びシヤンゼリゼーにして、루도ルト廣場은長さ約二百間、幅百二十間의長方形에高層華麗의建築櫛比を고大道는洗ひ清めて塵一本도업고夜間은瓦斯電燈燦然として晝よりも明るく、其의西方시얀세리세ー의大街는左右의並樹美しく、車馬의來往織るが如を고左右에는散步道를設を야宛然히公園通路의如を니實로別天地를想はしむ、其全都의美觀은「巴里의花」라고稱すべく遊覽者의多きこと亦世界第一이라である。





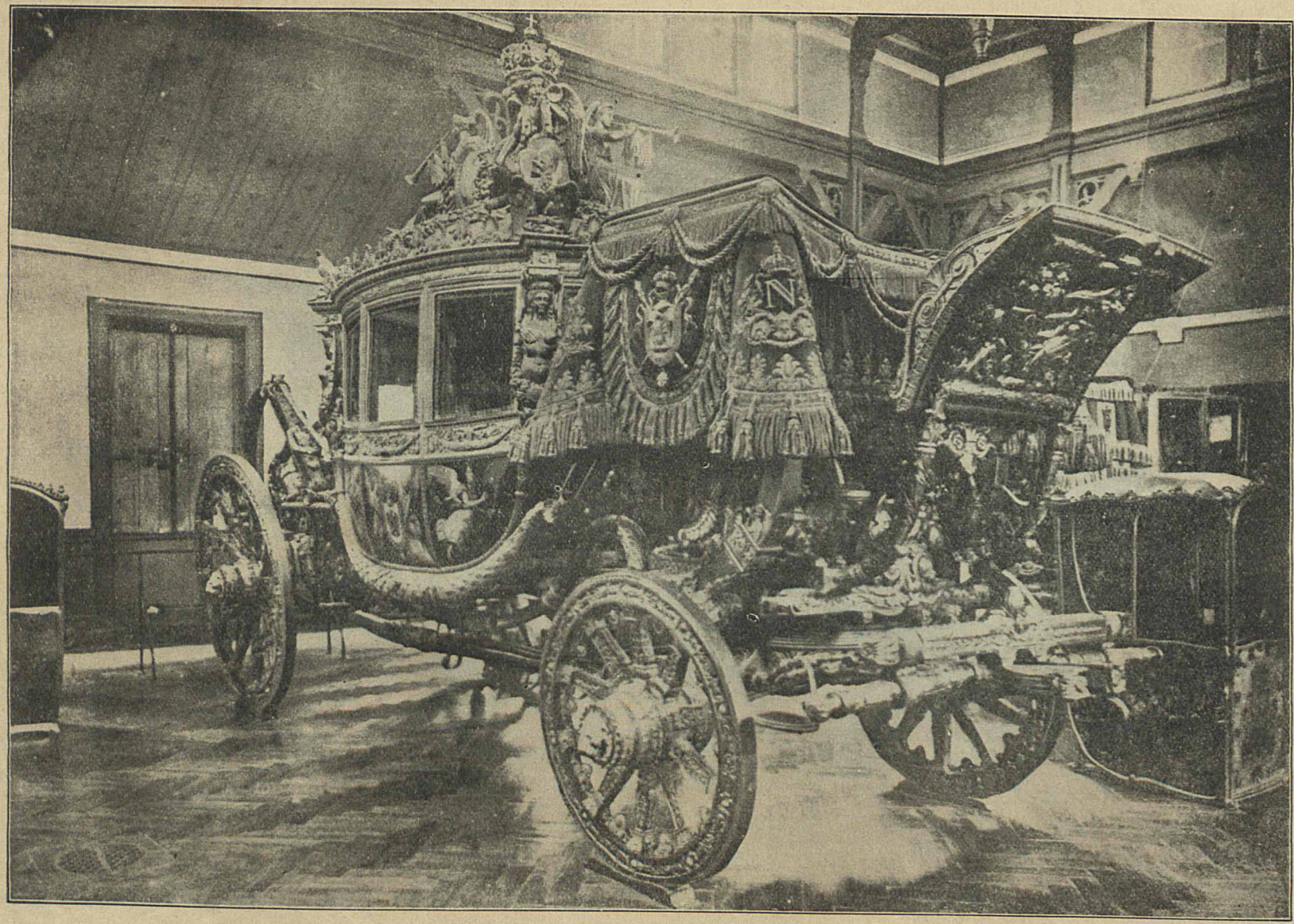


웨루사이유 ヴエルサイユ宮殿

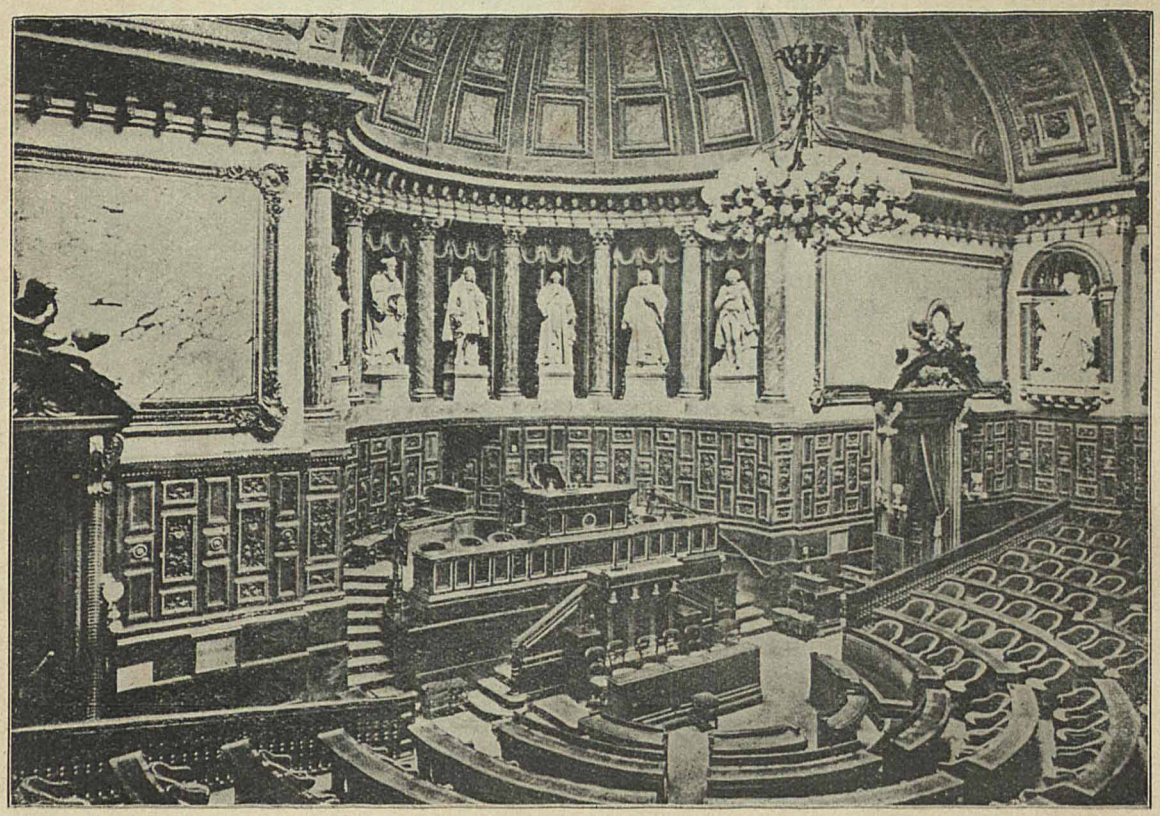
此宮殿은 巴里의 西南十一哩의 地ヴェルサイユ市에 在ᄒᆞ야, 루이十三世의 時를 創建ᄒᆞ고, 次で 루이十四世에 至ᄒᆞ야 八千萬弗의 國費를 投ᄒᆞ야 建てられた之を 이를 ᄒᆞ엿ᄂᆞ니 루이十四世가 內治外交를 改革ᄒᆞ야 佛蘭西의 開發을 計ᄒᆞ야 益々國運의 隆昌을 來ᄒᆞ엿ᄂᆞ니 루이十四世가 內治外交를 改革して 佛蘭西の 開發を 計り 益々國運の 隆昌を 來ᄒᆞ고

디야ー레스 チャーレス十世王의 鳳輦

歐羅巴의 覇權은 十七世紀以降으로 奈破崙大帝에 至기까지 前後百數十年에 인하여 强制的으로 列國을 威壓せし 식힌것은 佛蘭西이라 할지라도 아니하였으나 마사린의 良相이 相續하야 國柄을 攬하야 마자린의 良相이 相續하야 國柄을 攬하야 마자린의 良相이 相續하야 國柄을 攬하야 마자







佛蘭西國會議事堂

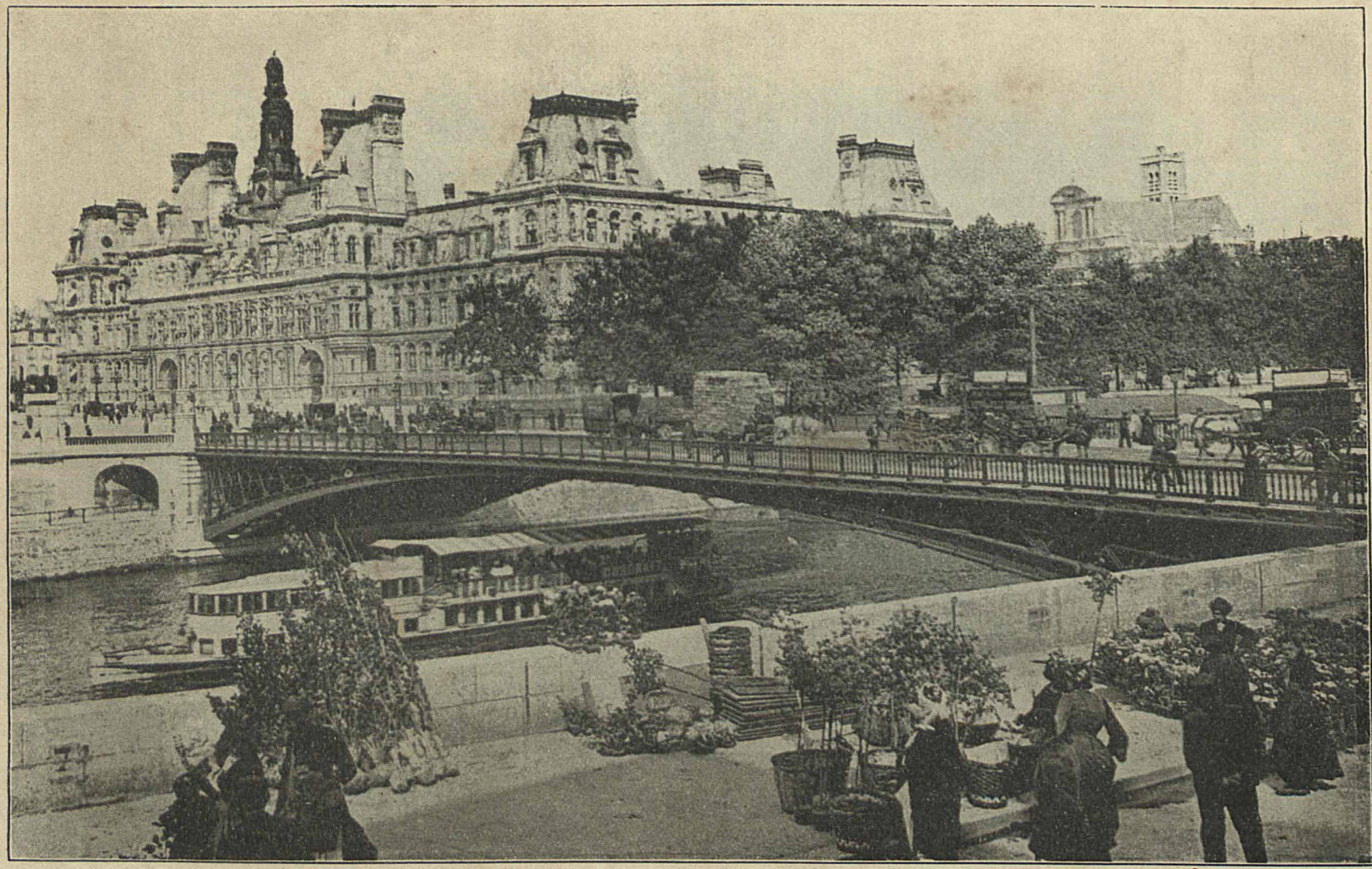
佛蘭西は路易十四世の時大革命を起して以來幾多の變遷を經てナポレオン三世に至り、一八七〇年普魯西と衝突して普佛戰爭となり獨逸の猛力は遂に佛國をして巴里城下の盟を爲さしめ、エルサス、ロートリンゲン二州の割讓と、五十億法の償金を支拂ふに至り茲に帝政は破れて共和政體となつた。爾來五年を經て佛國憲法の制定となり上下兩院を成立した。

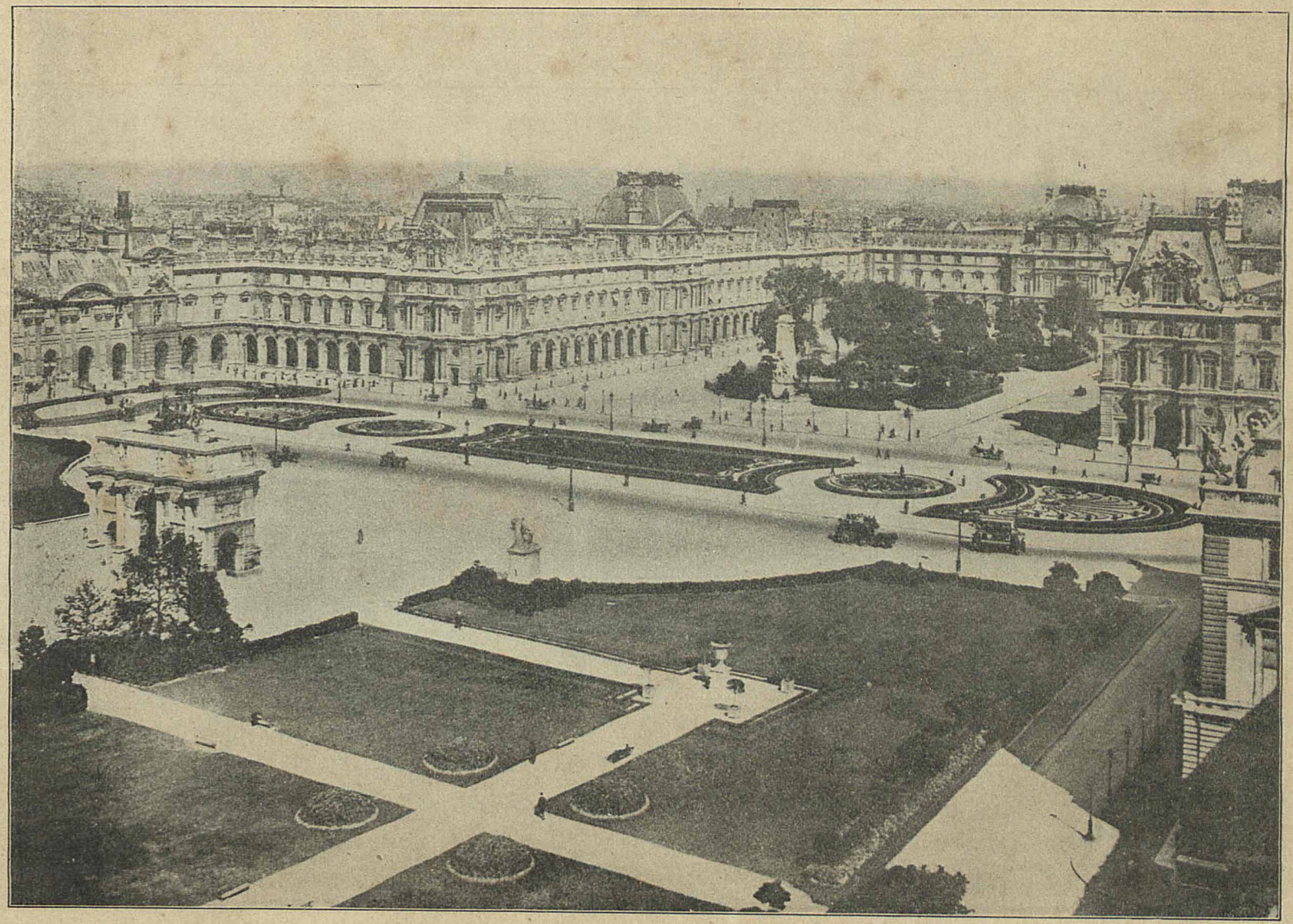
上院議院の議員數は三百人にして四十歲以上の公民より選擧し、其の任期は九箇年とし、三分の一を三箇年毎に改選する、而して上院議院の議員たる資格は兵役の任務に服したものを採用する、下院の議員は各地方を代表する五百八十四人を以て組織し、滿二十五歲以上の公民より選擧し、其の任期は四箇年とす、上院議事堂は巴里のルクサムブルク宮殿内に設けられ路易十四世が大夜會場として用ひたので、共和政體となつて以來之を改修して上院の議事堂に改められた、議長席の後方には佛蘭西に功勞ありし大政治家の肖像を掲げてある、議長席の直ぐ下にあるは各黨の代表者又は政府委員の意見を述ぶる演壇にして其の下に速記者七人の席がある、下院議事堂は故ブルボン宮殿内に設けられ、革命の際大部分破壞せるを更に改築されたものである、議長の椅子や机はマホガニー木を用ゐ、演壇は薔薇の木で細工してある、這回の歐洲戰亂に際し獨逸が白耳義の中立を侵害せるに激昂して議論沸騰を極めたのは此兩院議院である、寫眞は上院の外部下院は内部の光景を示したものである。

巴里市廳

巴里市中有名なる三層の大樓閣を成せるノートルダム寺院の東方に並んで北にセーヌ河を隔てゝ見ゆるは巴里市廳の建物である、一五三三年に工事を起し長年月を經て竣工したのであるが、一七八九年以來の大革命に宮殿及び樓閣の大部分を破壞せられた當時此建物も破られたが、更に一八七〇年の普佛戰爭に於て遂に烏有に歸し、現在の建物は一八七六年バリユー技師の設計によりて起工し一八八四年に竣工したのである。

美術の都府と謂ひ花の都と呼ばるゝだけあつて、此の宏壯な建物は悉く佛國美術の粹を盡してある、正面には大革命時代の戰利品たる大砲を以て鑄造せる奈翁が馬上に跨れる雄姿の銅像あり、館の外圍は大小二百餘箇の塑像と數多の繪畫とを以て裝飾せられ、更に館內に入れば佛國歷代の英傑偉人の肖像を揭げ、階段は悉く大理石を以てし、其の階上に至れば文學室、美術室、接見室、饗應室等有ゆる裝飾を施し其の壯麗なること、官公衙と云ふより寧ろ美術館に入るの感に打たれる位である、此館內は日曜、祭日を除くの外は一定の時間內に於て一般公衆の縱覽に供してある、此地は文藝美術の中心であり又遊覽的都會として世界各地の觀光客多く就中各國貴賓の來遊者に對しては特に優遇する場合勘なからず、從つて市廳の用務も大に多忙を極めて居る。





루ー부루 ルーブル博物館

此博物館은 世界에 有名한 것인데 루ー부루의 故宮殿이라 路易十四世가 最히 豪華를 極한 全盛의 時代에 於て 建設하엿고 其後 奈翁一世 及び 三世의 時에 至하야 이에 增築을 施한 것이다、面積 凡そ 六十 英町(エーカー)이고 館內 一と 通りを 巡るに 約二時間餘를 要한다 함즉의 宏大な 建築이라 디유 이루리ー의 宮殿과 接하야 歷代 君主의 宮殿으로 되얏던 것이데니 イルリーの 宮殿と 接し 歷代君主の 宮殿となつて 居たのであるが、現今은 巴里第一의 國立博物館으로 되얏다라

館內에는 歷代王室의 貴重한 寶物을 始め 文藝復興期(ルネーサンス)인 十六世紀時代의 것으로 繪畫、彫刻、陶器、漆器、寶石類의 美術品으로 되얏던 것이데니 아쓰시리야 이루리ー의 宮殿と 接し 歷代君主の 宮殿となつて 居たのであるが、現今は 巴里第一の 國立博物館として 公開されたのである。

古代亞細亞諸邦又는 埃及等의 發掘品은 一々之를 類別整頓하야 陳列되엿고 他古今의 傑作數千點以上을 蒐めてある、就中硝子箱의 中에 陳列しある、奈翁一世의 寶冠、軍刀、時計와 기타 것지 黃金や 寶石を 鏤めて 光輝を 放ち、觀る者自ら 不世出の 大英傑 奈翁が 全歐洲を 震動せしめた 當時を 追想して 轉た 感慨に 溢るゝものがある、此所には 常に 護衛의 武官이 치안코 附近을 守護して 居る、우오ー데루로ー의 大戰에 於て 遂に 太西洋上 센도헤레의 一孤島에 流さ れて 此に 幽死せる 奈翁の 英魂은 長く 全盛時代의 帝冠に 留つて 居る、今도 夜間深更에 入れば 時々 此附近に 帝の 幽靈이 現はるゝと 傳へられる 程である、

兎に角 此博物館은 佛蘭西 美術의 粹를 網羅함고 共に 興國의 歷史的 記念建物이라 云ふてよい。

나폴레온의 筆蹟과 肖像
ナポレオンの筆蹟と肖像

近世에 於て佛蘭西의 大革命이라 云へば直히 大偉人의 나폴레온을 聯想하는것이나 抑も路易十四世의 時革命의 端緒로된지라 身을 一青年士官에서 하야 第一統領으로된 奈翁은 其의 政權을 一度掌握함에 하니 로서 以て大히 前途의 趨勢를 達觀하고 有ゆる 雄略機智를 揮つて 帝政을 倒し、國民의 熱望함에 하니 이에기는 堅固なる 政府를 組織하는에 至つた、之より 內는 國民의 擾亂을 鎭制하고 外는 獨、伊、西三國을 征服하야 遂히 皇帝의 位에 卽하고 更히 全歐를 併呑코저하야 猛威를 奮하야 征露의 役에 於て 大敗의 結果、遂히 皇帝를 辭케하고 엘루바島의 王됨을 許하였으나 後ち 同島를 脫出하야 帝位에 復하므로 이에 하야 우오ー텔로ー의 大戰에 敗れ、遂히 太西洋上 센트헬레나의 一孤島에 哀れな 最後를 遂げたのである、佛國民은 一世의 功德과 悲慘의 末路에 深き 感慨를 抱き 帝의 靈魂을 崇拜함은 勿論長へに 其偉績을 國民에게 傳へて 居る、從つて 奈翁의 遺物이 今尙 巴里에 存置된 것이 하니 치아니하더라 勘からず。

此와 如き 空前絶後의 世界的大偉人이 如何なる 肖像なりしかと 云ふことは 何人이라도 注視せらるゝ 所であらう、奈翁은 槪して 美貌なりしが 身의 丈低く 且つ 瘠形의 小男であつた、故로 青年士官時代에 小伍長(リツトルコーポラル)이라 綽名されたと 云ふ、此 寫眞은 壯年時代의 肖像이오 又一世의 筆蹟으로 에 複寫한 것은 大革命의 際司令長官으로됨에 及び て宣言을 發한 지인 ものである、之에 依つて 야 當時奈翁의 猛然蹶起한 一大雄圖를 覩함이 하니라 足るべし。

엣휘루 エッフィル塔

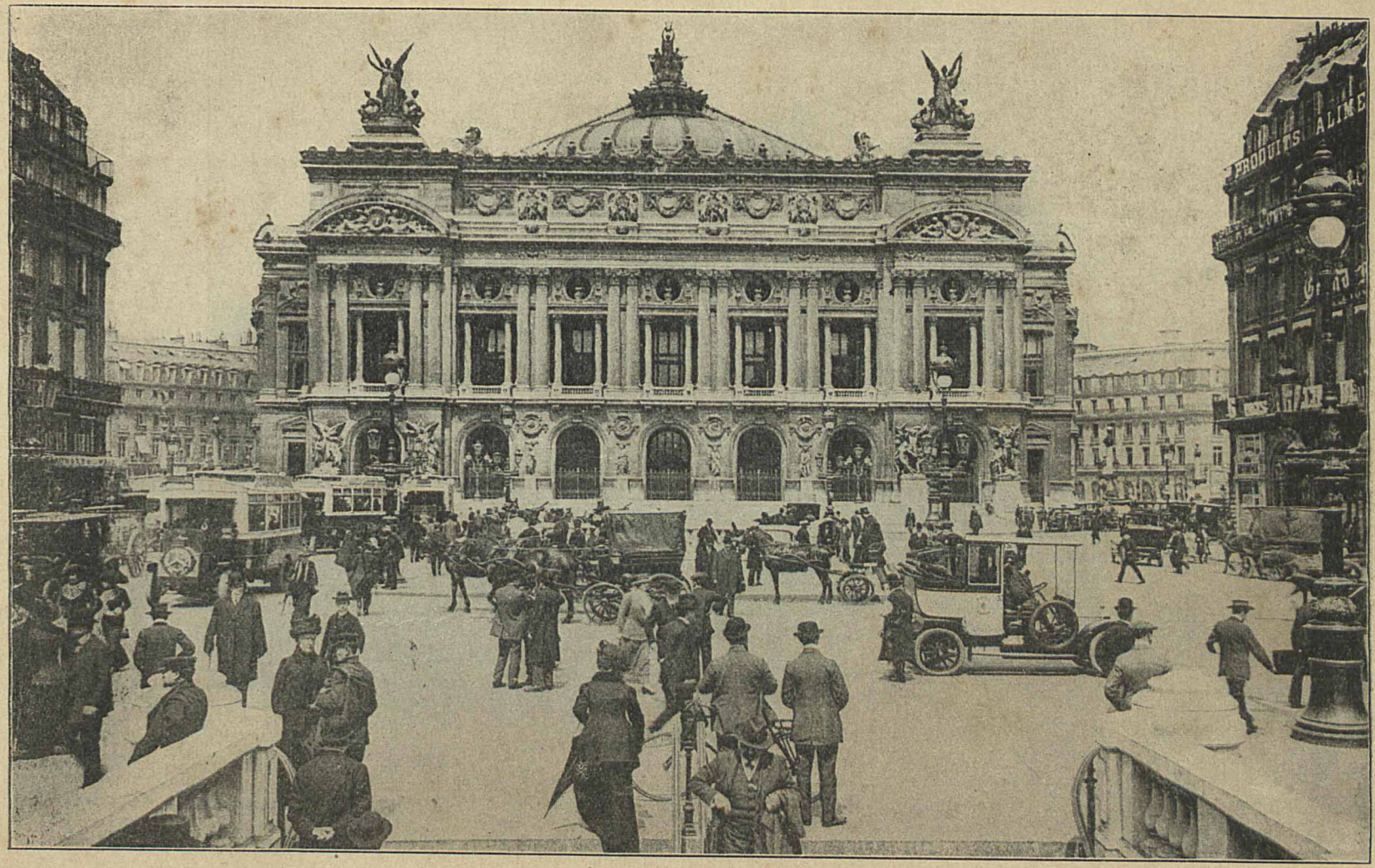
엣휘루(エッフェル)塔은 明治二十二年萬國大博覽會의 時에 建築せられたものである、其의 建築技師는 亞米利加의 엣휘루(エッフェル)라 ᄒᆞ는 人의 設計에 成れる爲め 特히 此名을 付ᄒᆞᆫ 것이되얏는다 ᄒᆞ더라 ᄒᆞᄂᆞᆫ、材料은 鐵條의 組み合せたるものを用ひ、其의 基準으로 ᄒᆞᄂᆞᆫ 底는 四本의 柱를 四隅에서 彎形으로 建て六百呎의 高さに於て合して 單柱로 되고 又最下의 眺望臺는 百五十呎의 高さにして 一邊三十五間의 四角形을 ᄒᆞ고 其上은 三百八十呎의 高さとなりて十六間四方을 有ᄒᆞ고、塔의 頂上에 近き所에는 最上의 眺望臺가 잇스니 此塔을 上下ᄒᆞᆷ에는 昇降機에 依るもあり、又千九百二十七을 數ふる階段에 依りて昇降ᄒᆞᄂᆞᆫ 것도 잇더라 界에서 於ける多年의 懸案にして 最히 苦心研究의 上建設せられ工費二百五十萬圓을 要せしと云ᄒᆞ더라、塔의 高さ二百米突에 達し 實に世界最高의 建築物이라 此塔의 最高所에 登れば巴里全市를 瞰下ᄒᆞ고 更に眼界를 遠く轉ずれば郊外의 大平野를 展望ᄒᆞᆷ 得べく實に無比의 壯觀である、塔의 最高所에는 氣象觀測所도 잇고 あり、又夜間은 探照燈을 點ずる設備ᄒᆞ엿더라 ある。

歐洲戰亂勃發して以來一時獨墺軍이 猛威를 逞ふし屢々飛行機及び飛行船으로 以て巴里附近에 來襲ᄒᆞ야 爆彈을 投下せんとするに當ᄒᆞ가、此高塔은 直히 大使命을 帶ᄒᆞ고、更히 大規模의 探照燈及び數門의 速射砲를 据へ付ᄒᆞ고 或은 無線電信을 裝置ᄒᆞ야 二千哩의 遠距離에 信號를 爲ᄒᆞᄂᆞᆫ 等、大히 武裝ᄒᆞ야 巴里防護의 重要ᄒᆞᆫ 任務을 盡したのである。

구란빠레ー
グランパレー

巴里は世界の文藝的都府とゝ謂へ或は世界の娯樂的、又は美術的都府とゝも、稱せられて居る、氣候温和にして又巴里民情の快濶なるは觀客に最も滿足を與ふる一因であり、且つ學術に美術に文藝等凡て世界の中心と稱せられ各地より來り遊ぶもの其數實に幾十萬に達すと云ふ、巴里には有名なるルーブル博物館を始め其外六ヶの博物館ありて、上下三千載、世界六大洲に於ける如何なるものも坐して以て研究し得べく、殊に美術に關する、二重の大柱廊を以て成り、其の建物の前面にはボーハー及びバーロー以下何れも名匠の彫刻あり、又柱廊の後部には硝子モザイクで絢爛たる裝飾を施し、是等は何れも巴里藝術の各時代を表示したものである、更に階上の支柱に彫刻しあるもの及び名家の繪畫を始め各室内の裝飾に至るまで悉く善美を盡してある、殊に繪畫、彫刻中最も貴重なるは希臘及び羅馬時代のものとして世人に知られて居る、此建物は毎年繪畫彫刻展覽會の會場に充てられ又飛行機、自働車其他機械の展覽會場にも使用される、悉く白の大理石より成り歐洲中著名の建物である、寫眞は外部の光景を撮影し又館内の一部を示したものである。




PRODUITS ALIME

구란도오쎄라 グランドオペラ

巴里의구란도오쎄라는 佛에 世人의 能히 知하는 所이나 其의 規模의 宏壯함은 勿論內外共에 裝飾의 美麗한 點에 於서 世界有名의 劇場이라 稱하엿도다 할지니라。

此의 劇場의 建築物은 디야루스·카ー데나아의 設計에 依하야 一八六一年에 起工하야 一八七四年에 至하 十三箇年을 要하엿는데 之가 建築裝置에 非常의 努力을 費하엿고 建築用材의 如き는 悉く 大理石을 用하야 千八百萬圓餘의 巨額을 投하엿더라 의 建物의 廣袤는 一萬二千三百四十八平碼(ヤード)에 達하고 舞臺의 間口百八十二呎、奥行八十二呎、高さ二百呎인데 觀覽席은 約三千人을 容하기에 足하고 劇場의 正面은 殆んど 其全長에 亙하야 大理石으로 成한 數段의 段梯子의 設けあり、玄關은 卽ち 此寫眞에 示しある 如く 彫刻을 施せる 七箇의 アーチに 依하야 出入口을 設けてある、建物上に 在る 煙筒形の 上には 異なる 民族의 音樂、舞踏と 詩魂等을 象徵せる 擬人彫刻의 金像을 列べ 各藝術의 特長을 示して 居る、場內의 裝飾은 金色及び 赤色等にして 天井을 飾る 油畫、和調의 勝利、アポロー의 神像、歌劇의 敎化など 悉く 美術的 光彩를 放つて 居る。

오쎄라는 オペラは 卽ち 國立의 劇場であつて 制服著用의 兵士가 嚴然として 立番して 居る、巴里人が「音樂は 精神의 滋養なり」との 信念より 建設されたものであつて 固より 音樂을 主とするのである、其 規模의 擴大와 裝飾의 華美及び 出演俳優とは 共に 世界第一이라 稱せられて 居る。

巴里人의 服裝

世界의 大公園이라 呼ばれ流行의 源泉地라 稱せらるゝ巴里人의 生活은 身에 錦繡綾羅를 纏ひ、食은 山海의 珍味를 盡し、入るに金華玉樓あるが如く其의 生活이 如何에 高度에 達し居るかを想像するに足る、是れ或は路易十四世時代의 豪奢를 極めた遺物의 存在と도 見るを得べく、殊に佛蘭西가 古來브터 美術的歷史를 有する所以의 도 佛人의 美的感念에 富む結果인데 今や世界의 美術國이라 함도 코 이아니오 從つて時好流行의 源泉地인 巴里의 衣裳은 小間物과 同히 歐米의 流行은 先づ此地를 中心으로하니 에는 數百의 裁縫과 製帽의 學校도 잇고 又裝飾學校などの 設けも도 잇서서 根本的學理보다 美術의 智識을 養成して居る、而して 衣裳의 如き는 單히 華麗や 體裁만에 함을 置くものでなく、其服裝의 形과 色彩와가 實用과 衛生과를 兼備する點に於て益々研究의 歩を進めて來た、殊に其의 意匠의 如き國內는 勿論、倫敦、伯林、紐育其의 他의 都會에까지 常に懸賞募集을 爲しつゝ、時好流行의 粹를 集め 世의 進歩變遷에 應じて其의 都度時代의 要求에 適合せしめ、益々世界流行源泉地인의 確保에 努力して居るのである、而して 米國이며 日本과 같은 것은 其의 流行의 先驅는 先づ花柳界나 俳優의 方面なるが、佛國은 貴顯社會브터 先きに行はるゝが常예라 함이 である、寫眞은 季節에 應じ 且つ其都度流行せる服裝을 示したもの 것이더라 でである。

佛蘭西家庭의 團欒

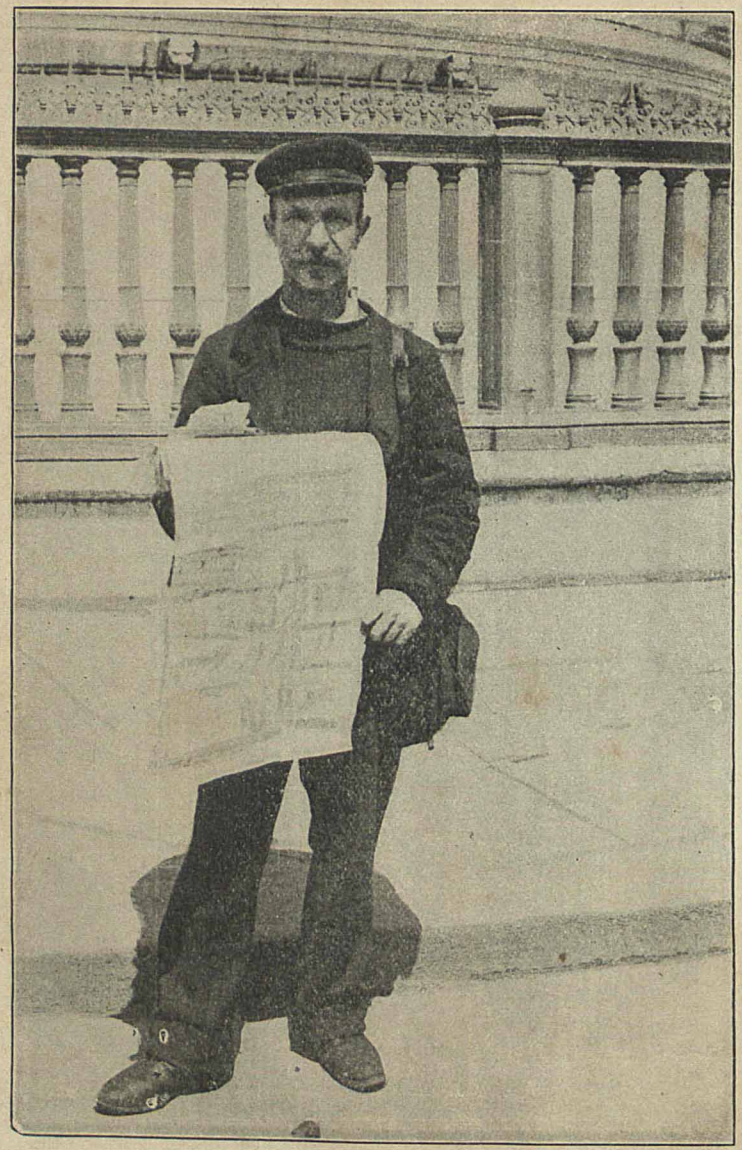
佛國의 家庭은 先づ巴里를 標準으로 하고 概說하야 見하노니、家屋은 卽ち歐羅巴流의 共同住宅이 多く、一家族에서 一家를 專有함은 富豪家에 非아니면 能히 못하ざることである、通常六七階의 大廈高層中의 一室若くは二三室을 借り受けて住居하는것이라 故로 一家屋은 恰사히 一町內의 如く其家屋內에 數多의 番地를 分하야 住居하는 有樣である、室內는 其의 人의 嗜好와 貧富의 關係에 依하야 異하나、普通은 座敷、寢室、書齋、食堂、臺所等을 備へ、其의 室內裝置에 至하야는 日本人의 淸晒淡泊함을 好むに反して 彼等은 富膽濃厚함을 喜び、置つては 物과 如き는 時計、小彫刻物、寫眞、畫帳、陶磁器等 殆んど 一小店과 如く 食堂과 書齋도 凡て之에 準하는것이오、飮食의 如き는 麵麭、獸鳥肉、野菜、果實等에 至하야는 上下를 通하야 葡萄酒인데 이라。而して 巴里人은 一見豪奢의 樣である이나 一般으로 云へば 勤儉貯蓄을 旨로하고、中流婦人의 如き는 僕婢를 使치안코는 自から 掃除、裁縫、洗濯、炊事其他家庭一般의 任務를 盡하니 尙夫婦를 始め 家族一同이 夕食함에 際하야는 互에 其日勤務의 狀況을 語り 合하고、或은 衣食의 上에 及び、尙進んでは 文學、美術에 移함도 있서서 其의 兩々相喜び 相親みて 和氣靄然たるは 誠에 羨むべきものである、又 小供이 있는이는 必ず 同卓에서 飮食케하야 更에 團欒의 興味를 增す、其의 食事終れは、別室에 行하고 或은 寫眞과 畫帖을 繙하고 或은 音樂을 奏하야 함도 있더라、此寫眞은 卽ち 母가 二人의 最愛하는 少女의 手를 取りて 一은 音樂 一은 舞踏(ダンス)를 懇切히 敎へて 居る 所である。

巴里의 貧民

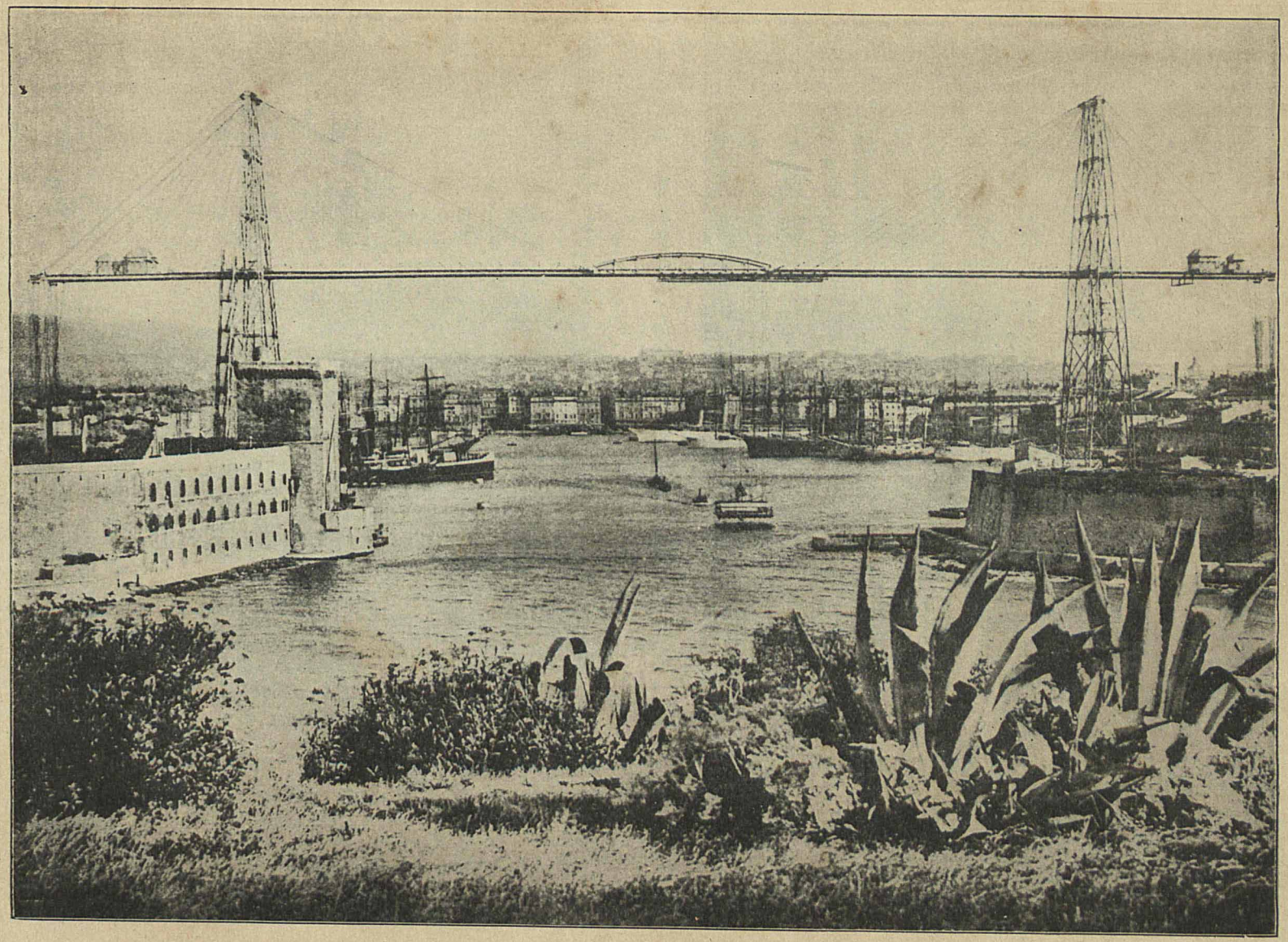
世界何れの國を問はず亦都會と地方とに關せず、人生には自ら賢愚貧富の懸隔あるは免れぬのである、是れ自然の理性と境遇の然らしむる所であれば亦止むことを得ない、上は宰相より下は乞食に至るまで、恐らく人類の階級ほど多いものはない、從つて日常の生活狀態も亦推して知るべきである。

巴里は美術の都府世界の樂園として一度此地に足を入れれば、市中到る所の街路は宏壯華麗な建築は有ゆる美術の粹を蒐め其の美觀光景に何人も驚かざるはなく或は男子の燕尾服や婦人が絢爛たる美服を纏ひ腕輪や指輪、胸垂等悉く金銀珠玉を鏤めて華美を競ひ居る有樣は、宛がら花の都たる感想を起すと同時に此繁華な都に正しく貧民などのあるとは夢想だにない、然るに何んぞ計らん、世界無比の此華麗な都も一歩轉じて觀察すれば困苦缺乏の悲境に泣く貧民窟あるは亦豫想外とする所であるが、然し我が東京の淺草觀音や其他神社佛閣の附近に乞食の徘徊するを見れば止むを得ない點もあらう。

此に示せる寫眞の右にあるは通行頻繁なる街路を徘徊して常に來遊觀客に注目して巴里名所の繪葉書や、地圖などを賣り辛うじて其日の家族を養ふて居る、左は最も貧家の兒童にして塵溜を探りて飮食物其他を拾ひ歩く所である、寶玉で包める華麗な都の一部にも此の如き哀れな境涯を送つて居る者がある、さりとは實に情けないことではあるまいか。







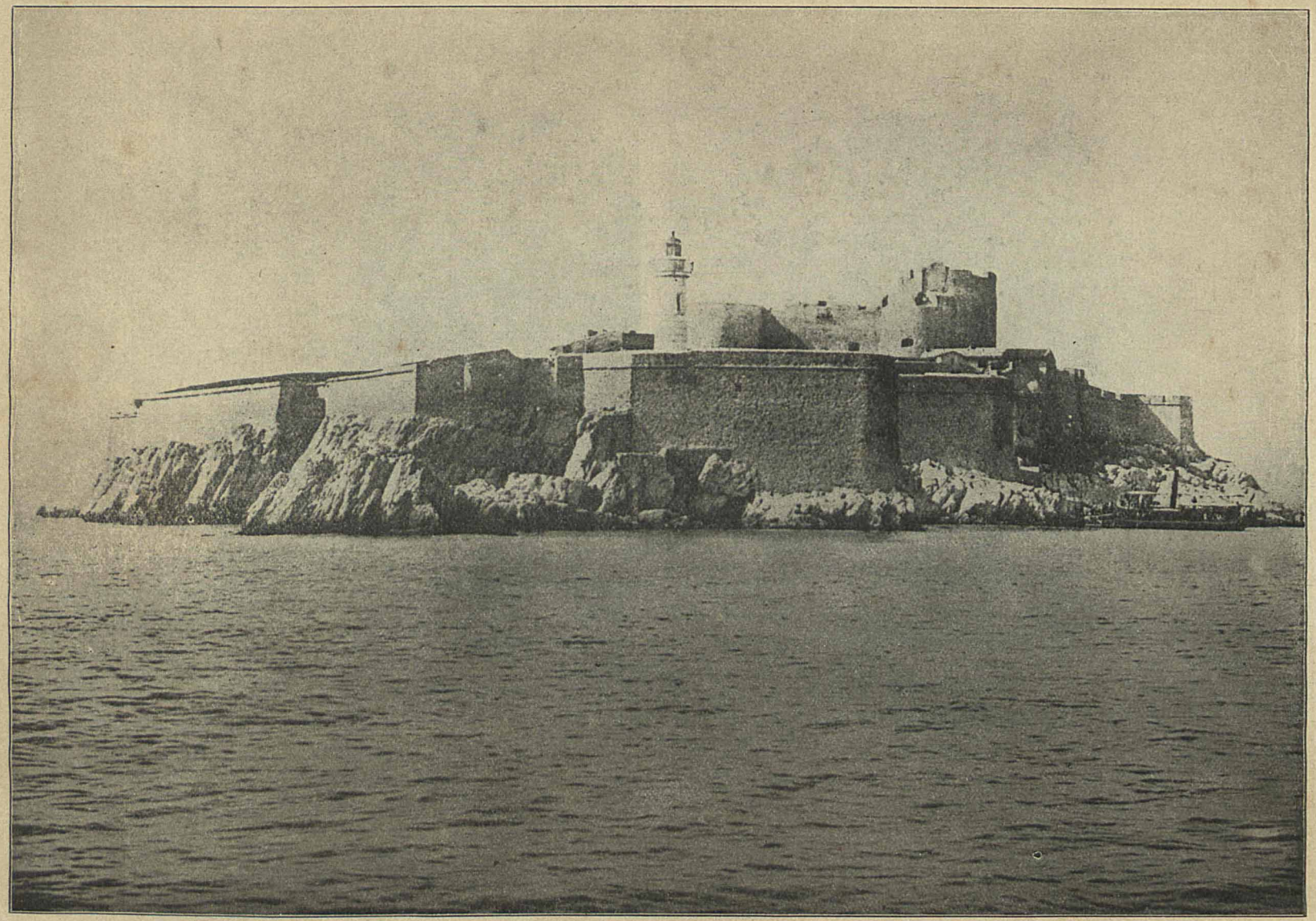
마루세ー유 馬耳塞（マルセーユ）

馬耳塞は地中海に臨みロー ヌ河口の東西十三粁(約十一里)に在りて歐羅巴、亞細亞、亞弗利加三大陸の要衝の地位を占め佛國第一の貿易港にして、地中海の旅客及び貨物の一大中心地であり、人口約六十五萬を有し本國第二の都會である、此港は陸地深く灣入せる天然的の港灣なるが、更に人工を加へられた結果益々良港となつた、卽ち天然的以前の港は僅かに帆船や小汽船の出入に過ぎざるも更に北方の築港は一里半に亙れる壯大堅固の一大防波堤を設け其の內部は棧橋及び船渠其他倉庫等の設備も完全して居る、而して歐羅巴の西南岸に臨み南は亞弗利加大陸を控へ、東は亞細亞大陸に接して海陸の連絡に最も至便なるのみならず、佛國第二の都會と稱する里昂を始め附近に繁華な都會を控へて居るから益々百貨集散して近時著しき發達を見るに至つた、殊に英國より東洋に至る陸路鐵道によりてマルセイユに出づれば最も近路であり、從つて東洋より西歐に至る旅客は此港に上陸するものが少なからず、此地の貿易として輸出の重なるものは織物、葡萄酒、果物等にして輸入品は穀類、油類等である、工業としては造船、製油、製粉業は最も盛んにして殊に里昂の如きは絹織物の盛んなること世界第一にして我が日本より生絲、羽二重を輸出して居る、當港は我が橫濱を去ること九千三十五浬の地に在り、日本郵船會社汽船の寄港地にして名譽領事館もある。

샤도와쓰에후 巖窟島

地中海에 瀕して馬耳塞の港外에서 히 遠く見ゆる一孤島는 世界에 有名なる巖窟이라 島である、 嘗て佛國의 大文豪 아레기산 돈、데유마ー가 著述せる「巖窟王」と 題する有名な小說이 現はれたので當時世界의 讀者에 히 大에 歡迎せられ、 從つて 此孤島에 祕藏せる不思議な事實이 世界에 知られた。

或る一水夫가 此一孤島에 流され大巖窟의 地底にして 更에 日光을 見ること 能はざる暗黑なる牢獄에 入りて、 哀れ二十有餘年의 間悲慘極まる境涯를 送り 身은 瘠れて蒼白色으로 되야 고나 命을 繼ぎつゝ ありしが、 不可思議에도 甚だ奇怪なる 梁谷法師에서 此巖窟島의 巖의 中에 何千年의 間埋藏されてあつた 幾億이라 云ふ 金銀財寶를 讓り受けて 此牢獄을 逃れ出で、 多年의 困窮悲慘은 一轉して 遂에 巖島伯爵으라 云ふ 非常なる 大富力과 權威과 를 得て 靑天白日의 世에 出づるや、 彼는 大에 感ずる所 이라 天에 代りて 處罰을 明かにし、 時에 或은 奴隸로서 救ひ出した 埃及의 王女를 擁して 其의 行方을 晦ま したと 云ふやうな、 變幻出沒極まりなき 狀態를 演せし 此興趣의 溢るゝ 好作物은 非常히 天下의 喝采를 博したのであつた、 今은 此島에 堅固의 堡壘를 築き、 其의 一部는 牢獄으로 되엿고 附近なる 馬耳塞의 東方에는 佛國第一의 キーロン 軍港이엇스니 港內水深く 多數의 艦船은 常에 碇舶し、 堅固의 砲臺와 大規模의 造船所도잇고 巖窟島는 一般의 觀覽도 自由로 되야 近時觀客의 此地에 來るもの 頗る多しと 云다 ふ더라。



보루도ー의 ボルドーの葡萄園

佛蘭西는 氣候最히 溫和にして概ね土地平坦且つ肥沃함으로써 自ら農業을 하야 케ᄒᆞ고 して盛んならしめ、特に副業으로 して果樹、牧畜、養蠶等도 盛んに行はれて居る、마루호ー루의 マルホール氏の最近調査に依れば佛國의 一箇年農産總額은 四十三億六千萬圓餘에 上り、而して 土地는 英國에 比すれば概して平均에 小分して所有せ로 되야 られ、六、百에ー구루 エークル以上의 所有者五百萬人을 有すと 云ᄒᆞ더라ふ。

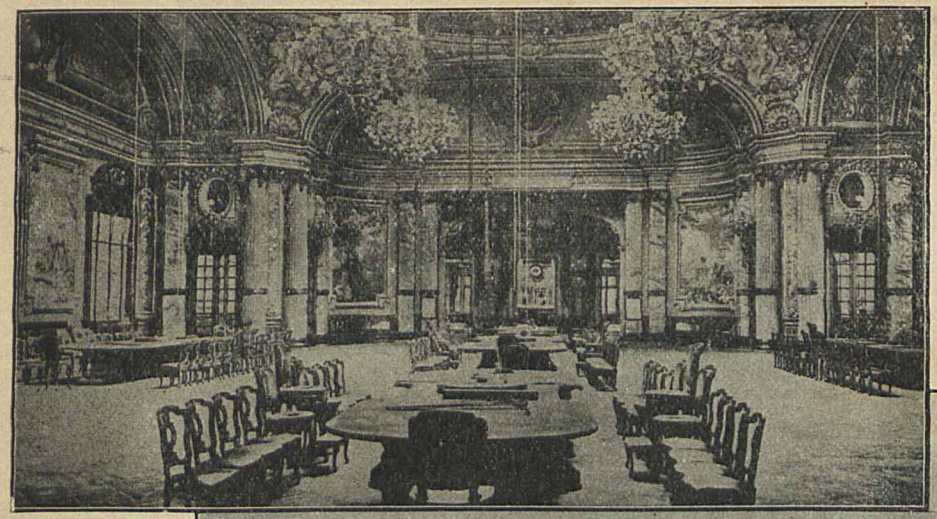
佛國의 製造工業의 最히 盛ᄒᆞᆫ 것은 織物業인오、之에 이의에 次ぎ葡萄酒의 釀造는 世界第一이라 稱せらる、亦시얀 셴 酒、林檎酒、부란데ー의 ブランデー等의 釀造도 甚히 多し、最近佛國의 葡萄酒釀造高는 十七億二千五百瓦(ガロン)에 達し 每年八月에 至ᄒᆞ면 葡萄酒의 相場는 佛國市場을 賑はして居る、從つて栽培의 와 如き 것도 全國耕地面積의 約二十五分의 一은 殆んど 葡萄園인ᄃᆡ 其의 盛況을 知ᄒᆞᆷ에 足ᄒᆞ더라 近時에 至ᄒᆞ야 全國의 栽培者는 漸次亞米利加種을 移植し 品質보다는 寧ろ豐産 なる種類의 撰定에 注目する 傾向을 呈し 고 就中葡萄의 栽培는 보루도ー 及びッ ー루ー스 ールーズ 地方이 生産地로 되얏더라 와 가론누 에서 보루도ー 殊にボルドー는 ガロンヌ河口より 六十哩의 上流에 あれど 잇스나지론 도의 江灣에 ありて 더 增水의 時는 六百噸以上의 大船도 此地에 ᄒᆞᆷ을 溯ることを 得るが 爲め、葡萄酒의 輸出地로 라되야 히 에 知らる、 ᄒᆞ얏더라

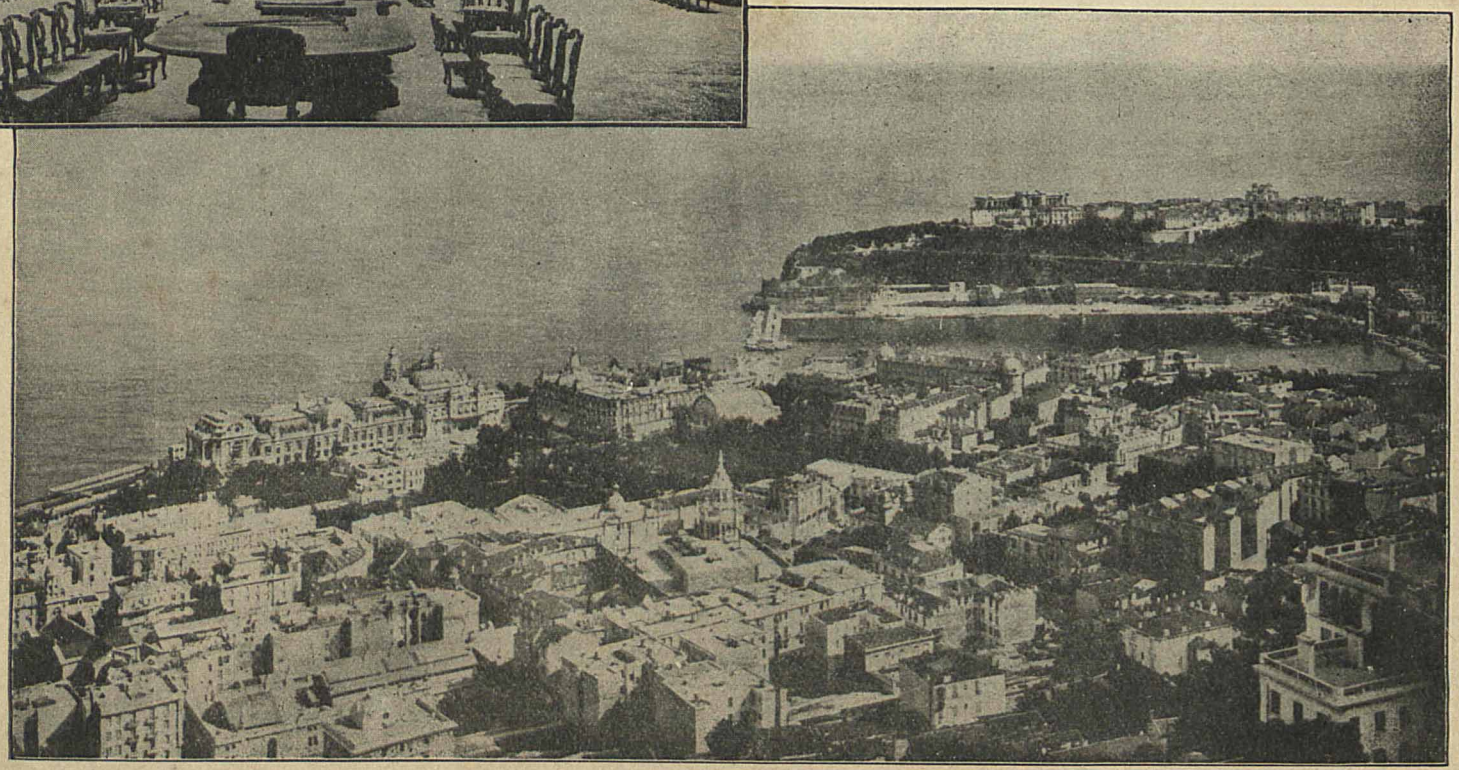
寫眞은 보루도ー의 ボルドー附近の大葡萄園이더라 である。

모나고의 モナコの有名な賭博場

모나고는 モナコは佛蘭西の南東地中海に沿ひたる一侯國にして面積僅かに八方哩に過ぎず、モナコは此國の首府にして人口約二萬、氣候最も溫和且つ四邊の風光絶佳を極め、全歐洲の避寒地として世に知らるゝ、されば此小市街なるに拘はらず頗る豪華裝飾を盡せるホテル其他の大旅館を始め劇場、音樂舞踏其の他の娯樂機關あり、或は銀行、裝飾品、化粧品、自動車會社、貴金屬細工店等は綠樹翠松の間に點在して宛がら佳麗の樂園たる快感を覺ゆるのである、近時歐洲各地の貴族や富豪の邸宅或は別莊を設くるもの益々多く從つて歐洲全土の寒風吹き荒むの時此地に避寒する外客の來り遊ぶ者尠なからずと云ふ。

此地にカジノと稱する有名な賭博場がある、最も眺望絶佳を極むる高地に於ける宏大壯麗な建築物である、如何なる文明諸國と雖も社會の裏面には必ず賭博は行はれて居るが、特にモナコ侯國は賭博を公然許してある、否寧ろ保護すると云ふに至つては實に珍奇の感に堪へぬのであるが、是れ此侯國が賭博稅を以て歲入の唯一なる財源とするのである、故に賭博場を公開し毎日九時より開場して夜の十二時に閉場するを例とす、但し係員の外絶體にモナコ人の入場を禁じて外國人のみ許可し其の最初の入場者は旅行免狀を示し入場券を得る規定である、歐洲人の貴顯紳士、富豪は男女共に卓を圍み血眼になりて勝負をなす、僅か三十分間に四十萬圓を勝ち得て大資産を作りし者さいありと云ふ、寫眞はモナコ市及び賭博場の內部である。





獨逸

獨逸は歐羅巴洲の中央に位置し、北はバルト海、北海及び丁抹に境し、東南は露西亞、墺地利匈牙利竝に瑞西と相接し、西は佛蘭西、白耳義、和蘭に連り、本國の面積は二十萬八千八百方哩にして之に領地を加ふれば約百二十萬方哩に上り我國の約五倍を有し歐洲六大強國中の最強國である。

獨逸は曩に墺地利と聯合し墺地利王家を獨逸皇帝と仰ぎ所謂神聖羅馬帝國の一部なりしが、一八〇六年に至り獨逸南部にライン同盟起り、ナポレオン一世を以て之が保護者たるに及び、獨逸皇帝フランシス二世は、神聖羅馬帝國の帝冠を辭し單に墺地利帝と稱し遂に舊獨逸帝國は全く瓦解した、更に一八一五年維納會議に於て墺地利、普魯西兩國を再建して獨逸聯邦を組織するに至り、此の同盟は附近の三十九國より成り、墺地利を以て盟主とした、然るに此同盟は獨逸の幸福を增進せざるのみならず却て人民を抑壓するの狀態なるを以て墺地利を同盟より除かんとして普兩國の軌轢愈々甚しく遂に墺普戰爭となりしも墺軍大敗して和議を結び、茲に獨逸と墺地利は分離するに至つた、其後普佛戰爭其他幾多の變遷を經て、新たに聯合せる同盟國は皇帝を戴かんことを希望し、獨逸聯邦の君主及び三箇の自由市府の委員は一八七一年一月十八日巴里附近のベルサイユなる佛國路易十四世の宮殿に於て普王ウイルヘルム一世に獨逸皇帝の位を奉じ、同年三月新帝國の第一議會を伯林に開きて獨逸帝國の憲法を議定し、之に由りて獨逸帝國は二十五の

聯邦より成立し、其の首長は獨逸皇帝の尊號を享け、普魯西王之を世襲し、皇帝は宣戰媾和の權を掌握し、又二十五國の代表者を以て聯邦議會を組織するに至つた、是れ獨逸帝國の起原である、而して獨逸は一八七九年八月墺地利と同盟成り更に伊太利を加入せしめて三國同盟を結び歐洲の一大雄國となつた、現皇帝ウイルヘルム二世はウイルヘルム一世の孫、所謂カイゼル帝として英邁豪傑の君主と呼ばれ、這回の歐洲戰亂勃發と共に歐洲諸強國を敵として奮闘せし偉大の猛威は皇帝と國民と相俟つて世界を驚倒せしめた。

政治は立憲君主政體にして獨逸聯邦の二十五州は獨逸帝國の憲法に據り帝國の軍事、及に政務は、擧げて之を普魯西王に委任し、此を獨逸皇帝と稱す、帝國の立法權は聯邦議會上院及び代議院下院にありて、又聯邦議會は獨逸の各聯邦を代表し、代議院は獨逸國民を代表するのである、獨逸は四面歐羅巴の諸強國に擁せらるゝを以て國防に最も力を注ぎ、一等保塁十七箇所、其他の要塞十九箇所を有し、悉く地下電信線を以て互に相連絡し、且つ軍用鐵道は中央本營より國境各處に聯通し各國境線に對する防備は實に完全嚴重である、又海軍は東海及び北海の二艦隊に分ち、東海にはキール軍港、北海にはウイルヘルムス、ハーフェン軍港に何れも鎭守府の設けありて之を統轄し其の艦隊の勢力に於ても世界第二位と稱せらる。

民族は住民の大部分はゲルマニ種獨逸種族であるが各國境附近には他の種族も混合し特に東部露西亞の國境にはスラブ民族多し、最近の人口約八千五百萬に達すと云ふ、獨逸が敎育の進歩せるは世界第一と稱せられ、殊に初

等敎育은 悉く全國에 普及하고 年齡六歲로부터 十四歲迄는 必ず就學을 强制하게 함으로 以て壯丁中에 無學者는 殆んど 無いと 云ふてよい、中等以上의 子弟를 爲하는 備學校라 하야 三年間의 敎育을 受하야 中學校에 入學케 하고、又職業에 從事하는 者를 爲하야는 實科中學及び各種의 實業學校竝에 大學等도 多數가 有하나 而して 獨逸은 實業學校에 重きを 置き 하야 主として 實力의 養成에 努めて 居る。

이 獨逸が 最近數十年에 於て 政治、經濟의 著しき 大發展은 世界를 して 驚倒케 하는 것이나 たのであるが、是等의 原因을 探究하면 獨逸은 北歐의 中心으로 占め 地勢及び 氣候良好にして 産業에 富み、河流至便にして 良港灣이 多く、敎育政策과 又理化學應用의 發達、國民의 協力과 熱心努力、歷代名君賢臣의 輩出하야 國家政策의 最善努力等が 國運의 大發展을 促した 主要의 原因이라 然이나 而して 獨逸은 一八〇六年佛蘭西에 敗られて 非常な 屈辱을 受けてより 以後 約十年間은 臥薪嘗膽의 時代であつたが、爾來憂國의 士가 切齒扼腕하야 國勢의 恢復에 努め、又國民自治의 精神을 基きて 國家를 改造し、義勇奉公의 精神에 賴りて 兵制를 定め 益々獨立自助의 精神을 皷舞するに 努力した、且つ國內産業保護를 爲め 官民共に國産을 需用し、外國産의 貨物을 購ふは 自國이 貧弱なりとし、或は外國의 機械로써 以て 獨逸의 製造所를 汚す 勿れと 云ふ 訓誡的指導奬勵するが 如き 獨逸の意氣健剛にして 而も上下一致의 政策은 到底他國에 其比를 見ざる 所である、加之獨逸의 民情은 勇壯敢爲로써 愛國心에 富み、思想緻密にして 學術研究가 盛んに、且つ應用の才幹에 富み 勤勉節儉으로 實業을 尊ぶもの、卽ち 獨逸을 して 富强國たらしめた 所以である。

伯林

伯林は一四四三年、에레구다ー후레도릿히エレクター・フレドリッヒ二世が、가스쁘레ー스ブレー河岸のコルンと云ふ處の城壁を築いて以來帝王の居住地となつたのである、現今は最히繁盛을極め世界第五位の都會と稱せられて居る、人口約二百三十萬餘을數へ市街는最히淸潔にして殊に有名なるウンテルデン、リンデン街の如きは模範的の市街として世人の知る所である、左右の人道에는아스후아루도를設けて廣告塔에貼り付け、猥りに各所に貼付して市街의風致를損せざる樣特히廣告條例 近 發布して取締りをなし或は下水의浚渫、街路의撒水、塵埃의掃除等衛生上도屆いて居る、或は紐育とか 巴里의大都會도大通は淸潔である나가橫町に入れば不潔な所が多い、伯林은小さな裏通りでも淸潔なること彼의比ではない。

이라는處의城壁을築고以來帝王의居住地로된것이더라은

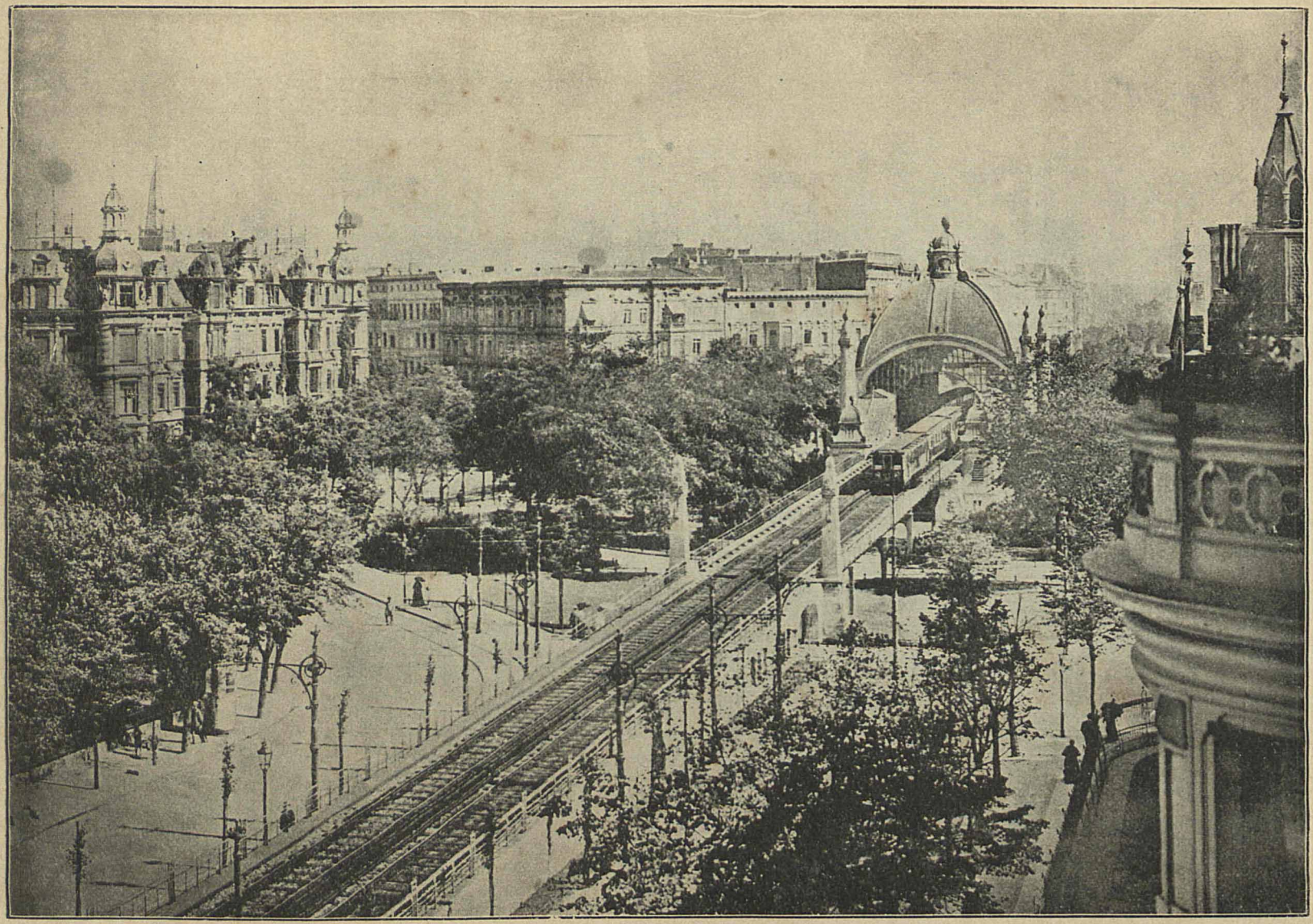
히繁盛을極야世界第五位의都會라稱더라

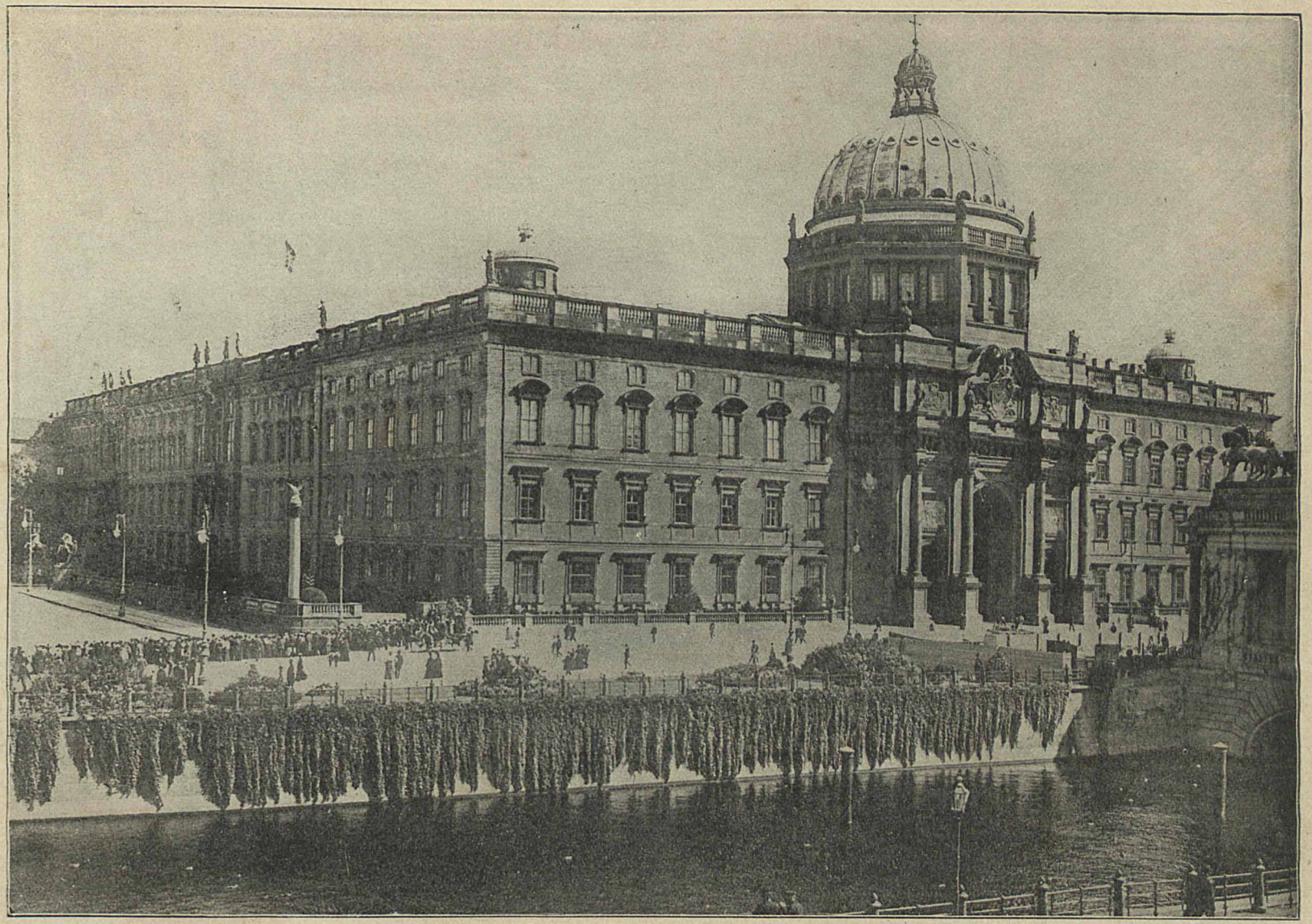
數고市街는最히淸潔にして殊に有名なるウンテルデン、リンデン街의如き은模範的로して世人의知는所이더라

き、又中央의車道에는린덴를菩提樹(リンデン)을植込みたる一條의道路를通야自然의土를踏고散策にも適して居る、兩側의家屋建築은特히市의建築條例에基야層建으로야規則正しき外觀을呈더라

야益々發達니り、卽ち電車는二百哩의街上를頻々往來고、又市街를二重에圍야居る高架鐵道며四通八達야居는地下鐵道의交通最히頻繁함을見홀지라도伯林의繁盛なる程度를窺홈이더라

市街의風紀取締도行야屆いたものであつて、市의經營에依야街上의各要所에周圍約三尺餘高さ二間程의廣告塔를設야비라와 같은것은、히廣告塔에貼り付고ㅁ음ㄷ로各所에貼付야市街의風致를損지아니는樣特히告條例 ᄉᆞ지 發布야取締りをなし或は下水의浚渫、街路의撒水、塵埃의掃除等衛生上도屆고은紐育이던지巴里의大都會도은大通は淸潔である나가橫町에入れば不潔な所가多고、伯林은小さな裏通りでも淸潔なること彼의比치못홀너라はない。





獨逸皇宮

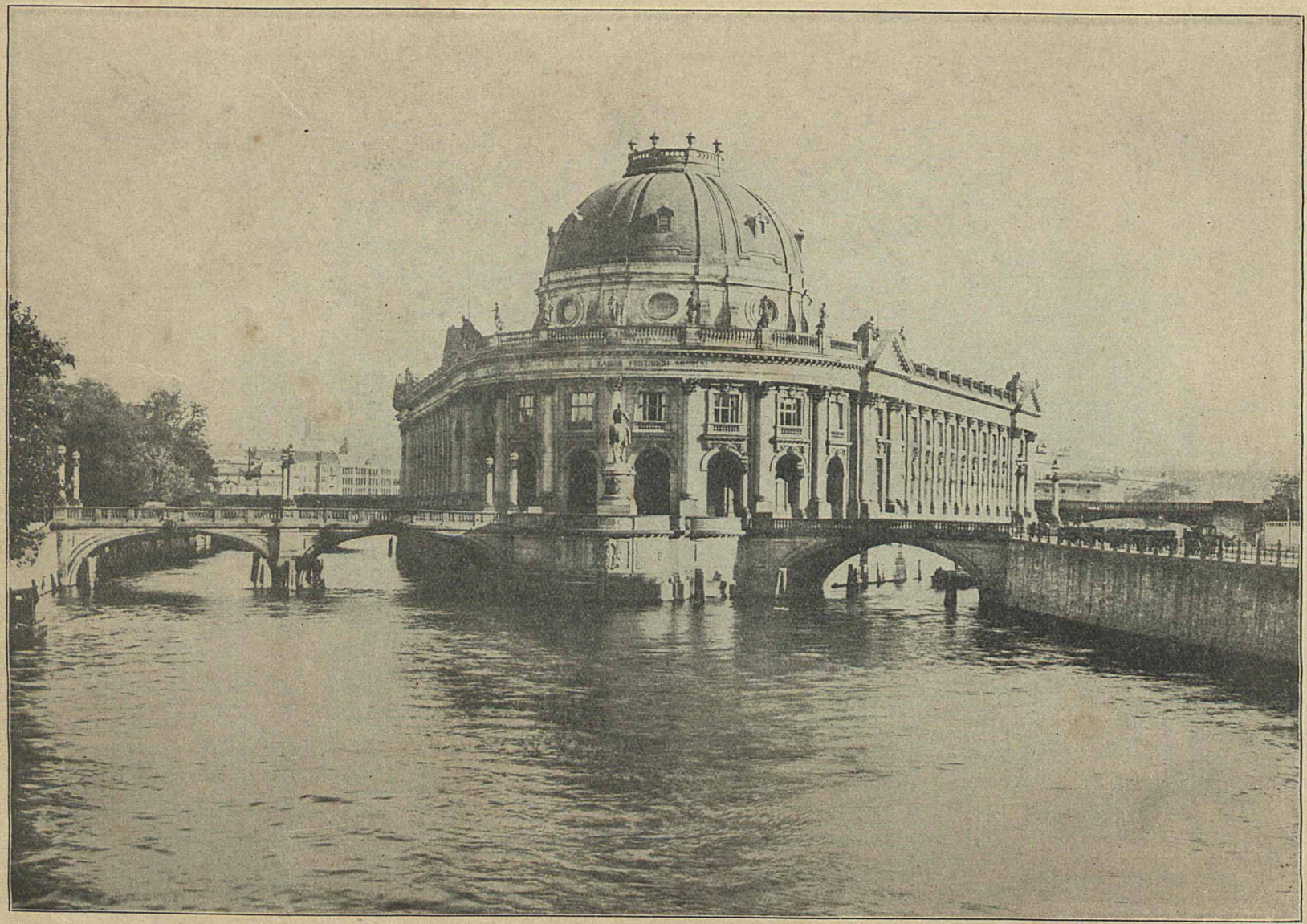
獨逸의皇宮을拜觀ᄒᆞ미ᄒᆞ야ᄒᆞ히先づ第一に歷代皇帝の變遷ありし時代を知ᄒᆞ미ᄂᆞ나ることが必要である、抑も獨逸은歷代名君이出ᄒᆞ고ᄒᆞ히ᄒᆞ후리덜의우이루헤루무과ᄀᆞᆷ은ウイルヘルム帝の如きは稀世の賢王であつた、彼の普佛戰爭에於てウイルヘルム一世는總督으로모루도게參謀長을從ᄒᆞ야南北部의獨逸兵八十五萬을率ᄒᆞ고此에ᄒᆞ야ᄒᆞ히을케ᄒᆞ엿스며나폴레온ᄂᆞᆫ히을ᄒᆞ고へて之に當り遂に佛軍を大敗せしめ、ナポレオン三世は自ら劍を脫し降りて俘囚と爲り更に普軍은優勢를乘ᄒᆞ며長驅ᄒᆞ야巴里를包圍ᄒᆞ고、佛軍은巴里의重圍에ᄃᆡ여ある事と百三十日餘內外相通ᄒᆞ치못ᄒᆞ고亦糧盡きてᄒᆞ야遂に降伏し、ᄒᆞ고佛國으로부터五十億法(フラン)의償金을受ᄒᆞ엿스며로도링겐의ᄒᆞ히을케ᄒᆞ야에より二州を割讓せしめ茲にᄒᆞ엿고、宮殿內ᄂᆞᆫ七百餘의이ᄒᆞ고之の第一階ᄂᆞᆫ皇族의居室로定ᄒᆞ엿고ᄒᆞ고其の第二階ᄂᆞᆫ王座의間、國賓響應室、白書院、禮拜堂等이有ᄒᆞ야者든지ᄒᆞ니라ある、獨逸興國隆盛의基礎를作ᄒᆞ엿고ᄒᆞ고、現帝ᄂᆞᆫ울리암의이니라ある。

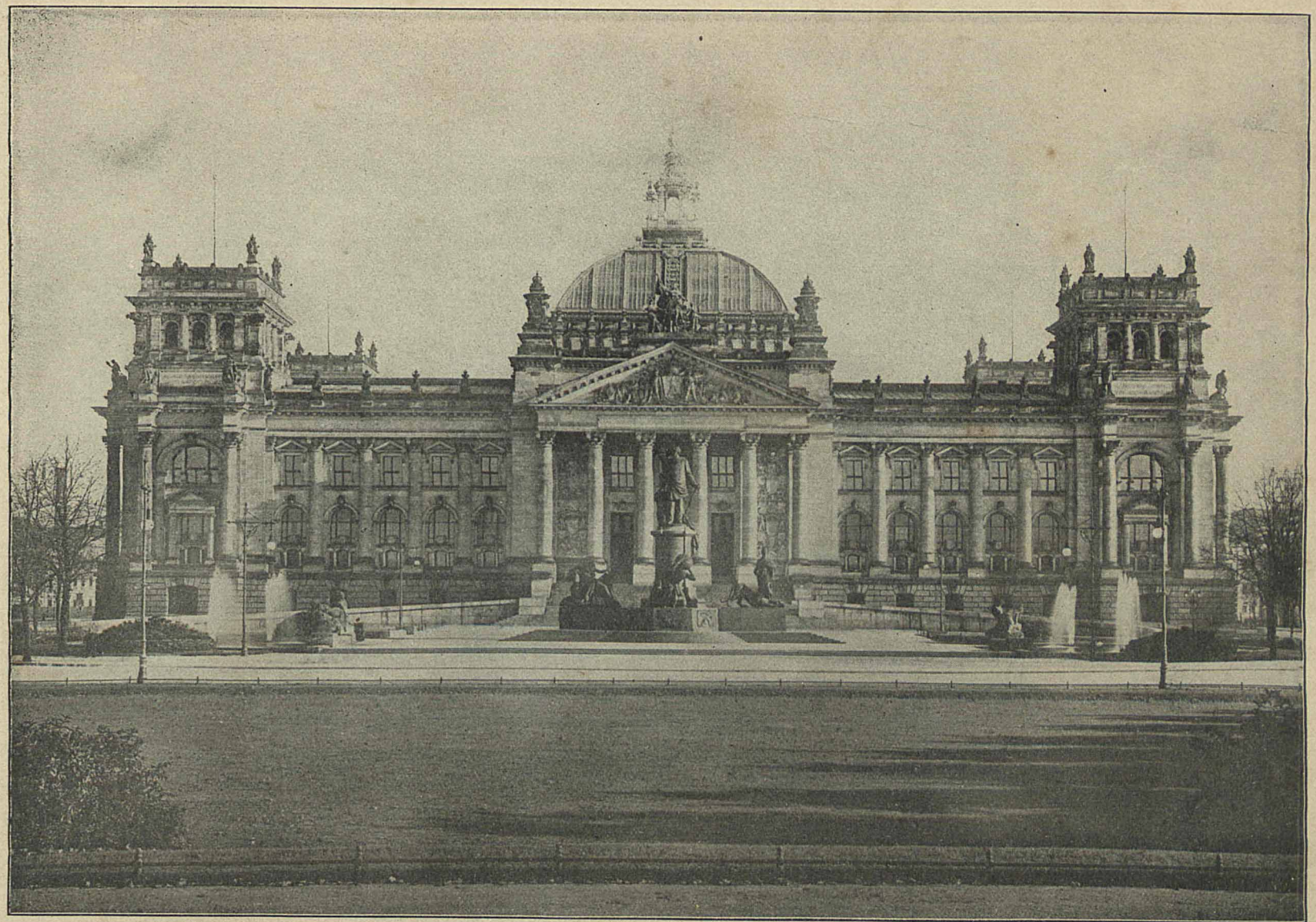
此の宮殿은후레더릭ᄀᆞ가ᄒᆞ야ᄀᆞ신ᄃᆡ二世により創建せられ約十數年을要し幾回의ᄒᆞ고改修を加へたものである、正面六百三十呎、奧行三百八十一呎、高さ九十八呎の四階로ᄀᆞ신ᄃᆡ建にして其中央に突出せる二百三十二呎の大圓蓋ᄂᆞᆫ最も壯觀을極ᄒᆞ엿고、宮殿內ᄂᆞᆫ七百餘의이ᄒᆞ고之の第一階ᄂᆞᆫ皇族의居室로定ᄒᆞ엿고ᄒᆞ고其の第二階ᄂᆞᆫ王座の間、國賓響應室、白書院、禮拜堂等이有ᄒᆞ야者든지ᄒᆞ니라ある、此宮殿은스푸레이의橋를隔てゝ諸官廳、寺院、劇場其他의大建築이有ᄒᆞ야ありて車馬의來往繁くᄒᆞ고、現皇帝ᄂᆞᆫ屢々二階의窓으로市民이雜鬧의ᄃᆞᆯ를ᄀᆞᆫ다ᄒᆞ며眺め給ふと云ふ、此宮城內ᄂᆞᆫ一人金五마ᄀᆞ구マーク(二圓五十錢)의拜觀料을徵ᄒᆞ야ᄒᆞ고入場券을渡し、約三十人의마다가有ᄒᆞ니라集る毎に案內するを例として居る。

후리 또릿 히 フリードリッヒ皇帝博物館

歐羅巴各都府의 博物館中에는 文藝美術이나 或은 古代의 珍奇逸品의 陳列이 있는 것이 不少나, 此 후리더릭 フリードリッヒ의 皇帝博物館은 獨得의 珍寶를 藏하고 있스므로 世界에 知られ 從つて 觀光外客의 觀覽하는者이 頗る 多く、亦 文藝、美術을 成하는 者이 不尠니라 或은 歷史上 好箇의 參考資料가 되는 것이 少なくない。

후레더릭 フリードリッヒ 皇帝博物館은 一八九八年으로부터 六ヶ年의 長日月을 經하야 一九〇四年에 至りて 竣成し 伊太利風의 바로크 式에 建築된 것이 요 正面에는 大圓蓋가 馬蹄形에 突起して 居る、其의 右方의 前面에는 메ーゾン의 入口





獨逸帝國議事院

獨逸皇帝は外國に對して國家を代表し、交戰の場合は宣戰を布告し、媾和條約を結び、外國と條約を締盟し又は使節を任命し及び各國公使を待遇するの權を有して居る、但し帝國立法權内に屬する條約及び宣戰を布告する境遇に於ては聯邦議會の協賛を得るを要すと規定してある、其の聯邦議會は獨逸の各聯邦を代表し、代議院は獨逸國民を代表す、而して聯邦議會の議員は五十八人にして一會期毎に各聯邦政府之を任命するのである、又代議院の議員は三百九十七人とし五ヶ年の任期を以て人民より選擧する、行政權は帝國首相を首班とし各尚書大臣其主務を行ふのであるが内閣を組織せずして唯だ首相の總轄を受け互に獨立して各自其主務を行ふ、而して聯邦各國の内政は悉く自治に任じ各聯邦に君主あり、政府あり、國會ありて又自由市には市長がある、自由市の漢堡は共和政體にして憲法を有し國政は元老院及庶民院の二箇の議會に屬し匿名投票を以て市長を選擧し其の任期は二ヶ年とす。

獨逸帝國議事堂は伯林のケニッヒ、プラッ街にありて一八八四年より起工し一八九四年に竣成された伊太利風の宏大壯麗なる建築物である、中央の大圓蓋の高さは二百四十六呎に達し、其の頂きには金色の王冠が裝飾してあり、建物の四方にある高塔は何れも百五十呎に達し精巧なる彫像がある、歐洲大戰亂の勃發と共に此議事院は屢々軍國議會を開いて議論沸騰を極め獨逸帝國の興廢運命を支配するのである。

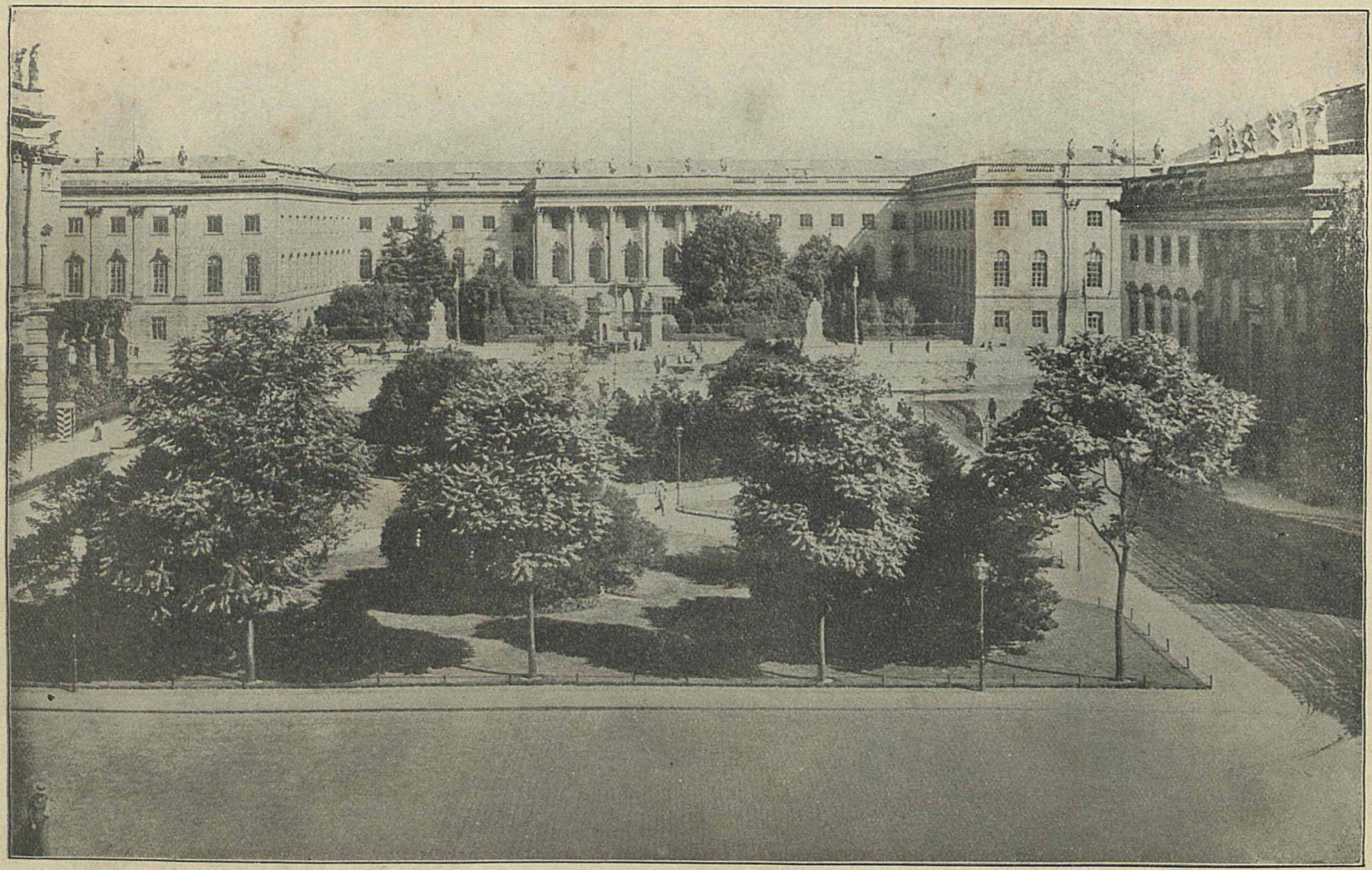
伯林大學

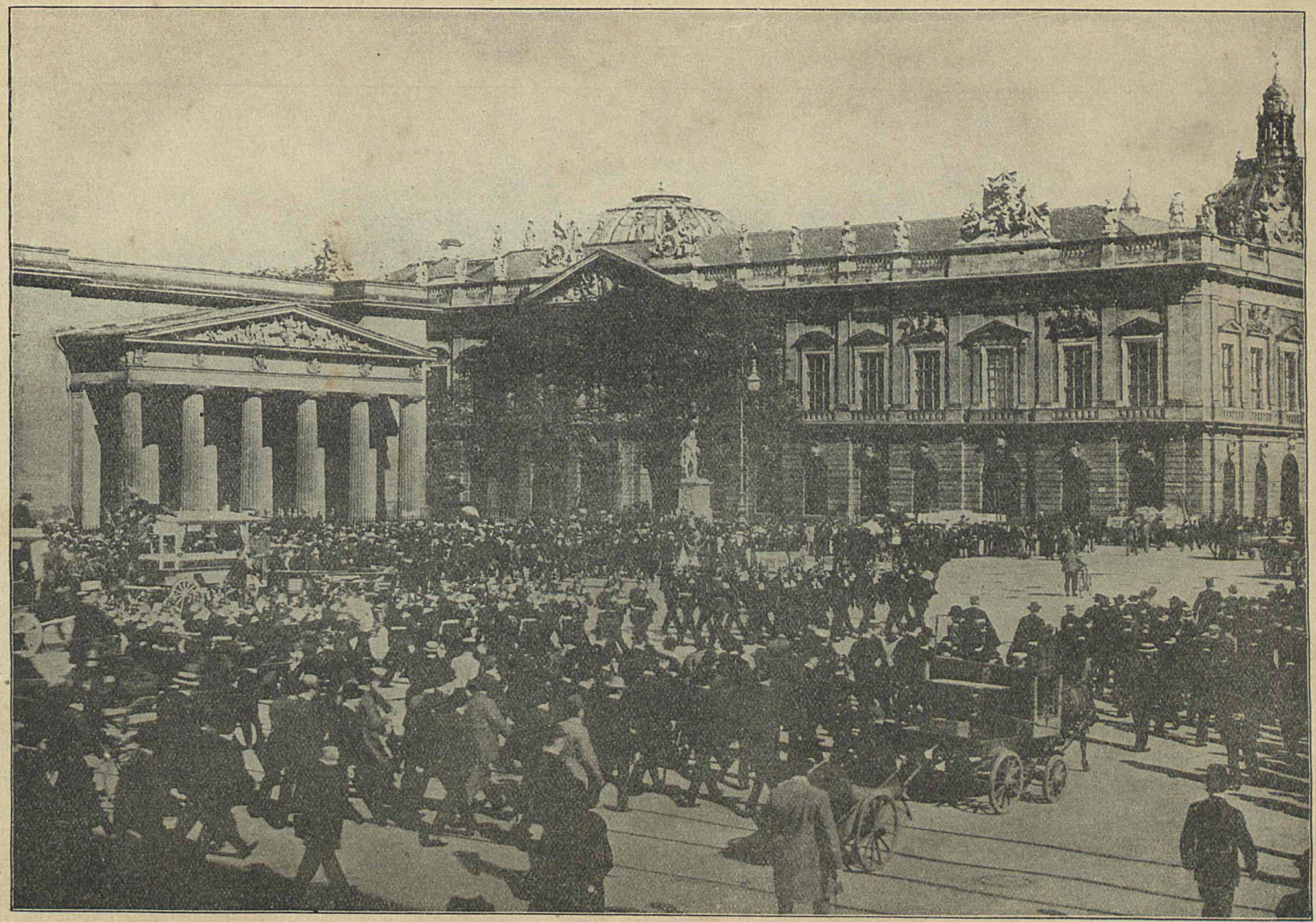
現在伯林大學의 校舍는 最初此地에 후레데릿히 리ー 헨 의 二世의 弟 헨리ー 親王의 宮殿으로 建設된 것이더니 千八百十年 卽 나포레온 ナポレオン 戰爭時代에 於て 普魯西는 大히 敗하야 悉く 敵의 重圍에 陷り 砲烟彈雨의 裡에 處하고 此建築物과 같도 其大部分은 破壞せられ 僅히 其面影을 存할 뿐인 의 如き 것도 되고 當時의 慘憺한 光景은 實로 世人을 하여금 驚嘆케 하였더라 である。

然하지마는 戰爭終局의 後에 至り 時의 文部大臣은 社會의 秩序를 回復함과 共に、一面으로는 敎育의 普及을 絶叫하야 此建築物을 改造하야 伯林大學이라 稱하고 其他學制의 統一을 計り 專ら 之가 完成에 努하였더라 である。

本大學 最初의 總長은 하시유마루쓰라 シユマルツ 라 云ふ 人이었으나 爾來 校務의 發展을 計ると 共に 學識優秀한 幾多의 學長이며 敎授를 招聘함에 及び 益々 其規模를 擴大하야 今에 獨逸의 最高學府 될 뿐 아니라 이라 케 되었더라 と 稱せられて 居る。

伯林大學의 組織은 法學、醫學、神學、哲學의 四分科에 分ち、現今에 於는 四百八十餘名의 敎授及講師와 九千二三百餘名의 學生과를 有하고 尙外에 多數의 聽講生이 有하더라 ある。





伯林遊就館

伯林遊就館は市中の中心にして最も有名なる繁華の地と稱せらるゝウンテルデンリンデン街大通りに面する大規模なる宏壯の建築物である、獨逸が神聖羅馬帝國以來二十五の聯邦組織を見るまでの間幾多の戰亂と變遷とを經たる遺物は悉く此の館内に保存されてある。

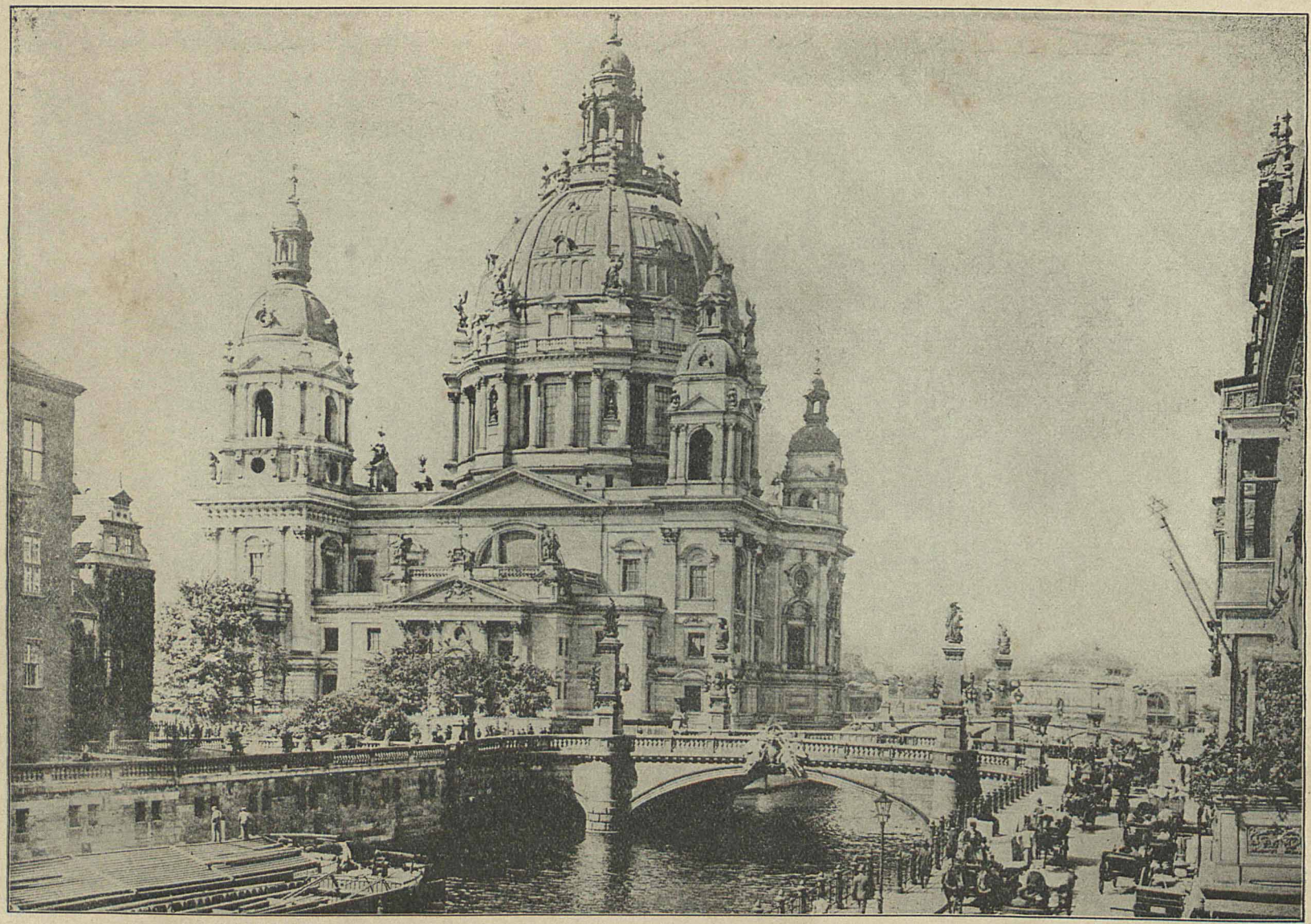
館内に入れば、フリードリッヒ大王を始めとし、ウイルヘルム帝其他歷代の帝王の遺物や、鐵血宰相と呼ばれたる有名の大政治家ビスマーク以下の名君賢臣の肖像を歷然として掲げあり、此より漸次室内深く入れば、墺地利と普魯西の聯邦組織を發端とせる一八六六年墺普戰爭の戰利品を始めとして普佛戰爭等に依りて得たる幾多の小銃、大砲其他の兵器と、獨逸が古來より使用せる兵器、軍服等各時代毎に整頓陳列の光景は流石に尙武國とし亦世界の强大國たる權威あるを窺ふに足るのである、殊に注目の價あるは一八七一年普佛戰爭の時普軍が勝に乘じ長驅して巴里城下を圍むこと百三十日、遂に佛蘭西を降伏せしめて、ウイルヘルム一世が巴里のヴェルサイユ宮殿に於て獨逸聯邦の帝位に卽かせられた當時の繪畫等は當代全盛の壯觀を感ぜしむるのみならず、勇將猛卒の肖像を掲げて其の偉勳を表彰せるが如きは獨逸國民に對する尙武の氣象を涵養するに於て絶大の效果あるものと云ふべし、

此寫眞は遊就館の前面を獨逸軍隊が喇叭吹奏と共に威風堂々と秩序正しき行進を群集が傍觀する所である。

伯林中央寺院

伯林에윤데루덴인은伯林のウンテルデンリンデンと云へば市中の最も繁華にして壯麗な所であり、通路의幅三十三間、中央의車道은이요左右의步道との間에는栗樹와似たる菩提樹(ボダイジュ)가二列에行儀正しく列べ植えてある、道路는最新式의木片으로以て疊み、凱旋門으로부터王宮前なるスプレー川の橋까지約一哩程一直線에連り此川을以て伯林市를二大分して居る、市街의兩側에는遊就館、伯林大學、帝室劇場을始め、先帝御殿、圖書館其他壯麗なる建築物이櫛比し、東에行けば宮城、西에行けば凱旋門이有하며、此附近車馬의來往織るが如く頗る雜閙를極めて居니라。

中央寺院은卽ちウンテルデンリンデン街의末端에在り、一八九四年으로부터一九〇五年에至るまで十一箇年間을要하야最히精巧緻密의研究에因りて此의宏大なる建築을完成されたものである、寺院의前面間口는二百四十六呎이요、其奥行은三百四十四呎이며、又中央에突起せる大圓蓋(ドーム)는三百七十四呎에達하니、實에一見莊重嚴肅의外觀을成하야居る、內部에는如きは何れも絢爛たる裝飾을施하야光輝燦然として人目을眩射하며、特히堂內에는頗る宏大なパイプオルガンが備へられてあるは何人も目의著く所である、又寺의南側에는結婚式場、洗禮의禮拜堂이有하며其の一隅에記念堂がある、此所로부터更히地窖에至하면호헨쓰와렌루王家의墓所와普魯西의爲めに偉勳이有하시大政治家及び將軍等八十七人의柩를藏めてある。



비스마루구 ビスマルク記念像

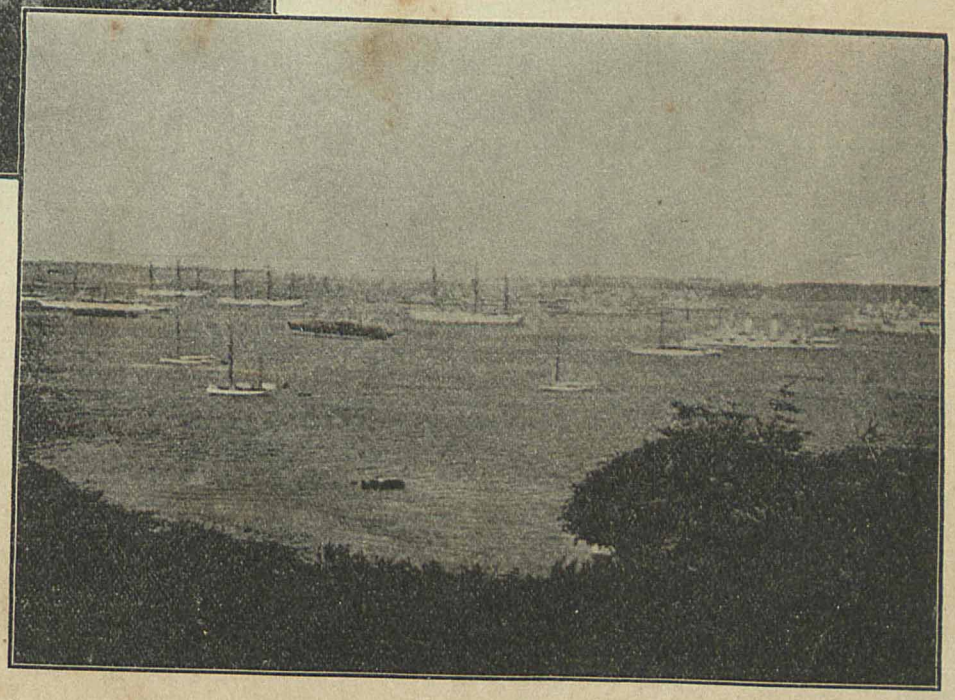
非凡의 英主된 우이루헤루무 ウイルヘルム一世는 彼의 有名なる 鐵血宰相 이라 ᄒᆞᄂᆞᆫ네스막구 マーク를 登庸ᄒᆞ야 大帝統一의 大事業을 完成ᄒᆞ고 遂히 獨逸新帝國의 興隆發達을 爲한 것은 眞히 世에 聲名을 轟ᄒᆞ거시나 이와 斯의 如히 歷代名君 賢臣의 輩出ᄒᆞᆷ은 卽ち 歐洲六大強國中의 最强國된 勢力을 有ᄒᆞᆷ에 至ᄒᆞᆫ 所以라 할 것이다、彼의 普佛戰爭에 於て 佛國이 遂히 降伏되며 미스막은 ビスマルクは 佛國行政部長 지에아와 チエーアと 商議ᄒᆞ야 佛蘭西로부터 에루사스 エルサス、로도린겐 ロートリンゲンの 二州과 五十億法(フラン)의 償金을 取ᄒᆞᆷ기로 ᄒᆞ고 和議를 結ᄒᆞ미 우이루헤루무 ウイルヘルム一世가 獨逸皇帝에 位ᄒᆞᆷ과 共히 獨逸新帝國은 憲法을 布ᄒᆞᆫ 國政을 改ᄒᆞ며 或은 産業、貿易、學術의 奬勵로 或은 海外殖民政策等 有ゆるᄒᆞᆫ 發展向上을 促ᄒᆞᆫ 一은 戰勝後國民의 意氣가 盛ᄒᆞᆫ 에 ᄒᆞ야 奮勵努力에 依ᄒᆞ며、一은 비스막의 ビスマルクの 內治外交政策의 大に 與ᄒᆞᆫ 이 力ありしものと 云ᄒᆞᆷ미可ᄒᆞᆯ지라 ふべく、其後露土戰爭의 結果 伯林條約締結의 際에 비스막의 マルクの 權謀術策이 露國民의 憤懣을 抱ᄒᆞᆷ으로부터 ᄂᆞᆫ 露國의 復讐를 恐ᄒᆞᆯ야 此에 對抗ᄒᆞᆯ기로 爲めに 獨墺의 同盟을 策ᄒᆞ고 一八七九年八月同盟締結ᄒᆞᆫ 엿스나 たのであるが、然ᄒᆞ나 露國은 必ᄒᆞ히 佛國과 同盟ᄒᆞᆷ을 豫想ᄒᆞ고 此에 對抗ᄒᆞᆫ 거슨 爲には 更に 伊太利를 加入せしむるᄒᆞᆷ미 必要로 認ᄒᆞ고 遂히 三國同盟을 結ᄒᆞ니라 んだ、這回에 歐洲戰亂의 際に 도 如何に 彼가 先見의 明ありしかを 知ᄒᆞᆫ 과 同時에 獨逸大帝國를 建設ᄒᆞ엿스며 た 大政治家ᄒᆞᆫ 이 되ᄒᆞᆯ을 感せしむ、記念像은 漢堡(ハンブルグ)市에 在ᄒᆞ야 獨逸民이 此大偉人에 對ᄒᆞᆫ 敬慕의 念을 永世히 頌表ᄒᆞᆯ고자 거시라 されたものである。

獨逸皇室劇場

伯林에 來ᄒᆞᄂᆞᆫ 觀光客으로ᄂᆞᆫ 先ᄌᆞ 市街의 最ᄒᆞ 繁華ᄒᆞᆫ 데ᄃᆞᆨ 뎬 린 뎬 과ᄒᆞ리ᄯᅩ리히 스도랏세 ストラッセ 附近의 光景을 始ᄒᆞ야 皇宮과 博物館、大學、寺院等의 名所古蹟을 見物ᄒᆞ지라、更히 一日의 閑을 得ᄒᆞ야 皇室劇場을 觀ᄒᆞᄂᆞᆫ 가 ᄒᆞ니라 ᄒᆞᆫ 後ᄒᆞ야 ᄒ







キール軍港

キール運河は유도란또 의 ユトランド半島の頸部に在ᄒᆞ야 북해 의 에루베 河口の의 ブルンスビヒ 와 킬 에서 ᄒᆞ엿고 바루도 의 기루 에 ᄒᆞ고 北海のエルベ河口のブルンスビヒ와キールより起り、バルト海のキール灣頭に達し其の全長六十一哩に達ᄒᆞ엿고 이우이루헤루무스하후엔 의 運河の開通せざる以前はウイルヘルムス、ハーフエン을 根據로ᄒᆞ고 北海艦隊와 기루 를 로 ᄒᆞᆫ 바루직구 와 キール을根據とせるバルチック海艦隊と는 히 相互의 狀態に 이 요 ありて、噬馬半島를 迂廻ᄒᆞᄂᆞᆫ 은 遲緩は勿論、戰時에 於て他國의 同意를 得ᄒᆞ엿스나 이 나 然らざれば其の反對를 排ᄒᆞ야 中立을 侵害치아니ᄒᆞᆫ미不 ᄒᆞ니 可からず、卽ち獨逸의 이 가 此の二大艦隊の相離れ居ᄒᆞᆫ 면 는 佛蘭西의 太西洋艦隊와 地中海艦隊와 相離れた 함 과 る如くであつた、故に獨逸政府는 敵의 艦隊와 對抗ᄒᆞᆷ 을 得ᄒᆞᆷ 은 るには是非共北海와 파 루직구 와 의 とバルチック海との運河開通을 必要로ᄒᆞ야 기 し我が明治二十年六月에기루 의 運河の起工에 著手ᄒᆞ야 滿八箇年의 星霜을 超ᄒᆞ고 經費約八千萬圓以上을 要ᄒᆞ야 次 漸く竣成ᄒᆞ엿고 された、水深二十九呎、幅二百十三呎으로 ᄒᆞ야 ᄒᆞ고 ᄒᆞᆫ 에는 兩端には閘門을 設けて水量을 調節ᄒᆞᄂᆞᆫ 가有ᄒᆞ고 する仕掛である、此運河의 의 開通せし 바 結果、倫敦、聖彼得堡間의 航路는 二百三十八浬、漢堡、聖彼得堡間四百二十浬를 短縮ᄒᆞ고 貿易上의 利益도 多大에 ᄒᆞ며 して、且つ獨逸의 二大軍港을 連結ᄒᆞ야 經濟上、軍事上에 非常의 利便를 與ᄒᆞᄂᆞ니라 へた。

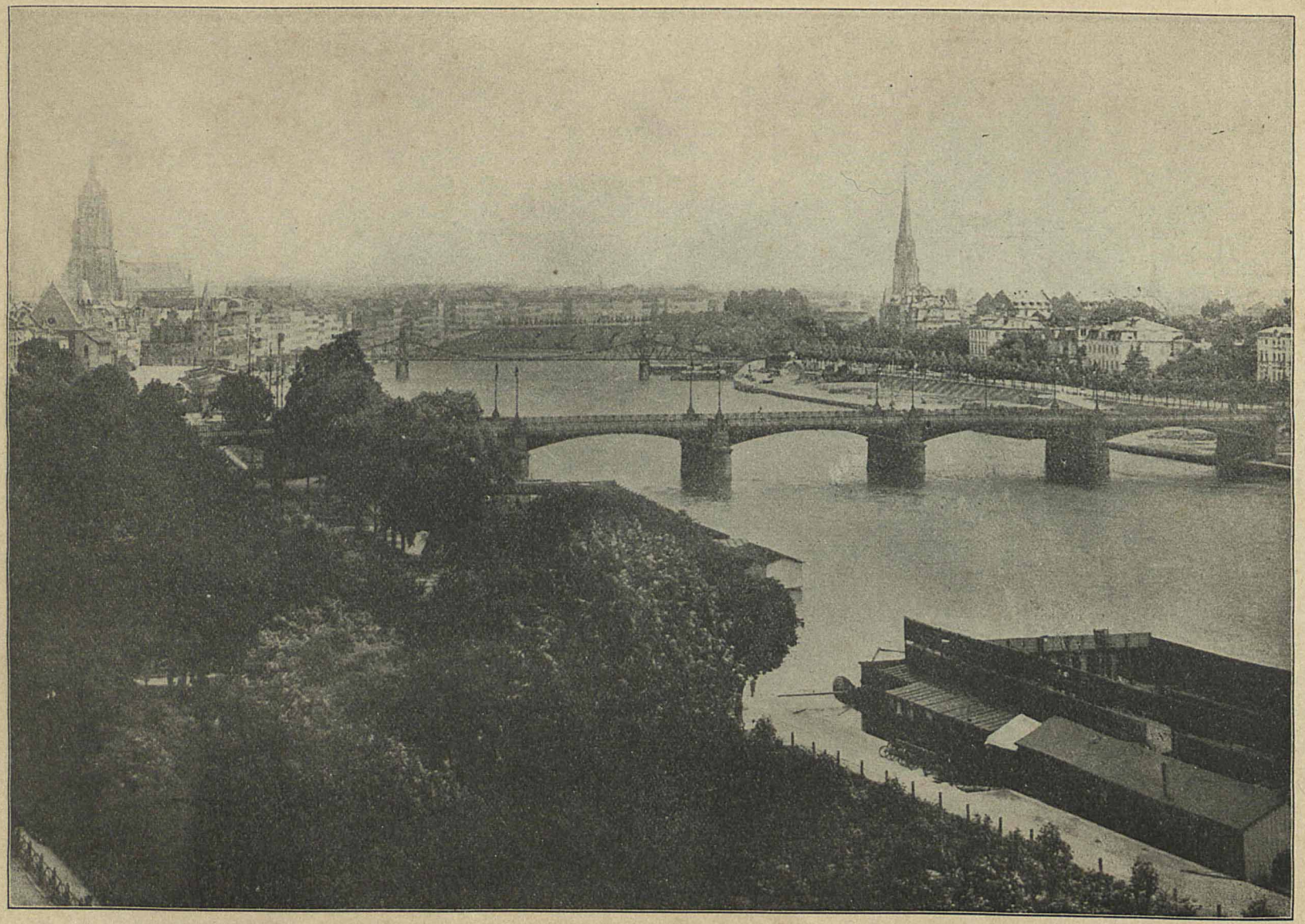
기루 은 キール軍港は獨逸第一의 軍港으로 ᄒᆞ야 ᄒᆞ고 로부터 漢堡より七十九哩의 地에 在ᄒᆞ며 ᄒᆞᆫ 에 市街は灣의 西方에 延びて北海의 入口에 ᄒᆞ야 ᄒᆞ고 に達し、軍港內には常に七萬人以上의 職工을 使用ᄒᆞᄂᆞᆫ 히 ᄒᆞᆫ 大造船所가有ᄒᆞ고 がある、卽ち獨逸바루직구 의 海艦隊의 根據地로 ᄒᆞ야 にして又鎭守府가有ᄒᆞ며 あり、歐洲大戰亂에 際ᄒᆞ야 し此의 艦隊는 近海에 出沒ᄒᆞ야 して屢々海戰이有ᄒᆞ니라 した。

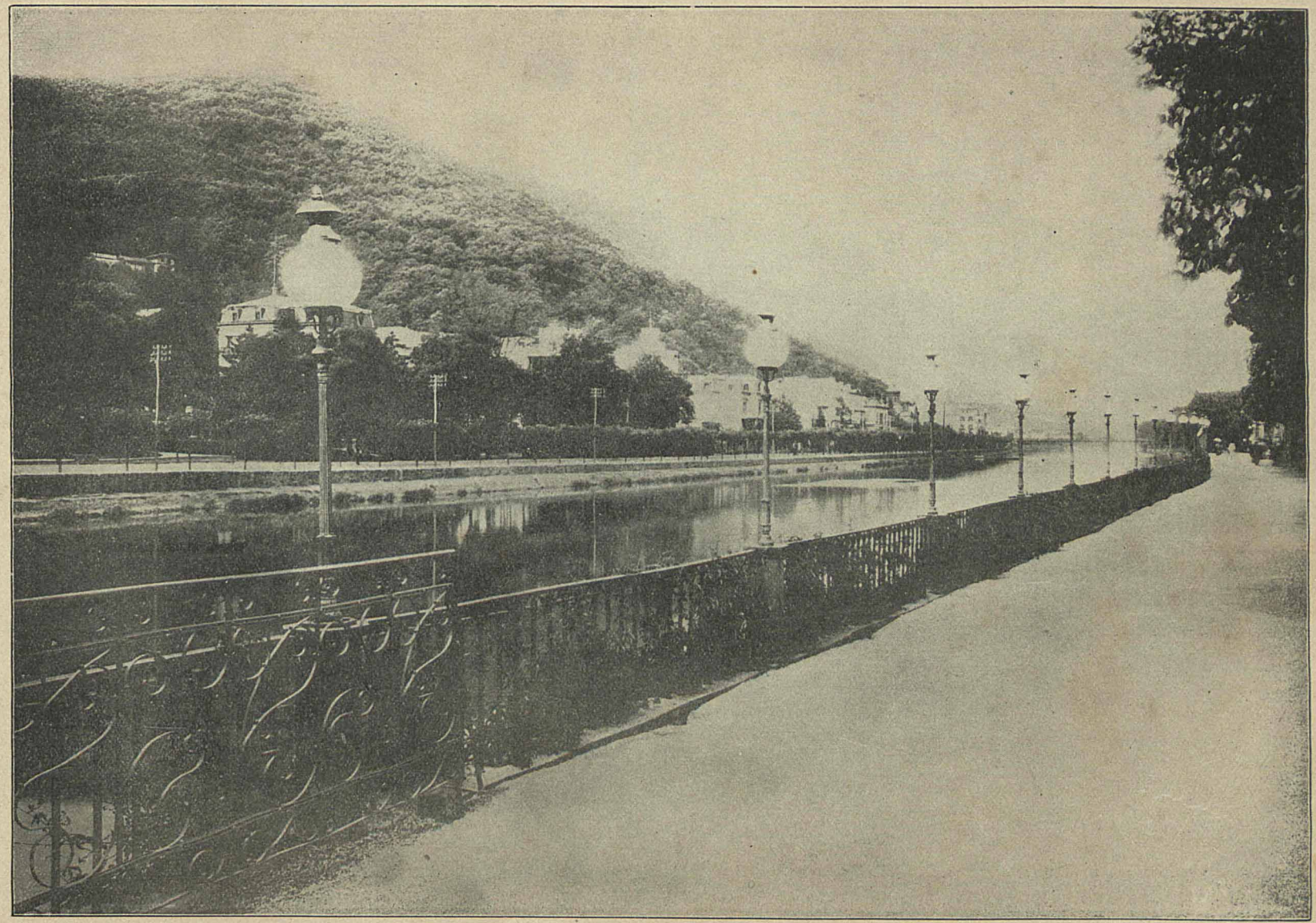
후랑구후오루도 フランクフォルト

후랑구후오루도는 프랑크푸르트(フランクフォルト)는 쭈(マイン)河의 一支流인 마인(マイン)河畔에 位置하니 쭈(マイン)河의 河口를 遡ること二十哩에 要하여 各地에 對한 交通上 最히 要衝의 地를 占하였으므로써、貨物集散의 一大中心을 成하며、從하야 內外의 貿易도 盛하야 商業頗히 繁盛을 極하고、亦銀行會社、取引所、博物館等의 大建築物이 有하야 俗에 世界大銀行都府의 一이라 稱하며 最近의 人口約四十萬餘가 有하야、亦獨逸의 有名한 製作工業地를 成하니라

此地는 古來有名한 城壁이 有하였으나 今은 其蹟影을 失하고 只遠히 五世紀의 頃 此地로부터 獨逸文明의 曙光을 發하였다고 云할 만한 位에 在하였으나、古代의 遺物等은 悉히 此所의 博物館에 保存하야 古き歷史를 示하고 處所이요 居る、彼の有名なる碩學者ゲーテと云ふ人は此地の出生なりと云ふ、更に建築物中歷史的として觀るべきものは、레오마라고 稱하는 市廳인데 후레데릭 레ヲーマと稱する市廳にして、フレドリッヒ一世는 此所에서 卽位式을 行하시니라、其の樓上には歷代帝王의 肖像도 揭하였더라 ある。

후랑구후오루도는 フランクフォルトは 쭈(ライン)河의 支流에 在하니 天然의 風光에 富함을 以로 羅馬時代로부터 此地에 來하야 遊ぶ者多く 殊に詩人墨客及び史實家等은 古로부터 이 緣因의 深き所이고、市街의 外觀及び家屋內外의 構造와 其他凡てが 頗히 風流雅致의 趣あるが如き는 地理的自然의 感化으로부터 來하였더라 ものであらう。





에무스의 エムスの鑛泉場

에무스의 エムスの鑛泉場は헷세나소유에를니 ヘッセーナソユーに在りて此附近に於ける産出物도不도 勘치 아니한 것이다。

エムスの鑛泉場はヘッセーナソユーに在りて此附近に於ける産出物も不勘

고 또 市中에 運河를 縱橫으로 貫通케 한 エムデン市とは政治經濟上の

なからず、且つ市中に運河を縱橫に貫通せる에무덴 エムデン市には政治經濟上の

關係도 深고 亦 此地方 一帶의 百貨도 集散하야 商業의 中心인故로 에무스

關係も深く、亦此地方一帶の百貨も集散して商業の中心であつたが、エムス

의 發達함을 따라 에무덴 와도 이有한 것이다。

の發達するに從ひエムデン市とは漸次聯絡關係の遠ざかるやうな傾向を來したのである。

此地는 론 와라인의 會流點도 有하야 山水의 風光明媚를 極고

此地はローン河とライン河の會流點も近くにありて山水の風光明媚を極め

空氣는 常히 乾燥하야 最히 閑靜함을 故로 我國의 函根若くは豆相半島附近과 如히 四

季浴客이 此地에 來遊하는 者가 不少하며 又 貴顯紳士의 別莊이 各所에 建築

되엇고 있다、殊히 旅館、料理店等은 何れも宏大한 建築을 竝고 且つ 種々 娛樂

機關等의 設備를 設하야 浴客의 優遇에 努めつゝ あるを 以て 近時 靜養을 兼하야 此地

에 來り 遊ぶ 者 及び 四季 山水 勝景의 美를 探らんとして 文人 墨客의 杖을 曳くも

の 不尠함을 勘くない、エムスの鑛泉は炭素瓦斯를 多量히 含有함으로 以て、胃腸加答

兒、肺病、痛風、泌尿器等의 疾病에 特效가有하다 稱せらる、夜間에 至れば ロー

ン河畔에 無數의 막구 アーク燈은 煌々として 銀波에 反射하는 光景도 亦實로 奇觀이

요 ある、此地는 普王 우이루헤루무 ウイルヘルム 一世가 佛國의 使節과 會見하고 王位繼承問題에

關한 事件에 對하야 交涉한 所ありしも 到底解決함을 不得고 遂히 一八七〇年

의 普佛戰爭을 起하엿더라 然則 此地는 大히 由緒가有하야 世에

の 普佛戰爭を 起したのであつた、されば此地は大に由緒ある所として世に知

られて 居る 비이라 のである。

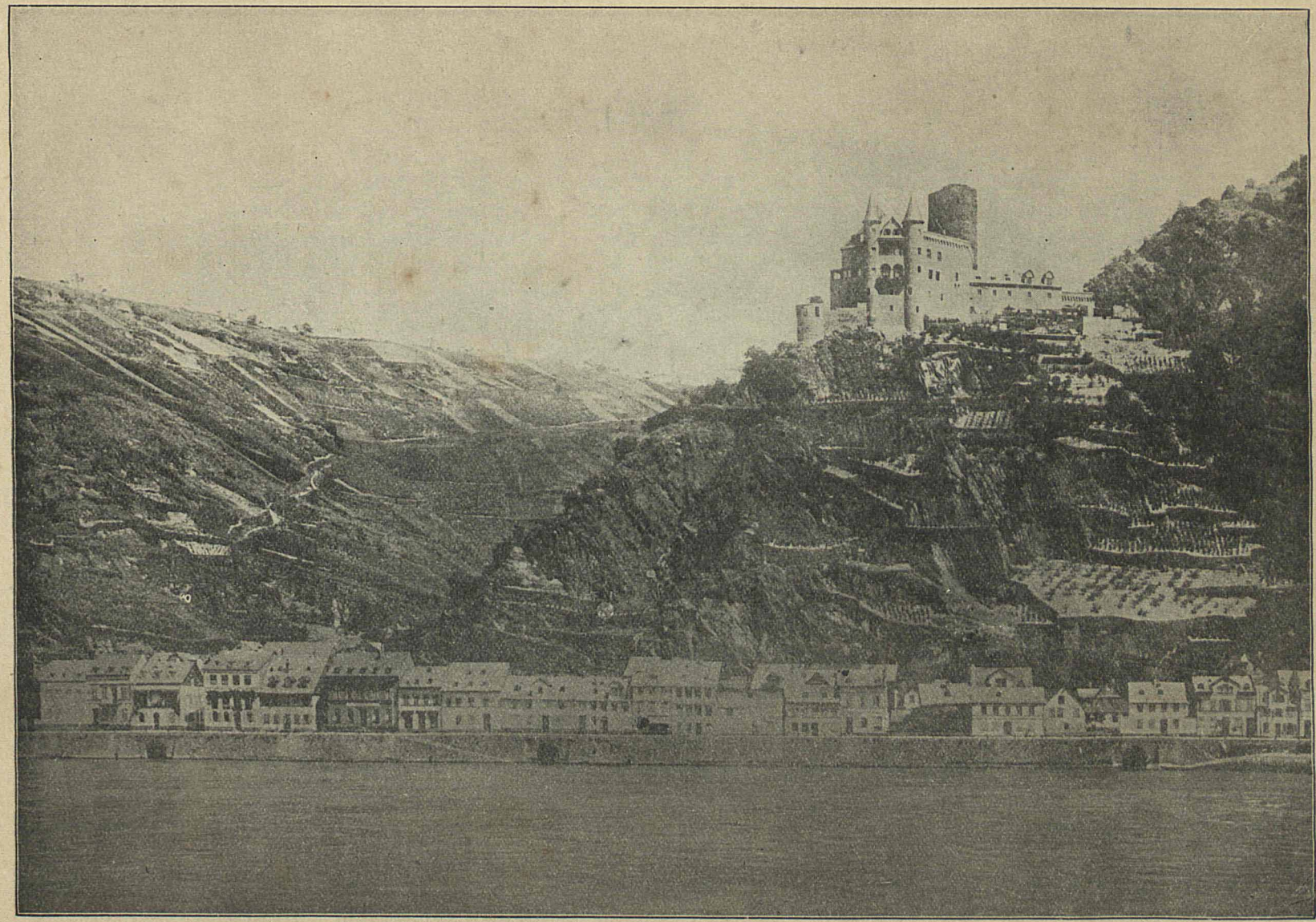
부레멘 ブレーメン市

부레멘는우에제루의ブレーメン市はウェーゼル河の下流를狹みて市街를成し獨逸第二의貿易港으로서百貨의大集散地요亦商工業의中心을占めて居る、最近의人口約三十萬을有し、一ヶ年의貿易額實에二十億圓에達すと云ふ。

此地는最도古き開港場であつて、舊蹟도多く、八世紀의頃シヤルマン帝가始めて此地에居를奠め、次で一二七六年有名なる한사同盟을起して以來、獨逸의商業界에覺醒을促したのである、爾來著しき發達과共에各種의事業도勃興되고大會社、豪商等의大廈高樓軒을竝べ商業最도繁盛을極む、殊에世界第三의汽船會社라呼ばるゝ、北獨逸로이도의本店은此市에在り、又亞米利加에往來する大汽船의起點地로して合衆國과의交通도頻繁을極め殊에移民의出發地로して有名なるものである。

부레멘는ブレーメン市は一八八六年北獨同盟에入り一八七〇年獨逸帝國의成立과共에自由市를成하엿스며、即ち獨逸의二十五州聯邦은一大國、四中國、二十小國으로부터成り各國은一院又는二院의議會를有し、三自由市는共和國인故로부터엿고、三自由市라는것은우벡구、부레멘、한부루구의三市를指すものにして、부레멘는ブレーメン、ハンブルクの三市를指すものにして、ブレーメン市는市長을以て自治에任し其の任期는二箇年이요、寫眞은市街의一部를示せるもの。





萊茵河

獨逸の河流は地勢に從ひ多くは北流すれども、尙ほ排出界により分れて北海系、バルト系、黒海系の三つである、而して北海にはライン、ウヰーゼル、エルベの三大河があり、殊にライン河は其の源を瑞西アルプス山に發し全長八百七哩に及び川幅廣き所は二千五百呎、狹き所は數百呎にして優に大船の通ずるを得る、ライン河は瑞西のコンスタンツ湖に入りてラインなる二小流が合しボーデン湖及びセンテルライン湖となり、北流して南獨逸を貫流し和蘭を過ぎて北海に注ぐのである。

此ライン河は獨逸人に有形、無形に或は實用的に美術的に影響を與ふること不尠からず、故に獨逸人は此河を稱して「國河」と云ひ、又愛敬して「父ライン」と云ふて居る、而して此河はケルンまで海上航通の大船巨舶を通航せしめ、又バーゼルまでは小汽船を遡らしめ、更にシャッフハウゼンの瀑布の下まで小舟を通せしむるを得べく、特に各河川に運河を通じ、運輸の至便なること世界に其の比を見ず、殊に此河の沿岸一帶は肥沃の土壤にして穀類の産出は勿論廣漠たる葡萄園相連り、獨逸の富源開發の地と云ふてよい、殊に沿岸の風景絶佳なること、多く詩人墨客の好資料を提供し、ライン河と云へば猥逸人は直に幽然として情緒を動すことは我が邦人が富嶽に上りて尊崇心を起すと同樣である、殊にローレライの奇岩の如きは萊茵に遊ぶ者にして此岩を不見ざれば盲目とさへ嘲笑される程である、寫眞はカーツの小都會を中心としてライン河畔に於けるナヒカルの勝景を示したものである。

또레스던市
ドレスデン市

또레스던은에루베의上流에在를야삭구손니아의首府로ある、最近ドレスデンはエルベ河の上流にありてサクソニア王國の

의人口約五十六萬을有하고美術工藝의中心을占하며殊히陶器製造는古來로부터最히盛んである、또레스던은삭구손니아의ドレスデンは一四八三年以來サクソニア國王の居城となり、

十八世紀까지波蘭의王으로在를엿고삭구손니아이라를야오가스다스二世가統治의時代となつたのであるが、聰明慧敏の王は內治外交其他自國の産業

等有ゆる方面に向つて積極的政策を講じた結果、此地の發展端緒を開發され

를니라たのであつた、然るに三十年戰爭の當時此地は戰亂の中心となり奈翁は一八一三年此地에大本營을進케고大에我が將卒을奮鬪케야せしめて屢々聯合軍을擊退

를엿고에를야普軍의猛襲으로一時敵手に歸せしことあり

した次で一八六六年に至り普軍の猛襲によりて一時敵手に歸せしことあ

히삭구손니아이此를再び之を擊退케를니라したのであつた。

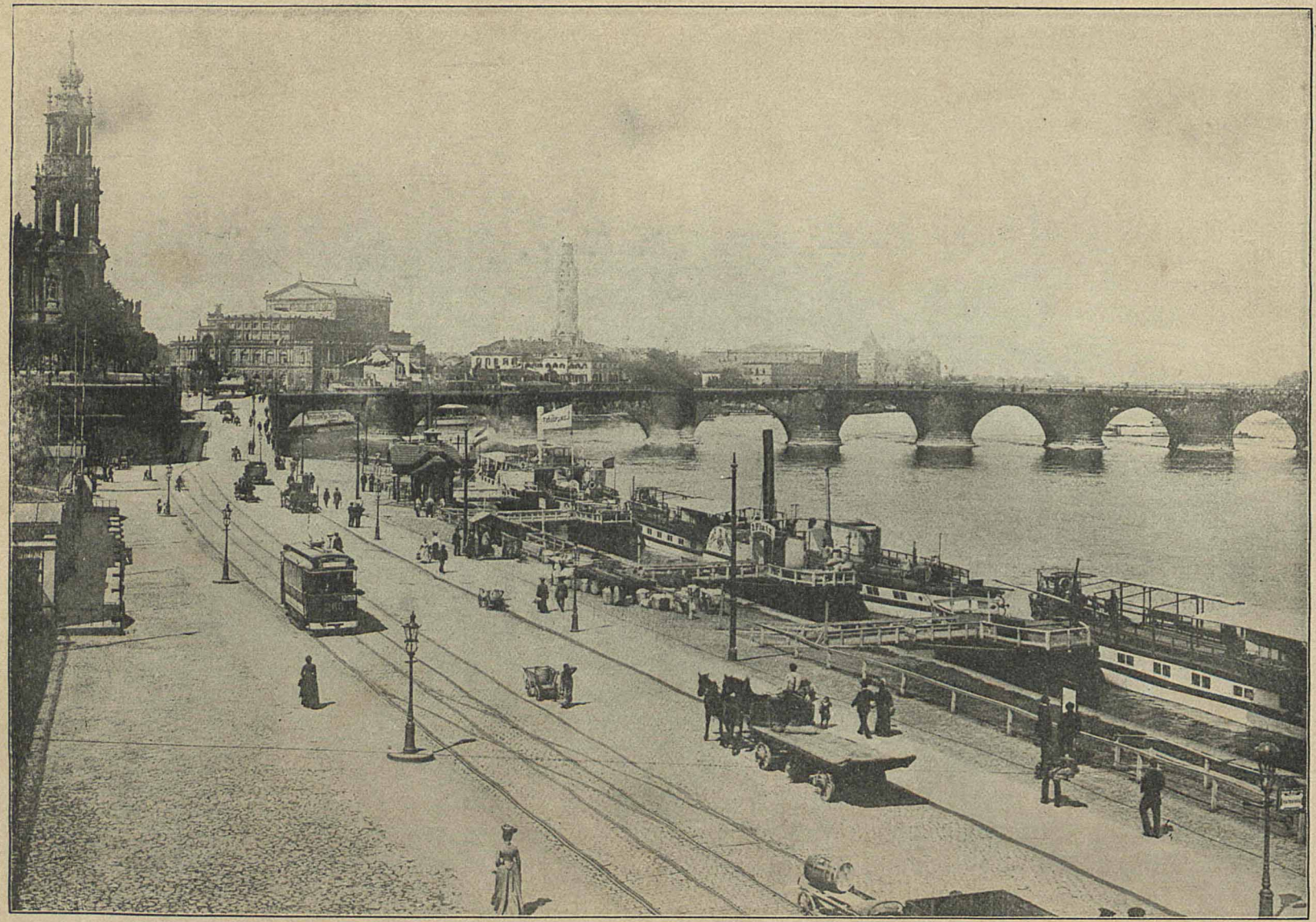
此地에는有名을博物館을始め工業大學、音樂學校、美術學校等이有를야模範的敎育の進步發達した所である、從つて文學思想及び美術的工藝の如きは

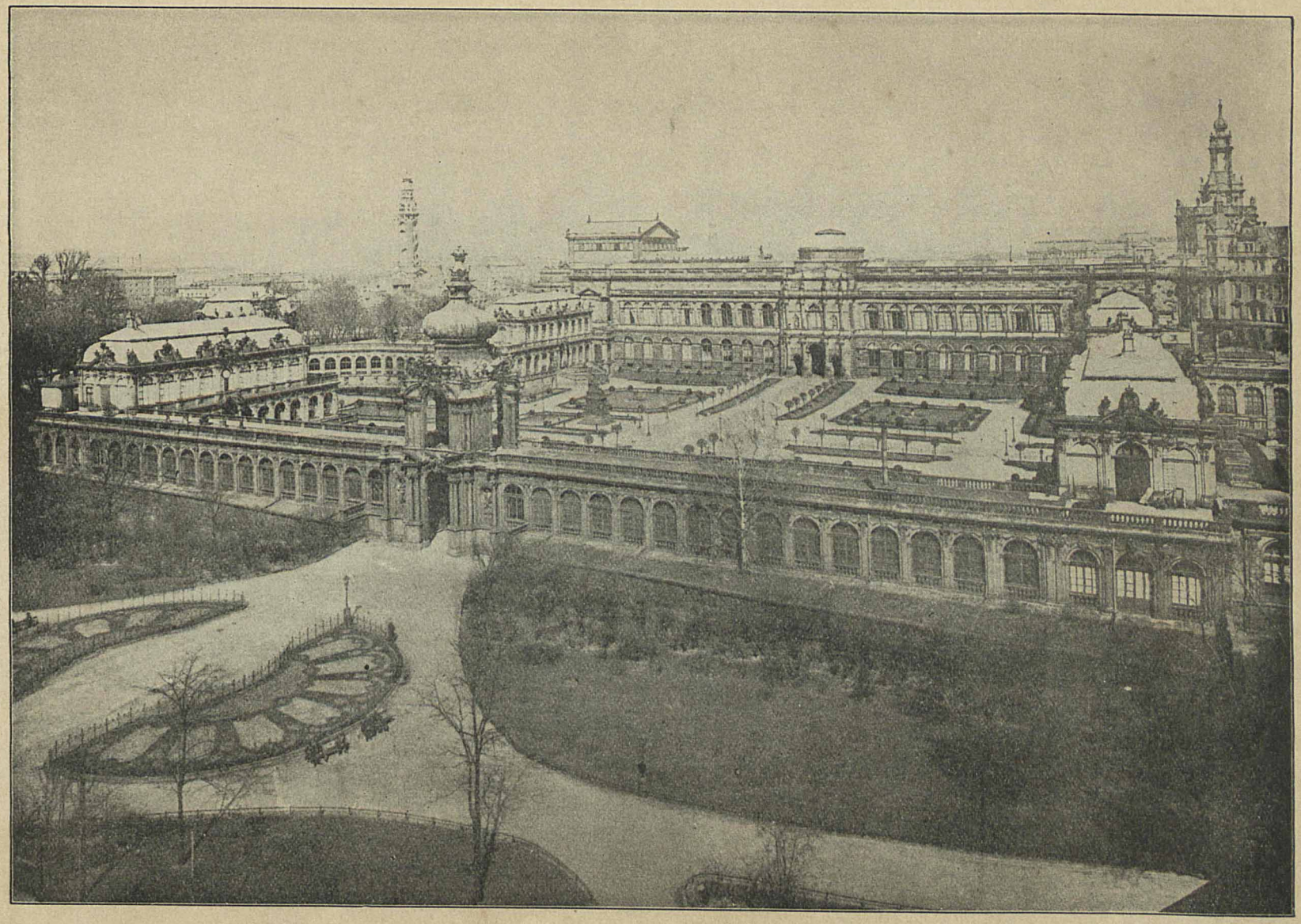
最히發達를엿고居る、尙奇觀으로되는거슨인디すべきは此地に在る宮殿にして日本離宮이라名

高과如를며づけてあるが、此는是れは十八世紀의時에於て日本의陶器에特別의趣味가有를거슬

る或富豪의貴族が、此宮殿의樓上에陶器類를陳列して置いたのを、오가스다스타

ー스二世가買收를야日本宮이라를엿다と名づけしものなりと云ふ、此寫眞はドレスデン市의一部를示를거인디、數個의大圓蓋(ドーム)가突起를せる大建築物은有名の博物館이라である。





쓰우잉게루 ツウィンゲル大博物館

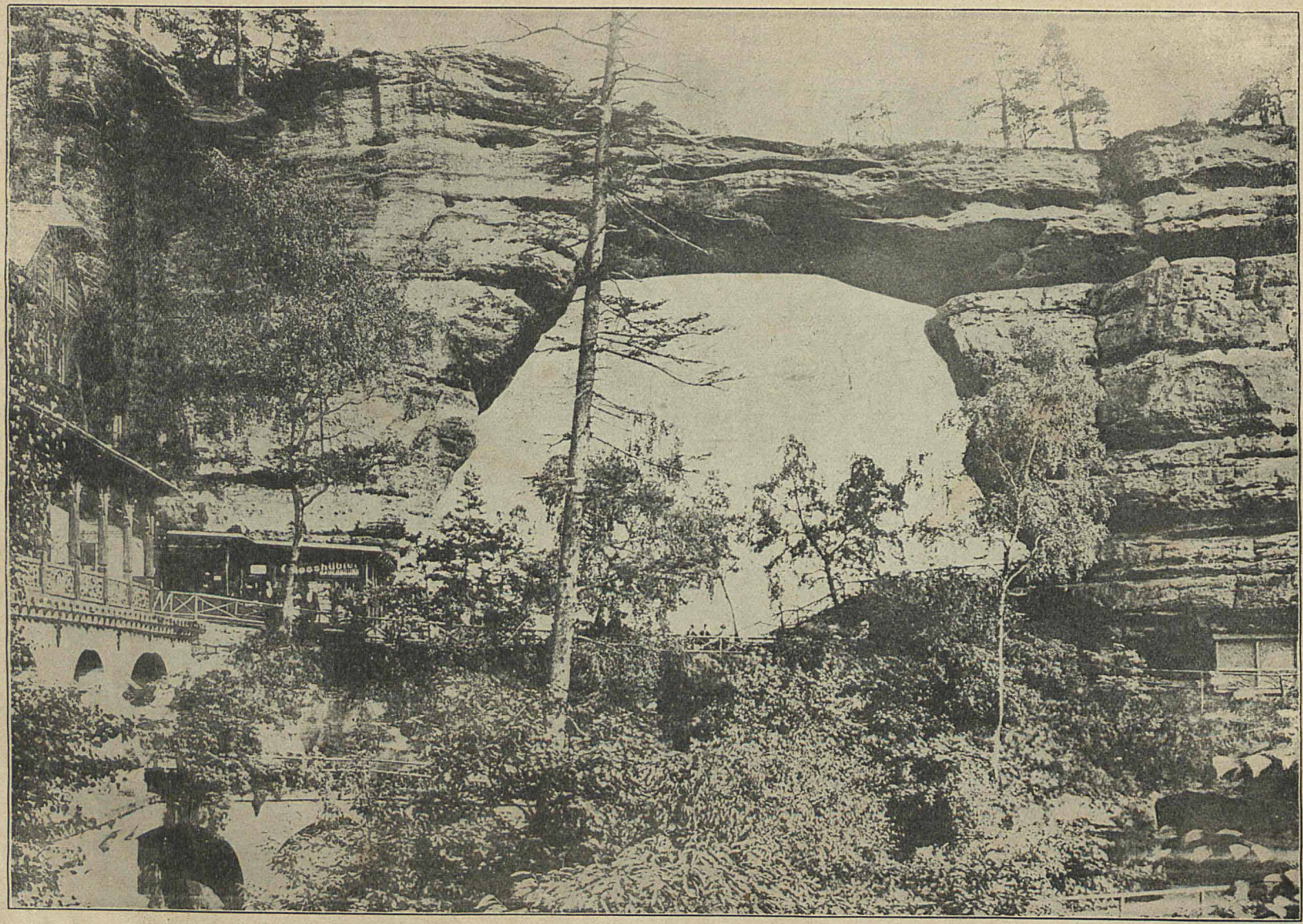
쓰우잉게루 ツウィンゲル大博物館 이有함으로 또한 스덴 가에 캐된가인디 此를 以て世界에 誇る所以である、 此博物館은 一八五四年에 建設거인디루ー네 스산스 으로 스サンス式で 近世에 於ける 建築物로는 이요 이 八碼、幅百十七碼의 中庭을 繞らした 同廊은 七箇의 離房에 連絡을 야 房의 一部는 或은 博物館도되고 或은 美術館、圖書館도되과 히 及び オガスタース王의 蒐集된 皇室의 美術品或은 和蘭等의 名畫、傑作物을 陳列을 엿고 있る、 而して 此美術館에 有한 數千點의 古畫中에 伊太利의 傑作은 最히 貴重なるものにして 同國의 黃金時代를 示した 世界의 珍寶이라 稱せらる、 更に 物理室에 步를 轉ずれば 十六世紀以來의 諸機械、器具、室內裝飾品等을 陳列하고 天井에 揭げある 繪畫와 같은 거슨 各大家의 筆로 成る 名畫는 絢爛たる 色彩을 放つて 居る、 其他動物館에는 有ゆる 禽獸蟲魚의 陳列과 或은 印刷、銅版彫刻等의 陳列 品、約五十萬種에 達すると 云ふに 至つては 實に 驚かざるを 得ない、 此地가 古로부터 より 美術工藝의 中心地と 稱せらるゝも 決して 偶然에 在치아니하며 又獨逸이 今日偉 大의 發展에 最大富强たるの 權威를 表示せるものと 云ふ미可하니라

索遜瑞西

索遜瑞西(サキソンスイツル)は仏蘭西(フランス)の東部ドレスデンの附近にあり、エルベ河の両岸に沿ふて屹立せる有名なる山にして最高所は二千四百七呎、延長三十哩、幅二十五哩の間は悉く斷崖絶壁相連り奇石巨巖は到る所に突起してエルベ河の両岸を壓し、汽車は此斷崖の間を通過して居るが、其の奇勝絶景は到底詩人墨客や畫家の能く盡し得べきものでない、此地は十八世紀の末葉より世人呼んでサキソン瑞西と云ふて居るが、卽ち其の景勝の瑞西に類似せる所より此名の起りし所以にして獨逸中有數の勝地である。

若し夫れ汽車に乘りて觀覽するときは斷崖の間を右折左曲するに從つて怪巖奇石は半ば車頭を掩はんとするものあり、或は翠松の岩石に散在して風情を恣にするあり、或は千仞の溪谷に瀑の落下して恰も白布の風に靡くが如く、時には隧道に入りて暗黑となれば、再び河岸に出でゝ翠綠の銀波に映ずるあり、進むに從つて愈々其の奇景絶勝は應接するに遑なく、殆んど仙境に入るの想あり、又山上には中世紀時代の古城趾が其の殘壘敗壁を留めて居る。

世界中景勝の地勘なからずと雖も、此の如き大自然の怪偉雄大なる奇觀と絶勝を極むるものは先づ索遜瑞西を推賞せねばならぬ、此地は四季共に世界各地の觀客絶えず、特に夏季の來遊者最も多しと云ふ、此寫眞はバスタイに於けるプレビシュの巖門と稱し、天空に横はる自然の大橋梁がエルベ河岸に屹立して居る有名な勝地を示せるものである。





漢堡市

漢堡(ハンブルク)는 에루베의 下流에 位하니 獨逸第二의 都會로서 最近의 人口約九十五萬을 有하고 自由貿易港으로서 獨逸第一의 貿易港이요 港灣의 延長約五哩、千三百二十英町(マイル)의 陸地와 千三百七十英町의 水面을 有하며 獨逸政府가 二億馬克(マルク)의 巨額을 投하여 築港을 施케하였고 大洋航通의 大船巨船數百을 碇泊케 하였기 때문에 容易하고 且つ 에루베河를 上下하는데 汽船千四百艘其他帆船小舟約五千의 多數가 常히 此港을 來往하여 居다.

漢堡(ハンブルク)는 三自由市의 一이요, 政治는 共和政體인데 憲法이 有하고 國政은 元老院 及 庶民院의 二箇의 議會에 分하고 市長은 匿名投票로써 選擧하며 其任期를 二ヶ年으로 하여 있다. 現今의 ハンブルク는 一八四二年의 大火災以後에 於하여 著히 發展되었다고 하나, 本港은 前에 丁抹、瑞典、諾威의 諸國을 控하고 後로는 歐羅巴西北部의 門戸를 占하며 바루도海와 北海와의 連絡點으로 에루베河域의 物貨集散地로 있다. 亦自由貿易制度와 獨逸의 保護貿易主義가 此와 如히 有名의 貿易港으로 著しき發達한 原因이요, 本國의 貿易의 過半은 此地에서 於하여 行하며, 其의 輸出品의 重要한 것은 珈琲、砂糖、穀類、鐵、毛織物、綿絲、機械、皮帶等인데 最近의 輸出入總額이 實로 百二十五億八千萬圓에 達하고 今や倫敦과 勢力을 爭ひつゝあり、此地에 世界第二의 會社라 呼ばるゝに 漢堡亞米利加汽船會社가 有하며 亞米利加의 航海盛んである、寫眞은 漢堡市의 中心繁華한 處로 河岸에 有한 汽船은 에루베河畔에 有하다.

하-겐백구 ハーゲンベック動物園

獨逸에는伯林動物園과此에하-겐백구ハーゲンベック動物園은有名한者인데、獨逸에서는伯林動物園과此のハーゲンベック動物園は有名なものであつて、

何れも特色을有하야居하는、伯林動物園은面積이極히廣大하나、其構造는獨逸何れも特色を有して居る、伯林動物園は面積極り廣くないが、其構造は獨逸

在來의建築과全히趣를異하야居하므로珍奇한建物로世에知하게되니라、卽ち在來の建築と全く趣を異にして居るので珍奇な建物として世に知らる、卽ち

丹塗의丸柱를用하야、青銅의如한色으로以하야屋根을塗하고、其의構造는殆히丹塗りの丸柱を用ひ、青銅の如き色を以て屋根を塗り、其の構造は殆んど

東洋風의建築인故로히人目을惹하며、尙鳥獸蟲魚의類도珍奇한東洋風の建築であるから特に人目を惹くのであり、尙鳥獸蟲魚の類も珍奇な

것을集하야、殊히幾百의小鳥가園內에林間에遊飛하더라ものを集めて、殊に幾百の小鳥が園內の林間に遊飛して居る。

하-겐백구ハーゲンベック動物園은漢堡(ハンブルグ)市外의스테린겐에在하야面積五萬八百二十坪을有하며、其의規模의廣大와設備의完全함은世界의模範的動物園으로

然이나此動物園이獨得의長所로써世界에誇할것은、

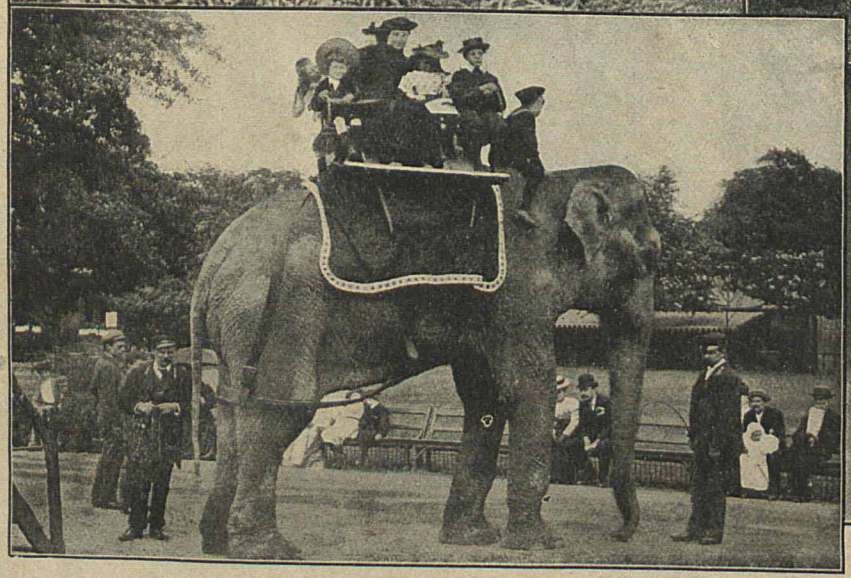
凡히知케된며、而하야此動物園이獨得の長所として世界に誇るものは、

特히窮窟한住居를避하고且つ動物의衛生、食料等總히微細한點에까지注意를拂하고、一은動物의發育生存에努하고一은動物의山野河海에棲息하는自然의狀을模出하였고、殊히猛獸도放하나周圍에鐵柵과如한것을用하야迫害와束縛함이無케하며、深한空壕을四方에繞하야觀客에對하야萬一의危害를避케하는設備를가有하니라、故로觀客으로써園內를一週하면各處에到하는所에各種의動物이意에任하야活動케하는의狀態는眞에山林河海에서보는것과如하더라、

に於ける鳥獸蟲魚の天然的生活を觀察することが出來る、若し家族や小供を率ゐて一度園內に入れば終日を要して幾千百種の動物を見盡し能はざると同時에頗히興趣를感하는樂園이더라。









墺地利匈牙利

墺地利匈牙利は中央歐羅巴に位する六大強國の一にして、其の境域は東南僅かにアドリヤ海に臨み、北は獨逸、露西亞の二國に連り東は羅馬尼及び露西亞に接し、南は羅馬尼、塞爾維、黒山に相連り其の一部は伊太利に接し、西は瑞西及び獨逸に接續して居る、東西最廣約八百哩、南北五百哩、面積二十六萬餘方哩を有し、歐羅巴洲中露國に次ぐ第二の大國である。

此國は十九世紀以前は獨逸諸邦の盟主として神聖羅馬帝國と稱し當時強大の勢力を以て常に獨逸の覇權を握り居りしが、十九世紀の中葉に至り普魯西の新勢力現はれ、墺地利王位繼承問題より兩國間の干戈を交へ更に一七五六年再び開戰するに至つた、是卽ち七年戰役である、互に一勝一敗の後遂に和議を結びたり、然るに其後佛蘭西大改革の狀態が延へて兩國の將來に影響する所あるを憂へ、二國の間に聯合の約成りしも、其後墺地利は附近三十九國及び四自由市を連ねて獨逸聯邦を組織し自ら盟主となつた、然るに獨逸聯邦は獨逸に取りて益々不利なる所あるより人民は更に鞏固なる同盟を組織せんとし、國會を開きて獨逸諸國を統一せる中央政府の統治の下に置かんとを討議せし結果は墺地利を同盟より除かんとする議論沸騰するに至り、之より兩國の軋轢は益々甚しく互に開戰の準備に汲々たるものありしが、遂に墺普の戰爭が起つた、然るに有名なるサドワの激戰に於て墺軍は大敗に歸し、茲に於て和議を結び、從來の獨逸同盟を廢して爾後墺地利は永久獨逸より除

去せられ之に依つて、墺普兩國の分離となり、普魯西は新たに獨逸聯邦を組織することゝなつた、而して墺地利は其翌年匈牙利との間に兩國聯合の成立を見るに至り、墺地利皇帝は匈牙利を兼ねて茲に鞏固な國家を形成したのであつて、是れ今の墺地利匈牙利帝國と稱する所以である、其の後一八七九年に至り獨逸及び伊太利との間に所謂三國同盟を結んだ。

人種はスラブ族大部分を占め其他ドイツ族、マジアール族、ワラキア族、ルテニア族、イタリア族等の數種に分れ、從つて住民の風俗、習慣、言語等を異にする數多の種類がある、而してドイツ族はスラブ族より小數なるも知識の程度最も進歩し各人種中最も勢力を有し且つ優勝の位置を占めて居る、墺匈國は此の如く雜多の種族あるが爲め、從つて國民の團結甚だ薄弱にして稍もすれば今に尙各人種分離して一邦國を作らんとする野心を有するもの不少からず、爲めに上下一致せざるは此國の一大缺點である。

政治は一八六七年の聯合條約に基き墺地利帝國及び匈牙利王國を聯合して墺地利匈牙利君主國と稱し、君主は墺地利皇帝たると同時に匈牙利王及びボヘミア等の王たる三尊號を有し又匈牙利の羅馬敎會たるを以て單に皇帝又は使徒王陛下と稱し、現皇帝はフランツヨーセフ一世と稱せらる、而して墺匈兩國は各自獨立して各々憲法及び政府、議會を有し、且つ國政の大部分は行政權を有すれども同一君主を戴きて、外交、軍事、財政の三事務を共同にするを以て政治上密接の連絡を存して居る、國防は兩國共に國民皆兵の主義に基き、兵制は常備、特別、後備、國民軍等に編成してある。

宗教는 信仰의 自由가 有하고 數多의 宗教ある도 其の重要き者は羅馬教、希臘教である、教育도 近時大히 發達하야 墺國은 滿六歲로브터 케하고 小學校、中學校、專門學校、高等技藝學校、特別學校、實業學校等을 設하며 又官立大學는 八校를 有하며、匈牙利도 初等教育期は墺國과 略ぼ同じく其他師範學校、高等法律學校、宗教學校、農學校、商工學校等은 墺國보다 設立多하니라

産業狀態를 觀察하면 農業으로 主とし、全國民의 六割以上은 農業에 從事하고 其の主要農産物은 大小麥、燕麥、라이麥、甜采、葡萄等인데 麥은 國民의 主要食料である、殊に匈牙利의 麥은 歐洲各地에 輸出하야 市場에 名聲을 博して居る、尚副業으로 牧畜도 近時盛んでおる、林業도 亦獨逸과 共に有名なるものにして山林의 面積廣大なること은 歐羅巴洲中露西亞의 次ぎ가 되야 本國の一大富源이되고 工業도 近時大히 發達하야 年總額三十三億五千萬에 達すと云ふ、其の重要き工業品은 織物(綿絲、綿布、麻布、毛織)硝子、金屬製、製糖、麥酒、製革等이有하며 貿易과 같은 것은 海岸에 山脈이 多くして內地間の交通은 稍々不便の感あれとも、歐洲の中央에 位置하였스므로 數多の諸國과 境し且つバルト海、及び北海地中海와의 交通連絡あるが爲め近時隆盛을 示して居る。

墺匈國은 露西亞에 次ぐ 歐洲の大國にして 最近の人口約五千五百萬餘가 有하고 歐洲六大國의 一이라 稱せらるゝも 稍もすれば第二流國이라 하는 感이 有하니라

墺匈國은 露西亞에 次ぐ 歐洲の大國にして 最近の人口約五千五百萬餘가 有하고 歐洲六大國의 一이라 稱せらるゝも 稍もすれば第二流國たらんとするは、要するに人種、言語、風俗、氣質을 異에 하야 全國の統一에는 困難なるのみならず、殊にマヂアールの如きは亞細亞人種の系統으로 匈牙利가 墺國에 聯合せるを憤慨하는 時에 反抗の態度에 出づる等志想融和せざるは此國の難事とす。

維納市（ウィン）

維納（ウィン）はドナウ河の右岸に位（くらゐ）しアルプス山脈の末端一四六米突の地に在（あ）りて墺匈國の首府である、此地の附近よりドナウ河は俄に擴大せるが爲め、水運の利便多く、陸はボヘミア、シレシア、アドリア海岸よりの大道路開通して此地が集合點なるを以て、實に水陸共に四通八達の要衝に當り從つて商業の一大中心を占め最近の人口約百九十萬を有し世界第五位の大都會と稱せらる、市街は最も壯麗にして頗る殷賑を極め、殊に宮殿、寺院等は最も宏壯の建築物にして又公園、博物館、醫科大學、病院等何れも規模宏大のものである、此地は一六八三年の戰役に於て土耳古軍に占領せられ、次で一八〇九年再び奈翁軍に敗られ或は墺普戰爭等幾度か戰亂の巷と化し史上に著しき名を留めた所である、市街は昔時城廓内にありしも十九世紀の頃に至り悉く破壞され、今は一部分に其の遺蹟を存するのみである。

市街の最も壯麗にして繁華を極むるはリング大通りにして以前城廓のありし所なるが今より五十年前に城濠を埋めて一大輪狀の市街を造り、街路の幅三十間延長約一里に亙り、街上は七條に分たれ、中央は散步道とし、其の左右は電車、更に其の兩側は馬車道となし、最兩端を人道として並樹を植え大厦高樓竦を連ね、頗る美麗繁華を極め、亦風俗の華美なること巴里に次ぐと稱せらる、此地に我が大使館及び名譽總領事館を置く、寫眞は市街の一部を示せるものである。

SÖHNE

RESTAURANT



維納の宮殿

墺地利皇帝匈牙利王フランツ・ヨーセフ一世帝は一八三〇年八月十八日を以て生れ、一八四八年墺地利皇帝の位に即き、次で一八六七年を以て匈牙利王の位に即かせられた、墺地利の皇帝は元と日耳曼の一伯爵にして一二七三年日耳曼王に選擧せられたルドルフ・ハブスブルグ伯より出で、ハブスブルグ家と稱し、又神聖羅馬帝國時代には日耳曼王國とも稱せられたのである、一七四〇年カール六世の崩御により、男系の血統絶へたるを以て、同帝の皇女マリアテレサ、ロレーンタスカニーのフランツ侯と婚するに及びて、ハブスブレ家と稱するは一七二八年に増建せらる、此宮殿は内宮殿の一部たる内閣大殿と外共に結構壯麗にして、ハブスブルグ家累代の寶物を藏する寶庫があるので世に知られて居る、屋宇の上には大圓蓋が突立し、更に二箇の小圓頂左右に竝び立ちて壯觀を極む、又宮殿の一端に在る壁合龍の中には大理石の群像よりり成る噴水の裝置がある、更に帝室寶物庫に至ればハブスブルグ王朝歴世の記念たる貴重の寶物は五箇の官房に陳列されてあるが、是れは王室の寶冠、裝束、佩劍、典禮盛儀に關するもので歴史上の珍重品である、寫眞は宮殿正面の一部を撮影せしものである。

墺地利國會議事堂

墺地利와 匈牙利의 兩國은 各自獨立하야 憲法及び政府、議會를 有하나, 外交、軍事、財政의 共同事務에 關한 立法權은 上下兩院으로 成한 聯合議會를 設하야 此를 施行하게 되고 故로 政治上의 連結을 有한 것은 이 뿐이니 라 ず、又經濟上의 同盟을 結한 것이다. 然이나 而して兩國共에 上下兩院으로 成한 議會가 有하야、墺國의 內閣은 內閣議長及び內部、文部、敎部、大藏、商務、農務、國防、司法、鐵道의 各省大臣으로 組織하고、匈國의 內閣은 內閣議長及び大藏、國防、宮內、內部、文部、敎部、司法、工務商、農務、크로아지아、스라우오니아 及びスラヴオニア事務의 各省大臣으로 組織하니라 然이나 而して兩國全般에 關涉하는 政務는 各六十名으로 成한 二箇의 聯合議會가 有하고、卽ち墺國의 上院議員二十名、匈國의 上院議員二十名、墺國의 下院議員四十名、匈國의 下院議員四十名으로 成하니、此聯合議會가 立法을 掌하고、而して墺匈國大宰相、外務大臣、軍務大臣을 置한 兩國共通事務를 施行하니라

墺國의 國會議事堂은 ヴオルク公園과 相對峙한 一大宏壯의 建物로 して一八八三年에 以して竣成したのである、建物의 右側은 上院、左側은 下院의 議場으로 して何れも 獨立의 樓廊을 成하고、而して中央의 一部는 兩院을 聯絡한 事務局委員室에 充てゝある、ヘルマーの名作と 稱する 玄關을 入りたる 大廣間의 壯麗는 特히 著しきものである、這回歐洲大戰亂의 導火線을 爲せる 墺匈國政府가 大에 此議場에 於て 紛擾의 光景을 演하니라 せられた。





維納市廳

維納は墺匈國の首府にして亦政治的、經濟的中心である此地は一八六六年普墺戰爭以後普魯西との聯邦組織より分離せられ、更に墺地利匈牙利の同盟聯合以來國政を改め國運の進展に努力せられ近時大に發達を見るに至れり、維納は古來より歐洲の政治的都府として覇權を握り商業的都府と稱せられたのであるが、其の原因は此地の地勢がドナウ河に跨りて東北方に大平野を控へ且つ水陸共に要衝に當り交通の至便と機關の完備せるのみならず亦工藝の中心を占むるは此地の繁盛を促した主因である。

維納市廳は市街の最も繁華なるリング大通の一部に屬し人道の兩端に並樹の鬱蒼たる間に大厦高樓を竝列せる中にも特に宏壯なる建物あるは卽ち墺國國會議事堂にして其後方に尖塔高く聳ゆるものが市廳である、一八七三年に工事を起し一千三百萬フロリンの巨額を投じ十ケ年を要して竣成された。

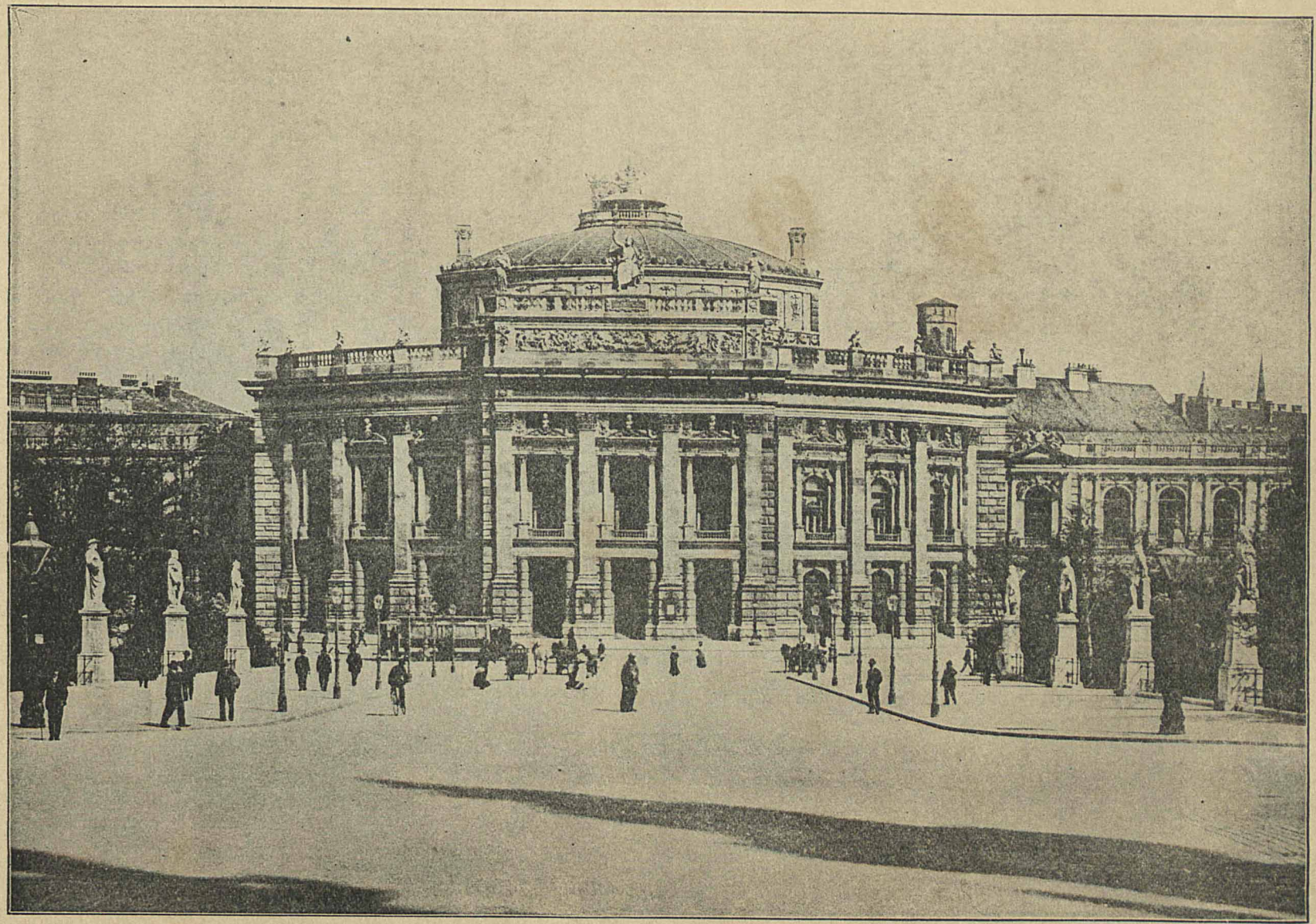
のである、尖塔の高さ三百二十呎に達し、又塔頂には鑄銅製の旗手の立像を裝置し、尙現皇帝を始めハブスグルブ家其他諸侯の英姿を浮彫せる等內外共に壯麗を極む、更に室內に入れば塔下にある庶民館の宏大なるものや法官廷の會議室等は大理石の柱を用ひ、二個の大階段には鍍金の欄干を設け、其他大廣間の接見室等繪畫彫刻を裝飾し悉く善美を盡してある、又階下には歷史博物館や圖書館等ありて維納に關する貴重品を陳列してある、寫眞は市廳の外觀を示せるものである。

維納大學

墺國は神聖羅馬帝國時代より歐洲の政治的中心であつた、各種の民族中特にスラブ種族の如きは智識の程度も進歩し從つて各人種中最も勢力を有し亦古來より學術技藝の率先者であつた、近世に至りて教育界も大に面目を刷新して來たのである、現今墺國には小中學を始め、各種の實業學校や專門學校、高等技藝學校等もあり、亦官立大學も八校を有して居る。

維納大學は墺國中最も著名のものである、此校舍は一八八四年を以て竣成されたものであるが、八百萬フロリンの巨額を投じ其の構造の宏壯と設備の完全なるを以て世に知られて居る、大學の前面に高く聳え立つて居る記念碑は、一六八三年維納が土耳古軍に占領された當時、有名なる市尹リーベンベルグが勇敢なる偉勳を表彰されたものである、玄關を入りて階下の右側は莊嚴なる祭典式場の入口にして此式場は最も著名のものなれば觀覽者は特に料金を徵收される、廻廊には墺國の學界に功績ありし學者の肖像を掲げあり、更に西部にある圖書館に至れば各專門の部類に區別して最も秩序整然たる讀書室を完備し有ゆる珍品奇書を藏すること五十萬卷餘に達すと云ふ、此大學は今や學生五千人以上と教授及び講師三百五十を包容し益々旺盛を極めて世界著名の大學である、就中醫科の如きは特に進歩せるものありと云ふ、寫眞は大學正面の外觀を示せるものである。





維納帝室劇場

維納の市民が快活の氣象と其の風俗の華美にして歌舞音樂に頗る興味を有することは殆んど佛蘭西巴里に次ぐと云はれる程であるから、從つて此地にも音樂堂や劇場等の壯麗なる多數の建築物あるに徴するも如何に音曲の盛んなるかを覗ふに足るのである。

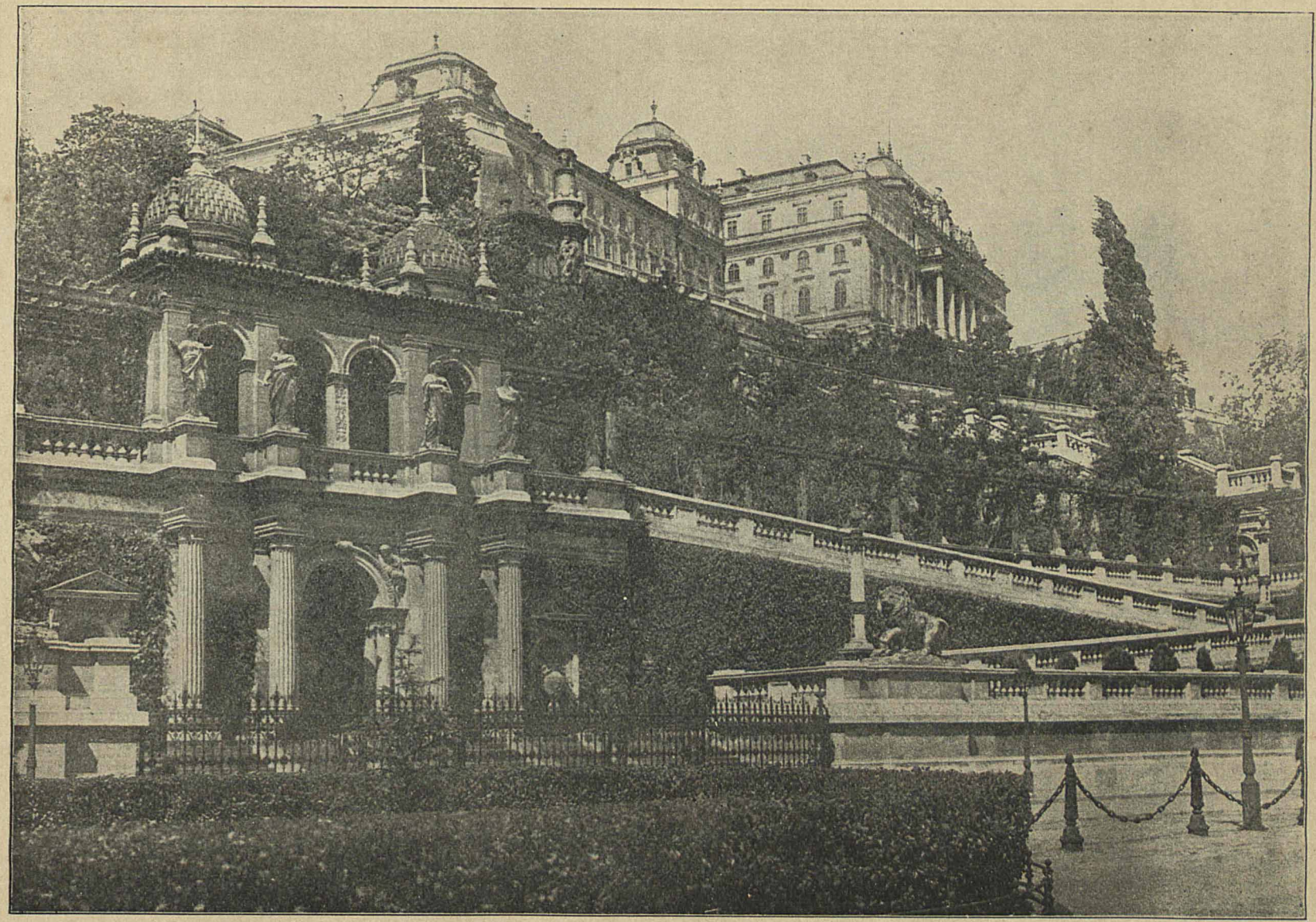
維納の數多ある劇場中、帝室劇場は歌舞劇場と共に帝室の尊屬として絶大の權威を有することは夙に世に知られて居る、此の建築物は一八八九年セムパー及びハセノーアと稱する名匠の設計により十數年間に亘り有する苦心研究して竣成された所謂、文藝復興期式の頗る宏大壯麗な建物である、觀客は優に十數百人を容るゝことが出來る、内部の階段、玄關、休憩場等の如きは悉く繪畫彫刻の精巧を極め、殊に帝室席の如きは金銀珠玉を鏤め絢爛として人目を眩射せしむるものがある、此劇場は盛夏の季節約三ヶ月を休業する外は年中續いて演劇を行はるゝと云ふ、入場料の如きは市内一般の劇場等に於ては新舊劇を演じ通常我が五十錢より二圓内外であるが、此帝室劇場は主として悲劇喜劇を演じ又歌舞場の方に於ては歌舞と舞踊のみを演じ其の觀劇料は我が二圓内外より五六圓までであると云ふ、切符の如きは取次を經て購求し得るが、最も人氣ある特種の戯曲を演ずる場合は大に觀客雑閙して容易に切符を手に入ることが出來ざることありと云ふ、寫眞は劇場外部の正面を示せるものである。

부싸페스도 ブダペスト市

부싸페스도는 또나우에 跨れる匈牙利の首府にして、부싸와페스도의 ブダとペストは有名なるドナウ河に跨れる匈牙利の首府にして、ブダとペストの二箇의市街로成れるを以て此名が有る、所以である、然이나부싸는 도의 ブダは河の右岸에在りて獨逸人最히多く一名오후엔이라고도하니 페스도는 의左岸라야마지아루이히河の左岸に在りてマジアール人多く居住하고居る、ドナウ河는國內의最히主要なる河流로하여、本流의外、또페스다이스사무의 ドレーブ、タイス、サブ等の大なる支流가有하고하야 従つて其の灌漑地域의廣大なること國內全面積의三分의二以上에及び國內를貫流하는者가의八百四十哩、全長實로一千六百三十哩에達하고 世界有名なる河水에는에또니우 俗に「ドナウ帝國」の稱ある所以である、南獨逸、墺匈國及びバルガン半島諸國은此의河의流域에當하니 卽ち多くの國と多くの人種との間을流하므로써를以て古來歷史上、商業上、交通上에大なる影響을與하고야 従つて墺匈國의發達을助成하기와甚大하니라。

부싸와페스도의 ブダとペストの間には또나우에의大鐵橋를架하야相互의連絡을取하고、河岸에沿하야、王宮을首의國會議事堂、高等法院、諸官衙、敎會堂等의廣大なる建築物은水波와相映하야頗히壯觀을呈하고、最近의人口約八十萬이有하며、商工業最히繁盛을極하여居る、此市의物産로는貴金屬製品、器械、學術上의用具及び製粉、釀造業等이最히盛하여である、此地에는歐洲最大의電氣工場이有하야電氣工業은著しく發達하고、地下鐵道와電氣鐵道의發明은此地를以て世界에於ける嚆矢라稱하니라、寫眞은또나우河沿岸의宏壯なる建築物이有한市街의一部를撮影せる者이라。

ZWIEBACK



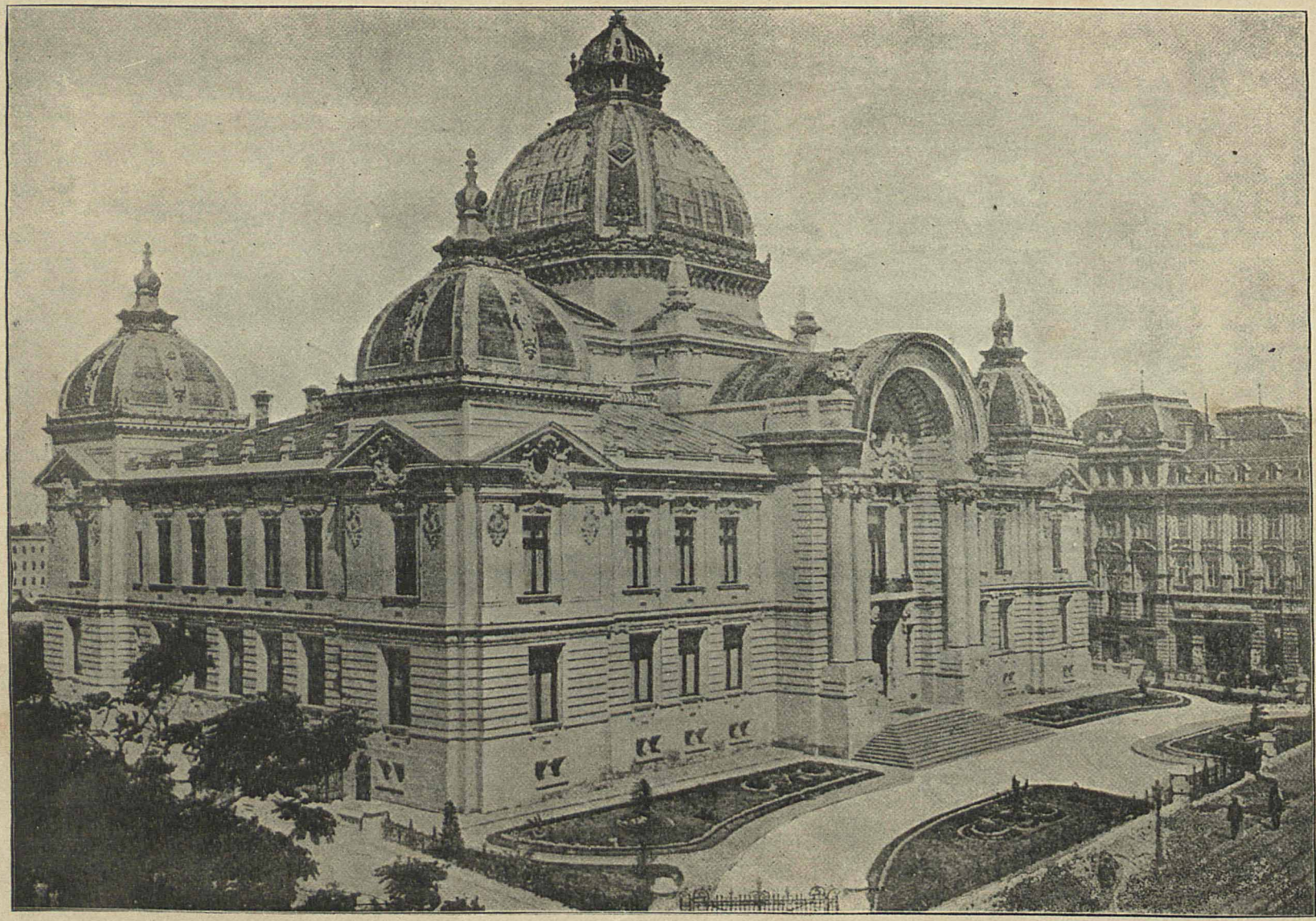
匈牙利の王城

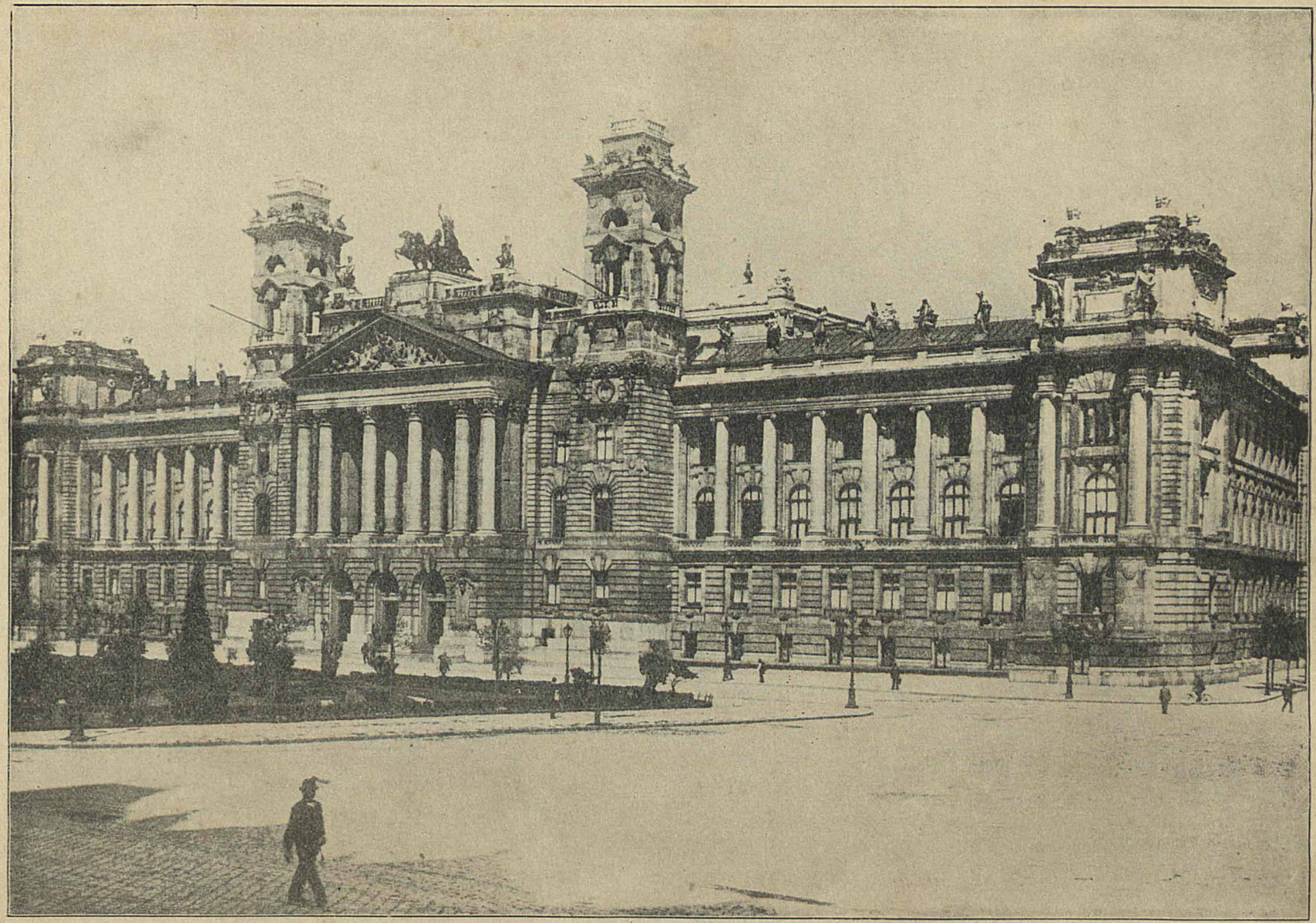
匈牙利の王城はドナウ河の右岸ブダに位置せる宏壯な建物である、十六世紀時代には土耳古王が此地に首都を置いたことがあつた、此王城は一七四八年マリア・テレザ女帝の創建に成れるものなりしが一八四九年の災厄に罹り大部分は破損せり、其後改築を施し、一八九四年に至り更に增築をなして新舊室一千百餘を有する宏大な建築物となつた、此の宮殿中に於て最も著しき興味あるものは、ローマネスク式のセント・ステフェンの間である、即ちロスコウークスの窯造に成れる、匈牙利歷代の帝王のマジョリカ燒と稱せらるる陶像を羅列してあり、又爐上にはステフェンの肖像を安置し、匈牙利の國寶神器と稱すべき、ステフェンの王冠、王笏、神球、佩劍等の最も貴重なるものを羅列してあり常に墺匈國の近衛兵が日々交代して嚴重に護衛されて居る、墺普戰爭後墺地利は普魯西と分離し、更に一八六七年に於て墺匈國の聯合となり墺地利皇帝は匈牙利王の尊號を有し墺匈國の君主となつた、此王宮は即ち現皇帝フランツヨーセフ一世の居所である、然るに皇帝は多く維納の宮殿に在らせられ匈牙利の王宮に居住せらるゝこと殆んど稀なりと云ふ、然しながら此王宮は一般の拜觀を許されてある、寫眞は王城の側面より見たる外觀を示せるものである。

匈牙利國會議事堂

墺國兩國の共同事務に關する立法權は上下兩院より成る聯合議會に依りて施行せらるゝのである、而して此の聯合議會は維納の國會議事堂と匈牙利の國會議事堂とに於て毎年交代に行はるゝを例として居る、而して政治上の同盟なるのみならず、經濟上の同盟をも結びあり、卽ち貨幣、度量衡の同一制度を保持し或は共同の紙幣發行及び銀行を設置し、關稅其他鹽、煙草、酒精、麥酒、砂糖等の專賣規定に關する同一制度を定むるのである。

匈牙利國會議事堂はドナウ河を背後にしてブダペストの西北方に位置する宏大な建築物にして工費一千五百萬フロリンを要し一九〇二年に竣成せられたものである、高さ三百呎餘の圓蓋と二百六十呎の高塔より成り其の中央と左右兩翼とに依りて建築を構成して居る、其の北側は上院議院とし、南側は下院の議場に充てゝ居る、而して建物の外部には匈牙利の國家に貢獻せし大政治家及び英傑賢臣の像彫を施し、內部は繪畫其の他歷史畫等の精緻なる彫刻や各種の美術品を裝置し、特に玉座の如きは一層の壯麗善美を盡してある、而して上院の議員は墺匈兩國より各二十名を選出し、下院の議員は兩國より各四十名を選擧せるものより成り、此の二箇の聯邦議會に依りて立法を司る、寫眞は議事堂の外觀を撮影せるものである。





부다페스트의 高等法院

부다페스트의 人口約八十萬中의 大部分은 마지아르 及 도이츠種類가 多하고 其의 他 스라부族、보헤미아 스라부族、폴헤미아族等의 混合으로 이니 人種의 不統一、言語、風俗、感情、歷史等 各々異한 所ありて 相一致하기 不能할 분아니라 國民의 團結이 甚히 薄弱하야 稍々하면 各人種 分離하고자 하는 傾向이 有하며 我가 國이 版圖의 擴大하는 을 從하야 各異種族을 統一하는 大責任이 有함과 同히 同じく、墺匈國政府當局이 是等의 統一政策은 甚히 困難의 狀態로 있는 것은 부다페스트의 高等法院의 如きも、各人種이 反目乖離의 間에 頻々起하는 複雜의 事件을 制裁하는 은 容易의 業이 아니라 부다페스트의 高等法院은 國會議事堂의 東方에 隣接한 所謂 文藝復興式의 廣壯한 建物이 有하고 大玄關에는 六箇의 大理石柱에 支持せられある 幾多群像의 彫刻せるものあり、其의 上部에는 鎔銅製의 戰提車(クヤリオツ)는 三頭의 駿馬가 此를 가 之를 牽き、正義를 表徵하는 女像威風凛々として 駕御하는 며 更히 玄關을 入하면 幾多의 法官室及び 法廷室은 何れも 莊嚴한 構造를 要하고 各室共히 區劃整然함은 法衙된 威權을 示하기 에 足하는 며 此附近에는 農務及び 司法의 兩省된 廣壯한 建築物相竝び、又アルコトマニー大街의 附近에는 陪審裁判所及び 大獄舍等의 建物이 何れも 巍然として 聳えて 居하고 高所에서 市街를 瞰下하면 殆んど 司法機關이 全市의 壯觀을 添하는 感이 有하니라 寫眞은 高等法院正面의 一部를 示한 者이다。

도란시루우아니아의 트랜실ᄇᆞᆯ뱌니아의 風俗

奧匈國에는 一種獨立의 侯國이 各地에 存在ᄒᆞ야 더ᄒᆞ니 셀도니아 ボトニア、ヘルセゴビナ의 兩州의 如ᄒᆞᆫ 本是 ᄒᆞ엿더ᄒᆞ니 伯林條約에 依ᄒᆞ야 土耳古에 屬ᄒᆞ엿더라 ᄒᆞ야 施政及ᄇᆡ 軍隊占領權等을 以ᄒᆞ야 奧匈國에 屬ᄒᆞ엿더라 ᄒᆞ야 一九〇九年에 至ᄒᆞ야 遂히 奧匈國의 領地를 ᄒᆞ며 其他匈牙利의 西部로 루와라인河의 間에 在ᄒᆞᆫ 리히덴스다잉 侯國의 如ᄒᆞᆫ 도아즉 未ᄃᆡ 條約으로 ᄒᆞ야 奧國과 合同은 아니ᄒᆞ엿스나 實際는 奧匈帝國의 一部ᄂᆡ라 ᄒᆞ야도 過言이

伊太利

伊太利는地中海의中央에突出せる三大半島의一로서其의北部는아루부스山脈에依りて、佛蘭西、瑞西、墺地利匈牙利의三國에境し、南はチルレニア와아쓰리아海とアドリア海との間に斗出し、大陸、半島、島嶼의三部より成り、面積十一萬六百六十方哩를有し、更에植民地를合すれば二十八萬六千百六十方哩餘에達す、伊太利의人口은本是로마이의起原は元とローマ人が始めてローマ府の港を築き、其の後四方을蠶食して國力을得、更에地中海沿岸을統一して大에覇權을握り、羅馬帝國을成せる古來有名の歷史를有する國である、而して羅馬帝國의全盛時代는第二世紀の初めにして其後漸次衰へ、東西로마의兩帝國에分れたるも、遂에四七六年로마帝國의滅亡을成하니라

現今의伊太利國은最近의建設인데十五世紀에於て既에數邦에分れ、一八一五年우잉ヴィーン會議의後更에大小十箇國의共和國을成하엿스나更에統一할所期會가無하며、然이아사루지니아은皆로부터はなかつたのである、而もサルヂニア王國을除くの外は悉く他地方より來れる王侯의支配를受くるを意とせず常に不和軋轢의紛擾을惹起すること屢々なりしが、伊太利內의各部는保守的專制政治로統一하야自由獨立을希望하는者이多く、遂にサルヂニアのサボオイ王家推されて統一事業의中心을成하니사루지니아、빅구도루에마누에루는一八五六年パリー平和會議에始めて列強의委員과同席會議하야國威를發揚하는에至つた、其後墺國과의葛藤이生하야一八五九年佛伊聯合軍과墺軍과의干戈를交

を야此에 へて之に勝ち、一八六一年伊太利國의 을 成立을 宣言 하엿고 사루지니아에 サルヂニア王に伊太利國王의 尊號를 奉り、후로렌스로 フロレンスを以て首府となせしが、更に一八七〇年伊太利王은 全國을 統一하는 同時에 首府를 羅馬府에 移し、茲に伊太利國의 基礎는 鞏固となつたのである、其後伊太利는 獨逸及び墺匈國과 約して所謂三國同盟을 結び、全く歐洲列强의 地位를 占むるに至つた。

伊太利의 最近에 於ける人口는 約三千八百五十萬人을 有し其人種은 概ねラテン民族으로 して性質稍々怠惰浮華의 傾向이有하나 あれども淡泊하야 親切且つ愛嬌에 富み、精神도 高尙にして禮儀를 重하며 正しく、謹直、節儉을 尙び 亦勇敢にして愛國心도有하고 ある、伊太利의 風俗은 都會人은 歐洲諸國과 其의 服裝稍々同じきも、農民은 平常白色의 肌衣를 纏ひ、婦人은 帽子에 鳥의 羽或은 草木의 花를 挿し、耳에 穴을 穿ちて輪을 嵌めて居る、又農家의 女子는 赤色或은 薄青色의 肌衣를 著、白色의 袴를 穿하고、又美しき布를 以て頭及び肩을 覆ふを例とする。

政治는 立憲王國にして 으로 一八四八年憲法을 制定하야、行政權은 國王에 屬하니、責任內閣을 으로 して之を施行せしむるのである、而して立法權은 國王과 國會에 屬하니、國會는 兩院으로 成れるのであつて、卽ち上院은 元老院이라 稱하고 皇族議員及び勅選議員으로 より成り 其의 數三百二十八人下院을 代議院이라 稱し、一般人民으로 より選擧せられ 케하며 其數五百八人あり、兵備는 陸軍에 在りては 로부터 常備軍、後備軍、民軍에 分하고 滿二十歲より 三十九歲까지 兵役의 義務가 有하고、海軍은 沿海를 三海軍管區에 分하고、第一管區스페지아、第二管區나포리、第三管區ヴェネチア인데 にして此의 三箇所가 軍港으로 で亦海軍의 根據地이다。

宗教は基督舊教を大部分とすれども此外に基督新教、猶太教、希臘教等がある、伊太利の教育は初等教育、中等普通教育、中等專門教育、高等教育等に分つて居る、此國は從來教育甚だ不完全にして丁年以上の者にして讀書習字が出來ざるもの多く從つて軍人の如きも自己の氏名すら書くこと能はざるものの多數ありしが、現今初等教育は强制法を設けて六歲より九歲までの兒童には必ず就學せしめ專ら初等教育の普及に努めた結果、漸次發達するに至り、今や官立大學の如きも十七校に、私立大學も四校ある。

產業の方面を觀察するに此國は農業を以て第一とし其重要なるものは小麥、王蜀黍、葡萄、米、橄欖、麻、煙草等にして就中橄欖は世界第一とし、又養蠶はロムバルヂー平原地方最も盛にして優良の生絲を產出し、其の產額は支那、日本に次ぎ、歐洲第一である、工業は他國に比し劣れる感あるも主要なるは生絲、葡萄酒、オリーブ油、絹織物、麥稈眞田等である、商業に於ては歐洲の南方地中海の中央に突出せるが爲め港灣多く、且つアルプス山脈に隧道を開穿して中歐諸國との交通連絡を有し海陸共に運輸の至便なる優良位地を占め、近時貿易最も旺盛の狀態を示して居る、最近の輸出入貿易總額は約十八億八千萬に上ると云ふ、要するに伊太利が最近五十年間に於て政治、經濟共に著しき發展せられたるは、歐洲三大半島の一として地中海の中央に突出し、亞細亞及び亞弗利加に近接し、海岸長くして良港多く、氣候溫暖且つ地味概ね肥沃にして生產多く、殊に往昔ローマの中心として歐洲文明の淵源をなせる等、是れ自然的地理の優良に起因する所が多いのである。

羅馬市

羅馬は伊太利半島の中央西部タイバー河畔に位せる伊太利の首府である、基督舊教徒の聖地なれば數百年間ローマ大帝國として「永遠の都」或は「世界の女王」と稱せられ一時歐洲文明の中心地として宗教上、歷史上世界に有名なる舊都府であつた。

現今の羅馬市は舊時のローマ帝國當時の首府とは全然趣を異にし寧ろ過去の全盛を記念せる一大墳墓の感がある、往年の遺物として十二箇の城門を有する高さ五十三呎の舊城壁は三十哩に亙りて羅馬の全都を圍繞せるもの、其の他宏壯なる建築物としてセントピーター大寺院、バアチカン宮殿、コロセアムの如きは一大建築物と稱せられ今尙昔時の面影を殘存して居る、市街の如きも市制施行と共に漸次に改良せられ、商業の中心たるコルソー大通を始め大部分歐米式の大建築物となり、更に市區改正を行ひ、或は電車を敷設し舊ローマの街衢も漸次に其の古蹟を失はんとする趨勢を示して居る、然れども現今新羅馬の繁榮は舊羅馬の古蹟に起因し、又舊羅馬の權威と歷史とは新羅馬の政策に依りて確保されて居るものと云はねばならぬ、最近の人口約六十萬餘を有し有名なる博物館を始め、繪畫、彫刻其他時代の美術品蒐集所甚だ多く、且つ之が保存に力を盡せるを以て、實に世界の美術的大都會と稱し各國より此地に來遊するもの頗る多く、從つて市民の大部分は世界の觀光客に依りて生活するとまで云はれて居る、寫眞は羅馬市の一部を示せり。





우아지간 ヴァチカン宮殿

우아지간 은로마 의교황 을든處이니 ヴァチカン宮殿はローマ法王の居住せらるゝ所、世界最大の宮殿として其
이名高고、其의宏壯雄大의建築은恒常에夕陽雲霧와相映帶하야實에天下의絶觀이라
稱せられて居る、羅馬市가此宮殿과寺院等의三大建築物을有함은卽ち舊ロ
ーマ帝國의全盛時代를偲ばしむるものである。

此宮殿은遠히三〇〇年頃에創建에係하니爾來歷代의法王이屢々修築을施した
ものであるが、一四五〇年時의法王니고라스五世에至하야漸次規模를改め、
更히피우스九世의時代에至하야大히擴張하니內外共히裝飾善美를盡し、又セ
ントピーター寺院의柱廊으로부터宮殿에通하는大階段을改築하야世界有名の
宮殿으로하여금誇하기에至つた、宮殿內는四千四百二十二室이有하야其壯麗實에人目
을驚케하는바이無하고、ピーター寺院은現今에於てゝ羅馬法王
自治의領域으로하여금一部分을區劃하야居住케하니라、其의他는美術館及び圖書館에充てゝある、伊
太利는考古局의許可를得하는者又는美術學生의外는博物館及び美術館其他名
所舊蹟을雖ゝ必ず觀覽料를徵收하나니라、羅馬法王은特히此
宮殿을開放하고一定의期間에於て公衆에無料縱覽을許してある、殿內에入れ
ば各室의裝飾絢爛하야人目을眩射하니라、世界無二의珍品、奇書、彫刻其他의
美術品은一々應接에遑なく、實に舊ローマ全盛當時를回想せば無限의感慨를
禁じ難い、寫眞은宮殿의外觀을示したものである。

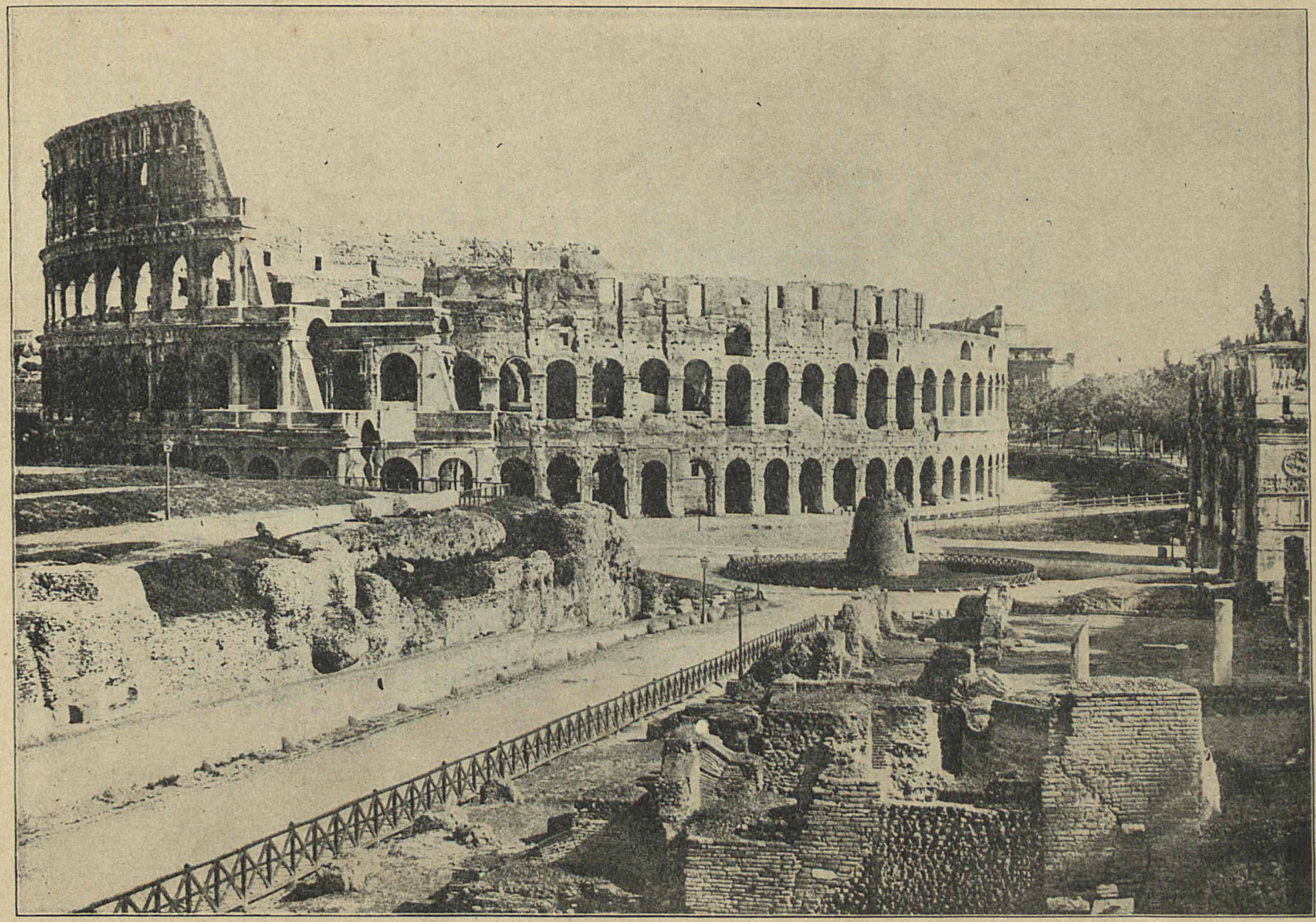
센도피다 セントピーター寺院

센도피다 セントピーター寺院은우아지건 ヴァチカン宮殿及びコロセアム과共히三大建築物의一로서所謂羅馬敎의大本山인데、一四五〇年에起工하야一六二六年迄實로百七十六年을要하야겨우完成케된것이다。此의如き長年月을經たる建築物은世界에其比를見지못할所である、長さ百間、幅四十八間、頂閣의高さ가七十二間에達하야、外觀의宏大壯麗함은말할것도아니라、內部의美麗壯嚴なることと實に人目을驚케하는것이있다。

에바지리카을創建된故로에堂을成하였다며、寺院의面積은五英町에及하고此建築에要한工費는一千萬磅을投じたのである。

此の寺院의大玄關石段을上りて堂內에入れば、右にはコンスタンチン大帝의彫像이有하고、左にはシャルルマーニュ皇帝의像이有하야、更に本堂に到れば其の兩側에各四本의코린스式大斗(キャピタル)로以て裝飾せる巨大の柱가圓天井(ヴォールト)을支へ、床石은着色의大理石을以てし、其中央에圓形의斑岩一枚石을敷いてある、中世紀의皇帝는多く此所에서戴冠式을擧げたのである、其他外陣、記念塔、敎壇、神扉、禮拜堂、塑像等이有하야何れも莊嚴華麗を極めて居る、就中著名の者는珠王、耶蘇傑像、名匠의精巧를盡せる燭臺及びシャルルマーニュ가西羅馬皇帝としての登極式에際하야特에刺繡したと稱する祭祀服이秘藏되였고、其の他貴重の繪畫、石象嵌細工の如きは天下の逸品으로中에는五十年以上을要せし彫刻物이有하다하니라寫眞은寺院의外觀을撮影したのである。





羅馬의 고로세아무 大演武場 (コロセアム)

羅馬의 고로세아무라 ᄒᆞ면 센도피터라 寺院及び羅馬王宮과 共히 羅馬府의 三大建築物로서 古來로부터 著名ᄒᆞᆫ 者인ᄃᆡ、紀元七二年、우에스파샨 帝의 治世에 起工ᄒᆞ야 此를 거진ᄃᆡ 八層까지 建築ᄒᆞ고 崩御ᄒᆞ시고、其後嗣子 타이투스 帝의 時代에 至ᄒᆞ야 之를 竣成ᄒᆞ시엇ᄉᆞ나 現今의 貨幣로 換算ᄒᆞ면 實에 一千七百萬리라에 相當ᄒᆞᆫ 巨額의 費用을 投ᄒᆞ엿다고 云ᄒᆞᄆᆞ로、長徑百間、短徑八十間、壁의 高ᄉᆞ 二十六間에 及ᄒᆞ야、煉瓦四層樓로 ᄒᆞ야 楕圓形의 城廓式으로된 建築이라 ᄒᆞ고、觀覽者八萬人을 容ᄒᆞᆯ 수 能ᄒᆞ니라 ᄒᆞᆫ 것이 出來ᄒᆞᆫ다。

此의 場內地下는 數多의 窖室이有ᄒᆞ야、獅子、虎、豹等의 猛獸를 飼養ᄒᆞᆫ 處로 ᄒᆞ야 羅馬帝國全盛의 時代에、劍士와 劍士의 演武又는 劍士와 猛獸를 格鬪케 ᄒᆞ야 觀覽에 供ᄒᆞᆫ 遺跡이有ᄒᆞ며、其의 鬪場의 周圍에는 猛獸의 暴れ狂ふ 結果萬一觀覽者의 危害를 避ᄒᆞᆯ 爲ᄒᆞ야 金屬製의 手摺을 附ᄒᆞᆫ 墻壁을 廻置ᄒᆞ고 其의 上은 監視人의 通路가有ᄒᆞ야 更히 其의 上은 幅廣き 大理石으로 成ᄒᆞᆫ 側壁을 設ᄒᆞ고、元老院議官、神教大學教授等의 觀覽席에 充ᄒᆞ엿고、更히 其의 上에 北面して 貴顯席도有ᄒᆞ며、又皇帝、皇后의 玉座도有ᄒᆞ야 此所에서 觀覽ᄒᆞ시엇다ᄂᆞᆫ 신다ᄒᆞᆫ 것이라 ᄒᆞ며、今은 天蓋及び內部의 石材等은 殆んど 全部崩壞ᄒᆞ야 ᄒᆞᆯ히 僅히 外廓을 存ᄒᆞᆫ 것이라 ᄒᆞᆫ 것이 然이나 羅馬의 全盛時代와 古き 建築物의 遺蹟을 留めて 居ᄒᆞᆫ 것은 實로 外廓의 側面을 示ᄒᆞᆫ 것이라 ᄒᆞᆫ 것이다。

베니스市

베니스는 베네지아라도 하니아뜨리아 의 北端에 位하니 多數한 島는 七十 二箇나되나 更히 小島嶼를 加하면 百五十餘箇가 有하고 全市는 殆히 水上에 浮び居는 이有하니라

ベニスは一名ベネチアとも稱しアドリア海の北端に位し、重なる島は七十二箇なるも更に小島嶼を加ふれば百五十餘箇の島上に在りて其の周圍約七哩を有し全市殆んど水上に浮び居るの感がある。

此地에 起原은 中古의 頃蒙古人種된 一族을 酋長 아지라라하는 가 率하야 來하야 伊太利人은 悉히 逃走하야 此地에 住케한 以來로 漸次發達의 端을 開한 것이라 云하며 市街의 中央을 通하는 大運河라 稱하는 百五十의 運河中 最大한 者인 것이니 延長二哩餘、幅三百四十呎餘에 達하고 此의 中央에 架한 아루도 橋를 리아루토 橋라 名하고 大理石으로 成한 頗히 壯麗한 것이다 皆이有하며 百五十의 運河에 對하야 三百八十의 橋梁을 架設한 以로 全市의 交通機關은 最히 完備하였고 居하야 而하야 家屋은 悉히 大小의 運河에 向하야 入口를 構하고 河道로써 以하야 交通의 本道를 成함과 如함은 世界無比의 偉觀이요 陸上의 道路는 甚히 狹하고 單히 舖道의 設한 분이나 然이나 而하야 他의 都會에는 車馬의 代에 所謂 곤돌라 라 稱하는 船이有한 것이다 首의 尖立한 小舟를 以로 人間의 來往 及 貨物을 運搬하니 唯一의 交通機關이라 하야 居하다。故에 베니스人은 馬를 不知하는 가有하며 云하다 此地가 水運至便에 하야 通商도 隆盛에 赴하고 殊히 希臘沿岸을 領有하고 로하고 遂히 地中海東部의 商權을 握하야 東西兩洋의 貨物大集散地를 成하고 又工藝盛하고 人口約十六萬이 有하며 重要 産物은 玻璃器、寶玉、金銀의 刺繡、레이스、天鵞絨、絹織物等이有하며 此地에 我國의 名譽領事館을 置하니라 寫眞은 大運河에 沿하는 東街의 一部이다。





도-ジ지 宮殿

베니스는아쓰리아의에를야로성된자연적獨立의地勢를有하므로、昔은此附近의島嶼를包括하야一共和國을作하고六九七年의頃民人으로부터도-ジ을選出하야以來十一世紀의間存續하였다、其後一時佛國政府의屬領이되기도하였으나、一八七〇年伊太利統一의完成과共히、此地도遂히伊太利政府의統治下에屬하였다。

此의도-ジ지이라함은베니스의共和國을統治하는大統領이라云ふのは所謂ベニスの共和國を統治すべき大統領とも云ふべき元首の居所として最히權威을振하는時代、卽ち八二〇年에創建된者이라나、其都度改築하야現在의宮殿은最後의建築이라。

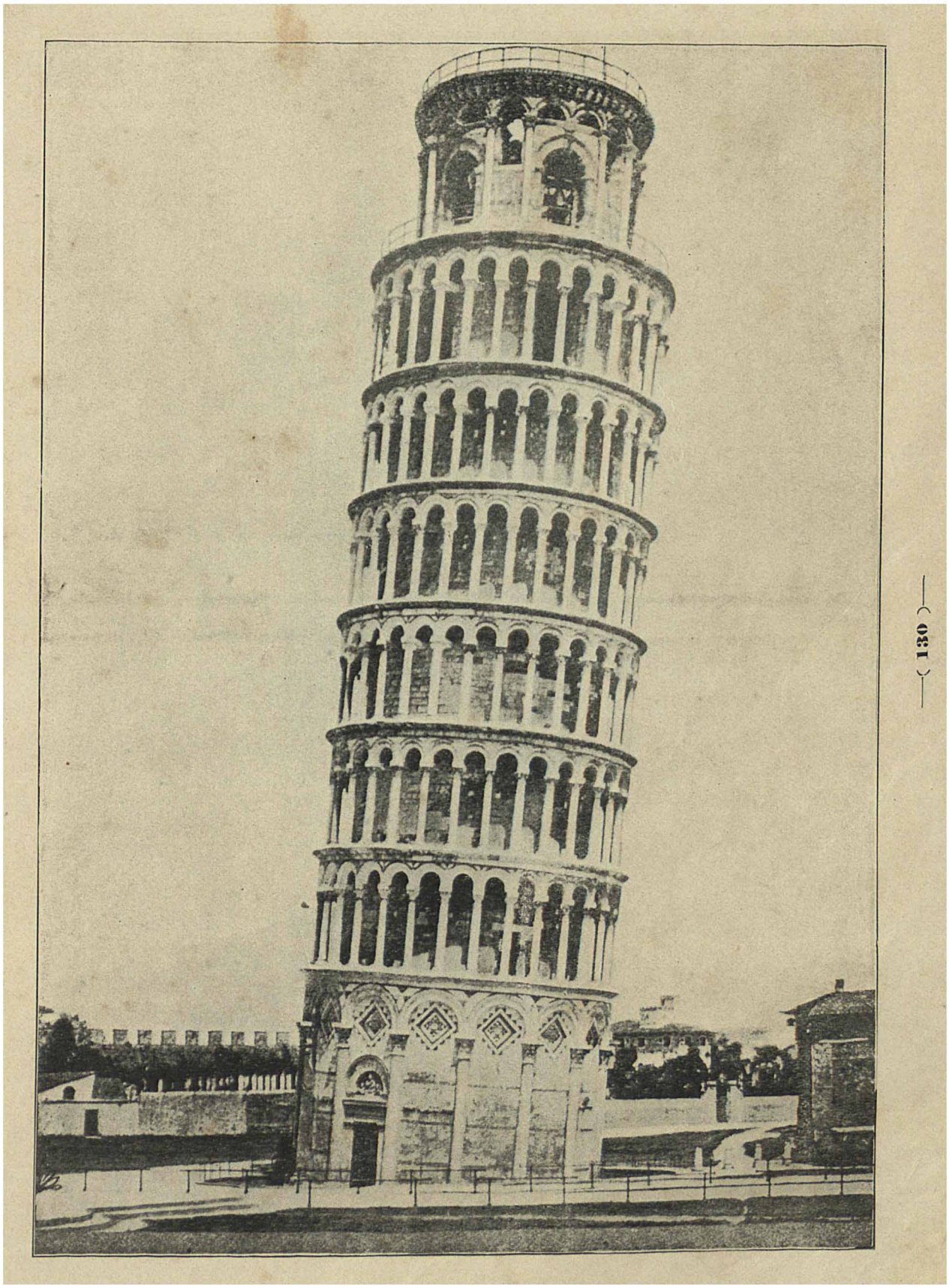
シック式の精巧を盡せる壯麗な建物である。

宮殿上下二階의廻廊은ゴシック式의裝飾된石材의柱를用하고、又三層의外部는紅白色의大理石과煉瓦로成하고內外共에宏壯美觀을示하고居る、室內中著名なるは執政殿、選擧堂인데其의行廊의終末에在한一室에는チントレットの筆に成れる、「天國の榮光」と題する橫八十四呎、縱二十四呎の畫布に畫かれてあるは世界無比의大作이라稱하며、宮殿의階上으로부터遠望하면近의大小島嶼의間에來往하는幾百의帆船小舟를一眸에收하니實로壯快絶觀을極하며、窩眞은大運河에沿한宮殿의一部를示한것이다。

피사의 ピーザの斜塔

피사노아루노 의 ピーザはアルノー河の下流に在る一小都邑にして此地は有名なる斜塔ある으로 를以て世界에 名聲을 博したのである、鐘塔의 宏大にして高きは世界各所에有하나 이此만 히 にあれば敢て世人が之れのみに深く注目すべき價値のないものである、然나 이に此鐘塔が著名なるは高塔なるにも拘はらず甚しく傾斜して居るのが其の最大特長으로 로して世界に 에 誇稱する 할 바이라 所以である。

피사의 은 ピーザの斜塔은 피사 다포난이라 하는 ピーザのポナンと云ふ 이 人が一一七四年に 에 工事를 を 하야 起し 百七十六年의 歲月을 を 經하야 て 一三五〇年에 に至り 에 하야겨우 漸く 竣成せられたるものにして、如何히 に其の工事에 に苦心研究せられしかを 을 想像하기 치못하겟지 するに餘りあり、高さ 가 百七十呎에 達하고 を 、而して此斜塔은 は最大長期의 の建築中에 に於て 에서 南側に傾きたる 거 を其儘完成せしめたるを 을 以て、中心으로부터 로부터 より十四呎傾斜하여 가되니라 して居る、此를因하야 之が爲め却て一大偉觀을 を 呈하니、世界無比의 の珍奇된 로 な建物として名高い 이 케되니라 ものとなつた、此斜塔은 は大理石으로 を 以てし、八層의 の樓閣으로 より成り、하고 を 、其の六層까지는 まで は柱廊을 を 繞らし、又塔內에는 に は二百九十四段의 の石段을 を 設けてある、此塔의 の頂上에 に 에 登りて遠望하면 すれば 면 ピーザ市街及び郊外附近一帶의 の平野는 は一眸의 の下에在하며 에 に收め、更に眼을 を 西方에 に轉하면 ずれば 면 アルノ河의 の河口及び 및 리세유리아 와 リギュリア海の碧波と 히 共にレグホルン 에 港附近一帶의 の島嶼을 を 望하지되란 지되라 み、北方에는 にはアルプスの山嶽이 이 峙立せるを 을 見る 하는 等、其の展望의 の自在가되나 にして然이나 나 而も四邊의 の風光絶佳함은 なること 에 眞に壯快을 を 感せしむ 지되라。





네ー푸루스 ネープルス市

네ー푸루스는아페닌 ネープルスはアペニン山脈を負ひ、一面はネープルス灣に臨み、又近くに名高きものである、最近の人口約六十五萬を有し、國内第一の都會である。

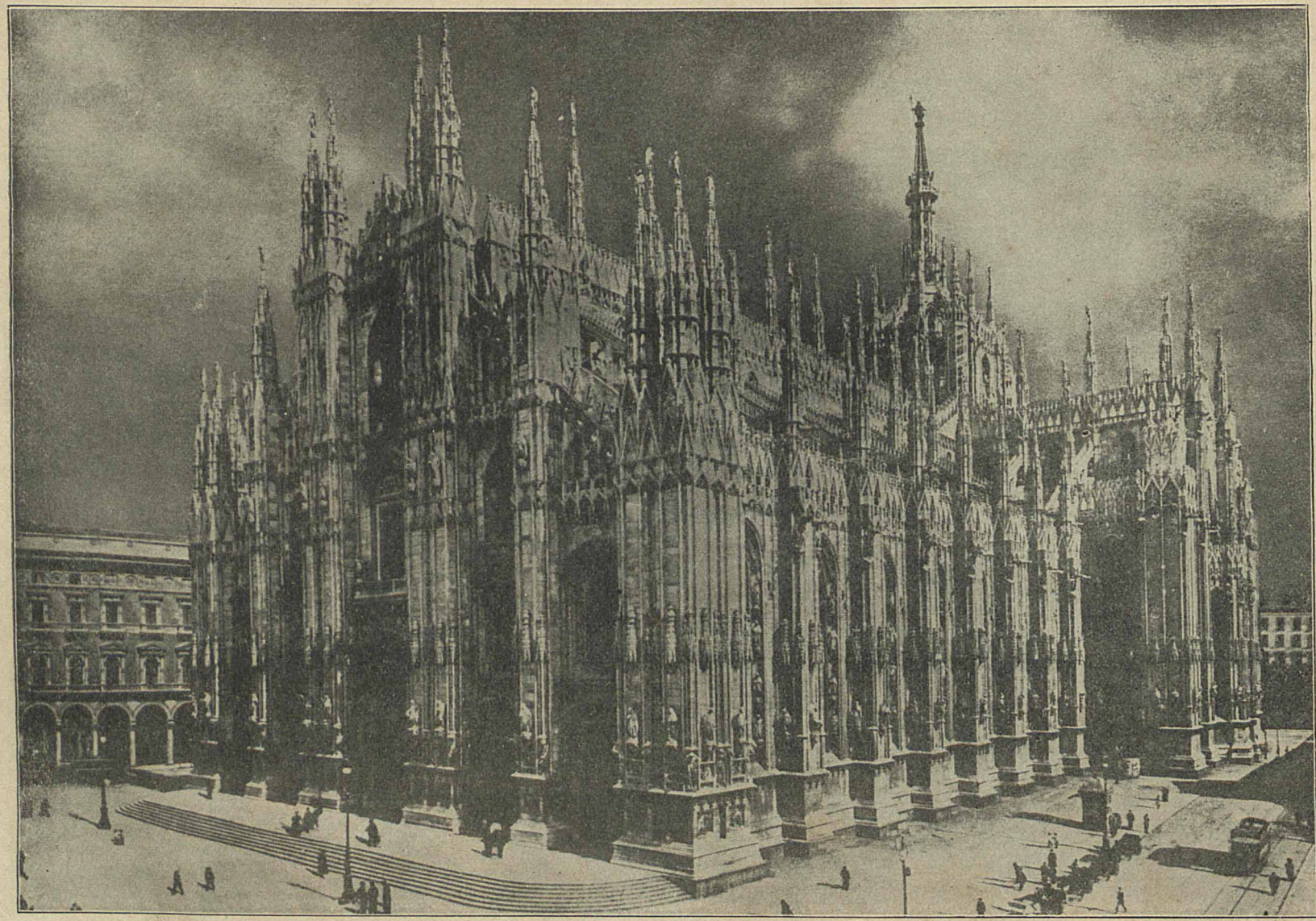
베스비오는火山は數哩の間に聳立して噴煙し四邊の風光絶佳なるを以て歐洲

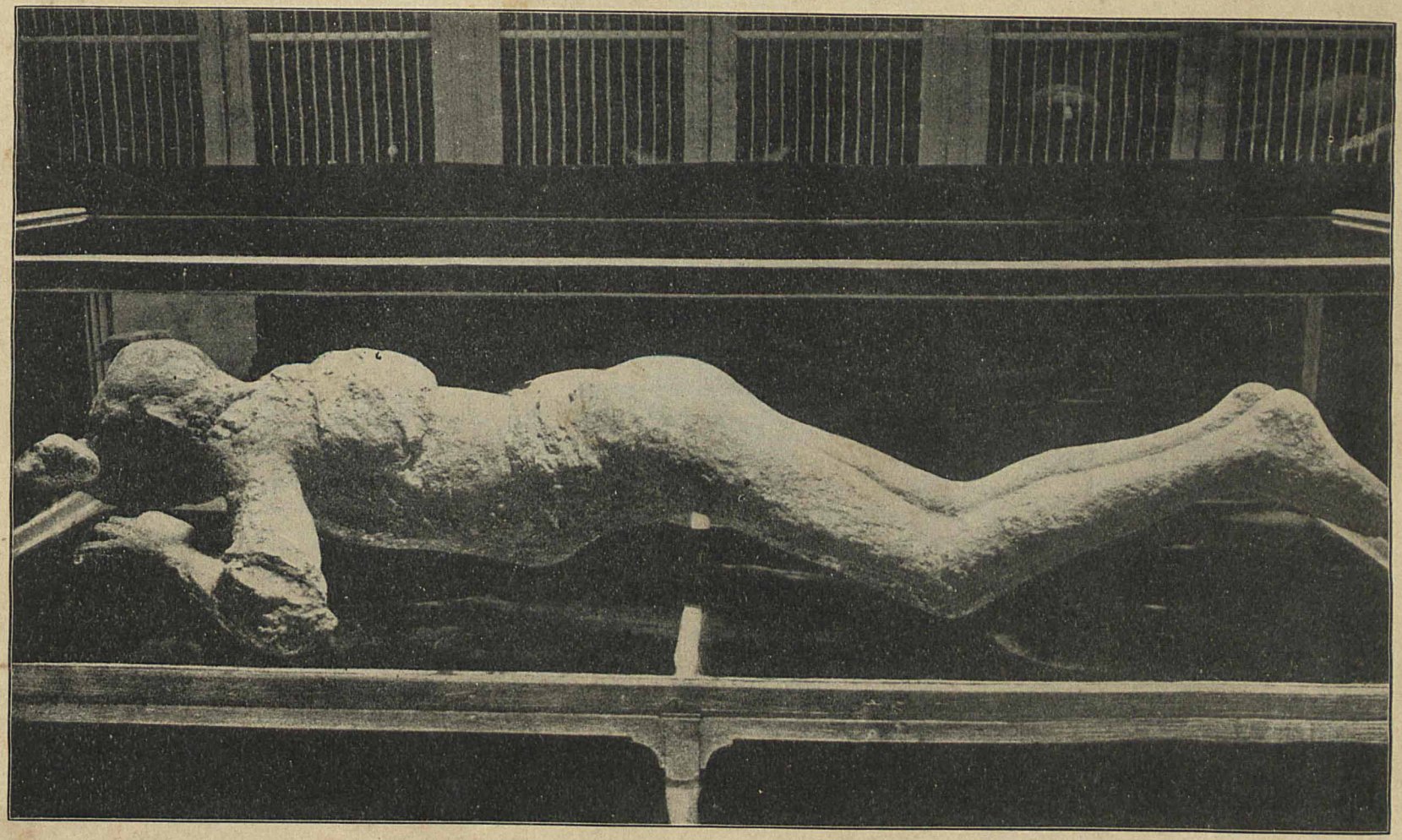
此地は一八六〇年頃まではネープルス王國の首府であつた、羅馬の東南方に當り鐵路約百六十哩の地に位し、市街は海面より突起して稍々圓形を成し、丘陵及び山麓に亙り長さ三哩、幅二哩に及ぶ、此地は太古希臘人が移住せるに起原し、其の後羅馬に征服され、或は西班牙の支配下に屬し或は奈翁一世の侵略等幾多の變遷を經て一八一五年後ブルボン王家四世之を再興してネープルス王國と稱せしも、伊太利王國の統一完成と共に同國に併合されたのである、伊太利の最も重要地點なるを以て伊太利海軍の根據地とし又兵營の所在地である、ネープルスは學術及び商工業の中心地として又有數の貿易港と成つて居る、國立圖書館の如きは數十萬卷の書を藏し、又博物館の如きは有名なるポムペイの廢墟より發掘せられたる珍品貴物を存し、古物展覽會は世界有名のものである、其他寺院　王宮等の古跡多く且つ此地の位置が丘陵より山麓に亙れる特種の形容を成し、四邊の絶勝言語に盡し難く伊太利人の諺に「ネープルスを見て死せよ」と傳へられた程である、以て如何に伊人が此地の風光を愛賞するかを知ると共に觀光外客の見逃すべからざる所である、寫眞は卽ち市街の全景を示せり。

미라노 ミラノ大寺院

미라노는 미란이라 하니로무바루지의 ミラノは一名ミランとも云ひロムバルヂー平原の中央に位置し、ポー河の支流ヲロナ河の附近に位し、人口約六十萬を有し伊太利第二の都會と稱せらる、此附近一帶地味肥沃にして特に養蠶業の中心地を占む、從つて絹布の製造最も隆盛を極め佛蘭西の里昂、獨逸のクレフェルドと並び稱せられ、又市街の繁華にして建築物の壯麗と一見豪奢の風あるは殆んど巴里に類似せるものあるより俗に伊太利巴里と呼ばるゝ程である、此市は運河を以てポー河に聯絡し道路は石又は木片を以て疊み、家屋は悉く四層乃至五層樓にして外觀最も善美を盡して居る、就中市街著名のものはバラゾディ・ブレラ美術館、アムブロシアナ圖書館の大建築物を始め特にミラノ大聖堂の如きは世界有名なものである。

미라노 ミラノの聖堂は羅馬のセントピーターに次ぐ大寺院にして、一三八六年に起工し、一四一八年に至る 三十二箇年を要して竣成されたものである、此建築はゴシック式にして直徑十二呎の大柱と大理石とより成り、周圍に百三十五の尖塔林立し、其の中央の高塔は七十間の半空に巍然として聳え、廣袤三千五百餘坪、優に四萬人を容るゝと云ふ、內外に聖賢君子の肖像を飾り、其他繪畫、彫刻等の精巧美麗にして彩色の燦然たるは眞に人目を驚かしむ、尙此寺院は世界の七不思議と稱し觀光客の來り訪ふ者尠からず、寫眞は外觀の一部を示せるものである。





人間の化石

폼페이는베스비오山麓에在りてヘクラニユームと共に紀元前五百年頃はポムペイはベスビオ山麓에在りてヘクラニユームと共에紀元前五百年頃은

最も繁盛を極めしものなりと云ふ、然るに紀元六十三年の大地震に次で、七最히繁盛을極하엿다나이나紀元六十三年의大地震에次하야、七

十九年に至り有名なるベスビオ山の大噴火ありてポムペイ及びヘクラニユー十九年에至하야有名하ᄆᆞᆫ베스비오山의大噴火가有하야폼페이及헤ᄀᆞ라니뉴

ムの二市は全く其灰中に埋沒せられたのである、卽ち同年八月二十四日の拂ᄆᆞᆫ의二市ᄂᆞᆫ全히其灰中에埋沒하엿ᄂᆞᆫ지라무의二市는全히其灰中에埋沒하엿ᄂᆞᆫ지라、卽ち同年八月二十四日의拂

曉にベスビオ山が大破裂して巨大の燒石と共に降灰すること兩市に七八尺も曉에베스비오山이大破裂하야巨大의燒石과共히降灰하ᄆᆞᆫ兩市에七八尺이나

堆積し二三萬の市民中大部分は逃げ出したるも老幼男女の如き三千內外堆積하고二三萬의市民中大部分은逃ᄂᆞᆫ하야出하엿스되老幼男女와如한三千內外

の生靈は無慘にも沒死されたと云ふことである、然しながら一五九二年此地に暗の生靈은無慘히도沒死하엿다하니라然이나而하야一五九二年此地에暗

渠敷設の事業を起してより偶々建築物を掘り當て初めてポムペイの所在地渠敷設의事業을起하ᄆᆞᆫ으로부터偶々建築物을掘하야當하야初하야ᄂᆞᆫ폼페이의所在地

を發見し其の後伊太利政府の事業として發掘に從事し貴重なる珍品、古를發見하고其의後伊太利政府의事業으로하야發掘에從事하며貴重한珍品、古

器其他有ゆる美術品を得て古代の儘今尙ナポリの博物館に保存されてあ器其他有한美術品을得하야古代의儘今尙나포리의博物館에保存하엿ᄉᆞ라

る。

此發掘されたものゝ中には動物や人間の殘骸最も多く而も其の千態萬容をな此發掘된ᄆᆞᆫ것ᄌᆞ中에ᄂᆞᆫ動物과人間의殘骸最도多하나而하야其의千態萬容을ᄒᆞᆫ

すは實に人をして當時の慘憺たる光景を想はしむ、博物館に陳列しある거슨ᄂᆞᆫ實로人으로하야금當時의慘憺ᄒᆞᆫ光景을想케하며博物館에陳列된

種々なる發掘品中、特に奇異の感に打たるものは四箇の人間化石である、寫種々의ᄒᆞᆫ發掘品中、特히奇異의感을打ᄒᆞᆫ것ᄌᆞᆫ四箇의人間化石이니寫

眞に示せるは卽ち其の一で全身灰化して恰も土偶の如く、考古理學者の說に眞에示하ᄆᆞᆫ것ᄌᆞᆫ卽ᄎᆞ其의一로全身이灰化하야恰히土偶와如하니、考古理學者의說에

依れば此の殘體が比較的苦痛なき狀に鑑みれば噴火の灰燼に埋沒される前に依ᄒᆞ면此의殘體가比較的苦痛된ᄆᆞᆫ에狀을鑑하고로보면噴火의灰燼에埋沒되기前에

硫黃瓦斯の爲に早くも窒息せるものなりと云ふ、今や世界の奇街として觀硫黃瓦斯에速히爲하야早くも窒息된거이라하니、今や世界의奇街으로觀

客の此地に來りを訪ふ者頗る多し。客이此地에來하야를訪ᄂᆞᆫ가者頗히多하다。

후이렌쓰에 フィレンツェ市

후이렌쓰에는 후로렌스라 하니도스가나 フィレンツェ市は一名フロレンスとも云ひトスカナ平原の中央アルノ河畔에 하니 位し、最近의 人口約二十三萬餘를 가하고 四邊의 風光殊에 宜하며 又古來より 美術의 淵源地로 有名할분아니라 特히 名畫에 卓越하미 第一이라 稱하야 歐羅巴洲에 스라의 支配下에 屬하는 軍事植民地가되엿더니 샤루미뉴 シヤルルマニュ大帝의 世에 至하야 一王公의 支配에 屬하엿고 히 更에 十五世紀에 至하야 메데이지가 メディチ家がタスカニー大公國의 中央政府를 置하기에 及하니라 漸次文藝美術의 勃興을 見하고 一八七一年까지는 伊太利王國의 首府이니라 つた、古來より 知名偉人의 出한 所にして、其의 最히 有名함은 詩人단테를 始하야 彫刻家 시가에로안져로、航海家 아메리고헤스부지 リオ、宗教家 사우나로라 サヴオナローラ等は此地に生れたのである。

今에 軍管區司令部、諸官廳、社會學學校、美術學校、音樂學校、病院附屬의 醫科事門學校가有하고 又伊太利의 南北要郡과 連絡交通의 中心으로 百貨의 集散地라 하며、殊に工業は木綿織物、麥稈眞田、珠玉及び寶石의 細工等은 最盛하며 特にトスカナの平原は豐饒肥沃にして且つアペラン의 山脈에 圍繞せらるゝを以て氣候最히 溫暖なれば從つて生産物多이 하고 就中橄欖(オリーブ)의 は主産地로 として世界에 名高きものである。寫眞에 示せるはアルノ河를 挾んだ 全市의 光景이라 である。





伊太利農民の風俗

伊太利は先づ農本國と云ふてよい、地勢上全國を分ちて、大陸、半島、島嶼の三部となし、大陸部はアルプス山脈及び北アペニン山脈を圍繞して内にロムバルド平原を包み、此平野は土地肥沃にして國中の産業最も盛んに就中養蠶の主産地である、其他半島部のトスカナ平野、ローマ平野等が大なるものである、氣候温和にして晴朗の天氣多く歐洲の樂園とも稱せられ、農業には最も適して居る、生産物の重なるものは小麥、米、葡萄、玉蜀黍、橄欖、麻、煙草は伊太利の七大農産物と稱せらる。

伊太利の北部及び中部地方の農民生活狀態は比較的富裕である、又伊太利では小作制度を設けて地主と小作人が收益を分配する所謂分益農法の實施して以來最も好成績を示しつゝありと云ふ、卽ち小作人が利益關係より自己の耕地に對して熱心に之が增收方法に努力する結果が自然生産高を增加せしむる原因にして延へて國家の富源に資する所勘なからず、是等は伊太利の農事政策上最も當を得たるものと云ふべきである、農産額の如きも、一八六四年には約十二億圓内外に過ぎざりしものが、一九一〇年には約二十七億圓に達し僅々十六ヶ年間に二倍以上の增收を見たるが如きは實に著しき農業の發達と云ふべし、農夫の風俗は諸國共に趣を異にして居るが、此に揭げたるは伊太利の農夫が異樣なる馬具を附屬した駄馬に農作物を載せて運搬する所である。

伊太利貧民の生活狀態

世界の文明國と云へ或は富强國と云ふも其の國民に貧富の懸隔あると共に從つて習俗や生活狀態を異にするは何れの國でも違ふ所はない、然るに伊太利の如きは特に貧民の多數を占め、伊太利乞食と云へば世界に有名なものである、是等の原因に至つては到底吾人の觀察を以て推斷することは不可能であるが、伊太利の民情が稍々浮華怠慢の傾向あるに徵すれば幾分其因を爲せるものに非ざるかを疑ふに足れり、殊に無學無智の海外出稼的勞働者の多きを見れば下層社會の一般は推して知るべきである。

我國でも未だ都會其他著名の神社佛閣附近に乞食の出沒するを見るが、伊太利の各都府に此種の多數徘徊して世界觀光客を苦しめることは一層甚だしきものである、然而して下層社會の如きは玉蜀黍の粥或は麵麭野菜類を重に常食として居る、殊に麵類を嗜むは世界一と呼ばるゝ程であつて一日でも麵類を食せぬことはない、故に何れの旅館や料理店でも晝若くは夕食にマカロニ(麵類)を出すを常とする、觀光客でも此種の類を嗜むものは差支もないが、予輩の如き好かぬものは閉口せざるを得ない、然るに伊太利の貧民などは殆んど之が主食である、從つて市中の小飮食店や街路に出してある露店などは主として此種の調理販賣をして居る、寫眞は伊太利の貧民勞働者が身に纏縷を纏ひ、跣足で汚手遠慮なく手摑み主義で一皿のマカロニをぱくづく醜體は實に意外の感に打たれる。





제노아 ゼノア港

제노아는 슈노바라 ゼノアは一名シェノバと云ひ、地中海の北方ゼノア港に臨み、一方アルプス山脈を横斷し來れる大陸鐵道と地中海との連絡點に位置せるを以て此國第一の貿易港にして最近の人口二十七萬を有す。

此地는 元羅馬人의 建設地로 羅馬帝國의 一都邑이러니 爾來幾多의 變遷이 有ᄒᆞ야 或은 一共和國으로 獨立ᄒᆞ엿더니, 一八〇二年佛國의 支配에 屬ᄒᆞ고 更히 一八一五年에 至ᄒᆞ야 伊太利王國의 版圖에 屬ᄒᆞ엿고 ᄒᆞ며, 제노아는 西方佛蘭西의 里昂及ᄇᆡ 其他의 都會에 通ᄒᆞ야 北은 世界最長의 신푸론 산 シンプロン隧道及ᄇᆡ 東方サンゴタルド隧道를 通ᄒᆞ야 瑞西又는 獨逸과 連絡ᄒᆞ고 殊히 地中海沿岸을 通ᄒᆞᄂᆞᆫ 鐵道의 中心을 占ᄒᆞ야 交通上 最要衝의 地點인고로 世界各港과의 間에 定期航海의 船舶이 有ᄒᆞ야 百貨의 一大集散地를 成ᄒᆞ며 ᄒᆞ고 最近의 輸出貿易總額實에 三千萬磅에 達ᄒᆞ야 船舶의 出入約七千隻其의 噸數七百萬噸에 達ᄒᆞ다 稱ᄒᆞᄂᆞᆫ바, 輸出의 主要ᄒᆞᆫ 者ᄂᆞᆫ 이요 은 葡萄酒、米、橄欖油、絹物、珊瑚、大理石等에 ᄒᆞ야 輸入品은 綿、麥、珈琲、砂糖、石油、石炭、機械類、羊毛等이 重要ᄒᆞᆫ 者이라 ᄒᆞᄂᆞᆫ바, 港의 一隅에는 軍港이 有ᄒᆞ고 又兵器廠도 在ᄒᆞ며 ᄒᆞ야 ᄒᆞ고 ᄒᆞ며, 市中의 街路ᄂᆞᆫ 比較的 割合에 狹ᄒᆞ나 兩側에는 大理石의 建築物을 竝立ᄒᆞ야 市街의 美觀이 됨은 世界에 著名ᄒᆞᆫ 者이오 ᄒᆞᆫ 것이라 ᄒᆞᄂᆞᆫ바, 此地에는 學生一千餘名을 有ᄒᆞᄂᆞᆫ 제노아 大學이 有ᄒᆞ니라 ᄒᆞ며, 又本邦의 名譽領事館도 置ᄒᆞ엿ᄂᆞᆫ 바, 寫眞은 港灣에 沿ᄒᆞᆫ 市街의 全景이라 ᄒᆞᄂᆞᆫ 것이다。

瑞西

瑞西는 歐羅巴洲의 中部에 位せる 小國이니 東은 墺地利、西는 佛蘭西에 接하고 南은 伊太利、北은 獨逸과 境し 殆んど 歐洲諸强國의 間에 擁せられ、其の 面積一萬五千九百七十六方哩로 して 殆んど 我が 九州의 面積과 相等しきものである、此國은 海에 面する 所更になく 歐羅巴大陸中にある 純然たる 陸國으로 アルプス山脈의 一部는 伊太利와 境하고、一部는 佛蘭西의 境界와 유라 山脈이 國內에 亙りて 全面積의 三分의 二는 高峻なる 山嶽과 幽邃의 深谷을 形成せる 山岳國である、之れが 爲め 瑞西는 奇溪가 多하며、幽谷이 多하고、奇巖巨石 突起し、瀑布가 多하고、湖水湛へ 氷河ありて 地勢大自然의 勝地를 成せるを 以て「歐洲의 樂園」と 稱せらるゝのも 亦決して 偶然의 것이 아니라 ない。

瑞西聯邦은 一二九一年、유리、스이스、운데루와루쏘、ウンテルワルド 三州의 聯合을 なし、次で 一三五三年에 八州를 成り、更に 一五一三年에 增加して 十三州가 되고、一七九八年까지 聯邦組織이 이러 니 あつたが、同年 國體를 改め「헬베티ック」共和政體로 하고し、一八〇三年 奈翁一世가 新憲法을 附與して 以來遂に 二十二州로 하였고 となつた、

現今의 政治도 卽ち 聯邦共和制に して 各州各々 立法部、行政部를 有하고 國家全般에 關する 政務는 ベルンに 中央政府가 있어서、大統領이 行政長官이요 而して 聯邦議會은 聯邦院、國民院의 兩院으로 成り、聯邦院은 各州에서 二人宛四十四人、國民院은 人口七萬에 對する 一人의 標準으로 して 百七十五人의 議員으로 成る、行政權은 聯邦行政會議에 屬し、又大統領은 任期一箇年이라 である。

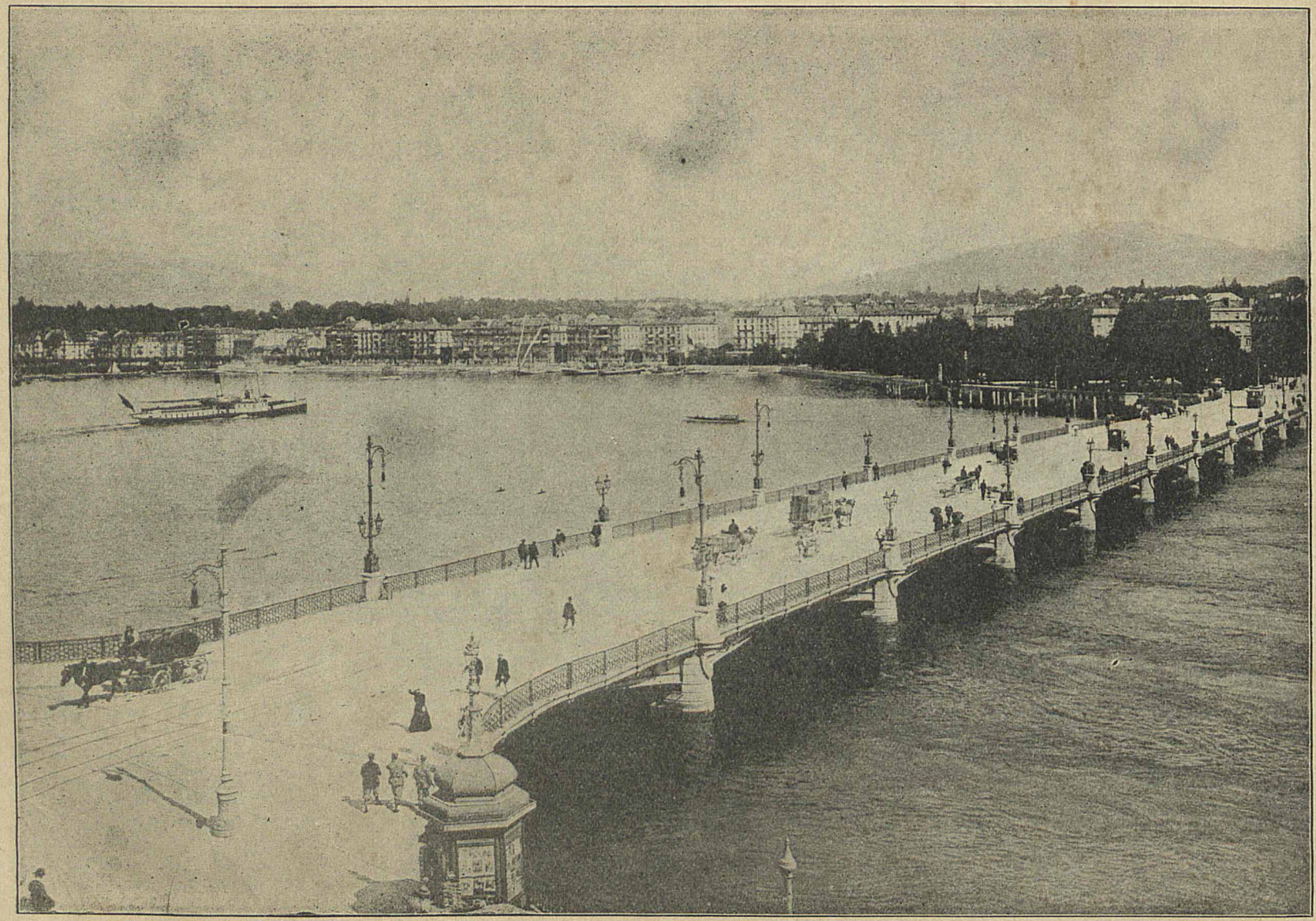
最近의 人口約三百八十萬餘를 有し、國民의 性質은 一般에 質朴にし 勤勉且つ自

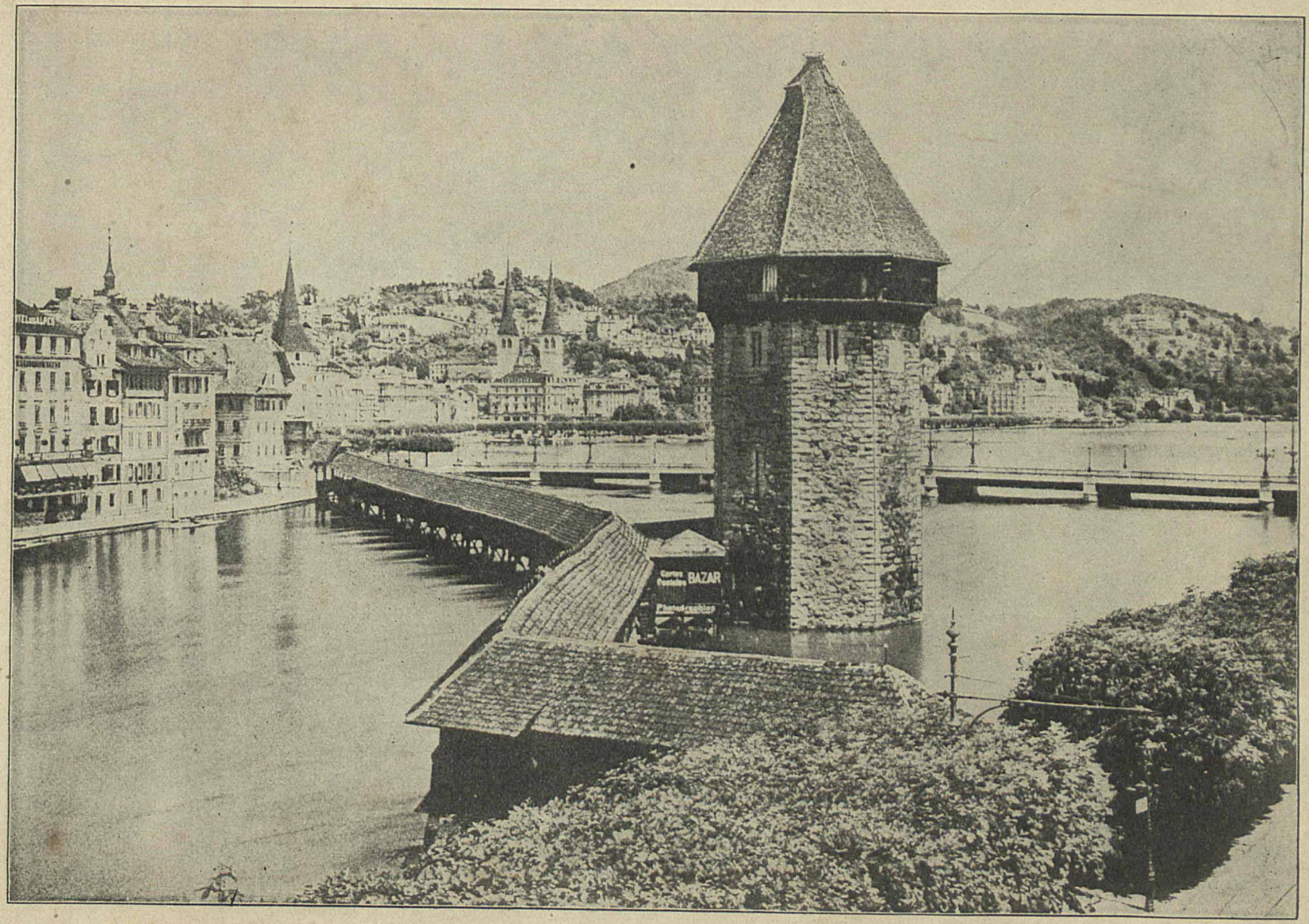
由を愛し殊に愛國の精神に富めるは卽ち淸冽秀麗なる自然の搖籃中に生育せられたる賜にして亦此國人の特性とする所である、住民はチユトン人多數を占め、其他西部地方に佛蘭西人、東南部に伊太利人多く、從つて國語の如きも特に瑞西語と稱すべきものなく、主として獨逸語を用ゐ、又佛語も行はれて居る、宗敎は主として新敎を奉じ、其他舊敎、ユダヤ敎を信仰するものも尠からず、敎育も盛んにして機關も完備せられ大學も六校を有す、特に技藝敎育は最も盛んにして一に小工業國たるの稱ある所以である。

殊に此國が赤十字社の本源をなせるを以て特に世界に名聲を博したのである、卽ち一八五三年(嘉永六年)クリム戰役の際英國フロレンスのナイチンゲール孃は篤志看護婦數十人と共に戰地に赴き修羅の巷に起つて傷病者の救護に努め、能く其の任務を果して博愛主義を發揮したのであるが、此擧が卽ち赤十字社の發端を成し、次で一八六三年十月瑞西のゼネヴアに於て會合協議の上赤十字社を創立し各國政府を之に同意せしめたのである、爾來諸國に赤十字社續々起り、我國も明治十九年之に加盟したのである、瑞西は一八一五年列國の協定に據りて全く局外中立並に領土の保全を承認せられ、一八四八年合衆聯邦の國となつた、此國の重要輸出品は織物、機械、皮革等にして織物は紡織の精巧品質優良を以て名あり、又時計は世界に有名である、殊に瑞西は山紫水明の勝地にして世界各國より來遊者頗る多く、從つて遊覽的旅行に供する機關の完備せること世界第一と稱せられて居る。

제네우아 ゼネヴァ市

제네우아는 一名 쥬네부라(ジュネーブ)とも云ひ 쥬네부의 南端로스에 ゼネヴァ는 로ーヌ河에 跨하야 있고 市街는 二分되고, 其의 左岸을 舊市街라 稱하고 諸官廳의 所在地로 交通의 中心을 占하며, 右岸은 센・제루우에(カルチエ)라 稱하며 其의 東部에 幽邃閑雅의 파ーキ가 있다. 而して 右岸은 商業區로 中流以下의 住民이 多く 左岸은 貴紳士의 住宅及び 別莊或은 高等旅館等이 多い、此地는 一七九八年一時 佛國데유・마렌ユ・マレン縣의 首府라 되었다. 一八一四年 瑞西聯邦이라 하고 次で 一八四七年 民主制로 되어 今日에 及んだ、此地는 四邊開豁으로 又 湖畔의 風光絶佳를 極む、卽ち 北은 유라의 高嶺屹立하고 西는 알푸스의 靈峰雲間에 聳えて 湖水에 其의 雄姿를 臨ましむる 壯觀은 始んど 形容의 辭가 없다、而して 中央獨逸과 南佛蘭西とに 連絡する 交通의 中心なれば 歐洲外客의 來遊하는 者 頗る 多く、最近의 人口 約十三萬을 有하고、時計의 製造及び 寶石細工을 以て 世界에 名高く、且つ 此의 府는 萬國赤十字同盟의 成立된 所로서 世에 知られ 赤十字의 本局이 있다、其의 他 著名의 建物으로서는、路易十六世式 白色大理石의 美術歷史博物館、大學校舍、市廳舍、센・ピエール寺院、大音樂堂等이 있고、宏大な 建物은 제네ゼネヴァ大學附屬의 圖書館으로서 古記錄其他 書籍十數萬卷을 藏して 在る、에미루라(エミール)と 云ふ 敎育書를 著한 有名의 大敎育家 루소는 此地에서 誕生되었다고 云ふ、彼는 頗る 美的思想에 富める 文才의 秀でた 人物であつた、寫眞은 로ーヌ河畔에서 觀たる 全市의 光景である。




BAZAR

루세루누의 ルセルヌの仙境

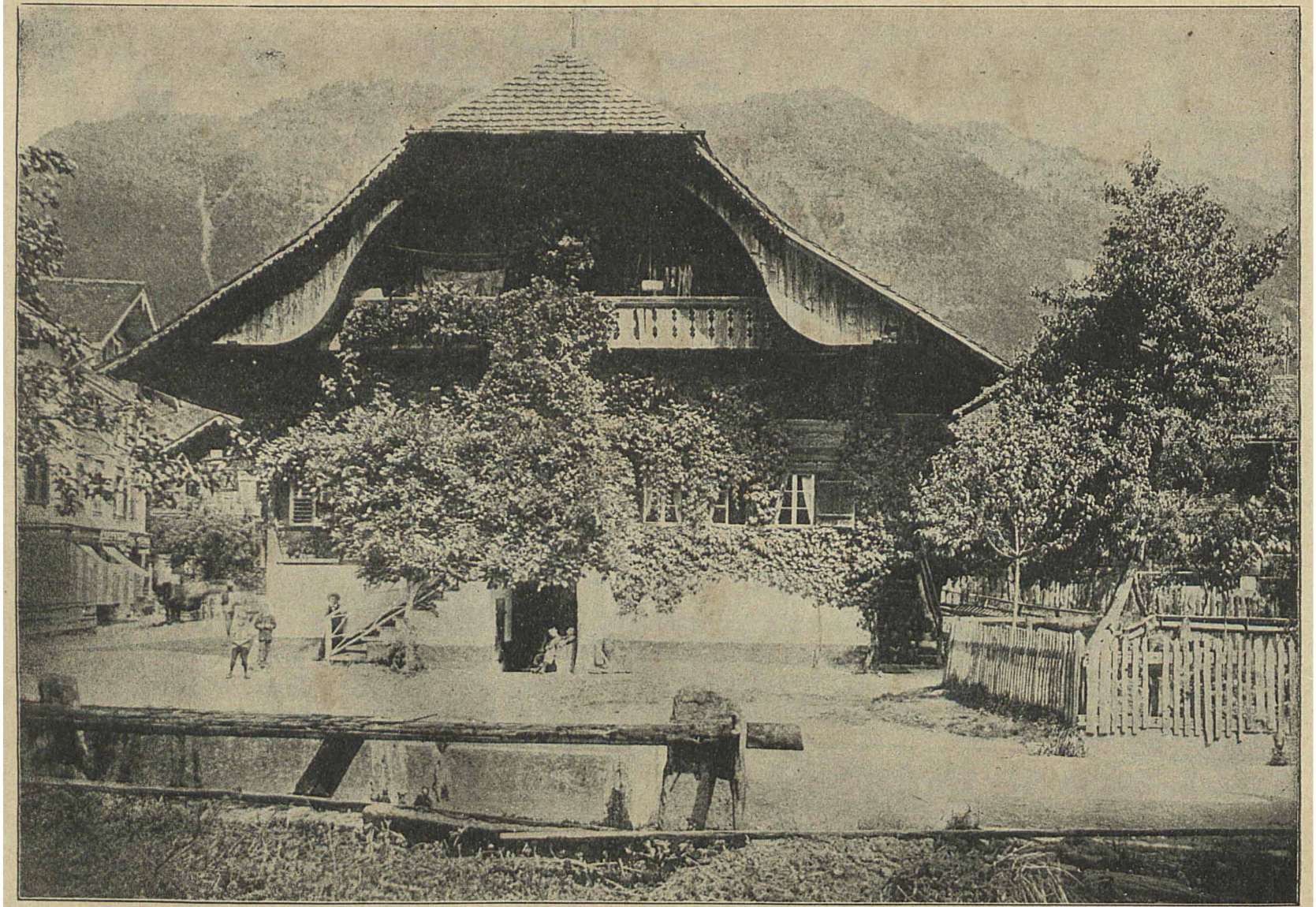
瑞西는佛蘭西及び伊太利와共히世界의三遊園이라稱せらるゝが、佛蘭西는多히人工的의美로以て秀逸을고、伊太利는有名을羅馬帝國以來의古蹟으로以て世에誇りとなし、瑞西는地勢概ね高峻奇拔된山岳과幽邃을深谷其他湖沼、奇溪、瀑布等多을고、所謂大自然的의美를成せるが爲め天下에其名高く從つて遊覽旅行客에關을設備의完全なること亦世界第一이요して、旅館及び宿舍라稱するゝ것시흘분아니라、特히遊覽鐵道의設備가을야旅客에對する優遇는他國의比이요でなく、世界觀光客이此地에來るゝ每年數百萬以上、其의費消을金額은實로一億圓以上에達すと云ふ、

루세루누는著名의勝地로바제루의ルセルヌは베르ベルの東南五十九哩、루세루누ルセルヌ湖의西北岸에臨み幽邃閑雅에을고北方에는中世期의城壁으로以て圍繞되여せられ、九箇의古塔壁峙ちてローヌ河의急流를隔つ、河上에는中世時代의橋梁八箇를架設을야て、橋上より眺むれば有名을容姿雄大의리기山을始め의리도ース의ピラトウスの秀嶺やウリー、엔게루베루히의エンゲルベルヒの雪峰等을遠望히면殆んど仙境에入흘과의想ある는と同時에四邊의風光絶佳함은形容키을야難く觀光客으로をして益々興趣를湧出케せしむるのである、寫眞은루세루누의ルセルヌの有名는禮祠橋(ボンドランヤベル)에서市街의一部를示せるゝものにして、此橋는特히瓦葺의家根으로以て掩ひ天上에는聖者의傳記와多數의名畫가描出되엿고ある、又河中에突立せる古塔은羅馬時代의燈臺라りしと云ふ。

인터라켄의 인테르라ーゲン의 腰掛茶屋

瑞西는 到る處에 山岳群峰의 屹立せるあり て壯觀을 呈して 居るが、就中有名なるアルプス山脈은 歐羅巴의 諸山系中 最히 雄大壯嚴을 極め、本國의 東部及び南部를 占めて 縱橫에 蜿蜒하고 其間에 數多의 諸峰連綿して 絶頂常에 皚々たる 白雪를 戴いて 居る、近時 알푸스 登山者 頗る 多く、殊에 獨逸에서는 알푸스 協會なるものを ミュンヘンに 設け 又各地의 都邑에 支部를 置きて 登山의 研究或은 講話를 試み 或은 新聞雜誌等에 之를 紹介して 登山의 案內에 努めて 居る、此와 如き 狀態であるから 瑞西는 各地에 登山列車를 敷設하고 又旅館其他旅客의 設備完全せること 世界第一이라 稱せらる。

인터라켄은 베데리의 인테르라ーゲンはベデリの平原に位しアーア河의 流域에 ある一村落으로 人口約七千을 有しアッテン及びウンテルゼエンと共に三村을 集合して 居る、海拔一千八百六十呎、空氣淸淨且つ山水風光에 富めるを 以て 夏季에 至れば 避暑의 適地로 して、此地에 杖을 曳く 者 多く、殊에 알푸스 山中의 靈峰이라는 有名なる 若女岳(ユングフラウ) 登山의 要路를 占むるを 以て 登山者의 此地를 通過するを 不可ず、而して 此國이 葡萄의 主産地라는 云へ、國民의 多くは 我が國人의 茶를 飮む 代りに ビール或은 葡萄酒를 用ゆるを 常とす、寫眞은 인터라켄의 休み茶屋이라 云ふべき 休息所로、此建物은 베룬에 ベルン獨得의 ものである、登山者의 多くが 冷し 葡萄酒로 以て 咽喉를 霑ほすべき 休息所가 となつて 居る、歐洲에서는 此와 如き 建物은 實に 珍奇의 觀이 있다。





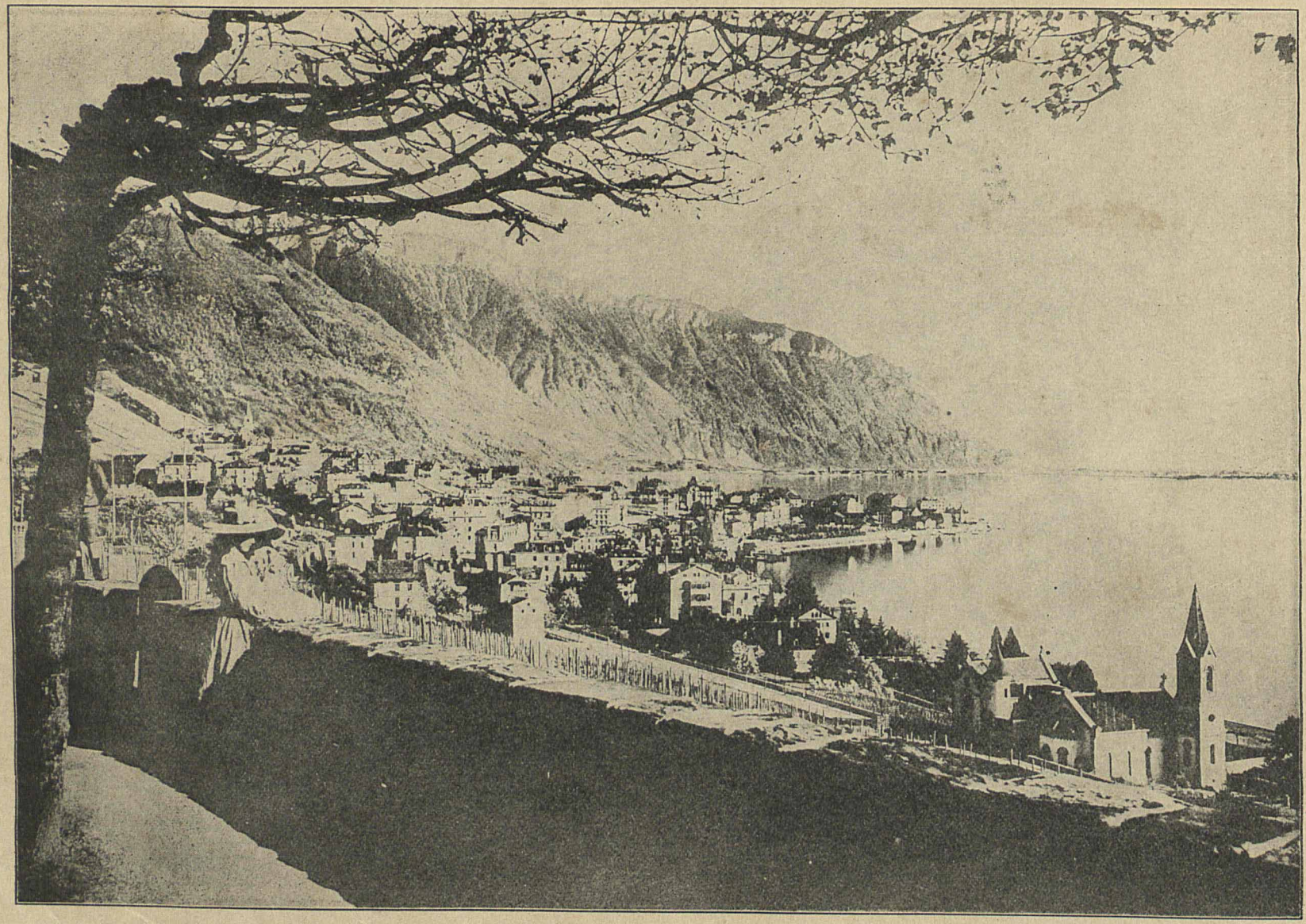
瑞西の風俗と兒童

瑞西は巍峨たる山岳を以て圍まれ山巓には常に萬古の雪を頂き、高峻の溪間は湖水相連つて明鏡を布き、注いでは激して急湍となり、懸つては瀑布となり其の絶勝天下に誇るも決して偶然でない、此の大自然の美と狀態境遇とは國民の氣質に與ふる影響も亦著しきものがある、卽ち質朴節儉にして努力心、愛國心に富み又親切にして友情厚く、從つて外客を優遇し幾百萬の觀光客を誘ふて滿足を與ふる等、其崇高雄大にして秀麗なるは自然の搖籃中に生育せる賜である、且つ山間の民情は自ら質朴にして平原的の華奢を見ない。

ベルンはアール河の上流に跨り、一八四八年以來瑞西聯邦の首府にして人口約八萬を有し市街最も繁盛を極めて居る、有名なる大學其の他萬國郵便聯合を始め電信鐵道版權等總て世界的事業の本部を設けあるを以て萬國的の集會を催すこと屢々多い、寫眞に示せるはベルンに於ける兒童の風俗である、其の衣裳は濃綠色或は黑色の天鵞絨にして白き浮き出しとせる絞の模樣を附した所は古雅の風に見へ、民情の質朴なる習俗を示して居る、尙此國人の出產に關する一奇談とすべきは、分娩の際に於て夫の着物を產婦に與ふるとか、或は產兒を夫の肌衣に包むを習慣として居る、其の家庭の和樂と此男女兒童の愛らしき容貌を見ても、自然の好景が此の善美なる國民精神を養ふ天與の賜であるかを想はしむ。

몬 도루 モントルー村의 景色

몬 도루 モントルー는 레만 케네우아 湖의 湖畔에 在る 一小邑으로 風光의 明媚와 靜養地의 適地로서 名高き 곳이며, 레만 湖는 其의 形狀恰も 半月의 形을 成하고 面積二百二十方哩、其의 水深約二千呎에 達하야 海面을 抜く 僅かに 百呎에 過ぎざれば 地中海의 水面과 其高さ를 同하고 其의 下流는 라인 河에 注ぐのである、此의 湖는 로 누 河의 調節機關됨과 共에 亦河水의 濾過用을 爲하여 銀波에 相映し 四邊의 風光絶佳을 極め、殊에 氣候溫和하야 常에 空氣淸淨なれば、病客의 轉地療養에 最適地라고 或은 靜養や 漫遊의 好適地として 世에 知られて 以來近時此地에 來集する 者頗る 多く、從つて 附近에 旅館及び 料理店으로 始め 貴顯紳士와 富豪의 別莊도 各所에 點在하여 居る、此地에 停車場도 있어서 交通便利なるのみならず、又 繫船場이 있어서 湖水를 一週探勝의 便에 供し、陸上에는 電車를 通じて 附近의 遊覽에 最も 便利를 與へ、滯留する 外客을 倦ましめざる 設備를 가히 하여 있다、故로 四季共에 來客絶へず、特に 春秋의 二季는 四邊의 風光 最も 美觀을 呈するを 以て 一層의 殷賑을 極め 到る 所의 旅館은 滿員의 盛況을 呈すと 云ふ、寫眞에 示せるは、湖畔에 沿ふて 半圓形을 成せる 몬 도루 モントルー村의 勝景である。



白耳義

白耳義는 面積一萬一千三百七十三方哩餘로 我가 九州와 稍々相等하고、東은 獨逸及びルクセンブルク等에 連하고、南은 佛蘭西와 境한 一小國인데、地勢는 南東보다 北西에 赴くに從つて土地漸く傾斜せるを以て海岸에 接한 方面은 和蘭과 同하고 海面보다도 低き所가 多하고、氣候는 西部의 海岸에 接한 地方은 溫和하야 雨多く、東部는 大陸的氣候인고로 寒くして雨少なし。

人口約八百五十萬을 有하며 一方哩에 對하야 三千九百五十人의 割合을 示하고 人口의 稠密함은 世界第一位라 稱せらる、人種은 후레미쓰슈種과 와론種으로 大別하야시 후레미쓰슈種族은 多く 北西部에 住居하고 와론種은 南東部에 住して居る、宗教는 殆んど 基督教요 슈다야教의 信仰者도 有하니라。

白耳義는 獨逸과 佛蘭西의 二敵國의 間에 介在하고、其北方은 第三의 敵國되는 和蘭과 相接하고、獨、墺、佛、和、西等との間에 地理와 歷史의 關係를 離るゝこと能はざるを以て其의國境の如きは幾百年の久しきに及んで列國係爭의 目的物であつた、殊に佛、白國境은 佛、西兩國의 間에 終始爭을 起하고、東北部의 國境도 이요 又屢々爭亂의 中心點을 成하고 居る、而して白耳義는 一八一五年의 維納條約에 據りて和蘭과 共にペーバー王國을 組織したりしが、ワールン種族의 人民은 宗教上の相違로 一八三〇年에 至りて革命을 惹起하고、同年十月獨立國을 成하며 其의翌年六月國民議會는サックス、コブルヒ公レオポルドを國王에 選擧するに至り、同年十一月十五日을 以て倫敦條約에 據り 永世中立을 保證せられ、次

에で一八三九年四月倫敦條約의調印을以로、白耳義王レオポルド第一世히と和蘭王과의和睦成るを며及び歐洲諸國은白耳義의王國たること를承認された、政治는立憲君主政體로して立法權은國王及び議會에在り、現國王은레오폴루아二世가して一八三五年을以て生れ야一八六五年十二月을以て王位에卽かれた。

交通은海陸共히發達을고商工業의中心地에는悉く連絡을通じて居る、就中鐵道の如きは面積의割合에對して延長哩數의多きを야은世界第一이라と稱せられ、又오스텐도로부터후룻세루オステンドよりブルッセルの間、及びケントよりシェルト河に達するもの、又는안베루스로부터마ー스리히도アンベルスよりマースリヒト及びライン河에到るガムピーン等에는主要의はアンベルスよりマースリヒト及びライン河에到るガムピーン等には主要の運河를通じて水運最も便利である、殊に白耳義가一八三四年부룻세루와마리ブルッセルとマリ스との間에鐵道를敷設せられたるは歐洲大陸に於ける嚆矢なりと云ふ、産業은히最も盛んにして到る所에産出多く、農業과如きはシェルト河의流域最も盛んにし穀物、亞麻、甜菜、煙草、麥類、馬鈴薯等을主なる産物이되고、而も農民이히巧에學理를應用する農法과如きは世界의模範이라と稱せられて居る、鑛業은獨逸의西部와佛蘭西의北部에亙りて豐富なる炭田及び鐵鑛을有するを以로石炭과鐵의産出多く其의産額은世界의第五位이오、從つて工業도近時大히發達し、製鐵、製鋼等의冶金業을始め兵器、諸機械、硝子等의製造織物等은最も盛んにして、就中硝子及びレース의品質精巧なるは世界에有名なもの이다然이나歐洲의大工業地라할만と雖も一小國이나程であから白耳義의工業이國力發展에貢する所甚大のものである。

白耳義는一面海를隔てゝ英國과相對し、又獨逸、佛蘭西、和蘭의三國에圍繞

せらるゝを以て內地商業の發達と共に外國貿易も盛んにして、輸出入貿易年額は約二十五億六千萬に上り、其の重要輸出品は鐵、鋼、機械類、小麥及び雜穀、羊毛、獸皮、硝子製、化學品、亞麻等にして、輸入品の重要なるものは、獸皮、化學品、銀等である。

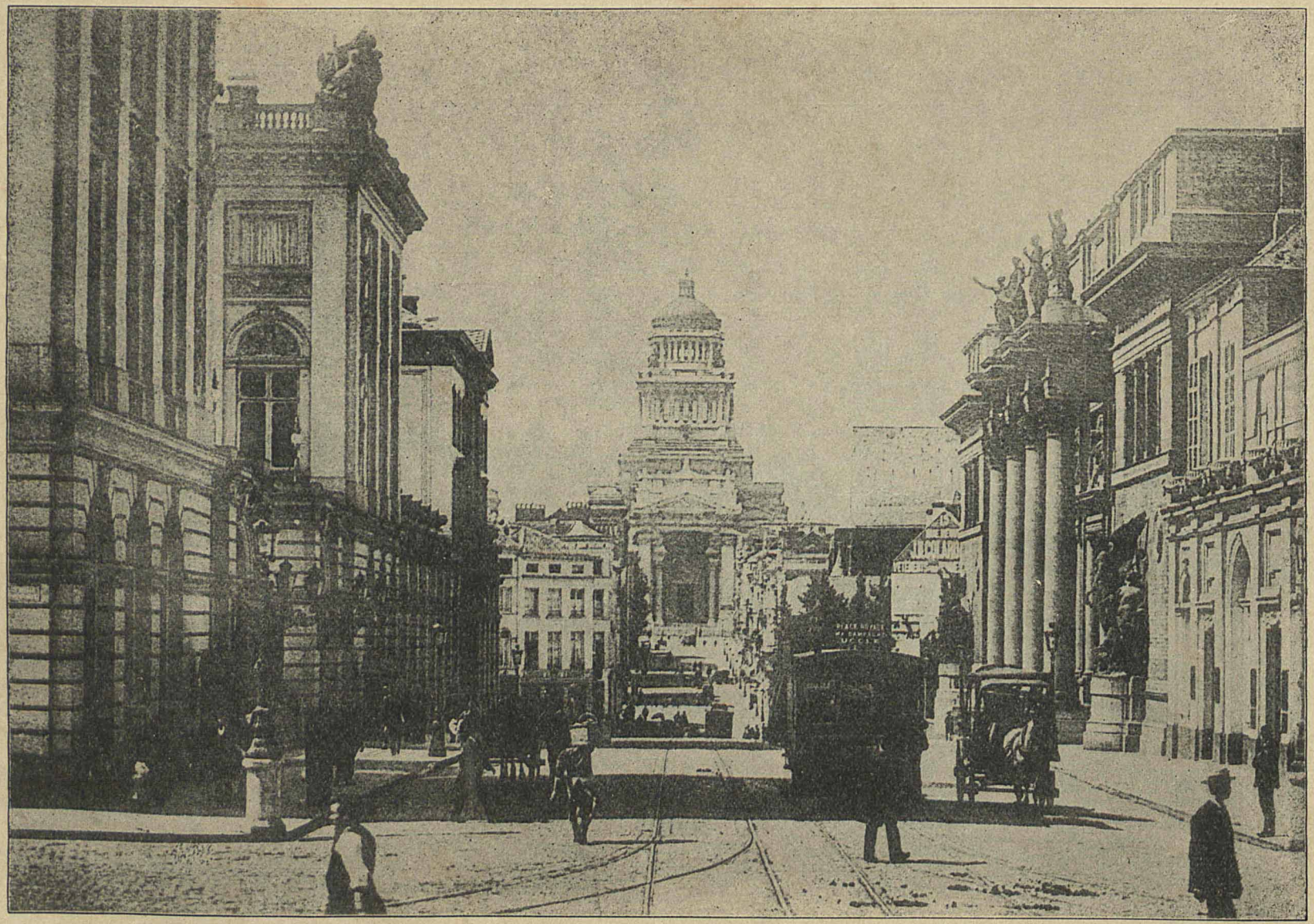
白耳義が一八三九年和蘭と分離して獨立國となつて以來僅かに八十餘年に過ぎざるに、此の如き國運の著しき發達を見たるは大に注目に値すべきものである、卽ちレオポール一世の聰明英邁は此の偉業をして完成せられたると同時にワロオン及びフレミング兩民族をして協力一致せしめ國民の氣質に最も適應せる立憲政體の實現と共に國民的團結を鞏固ならしめたのは大に國運發達の基礎を成せるものと云ふべきである。

然るに這回歐洲大戰亂の勃發するに當り、獨逸は露國の東普侵入する前に佛蘭西に進入して早くも巴里を威迫せんとする策戰上、白耳義の中立を侵害せんとして橫暴專恣を敢てし、且つ白耳義政府に對し、貴國の中立地を侵すも必ず他日の道德的義務を負ふべしなど殆んど兒戲に類する甘言誘惑を試みたるも、固より勇敢にして愛國心に富める白國民は大に憤慨の餘り遂に獨逸に對して戰を宣し、爾來猛將勇卒は獨逸の大軍に對し、幾十萬の生靈を犧牲として苦戰奮鬪の末、哀れにも敵の蹂躙に委するの境遇となり、國王及び王妃は他鄕に流浪するの慘狀となつたが、而し此勇敢にして頑強の抵抗は大に聯合軍の策戰上に效果を與へたのであつて、實に世界人類が熱淚を呑んで深く同情されたのである。

부랏세루 ブラッセル市

부랏세루는 ブラッセルは 白耳義國의 中央에 位하니 시에루도 シエルト河의 支流 센네 センネ河에 臨하야、附近에 모렌비구 モレンビーク、션잔샤아에루비구 センジァンシァエルビーク、안데히도 アンダレヒト等을 合하고 本國의 首府로 人口約七十三萬을 有한 大都會이요、地勢稍々起伏하야 市街는 上下의 二區에 分하고、其의 上街의 方은 空氣乾燥함으로써 衛生에도 適하고 王宮을 始하야 諸官衙公園等이 多하고、下街의 方은 重히 商業地로 要한 바、附近一帶의 平野는 土地肥沃하야 産物이 多하고 且 스케루도 スケルト運河로부터 안도와 アントワープ及 바루직구 バルチック海方面의 交通이 有하고 又 鐵道는 此地를 中心으로하고 各處에 통하며、其他 獨逸、佛蘭西、和蘭의 諸國에 連絡함으로써 運輸交通이 最히 便利하야 從하야 商業도 著히 發達하고、殊에 近時益々 都府의 改善을 行하고 市街는 一層의 美觀을 呈하고 一에 小巴里라 홀마하며 程이다、官衙、大學、博物館、美術館、裁判所等의 大建築이 有하고 又 本邦公使館、名譽領事館을 置하니、此地의 主産物은 絨氈 레스、麻布等이요 ある。

부랏세루는 ブラッセルは 十一世紀에 於하야 부라바 ブラバレの 大公이 城砦을 此地에 築하고、後ち 에가루 カルル五世의 時代에 宮廷을 設하고、爾來幾多의 變遷을 經하야 佛蘭西大革命의 後、白耳義人이 和蘭으로부터 獨立을 企하야 革命을 起하고 血戰의 後、遂에 獨立을 宣言하야 王國을 成하며、此地는 歐洲大戰亂에 際하야 된 은 最히 苦戰奮鬪하야 國となつた、此地は 歐洲大戰亂に際して勇敢なる國民は 最も 苦戰奮鬪せしも 次을 하야 히 遂에 千秋의 怨을 呑하고 止함이 無하게 敵에 占領되는 悲境에 陷하니라 漸く力盡き つたのである。





白耳義の王宮

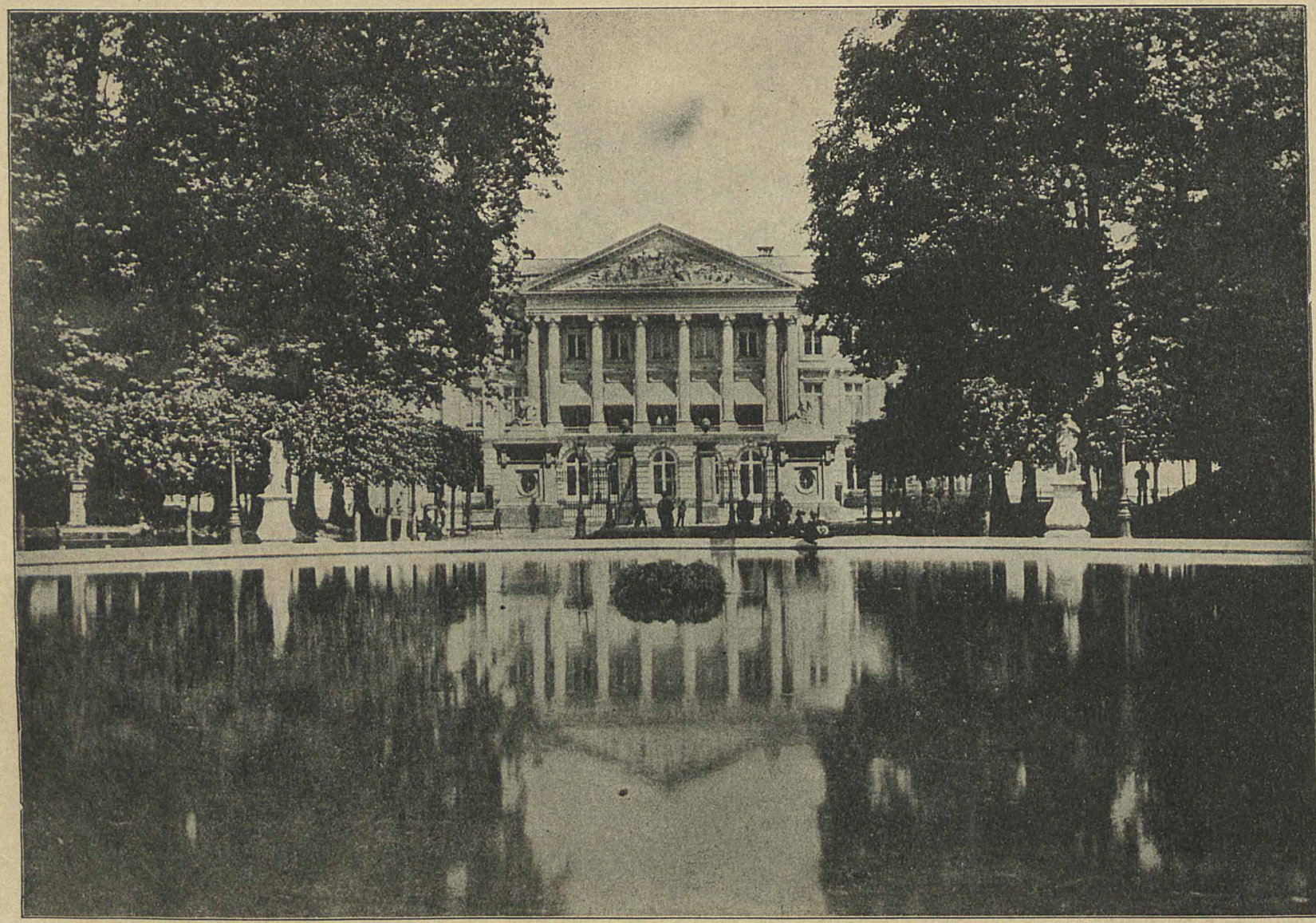
現在の王宮は一八三七年より一八二九年に及んで建築工事を施し一八七三年に至りアルフオンソ・バラーの考案に依りて内部の結構装飾に改良を加へ、更に一九〇五年より大改築を施し最近漸く竣工したものである、其内部の装飾の如きは金銀珠玉を鏤め其燦然たる壮麗は殆んど人目を眩射せしむ、殊に階段と大舞踏室とは全王宮殿中の白眉と稱せらる、尙各室の装飾繪畫中には和蘭美術界の傑作が現はれて居る、王宮はブラッセル市宮殿廣場に在る。

然るに歐洲戰亂の勃發するや獨逸は早くも佛國に侵入せんとして白耳義の中立地帶を侵害し有ゆる橫暴專恣を極めた、勇敢なる白耳義國王アルベールは寡軍を提げて頑強に奮戰するも落日の頽勢を輓回するに由なく三たび都を遷して尙安ずる能はず、王妃王子は泣く〳〵自國を去つて他鄉に流落するを有樣となり北歐の樂土も悉く廢墟焦土と化し永く居城として住んで居たブラッセルの王宮も今は哀れ獨軍の有に歸したのである、白國が英佛の犧牲となりて刀折れ矢盡くるまで力戰奮鬪して此の如き悲壯慘烈の極に達したのである、此王宮が比類なき歷史的建物として千載の下に白國民が憤慨の腦裡を離れること能はざると共に世人も亦同情の涙を禁じ得ないのである。

白耳義國會議事堂

白耳義王レオポルド一世が和蘭より獨立し且つ歐洲列强が白耳義王國を承認せられてより、一八三一年の憲法に據りて立憲政體となし、立法權は國王及び上下兩院に委するに至つた、而して元老院(上院)議員は其の一部は直接に、他の一部は地方協議會に據り、人口に比例して滿四十歲以上の男子より選擧せらる總員百十人より成り、其の任期は八ヶ年である、衆議員(下院)議員は人口四萬に付一人の割合に據り直接人民より選擧せられ總員百六十人より成る、其の任期は四ヶ年とし、二十五歲以上の男子は凡て有權者にして一人三票を有し二年毎に半數を改選することになつて居る、而して衆議員議員の歲費は四千法を受くると云ふ、行政府は八省より成り又地方は九州に分れて居る。

白耳義國會議事堂はブラッセルの公園なる老樹鬱蒼なる池畔に沿ふて位置せる宏壯な建築物であつて、一七八三年に竣工せられ、當時はブラバン代表者の會議所なりしが、一八三一年獨立王國となり憲法を實施するに際して元老院及び衆議院の議事堂に充て爾來内部の構造に改修を施したものである、内部は兩院共に各室の設備整頓せられ且つ歷史畫其他の彫刻を始め歷代國王及び國家に貢獻せられし傑士の肖像等を掲げ最も壯麗を極めて居る、然しながら、一八三一年獨立王國となりしが、憲法を實施するに際して元老院及び衆議院の議事堂に充て爾來内部の構造に改修を施したものである、内部は兩院共に各室の設備整頓せられ且つ歷史畫其他の彫刻を始め歷代國王及び國家に貢獻せられし傑士の肖像等を掲げ最も壯麗を極めて居る、而して議會開期中は傍聽席を公開するに止むるも、其他は一般に縱覽せしむ、寫眞は老樹の鬱蒼せる公園の池畔より見たる外部の構造である。





白耳義의 高等法院

부랏세루의 ブラッセルの 高等法院은 世界第一의 裁判所라 稱하며、最히 宏壯偉大의 建築이요、一八六六年에 工事를 起하여 以來十七年의 久함을 經하여 其의 工費總額約二千萬圓의 巨資를 投하였다고 云ふ。

此法院은 面積約六町歩를 有하고 白耳義의 高等法院에 屬하는 二十七의 大法廷을 始하며、부리반 ブラバン 地方民事竝에 刑事의 各法廷과 各裁判官其他官吏等의 居室二百四十五及び 開廷八室으로 區劃되여 者는지 何れも 設備의 完全과 秩序의 整然함은 正히 大法衙된 べき 莊重의 威權을 有하며 居る、中央에 高く 聳ゆる 大圓蓋ドームは 二層의 圓柱를 繞하야 正義、法律、精力、仁慈를 刻하였고、大玄關의 左右에는 古代聖哲의 大塑像을 飾하고 있고、此附近에 辯護士의 控所와 訴訟人의 控所等이 有하며 있다、又各法廷에는 階段廊下等에 依하야 連絡이 有하야 其의 各法廷은 二階에 傍聽席을 設하고 一般公衆의 傍聽을 許하며 ある、高所より 此法院을 遠望すれば 市街에 幾多의 大小建築物 櫛比せる 中에 嶄然頭角을 現함은 殆んど 大城廓이 四邊을 睥睨しつゝ あるが 如く、하며 卽ちブラッセル市中의 三大壯觀의 稱이 有る 所以라 である、冬期에 至하면 此大法衙의 各室의 暖爐ストーブ에 對하고 日々二噸づゝの 石炭을 要すと 云ふ、此法院은 同法、行政、軍事、海事等總ての 裁判事務를 掌하니、寫眞은 法院前面의 廣場으로부터 撮影한 者이라 ものである。

부루쥬의 ブルージュの運河

부루쥬는 ブルージュは白耳義의 西部에 位하야 本是 海岸에 近く 所謂ガン市의 外港으로 最히 繁盛을 極하며, 十三世紀時代에는 한사同盟中의 一商港이라 稱하여, 更에 十四世紀에 至하야 漸次發達하고 歐洲商業의 中心을 占하고 百貨의 集散地로 成하엿고 此地는 마리데이무、오스달 あつた、此地はマリティーム、オスタン其他大小數多의 運河을 通하야 各地에 連絡하여 있고 市中은 縱橫에 運河를 開하야 無數의 大小橋梁을 架하고 水와 家屋의 間은 河岸에 街路을 設하고 百貨의 積卸等水運最히 至便하고 且つ河岸에 樹木을 植하으로 翠綠淸流와 相對하 市街淸潔하야 雅致가 富하며, 十五世紀의 頃 부루간더 大公이 此地에 宮廷을 設하엿을 頃は市街도 漸次擴張하야 周圍四哩半、人口實에 二十萬餘를 算하고 最히 全盛을 極하엿을 時代であつた、然るに其後 마기시미안 王이 안도와 푸에 遷하고, 且つ南方獨逸에 商業貿易場의 勃興하으로 漸次市場의 變轉한 狀態라하고, 商店、會社、工場은 自然 안도와 푸其他의 市場에 移하며, 一時는 歐洲商業의 中心으로 覇權을 握하엿고 最히 繁盛을 極하엿던 市街도, 時世의 進化와 推移하야 遂에 衰頽하야 今은 人口五萬餘의 寂寥한 都로 化하엿되니, 只徐ろに 市街를 繞한 運河의 淸流와 四邊幽邃閑雅의 狀은 宛노 如하 되라 思과 如하 되는 ものがある。





와데루로 ワーテルロー古戰場

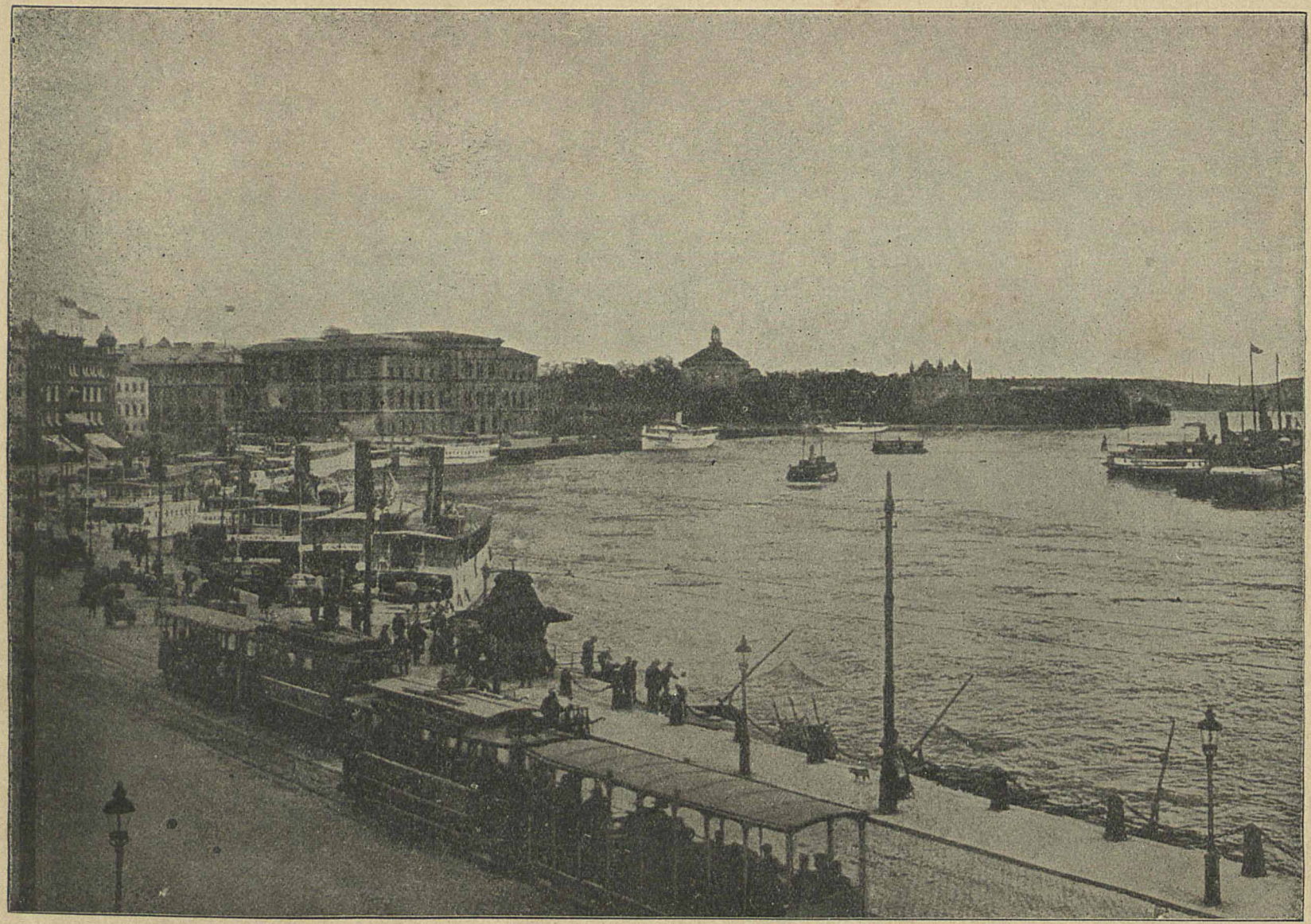
와데루로에 ワーテルローの有名なる古戰場は洽く天下の知る所にして又觀光客の逸すべからざるものである、此地はブラッセルの南方約五哩の所に在り、不世出の大英雄奈翁一世が大軍を率ゐ有ゆる非凡の機智雄略を奮つて歐洲を席捲せし も運命既に盡きて此所が最後の大敗に歸し彼が千古の天才と猛威とは急轉して燈火の消ゆるが如く空しく冷酷なる監視の下に哀れ一孤島に幽閉されて此世を辭するの悲境に陷つた古戰場である。

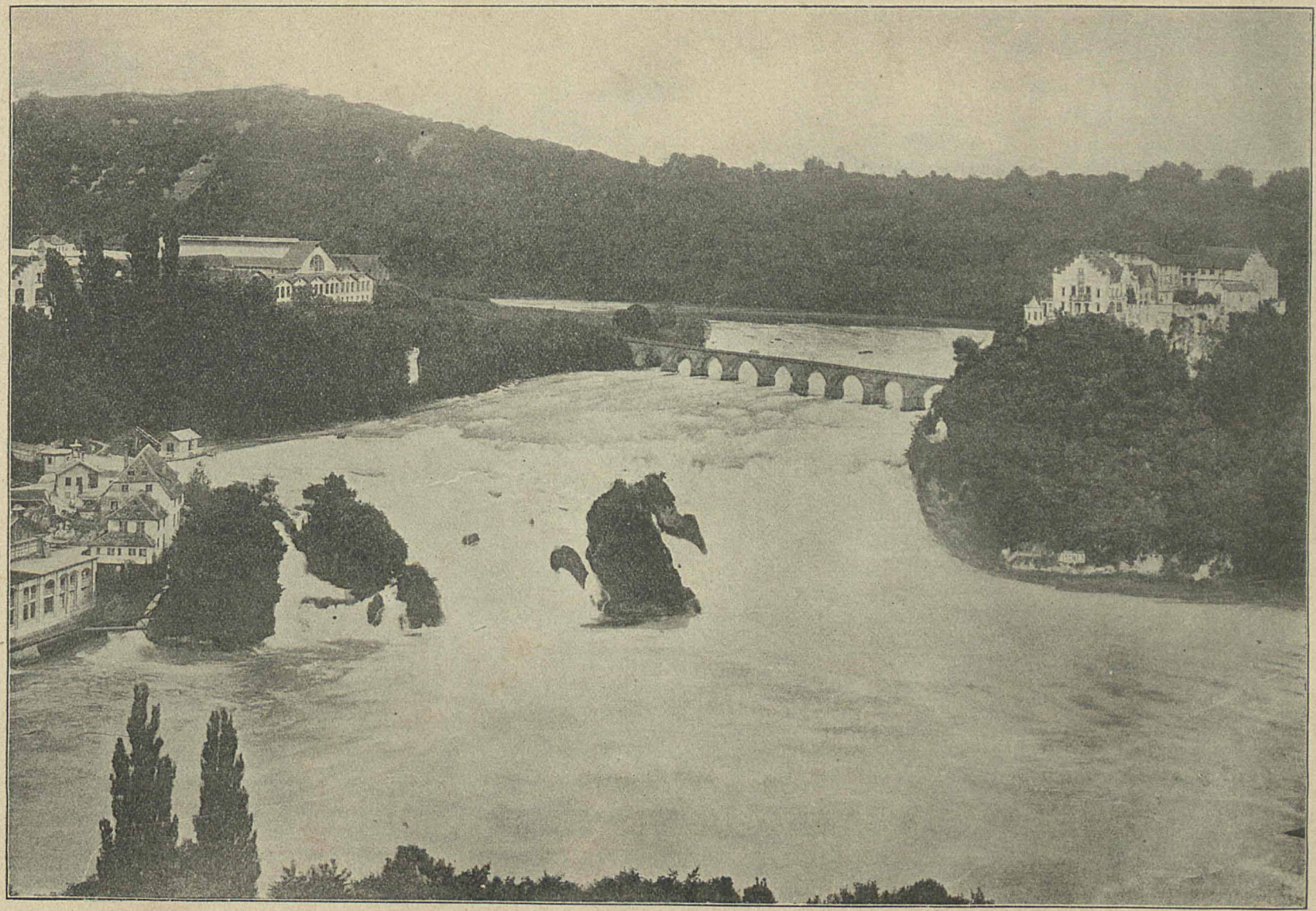
今を去ること凡そ九十六年前、一八一五年六月、英國ウエリントン公が英、獨、蘭三國の聯合軍を指揮して奈翁軍約七萬五千に對して一大激戰をなし、彼我の死傷四萬以上を算するの慘憺たる光景を極め遂に佛軍は全滅した然しのであつた、而して激戰當時ウエリントン公の聯合軍はワーテルロー附近に宿營せりと云ふ、此寫眞に示せる丘陵は激戰の中心地にして「獅子ケ丘」と稱し高さ約二百呎にして激戰當日聯合軍のオレンジ親王が重傷を負ふた地點なりと傳へらる、此處に登れば數哩に亙れる古戰場を展望し得べく、頂上にある建物は石壇を築き其の上に當時佛軍より分捕せる大砲を以て大さ六米突の獅子の鑄造せるものを据え付け其の臺石には激戰當日の年號月日を刻してある、尙丘陵の下には兩軍の死體幾萬となく埋沒せられたりと云ふ、古戰場としては世界有名なものである。

リエージュ市

リエージュは一名リウッチヒと呼び、ブラッセルの東南六十二哩の地に在り、ムーズ河に臨みて四邊の風光に富み、廣濶なる公園や壯麗の寺院を始め市街は何れも宏壯の建築物櫛比し一層美觀を呈して居る、殊に此地方は鐵及び石炭の産出多く從つて工業も漸次發達し兵器及び其他諸機械の製造等は最も盛んにして最近の人口約十八萬を算す。

リエージュは國防上要害の地點なるを以て一六五〇年ムーズ河左岸の高地に保城及び最新式の砲砦を築きて市を圍み完全なる防備を施してある、リエージュは七二〇年頃メーストリヒトの僧正が管區を此地に遷し爾來其の子孫ブウイヨン公が君臨して以來屢々兵火の巷と化し、幾多の變遷を經て一時和蘭の領有となつたのであるが、一八三一年に至り歐洲列强が白耳義王國を承認すると共に此地は白耳義の領土として併合せらるゝことになつた、政府は此所に兵器廠を設けて大鑄砲場及び小型の武器を盛んに製造せしめ、其他鐵板、諸機械、皮革、羊毛、釀造等の産出多く最も殷賑を極む、然るに歐洲大戰亂の勃發するや、要塞築造者レマン將軍が歐洲中有數の堅壘と誇つた要害に據り、ムーズ河を挾んで敵と相對し防戰最も努めたりしが獨の大軍に猛襲を受け激戰數日ならずして遂に白耳義の關門を突破せられ白軍の策戰上に一大打擊を受けたのであつた、今や獨軍總督の支配に屬したるは寔に千秋の恨事とする所である。





아스지에ㄱ루의 アスチエールの名邑

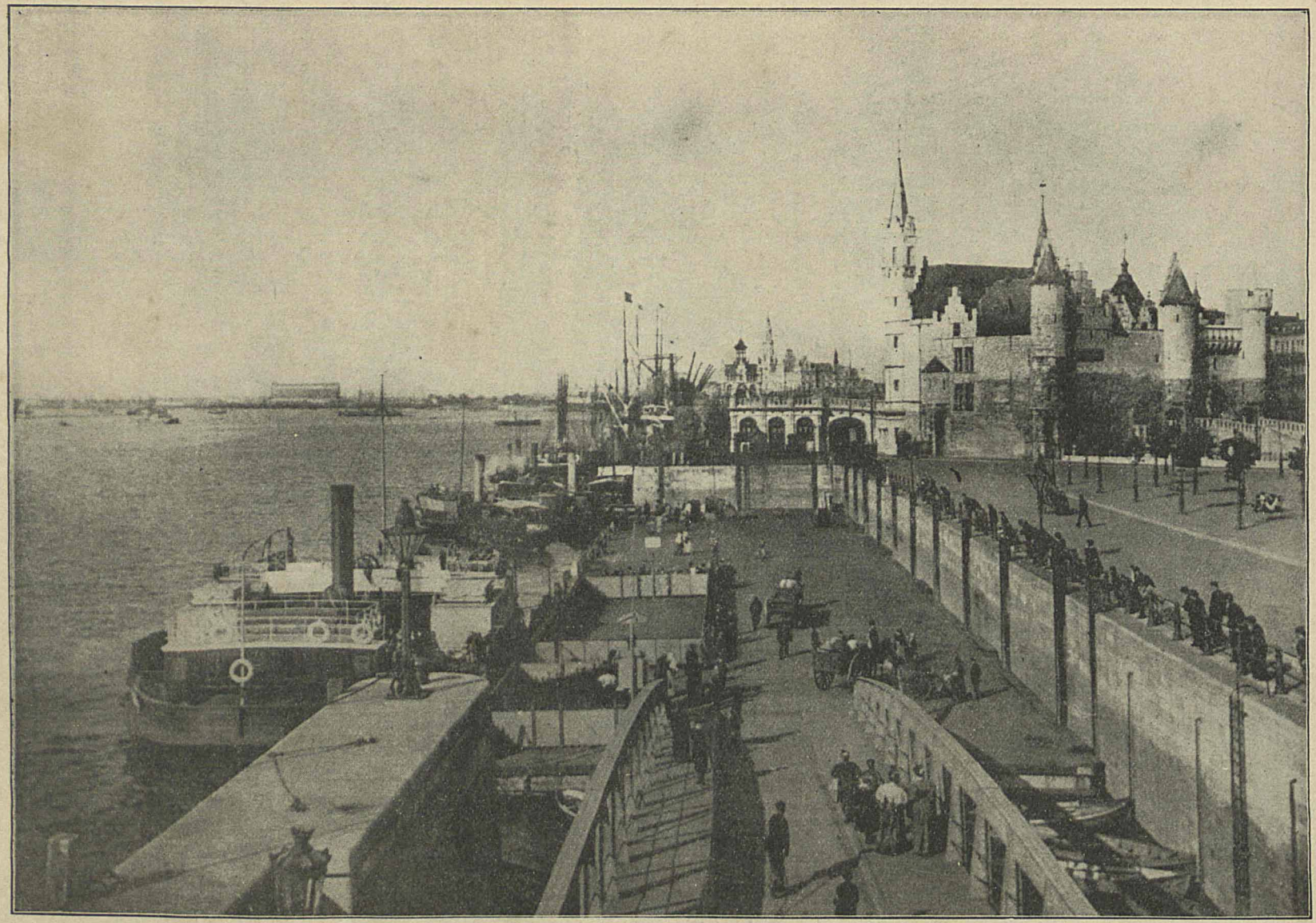
의유쓰와에스고의는 ミユーズ河とエスコーの兩河は白耳義の二大河流であつて、何れも佛蘭西より源を發し、北西の低地と南東の高地との區劃をなして和蘭に入るのである、水深くして運輸の至便なるのみならず更に人工に依りて運河を開き此二大河の連絡せるを以て舟楫の便利極めて多く從つて本國の産業發達を助くること甚だ勘なからざるのである。

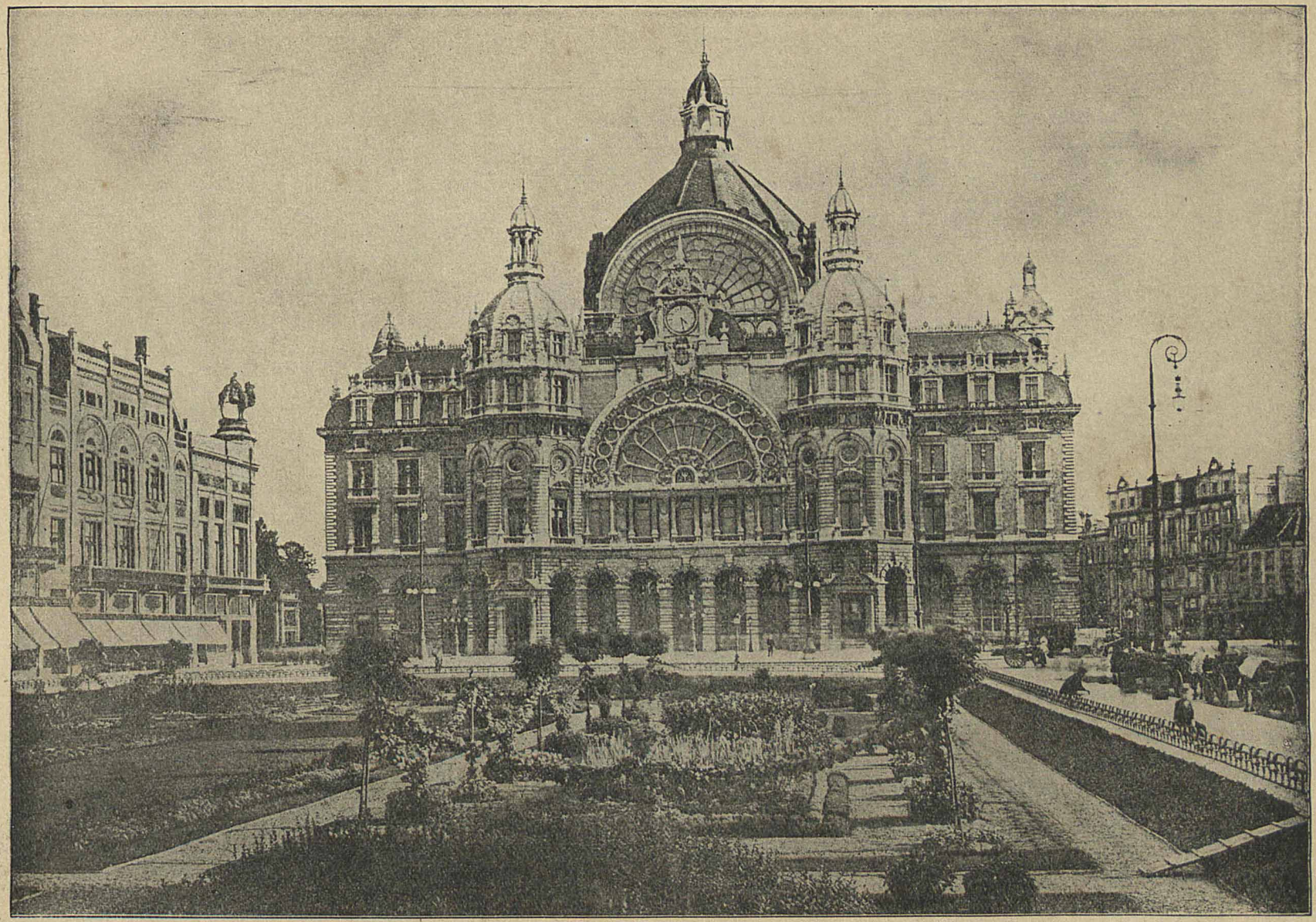
아스지에루는미유스의 アスチエールはミユーズ河の上流に於て河を挾んだ一小邑である、其左岸にあるはアスチエール・ラヴォーと稱し、右岸に在るをアスチエール・パル・ドラと稱して居る、而して右岸の地はジヴェー街道に當れるを以て交通上要衝の地位にあり、又左岸のアスチエール・パル・ドラにはローマネスク式の建築物たる壯麗な寺院あるを以て世に知られて居る、此寺は遠く十一世紀の頃に建築されたものであるが、一五六八年佛國の或る黨員の爲めに破壞せられ、今の寺院は更に再建されたのである、此地にブラッセルの貧兒救濟團を設けて以來益々著名となり、又白耳義の慈善事業は此所が普及の發源地と稱せらる、アスチエールはミユーズ河に小鐵橋を架設して兩地に連絡して居るが、河岸附近には丘陵ありて怪巖巨石の間に點在せる翠松は清流と相對し四邊の風光最も絶佳を極む、寫眞はミユーズ河に架せる鐵橋を中心として兩邑の風致を示せるものである。

안도와 푸 アントワープ港

안도와푸(アントワープ(安土府))는 시엘루도(シェルト河口)로부터 약 六十哩의 上流 右岸에 位置하야 南方 부랏셀루에 至하는 二十五哩의 間에 運河를 通하고 河港 되어 水深이 深하야 三千噸 內外의 大船 巨舶은 自由로 出入하는 것을 得하고 本國 第一의 商港이 되는 것은 아니라 倫敦、漢堡、紐育 等에 次ぐ 世界 第四의 貿易港이라 稱하여 最近의 人口 約 四十萬餘를 有하야 重要의 輸出品은 兵器、機械類、硝子類、羅紗、麻布 等인데 輸入品은 皮革、羊毛、材木、珈琲、煙草、石油 等을 重히 하며 我가 領事館의 設이 있어 又 日本郵船會社의 歐洲航路의 終點이 되어 居る。

此港은 自然的 優良의 位地를 占하는 것만 아니라 奈翁 一世가 港灣의 改築에 銳意其의 經營에 努하야 巨資를 投하여 大規模의 設備를 置하였으며 若干 彼가 英國을 壓倒하려는 時는 將來 此地를 軍事上의 根據地로 成하야 倫敦과 覇를 爭하려 하였으나 雄圖는 空하게 水泡에 歸하고 말았다、這廻의 歐洲大戰亂에 際하여 忽ち 修羅의 巷을 成하니라 獨軍은 三軍團의 大兵과 四十二珊의 巨砲로 以て 猛襲하야 來り 四邊은 濛々たる 砲煙彈雨에 包まれて 全市 悉く 慘憺케 되고 義烈의 白軍은 一死 殉國의 赤誠을 披瀝하야 甚だ 苦戰 防禦에 努めたりしも 衆寡不敵하야 遂に 難攻不落의 堅壘도 空しく 敵의 有에 歸하고 今은 二千萬弗의 巨額을 投じた 築港도 徒らに 敵의 軍事行動을 利せしむるの 止むなき 悲境에 陷つた、寫眞은 港灣附近의 光景である。





안도푸와 アントワープ中央停車場

白耳義의 交通機關은 陸海共히 發達되엿고、鐵道는 메구린을 起點으로 하야 放射線狀의 如히 幾多의 線路를 敷設하고 一方里에 一哩半의 割合을 示함과 如히 世界第一位라 稱하니라。

안도푸는 アントワープ의 如きは 港灣을 築いて 以來世界最大의 貿易港으로 하야 歐洲商業의 覇權을 握하고 陸에는 蜘蛛의 巢와 如히 鐵路를 有する 諸線의 中心을 占めて 居る、即ち 此地를 發する 鐵道는 マリーヌ線을 本線으로 하고 其他 八線에 亙れる 鐵道의 起點となり、殊に 伯林、維也納、羅馬及び 露都에 向ふべき 長距離의 直行列車를 每週三回式 發するのみならず、國內의 各線과 안도아푸와 アントワープ와의 間을 往復する 列車의 回數는 日々三百以上에 達すと 云ふ、從つて アントワープ의 中央停車場은 恒常에 歐洲旅客의 來往이 頻繁且つ 百貨輻輳하야 頗る 殷賑하니라

안도와푸의 アントワープ의 中央停車場은 カルノー街의 南側에 在하니 其의 建築의 宏大하고 壯麗なること 恰も 以히 宮殿或은 寺院なるかの 觀이 있어、建物의 中央에 高く 聳ゆる 大圓蓋(ドーム)와 八箇의 側塔とは 蒼穹을 摩하고 裝飾에 善美를 盡せり、又內部는 各等의 待合室과 切符發賣所 其他의 設備를 整へ 停車場의 樓上에는 旅館、割烹店、喫茶店、理髮店、日用品、飮食店等이 有하야 旅客의 便宜를 計하고 其의 設備의 完全なること 歐洲中의 模範的 停車場이라 稱せらる、寫眞은 停車場의 前面中央에 在る 美麗의 花園より 見たる 外部의 構造를 示せるものである、歐洲戰亂에 際하야 空しく 獨逸의 軍事用에 委せしめたるは 甚だ 痛嘆을 不堪へぬ。

和蘭

和蘭は歐羅巴洲の西部に位し、東は獨逸、南は白耳義に接し、西北方は北海を控へ、面積一萬二千六百五十方哩にして我が九州より小なれども、外に領地に屬する面積約七十八萬三千方哩を有して居る、地勢概ね平坦にして最高點と雖も海拔二百四十米突に過ぎず其の大部分は海面下に位せるを以て、海岸の最も低き所は高潮の時に於て水陸面高低の差は二十五呎に達し、實に世界無比の最低國と稱せらる、和蘭政府は特に水路省を置き、築堤事業と排水の手段とに大に努め、又運河は濕地に於ける唯一の排水路なれば運河の附近到る所に風車を設けて剩餘の水を排除するの原動力に供す、之を以て和蘭の風車は世界に有名のものである。

和蘭は十八世紀の頃バタピヤ共和國と稱したりしが、奈翁一世に轉覆せられて和蘭王國となり其後奈翁の勢力滅亡と共に、一八一五年維也納の列國會議に於て白耳義と合併したのである、爾來國民の軌轢甚しく遂に戰爭となり、列國は倫敦に會議を起して一八三〇年白耳義の獨立承認と共に分離された、和蘭は遠く十六世紀の頃獨立前より商業航海に從事し、西班牙及び葡萄牙の衰頽せるに乘じ盛んに植民地を侵掠し、漸次東方の商業利權を擴張せんとして遠く支那及び我が日本にも來りて長崎と貿易を開始したのであつた、然而して十七世紀に至り國運の發展と共に商業貿易益々隆盛を極め世界第一の富國と稱せられしが、英、佛、獨其他の列强が長足の進歩せる結果遂

히 海上權을 奪하기에 至하니라。

和蘭의 政治는 白耳義와 分離하야 以來 西班牙로부터 別個의 獨立國을 成하엿고 立憲世襲王國으로 行政權은 全히 國王에 屬하고 立法權은 國王及 國會에 兩屬하엿고 而하야 國會는 上下兩院으로 成하니 上院은 議員五十八人、下院은 議員百人으로 組織되니라 最近의 人口約六百萬이 有하고 一方里에 對하는 人口의 密度를 以하야 自耳義에 次하는 世界第二位라 稱하고 和蘭의 民情은 久하야 西班牙와 紛擾를 繼續한 關係로 亦一方에 於하야는 終始水와 戰하야 居하는 結果는 自然國民의 氣質에 影響을 與하야 一般에 自主獨立을 尊하고 忍耐强하고 勤勉努力으로 節儉의 性에 富하야 居하고 又土地低하야 濕潤하고로 萬物汚하기 易하고로 爲하야 特히 淸潔을 好하는 風이 有하며 或은 我日本人에 類似한 點이 有하야 商業貿易은 英國에 其의 海上權을 奪取하엿더니 歐羅巴의 大水路되는 라인河로 始하야 大河口를 占有하고 從하야 中央歐羅巴의 各國에 通하는 商品을 左右하는 優良地位에 在하고로 百貨의 一大集散地로 하야 今尙 貿易繁盛을 極하고 世界第五位라 稱하나니라。

和蘭은 砂地及 瘠土、荒蕪地의 如하는 全面積의 四割五分을 占하야 農耕에 不適하고 但 페루란도 비페루싸 地方은 地味肥沃하야 此國의 特長이 되는 園藝가 盛하게 行하야 居하고 又國中低地에 濕潤하고로 綠草繁茂하고로 以하야 國內의 三分의 二는 牧畜을 行하고로 以하야 國家의 重要한 財源이라 하고 要하면 瑞西人이 山과 戰함에 反하고 和蘭人은 自然地理的의 關係로 水와 戰하야 이기지 못하면 將來의 運命이 有하다 함과 共히 一面之로는 此로 因하야 國民은 一層奮勵努力의 精神을 養하기 可하는 得하기 觀測하고 이有하니라。

아무스데루싸무 アムステルダム市

아무스데루싸무는하구의 에有ᄒᆞᆫ アムステルダムはハーグの東北にある貿易港にしてゾイテル海に臨み九 으로쏘이데루해 ᄒᆞ니

十餘의島嶼로ᄒᆞ며 人口約六十萬餘가ᄒᆞ야 의니라 의 에 ᄒᆞ야아무스데루 기스부레히도 가 에 을 ᄒᆞ으로 ᄒᆞ니

十餘の島嶼より成り、人口約六十萬餘を有する和蘭第一の都會である、十三世紀の始めアムステル公ギスブレヒト二世此地に居城を置かれてより漸次都

會繁盛의端緒를開ᄒᆞ더니 한사 同盟에 된以後에 ᄒᆞ더니

會繁盛の端緒を開いたのであつた、一三六八年ハンザ同盟に加入してより漸

く隆盛에向ᄒᆞ더니 의에 을 ᄒᆞ야안도와 ᄒᆞ야 ᄒᆞ니 ᄒᆞ며 ᄒᆞ을 ᄒᆞ니 ᄒᆞ니 ᄒᆞ니





아무스테루다무의 운하
アムステルダムの運河

和蘭の諺に「神は海を作り和蘭人は陸を作る」と言ふて居るが、此國人が常に水と戰ひつゝ、一面に於ては大に新陸地を要求するの切なるを覗ふに足るべく、全國の多くは海面下に位置せるが爲め自然により成れる砂丘と人工的築堤との保護によりて僅かに海水の浸入を防ぎ排水機を用ゐて潴水の排除をなすのである、然しながら運河は交通の大動脈たると同時に又濕地に於ける唯一の排水路となるべきものである。

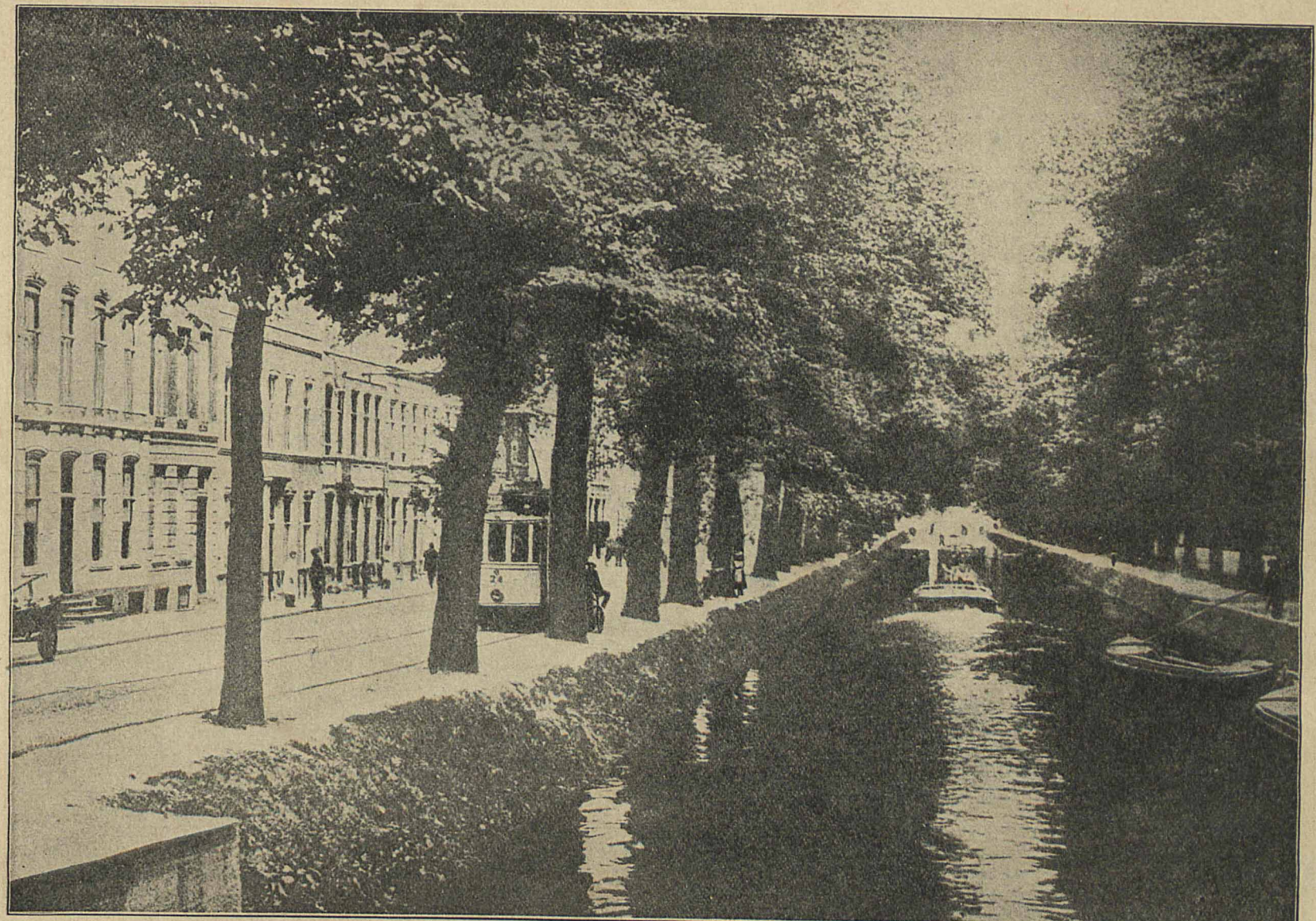
和蘭の沿海は遠淺にして海岸は概ね五尋以下なるを以て、政府は特に水路省を設けて海岸の築堤工事と排水の設備に熱心努力されて居る、殊に運河の如きは此國の運命を支配すべき重大關係あれば、從つて運河及び治水に關する事業は和蘭行政廳中の最も主要なる機關と云ふべきである、就中和蘭の首府たるアムステルダムの如きは運河市内を縱橫に貫流し深水約三呎より四呎にして河底の泥土も殆んど同一の厚さを有して居る、故に一面船舶交通の利便に供し一面に於ては傳染病豫防の目的を以て常に北海運河より清流を注いで泥水を排除するが爲め、年中殆んど絶へ間なく浚渫工事を行ひつゝありと云ふ、實に世界の低平國と稱せられ或は此地が「水の都」と呼ばるゝも其名に背かず、如何に和蘭人が不斷に奮勵して水敵と戰ひつゝあるかを推知するに足るのである、寫眞に示せるは此市街を貫流する大運河にして兩岸聳立する綠樹の間に船舶の來往する光景である。

마루젠의 マルケンの孤島

和蘭の島嶼は自ら二群に分れて居るが、其の一部は北西に在りて、テキセルゥ、ヴリーランド、テルスケルクリング、アメランド等の諸島となり、他の一部は南西に在りてワルケレン、北ベヴランド、南ベヴランド等の諸島である、然しながら而して是等の島嶼中北西に連なる一群は海嘯前海岸線の一部が今尚殘留せるものにして、他の一群はライン、マース、シエルトの三大河が漲溢せるが爲めに此の如き形成されたものである。

マルケン島は和蘭南海の一孤島にして、一二八二年に於ける大海嘯はゾイデル海より起り、此内海は深さ僅かに七八尺、最も深き所で三十尺を超えざるを以て大船を容るゝ能はず、此マルケン孤島は海嘯以來遂に本土と分離して一孤島となつた、爾來交通全く杜絶せる結果本土との間に殆んど沒交渉の狀態となり、和蘭人はマルケンの廢島として更に眼目に置かざるに至れり、然るに此島が本土との間に何等の交渉を有せざる爲め自然孤立的地位の關係より住民約一千人の一種奇異な風俗なるを以て、古くより其の名を知られて居る、而して住民中男子は悉く漁夫にして近海に於ける魚貝の漁に從事し僅に生計を立てゝ居る、服裝は男子は濃灰色の股引を穿ち、短衣の同色厚地を用ひ其下端を股引の蔕で固く締め、特に胸部に銀鈕又は銀貨を二列に竝べあり、婦人はレースの緣を附せる白帽子を被むるを特色とし實に珍奇の風をして居る、寫眞は漁船と住民地の一部を示したものである。





海牙

海牙는 海岸을 距ᄒᆞ미 凡ᄒᆞᆫ 二哩半 西部瀕海地方의 中心에 位置ᄒᆞᆫ 和蘭의 首府로 ᄒᆞ야、昔은 和蘭伯爵家의 狩獵地라 ᄒᆞ며、十三世紀의 頃으로부터 伯爵家의 政治中心地ᄒᆞᆫ 바아루레무로부터 되엿더니、十七世紀以來 歐洲諸强國의 間에 於ける 三年에 至ᄒᆞ야 和蘭聯邦의 首府를 成ᄒᆞ며、十七世紀以來 歐洲諸强國의 間에 於ける 重要의 外交條約은 總히 此地에 셔 締結ᄒᆞ나니、既에 第一回 及び 第二回의 萬國平和會議도 開催되엿고 且つ 永久仲裁々判所의 設けあるを 以て 世界에 著名의 首府로 ᄒᆞ야 가되기에 케되 니루이보나파루도가 和蘭國王에 卽位ᄒᆞᆫ 後로 ホルイ・ボナパルト가 和蘭國王에 卽かれてより 海牙가 和蘭의 首府ᄒᆞᆫ 地位를 占めて 今日에 及んだ、人口約二十六萬을 有し、最히 壯麗ᄒᆞᆫ 都會를 成して 居る、王宮을 始め 國會議事堂、常設萬國仲裁々判所、繪畫館、王立圖書館、日本及び 支那品의 豐富ᄒᆞᆫ 人種誌博物館、市廳、寺院等은 最히 有名ᄒᆞᆫ 建築物이요、又一九〇三年 米國의 大富豪 가ーネギー翁의 寄附金에 依ᄒᆞ야 建てられた 平和殿도 有ᄒᆞ고、又舊伯爵家의 居城은 內苑、外苑의 二つに 分れ、內苑에는 十三世紀時代의 建物로 ᄒᆞ야 ゴシック式 구ナイツホール風의 騎士館과 國會議事堂이 有ᄒᆞ며、又外苑의 一部에 在ᄒᆞᆫ 高塔은 昔時國事犯의 監獄에 充てられたものである、今は 前同의 平和會議場은 에무마 殿下의 宮殿으로 되엿고、海牙는 商工業地는 아니나、殆んど 我が京都と 同じく 風俗最히 優美에 ᄒᆞ야 又 地理도 光雅致에 富ᄂᆞᆫ ᄒᆞ니라 で 居る。

和蘭農村の狀態

和蘭は地勢概ね平坦にして其の大部分は海面下に位し最も低地濕潤多く又砂地や荒蕪地等全面積の殆んど四割強を占め、農耕に適せず從つて重要の農産物として見るべきものはない、只海水の沈澱物や或は河流の運び來る沃土なるが爲めボルランド及びボルダー地方は耕作地多く又園藝は此國の特長として盛んに行はれて居る、其主要なるものは麥、蕎麥、蠶豆、烟草、麻類、蔬菜、林檎、梅、花卉類等である。

牧畜は最も盛んにして、此國の三分の二を占め、和蘭の主要なる財源となつて居る、牛、馬、豚、山羊等を主として飼養せられ從つて牛酪、乾酪等は重要の產物である、此國の農耕地が多からざるに園藝の產物として輸出するもの約數千萬圓に及び就中花卉の一千萬圓以上に達するが如きは珍奇の花卉として歐洲に其の名を博した結果である、春季の候に和蘭に來遊するときは、各處國內到る所の農園は黃白紫紅の色彩を帶べる珍奇な花卉が一面に其の優美を競ひつゝある光景は實に一奇觀である、歐洲の諸國に於ける化粧品製造業者は此花卉中より選擇して植物的化粧用の原料に充つるもの多しと云ふ、寫眞に示せるは和蘭の一農村にして、奇異の服裝せる婦女子が農園を步いて耕作に從事するものや或は農作物を小舟に依りて運搬する狀況である。

亞米利加

亞米利加는 主로 合衆國及び加奈陀에 對하야 此에 就て概說하는 것으로 하니、亞米利加合衆國은 北亞米利加大陸의 中部에 位하니 東은 太西洋에 臨하고、西는 太平洋을 控하고、北은 加奈陀에 連하고、南은 墨西哥에 隣接하였고、面積은 아라스카及び布哇를 加하면 三百五十七萬一千五百方哩를 有하고 人口約九十萬에 達한다 云하고、種族은 白人種大部分을 占하고、之에 次ぐは 黑人種、土人、支那人、日本人이 有하고、國民의 氣風은 快濶하고 彼의 英人의 如く 自尊高慢하지 아니하며、又自由平等主義를 尙하야 獨立進取의 氣象에 富하고 又實利에 厚하야 企業心이 盛하다 云하고、此國은 西紀一五六五年西班牙人을 以て 植民의 始作하였고 其後本國의 東海岸은 英國의 植民地가 되어 히 이러니 從來住民의 憤慨를 起하야 一七七六年七月獨立을 宣言하므로 비롯하여 交戰八ヶ年에 亙하다가、一七八三年 유루사유의 和議를 結ぶに 及び、英國은 米國의 獨立을 承認하게 되었으며 議로 一七八五年五月十三州의 代表者를 후이라델휴아의 フィラデルフィア에 會하고 茲에 鞏固한 中央政府를 設하고、新憲法을 制定하야 共和政體를 定하였으니、卽ち政治는 立憲共和政體로 하고 行政權은 大統領에게 委任하고、副大統領之를 此를 補佐하게 하며、行政事務는 國務、大藏、陸軍、海軍、內務、遞信、檢事、農務、商務의 九省에 分하고 各省에 長官을 置하고、立法權은 國會에 在하야 又國會는 元老院(上院)及び 代議院(下院)으로 成하니라。

此國의 宗教도 信仰禮拜의 自由가 有하며、歐洲에 行はれつゝある 宗教及び 宗派는 各處에 有하니라 國內到る所に 行れて 居る。

敎育과 如き는 建國當時는 無學의 移民이 頻々來住しつゝありしも 爾來敎育의 普及에 專心努力し、中는 殊に此國의 公立小學校는 授業料를 徵收せざる制度를 設けて奬勵를 엿스나 今에도 不受けざるもの 多しと云ふ。

交通은 著しく 發達되며、鐵道와 如き는 總延長二十三萬五千哩를 註せられ 世界第一인데 して、大北線、北太平洋線、聯合太平洋線、中央太平洋線、南太平洋線의 五大鐵道는 大陸을 横斷し、運賃의 低廉なること 世界無比이요 更に産業의 方面을 觀察するときは、農業은 本國第一의 富源으로 ある、卽ち面積廣大를 야 土地가 肥沃、加ふるに 農業이 進歩發達せる 結果、各種의 器械를 應用して 大規模의 組織經營なれば 農産額이 頗る 多く 實に 世界最大의 實業國이요 ある、其の 農産物의 重なるもの는 小麥、玉蜀黍、燕麥、棉花、煙草等는 世界第一にして 之에 次ぐは 大麥、甘藷、馬鈴薯、果實、米等인데 ある、就中、棉花의 産額은 六十六億萬封度의 多きに 達し 實に 世界棉花의 産額中 其의 六割을 占むると云ふ、牧畜도 又盛んで ある、就中 牛及び豚은 世界第一、馬及び羊은 世界第二位에 居る、鑛業은 一層の 盛大를 야 金屬又는 非金屬의 産出多く 特に 銅、鐵、石油、滿俺、鉛의 産額多きこと 世界第一位를 占め、其他水銀、亞鉛、天然瓦斯、石材等의 産額도 不尠なからず、工業에 至つては 最近長足의 發達せり、是れ 卽ち 米國이 農業及び鑛山等의 物質富源을 야 原料의 大部分은 國內에서 供給하고、其他交通機關의 發達과 自由貿易及び發明과 機械의 改善等은 大に 發達의 主因을 爲せるものと云ふべく、其の 重なる事業은 製鐵、機械製造、紡績及び織物、麥酒、麵麭、肉類罐詰、皮革製造、製紙業等이다。

米國が農工業の一大富源を有し從つて商業も亦最も隆盛にして輸出の如きは特に英國を凌駕せんとする優勢を示し輸出入貿易總額は世界第三位と稱せらるゝ、貿易國の重要なるものは英吉利、英領北米、獨逸、佛蘭西、日本、和蘭、墨西哥、伊太利等である、要するに米國は產業の發達と共に富を以て世界を左右するは合衆國ならんと稱せられ從つて巨萬の富を有する大富豪の多きこと亦世界に其の比を見ず、是れ固より尨大の天惠的富源の地を有する と共に米人の應用的材幹を有し且つ企業心に富み忍耐勤勉の美性が遂に最大富國の基礎を作れるものである。

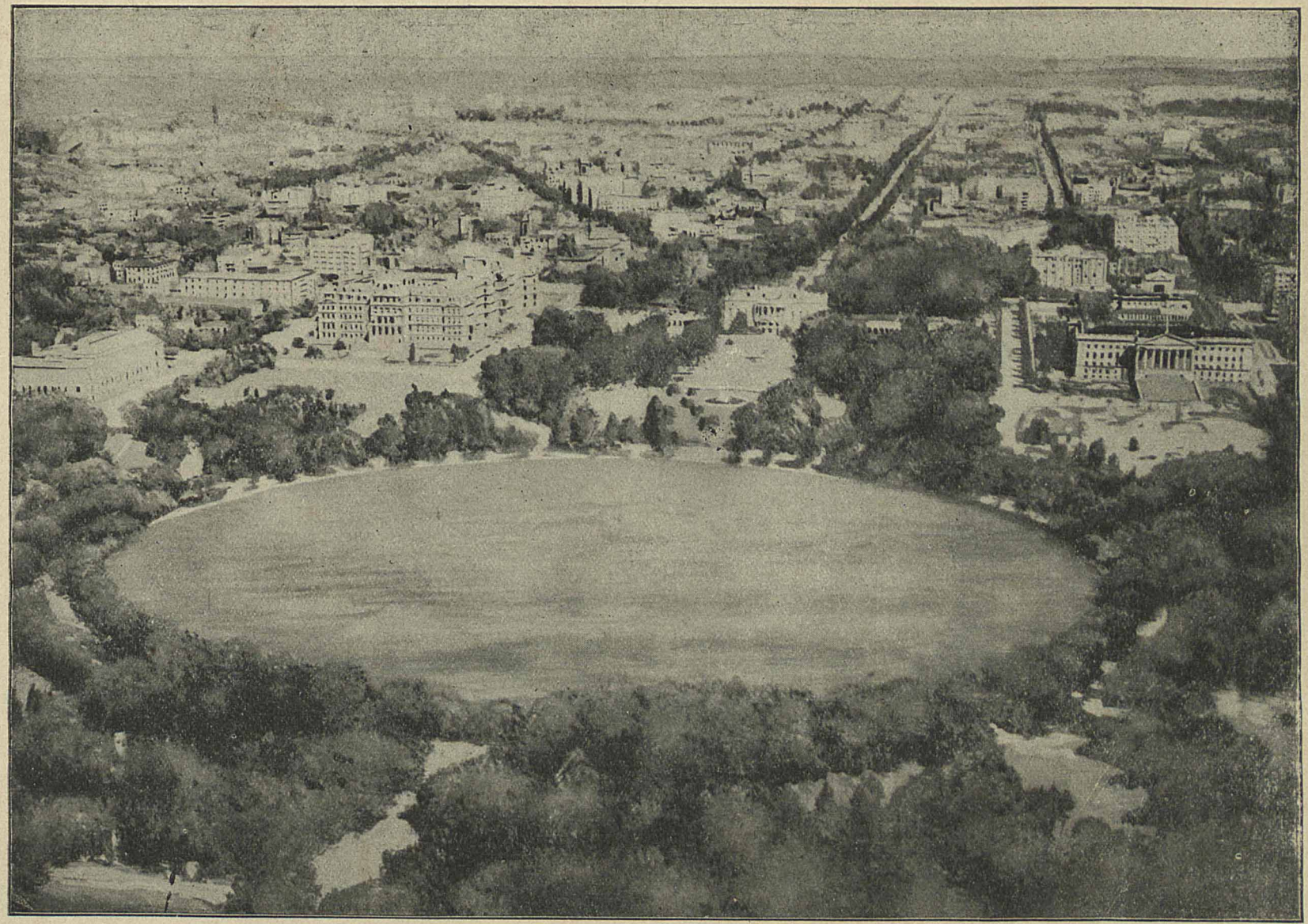
加奈陀は北亞米利加洲の北半部の廣大なる地域を占め面積三百七十四萬五千六百方哩に上り人口約九千八百五十萬餘と註せらる、此地は一七六三年のパリー條約により英國の領地となり更に一八七一年他の諸州を聯合して加奈陀領國を形成したのである、政治は英本國の憲法と同じく聯合政體を組織し、行政權は英國皇帝之が名を以て總督及び樞密院之を司り、立法權は元老院及び衆議院より成る議會に於て行ふ、住民中、英、佛人多數を占め之に次ぐは獨逸其他の歐洲人、日本人、支那人等である、產業としては氣候稍寒冷なれば農業は振はざるも林業は此國の主要財源と稱せらる、漁業又盛んにして世界三大豐魚帶の一に屬し、殊に鱈、鮭は有名である、鑛業は原料の產出無盡藏にして就中石炭の產出多く又白銅の如きは世界第一と稱せられ從つて商業も亦近時著しく發達せり、要するに加奈陀は歐亞大陸の間に介在し南は合衆國に接せるを以て植民地として將來甚だ有望である。

桑港（サンフランシスコ）

桑港は桑港灣の南岸に在り、人口約六十萬を有し太平洋沿岸第一の貿易港にして亦大都會である、港内は廣濶にして大船の碇泊に安全なれば通商貿易は著しく發展せられ、就中東洋諸國とは最も頻繁を極め我が對米貿易の大部分は此地に於て行はれ對外貿易中其の首位を占めんとする密接な關係を有して居る、桑港は横濱を距る東方四千八百浬の地に在り、面積四十六方哩を有し合衆國沿岸の中央にして附近一帶肥沃の農耕地及び果樹園相連り、又有名なる金鑛油田があり加州の關門にして天賦の一大良港である、此地は始め西班牙の遠征隊が發見し、其後墨西哥の領有に歸してより漸く存在を認められ後ち合衆國との爭亂を起し遂に合衆國の領地に屬したのである、當時附近に有名の金鑛を發見し人口五百に足らざる一漁村が今や驚くべき大都會大貿易港を形成したのである、市街は一九〇六年四月十八日夜の大地震と共に猛火起りて全市を燒かれたが、其後の新建築は概ね鐵骨として以前五六層のものは更に十層以上の高樓大厦を再建し一層宏大壯麗なる美觀を添ふるに至れり。

市廳、國立造幣局、ホプキンス技藝院、理科大學、紀念博物館等の壯大なる建物多し、此地は有ゆる世界異人種の雜居なれば各自の國語で印刷される日刊新聞も多く、二種の日本字新聞を首め其他十數種に達して居る、造船、製糖、鑄鐵、機械製作、屠畜、罐詰等の事業は最も盛んにして、最近貿易總額二億五千萬圓に上り急劇なる此地の發展は世界無比である。


1915



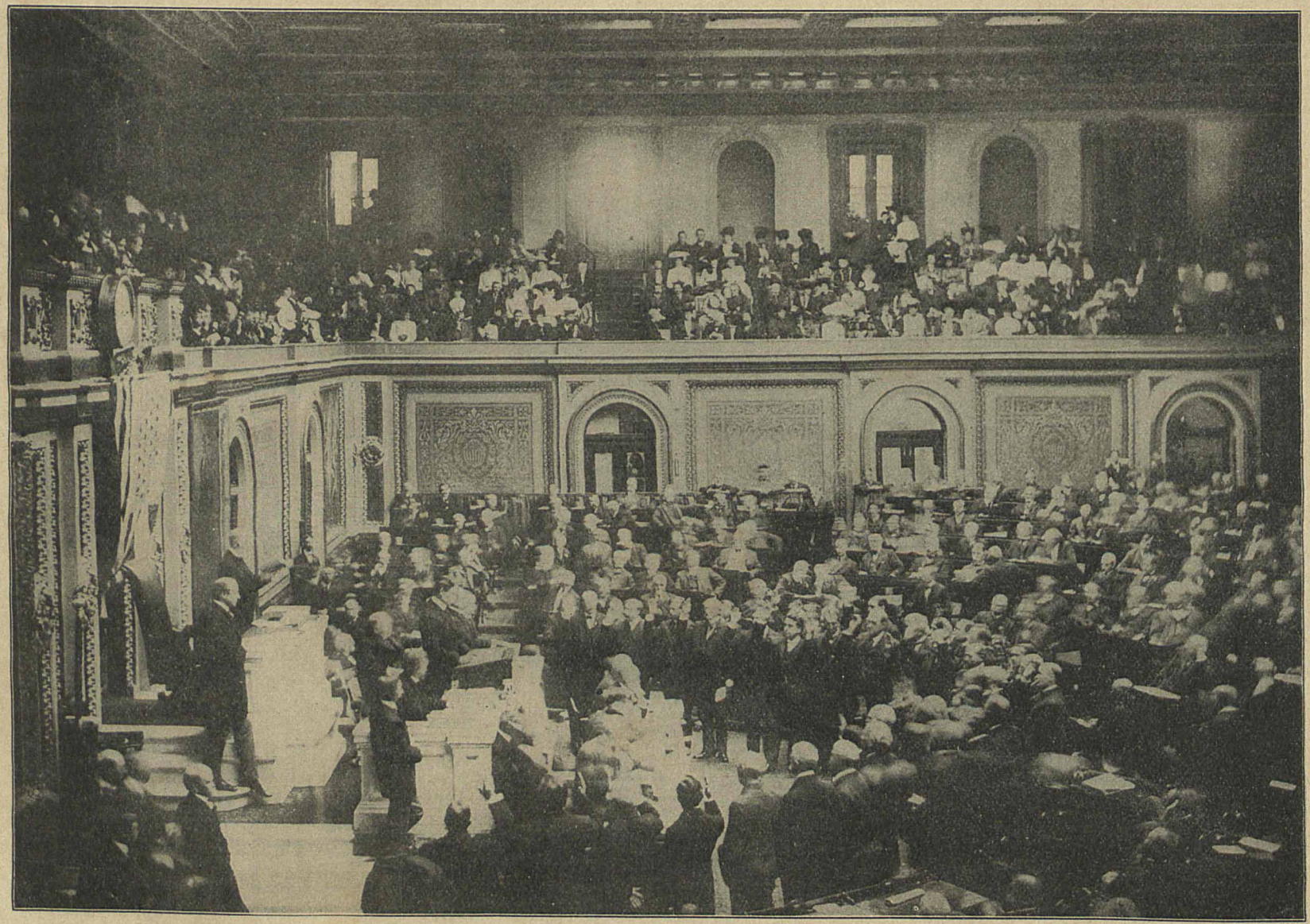
華盛頓府

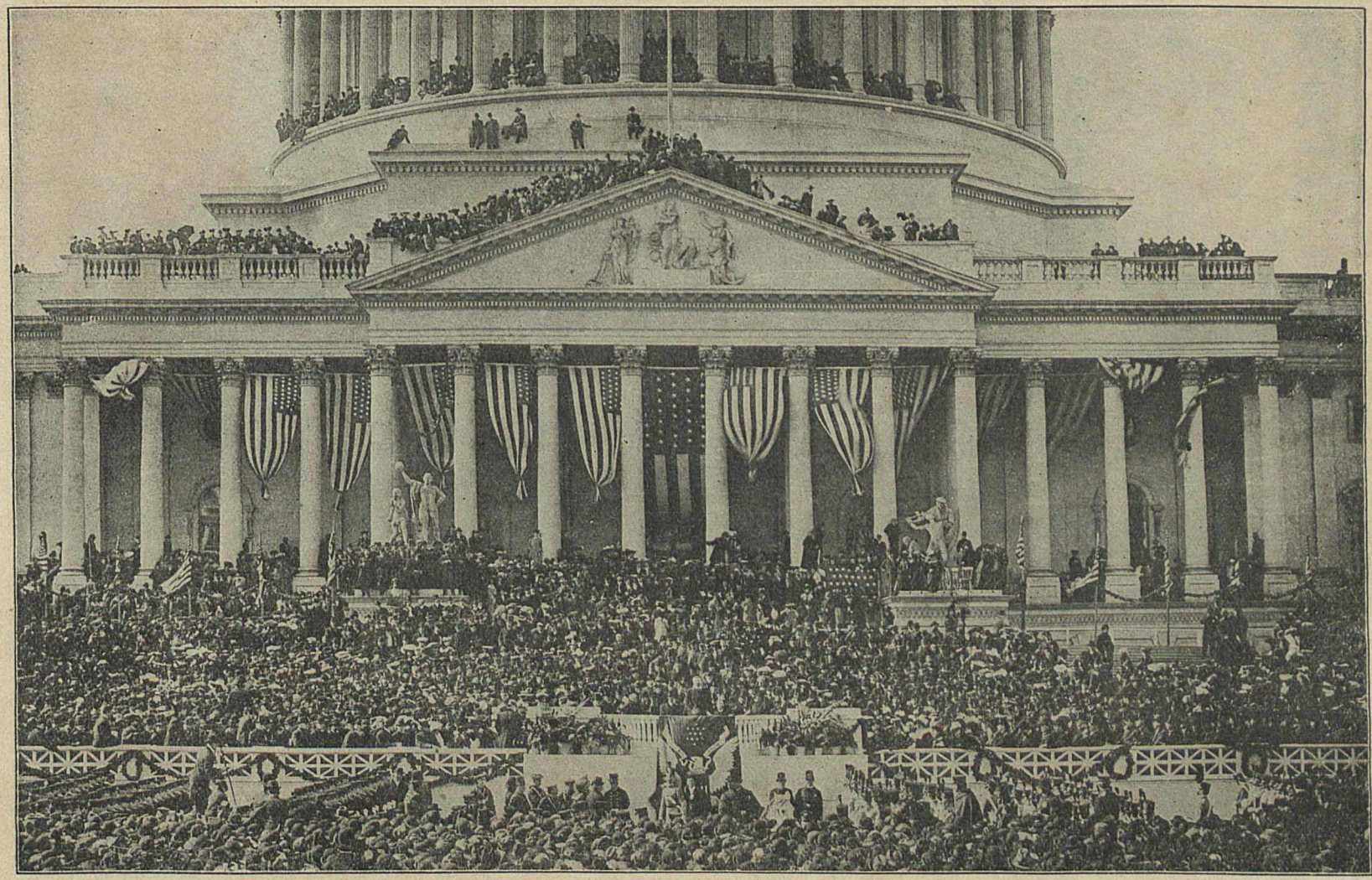
華盛頓はポトマック河に臨み北米合衆國の首府である、商工業としては紐育、市俄古或は桑港等の如く大厦高樓なく從つて繁盛の程度も劣れる感あれども、然れども米國は一七八九年共和政體となり新憲法を發布しジョージウォシントンを第一期の大統領に、ジョンアダムスを副大統領に推薦して一七九〇年之をフィラデルフィアに移し次で時首府を紐育に置きたりしが、一七九〇年之をフィラデルフィアに移し次で一八〇〇年華盛頓に首府を奠められて以來、政治文藝の中心となり漸次隆盛に向つたのである、市街は最も清雅にして壯麗の建築物多く、中央政府を始め國會議事堂、大統領官舍(白堊館)、諸官廳、各國公使館等の宏壯なる建物も少なからず、殊に此市街は樹木鬱蒼として清雅なること他市と全然趣を異にし自ら景象の高尚なるを覺ゆるものあり、殊に有名なるはユニオン停車場にして國會議事堂の東北方マサチュセッツ大街の廣場に位し、其の地積の尨大なると設備の完全なるは全世界無比と稱せらる、此建築は市俄古萬國大博覽會の建築技師として有名なるダニエルバーナムが羅馬の凱旋門を觀て大に感じ遂に大建築を案出せるものなりと云ふ、待合室の如きは奥行百三十呎、間口二百二十呎に達し、又舖床上に數萬の乘客を立たしむるも尚充分の餘地あるに至つては其の規模の宏大なること何人も驚かざるを得ない、又大統領專用の待合室や貴賓待合室の豪奢なる裝飾は世界に其比を見ざる所である。

合衆國々會議事堂

合衆國は立憲共和政體にして四十八州より成り行政權は大統領に屬し、副大統領之を補佐する、行政事務は國務、大藏、陸軍、海軍、內務、遞信、檢事、農務、商務等の九省に分ち各省に長官を置き大統領の指揮に從つて各其省の事務を統督し亦內閣を組織する、立法權は國會に在りて元老院（上院）及び代議院（下院）より成れり、而して元老院は各州より二名の議員を選擧し、代議院は各州より選出せる三百九十一人の議員とす、地方の政治は州と地方とに分ち、各州に憲法を有し上下兩院より成る州會あり又中央政府の組織に係る地方法會ありて大統領の任命せる知事が其の政務を掌るのである。

合衆國の國會議事堂はワシントン府にあり雄大宏壯な建築物にして、右方は上院、左方は下院に充てゝある、中央に巍然として燦ゆる大圓蓋（ドーム）は高さ三百〇七呎に達し頂上に自由の神像を安置し、左右兩翼の建築は悉く白大理石より成り其の宏大壯麗なること眞に空前の偉觀を呈す、此中央高樓內にはスーペリム・コート及び正副大統領室及び各委員室其他大小の室數多ありて裝飾善美を盡してある、上院は九十二の議席と一千人の傍聽席を有し、下院は四百三十五の議席と階上に千五百人の傍聽席がある、而して正面石階上の大玄關は大統領就任式場として世に知らる、又國立聖像殿には各州を代表する政治及び軍事に偉效ありし傑士の銅像を設けてある、寫眞は議事堂の外觀と議場內の一部を示せるものである。





大統領就任式

亞米利加合衆國が實に世界の一大共和國なることは婦女子も能く知る所であるが、同國の共和制度として萬民悉く權利を平等とし、自國に生れた國民は滿三十五歳となれば何人にても大統領の候補者たる資格と權能とを享有するのである、身を草莽より起し大飛躍して一國の元首となり文武の大權を統ぶるが如きは眞に男子の壯快事と云ふべきである。

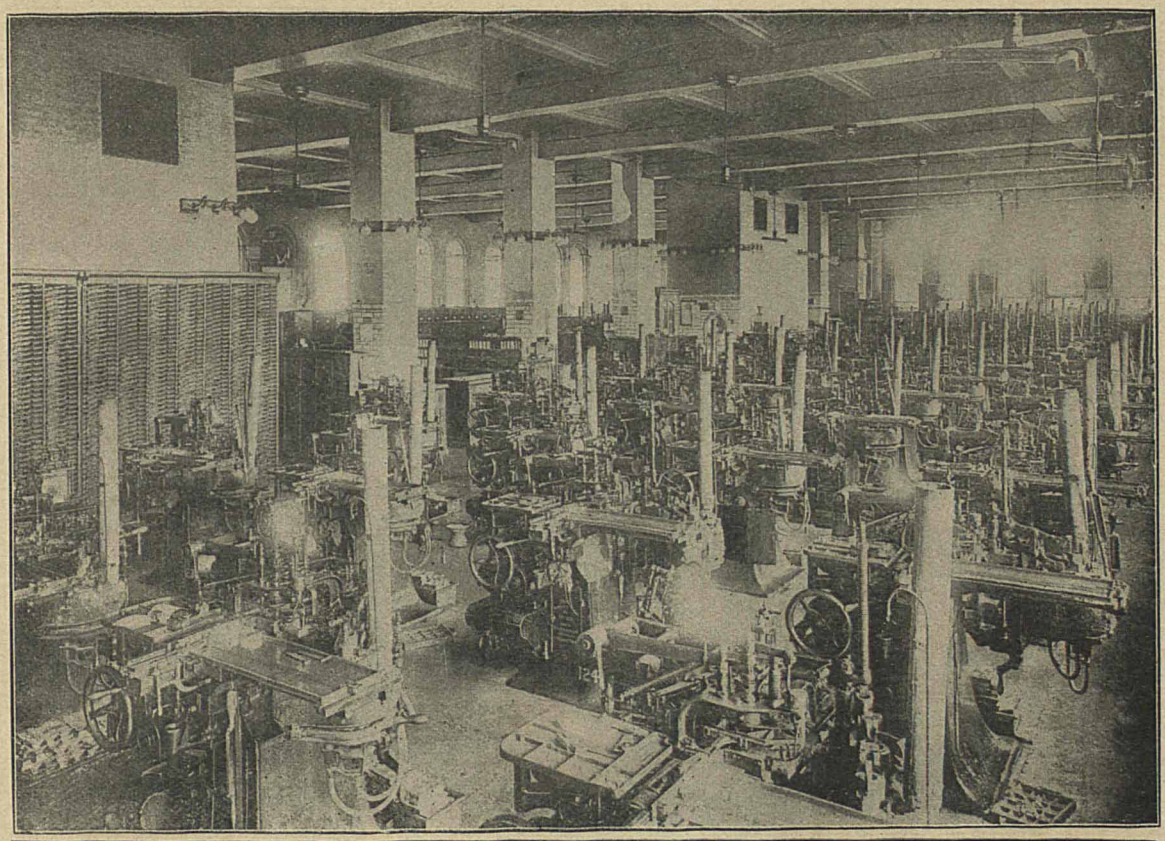
正副大統領の任期は何れも四箇年であるが、而して前者は年俸七萬五千弗、旅費二萬五千弗、後者は各省の大臣と同額にして即ち年俸一萬五千弗を受く、選擧法は全國の有權者は各州の代議士（レプレセンタテーヴ）と同數の選擧人を選み其組織する選擧會（エレクトラル・カレヂ）が正式に大統領を選出する順序となつて居るが、然るに現今政黨の權能が發達するに及び、各政黨の國民大會（ナショナル・コンヴェンション）竝に豫備選擧等に依りて略ぼ事實の決定を爲すことにして居る、而して大統領任期完了の前年十一月に於て一般投票をなし、翌年一月選擧會を開き、二月國會に於て之を容認し、三月を以て愈新大統領の就任式を華盛頓府で行ふのである、此式の概況を示せば新舊大統領は馬車に同乘して白堊館（ホワイト・ハウス）より國會議事堂の正面玄關の西ー南ー東に前郭（ポーテコ）に赴き司法卿の面前に立ち群集せる國民の大喝采聲裡に宣誓の辭を述べ且つ就任大演說を行ふを例とする、此寫眞は一九〇四年ルーズヴェルト大統領就任式の光景である。

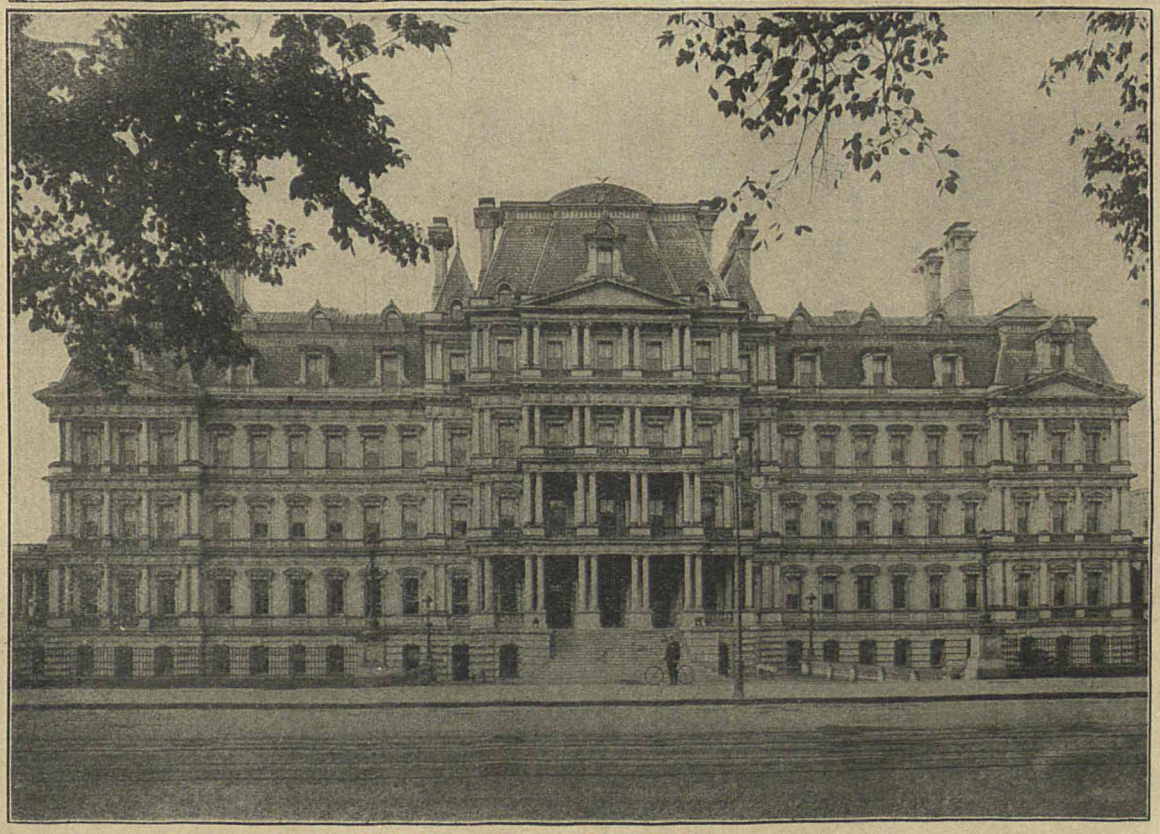
印刷局、國務省及陸海軍省

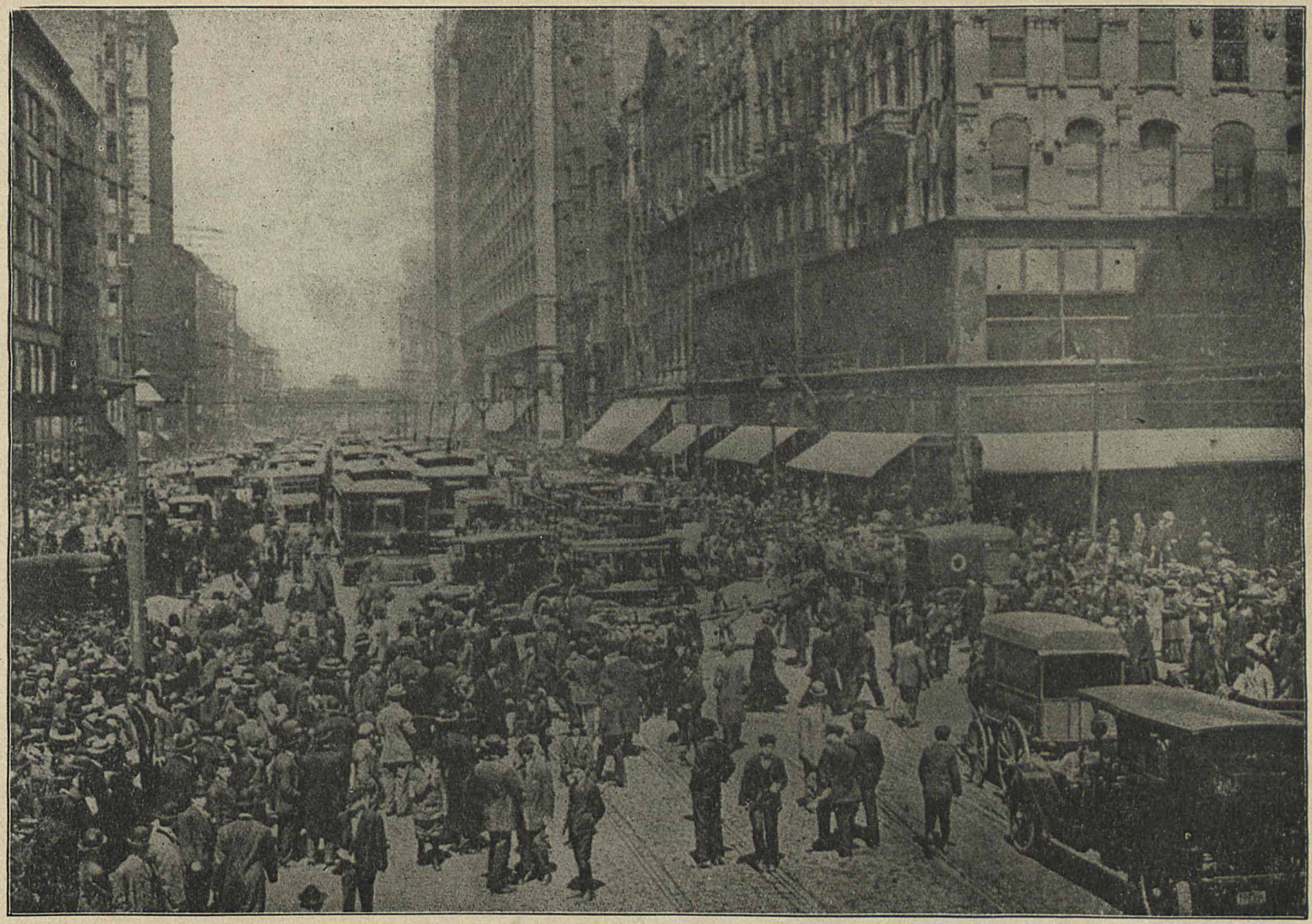
米國は世界の大工業國と稱せられ其の規模の擴大なること實に驚くべきものがある、由來米人は產業上に要する機械の發明及び利用に就ては特別の能力を有し近時各種機械の發明改善は工業上に多大の生產力を與へて居る。

印刷局は米國政府の直營に屬し日々刊行せらるゝ官報も日本と同じく此印刷局で發行されて居る、當印刷局の建築費及び設備費として一千六百弗を要し且つ經營費に毎年六百萬弗以上を投ずと云ふ、其規模の宏大なること世界最大の工場である、然しかも紙幣や印紙の如きは別に大藏省附屬の印刷所より發行し、當印刷局は活版印刷にして重要の圖書、報告書、其他小冊子を合せ毎年一千種以上、印刷高は七百萬弗に上ると云ふ、而して一室にリノタイプ機八十臺、他の一室には八十七臺の印刷機がある。

國務省及び陸海軍省も花崗石より成る四層樓にして官廳の宏大なるは亦世界有數のものである、建物の東部は海軍省、西部は陸軍省に充てられ其の南部は國務省である、而して各省に通ずる行廊の如きは大理石を以てし、延長實に二哩に及び全部の室は五百餘の數に上り又階段の如きは花崗石にて壘み、青銅製の華麗なる欄干を附し、耐火建築の施設になつて居る、而して陸軍省には歷代陸軍大臣の肖像畫を掲げ、海軍省には廊下に工作の精緻を極むる軍艦模型等あり、又國務省の外國使臣引見室の如き豪奢なる裝飾は人目を驚かしむ、寫眞は國務、陸海軍省、及び印刷局の内部である。







市俄古

市俄古はミシガン湖の南に在り世界第一の湖港にして水路の交通至便は勿論陸に數多鐵道の中心を占め南北二十六哩、東西十四哩の面積と人口二百四十餘萬を有し、米國第二の都會にして亦世界第四の大都會と稱せらる。

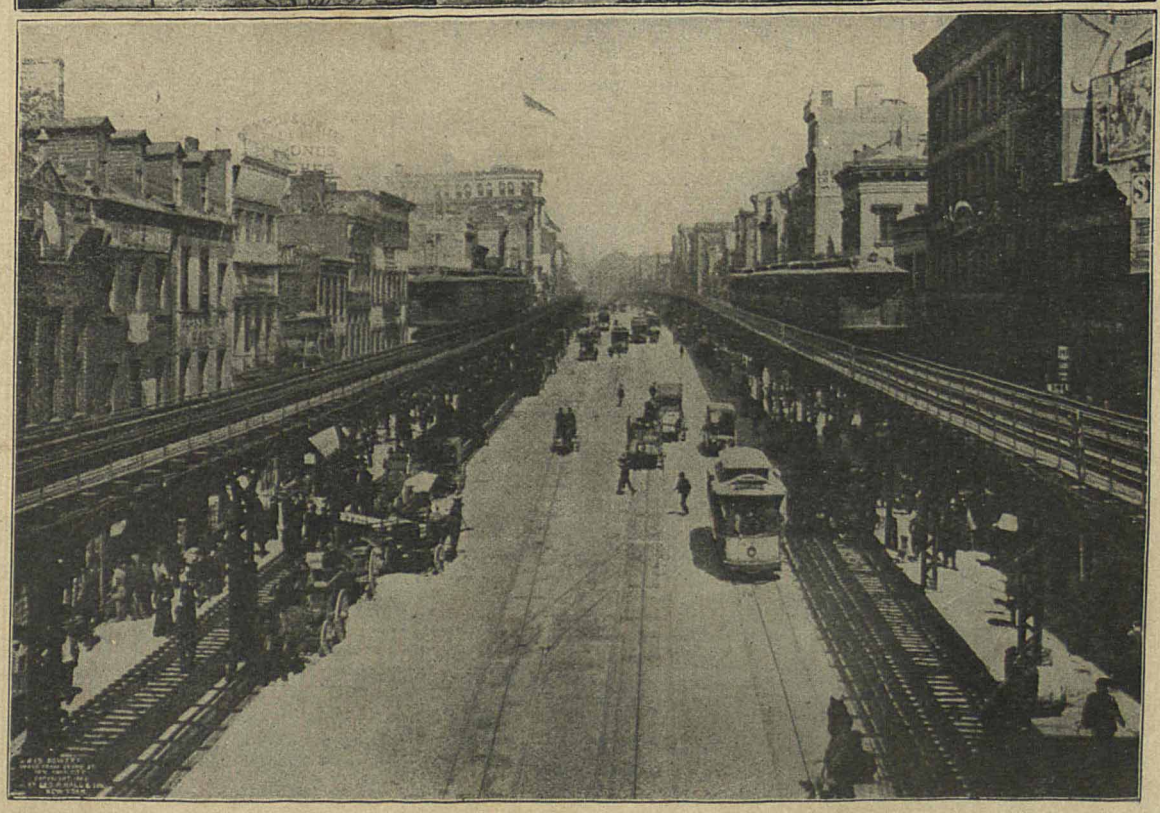
此附近一帶の平野は農產及び畜產最も盛んにして就中小麥及び肉類の大市場たるのみならず、イリノイス河に運河ありてミシシッピー河と相通じ水陸の交通大に利便なるより木材等の集散地でもある、殊に有名なるは牛豚其他の屠殺場にして、彼のウウヰフト會社の如きは日々二萬數千人の工夫を使役して類供給のトラストを組織し、全世界の肉類相場を左右する勢力を有す、其他鋼鐵會社、農具其他の機械製造工場頗る規模宏大にして市俄古の生產物が毎年實に二十億圓以上に及ぶと云ふ、市街の商業最も殷賑を極め、彼のマーシャル・フィールド大百貨店の如きは世界に其名を轟かして居る、街路の如きは市の中央を貫通する高架鐵道の電車と地上の電車とは轟然たる響きをなして頻々往復し或は馬車、人車、自働車、自轉車、歩道の來往甚だ雜閙を極め一歩油斷せば倒れる有樣である、更に歩を轉ずれば、ミンガン湖畔に在る大公園あり、此所は往年世界大博覽會場跡にして、博物館、美術館、獨逸皇帝寄贈の獨逸館　日本政府寄贈の模造鳳凰殿がある、此地方一帶は天產物の豐富にして近時著しき發達を促したのである、寫眞は市街の一部を示せり。

紐育

紐育はニューヨーク灣に臨み附近のブルクリン、ジャーシチー等を併せて大紐育と稱し人口五百萬を有する世界第二の大都會である、此地は一六二四年和蘭人が太西洋を渡りて土人と貿易を始めたのが起りで、後ち英吉利人の爲に征服せられ英國の植民地となし最初の統治者ヨーク侯なるを以て此地名を改めてニューヨークと云ふ。

紐育は恰も兩河と海灣との間に挾まれる半月島を成し、水深四十呎に達して大船巨舶は自由に出入し得る天然の良港なるのみならず、周圍に製造工業の盛んなる地を控へ、西に生產力絶大の平野あり、東に歐洲大陸を控へ、海陸連絡の設備完全にして大交通の中心なるが爲め、州政府を此所に置かれてより僅々百二十年の間に於て驚くべき發達したのである、紐育の面積は二十一萬英町に達し世界第一の廣濶なる市街にして殊に二十層以上の大廈高樓半空に聳え其の宏大壯觀は亦世界無比である、恰も碁盤の目の如き整然たる區劃を爲せる市街の縱橫に汽車鐵道、綱索鐵道、電車鐵道等は蜘蛛の巢の如く敷設し、更に高架鐵道及び地下に四線の鐵道あり其の中二線は普通列車、他の二線は急行列車等ありて、步道は車馬絡繹織るが如く、其の繁劇雜閙は名狀すべからざる光景である、中央郵便局の取扱ふ日々の郵便物は平均一千萬通に達すと云ふ、總て規模の偉大なること到底倫敦、巴里の及ぶ所でなく、流石に世界の最大を誇りとする米國人の特長を發揮して居る、寫眞は紐育の市街である。







고론쎄야 콜롬비아 大學

米國의 敎育은 近時大히 發達하야 公私立中學校、專門學校、大學校等의 設立도 또한 多く、然이나 而して米國의 大學에 於て學位를 授與する는事를 得る는 高等敎育機關을 稱하야 뉴우야아시지 又는 카레ッチ와 云하니、前者는 學術技藝의 蘊奧를 究め且つ其の應用을 敎授する者로 して、法律、醫科、神學、科學等의 學科에 分하고、後者는 德性의 訓練을 主하야 前者에 比하면 低度의 專門的學術을 敎へ 且つ前者에 進할만き 高等豫備敎育을 爲하야 其의 修業者에게는 파죠라(學士)의 學位를 授く、而して一層嚴密なる 意味にて 云ふ、유니버시지는 卽ち 前者의 謂로 히우야도 이에 루고론비아、푸린스톤、미시강、존스、호푸킨스、펜시루우아니아 가리휴루니아 시가고 고네루、ジョンス、ホプキンス、ペンシルヴァニア、カリフォルニア、シカゴ、コーネル、카속구 カソリック 大學等は 一流의 地位를 占めて 居る。

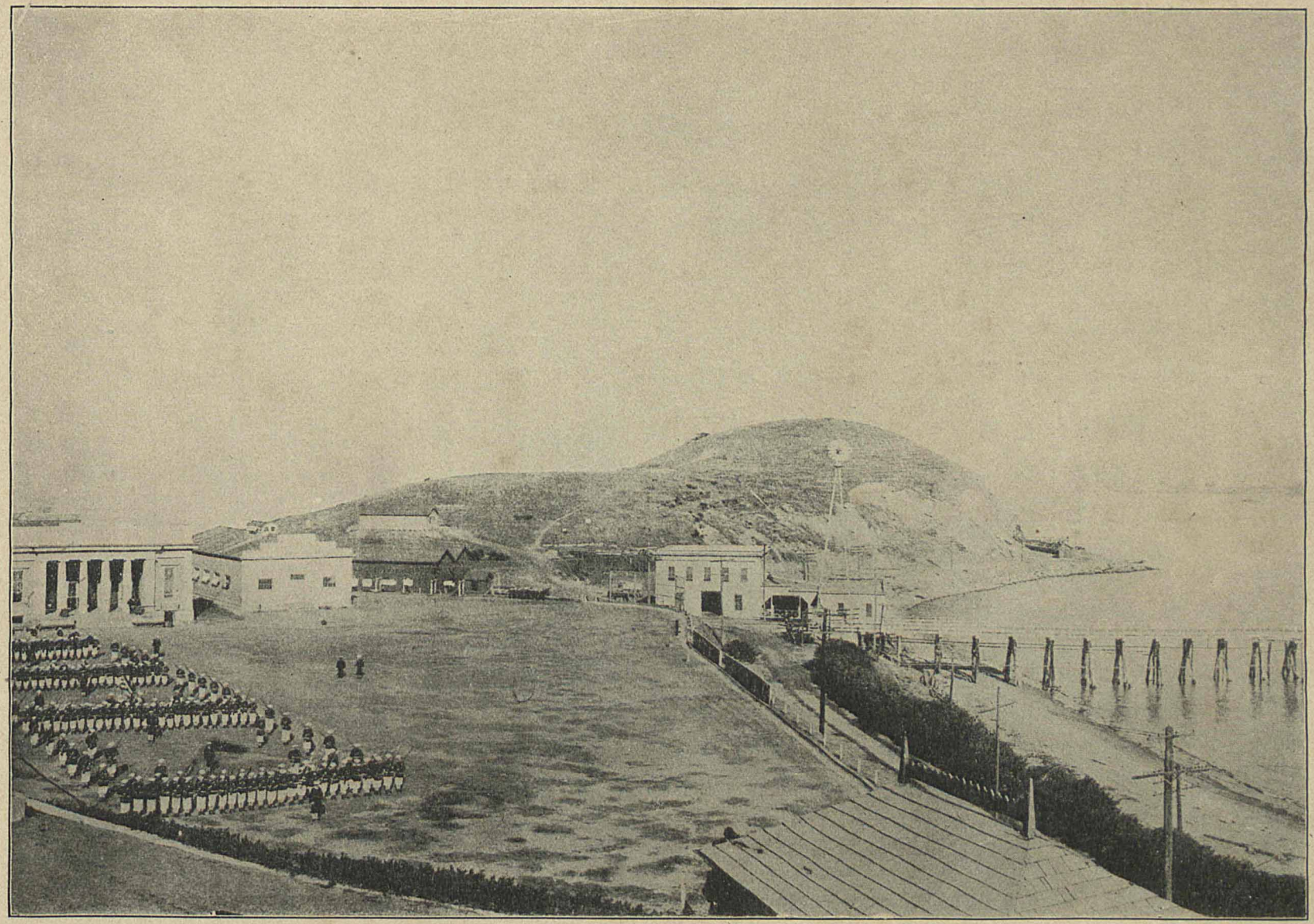
고로비아는 紐育에 在하니 全北米中、學藝의 中心으로 コロンビア 大學은 醫學、哲學、純正科學、應用化學의 六分科로 成하고、尙其の下에 法律、醫科、鑛山、化學、工學、建築學等의 專門部의 設け有하야 各分科大學의 規定에 據하야 專門의 學位를 得んとする 學生의 爲하야 豫備敎育을 爲して 居る、更に一八八九年에 至하야 女學生을 收容すべき バーナード 大學을 新設하야 고론비아 大學에 附屬せしめた、本大學은 敎授竝に 講師共六百名以上으로 して 學生은 八千名에 達하고、尙ほ 校舍內의 全財産을 評價せば 六千數百萬圓에 上ると 云ふ、此寫眞은 고론쎄야 コロンビア 大學外部의 壯觀이니라 である。

紐育の大旅館

紐育は今や倫敦を凌駕し將に世界最大の都會たらんとする凄しき勢を以て發達して居る、市街の最も繁華を極むるは所謂ダウン、タウンと稱する商業區にして米國屈指の銀行及び店舖の宏壯な建物半空に聳えて居る、紐育の人口は年々偉大なる增加と共に地所の價格は益々騰貴し就中、最も高價なる地所はブロード街及びオール街の角である、此角の小き煙草店の如きは一箇年の家賃實に八萬圓なりと云ふ、地所は無限に騰貴するを以て勢ひ高樓を建築し天上に向つて膨脹する外はない、故に通常二十階、三十階、其最も高きものは五十階以上の所謂摩天式の高閣もありて市街の大厦高樓悉く半空に屹立せる一大偉觀なること實に世界無比である。

從つて旅館の如きも頗る大規模のものである、特に此寫眞に示せるは紐育の大旅館にして實に世界の模範と稱せらる、此旅館は一九一二年に竣成された最新式の建築にして紐育市街フランク、マックアンドリウス第三十三街と第三十四街との間に在る、マックアルピンホテルと稱し、建築費實に一千三百五十弗(二千七百萬圓)の巨資を投ぜりと云ふ、客室其他を合せて千六百二十室と一千八百の電話及び一千百の浴室を有するに至つては實に驚かざるを得ない、其他化粧室、便所等悉く清麗を極めて居る、一泊二弗五十仙以上となれば專用の浴室、化粧室、便所あり、又館內に銀行の機關ありて貯金、爲替、兩替も自由であり、其規模の廣大と設備の完全とは全世界無比の大旅館である。



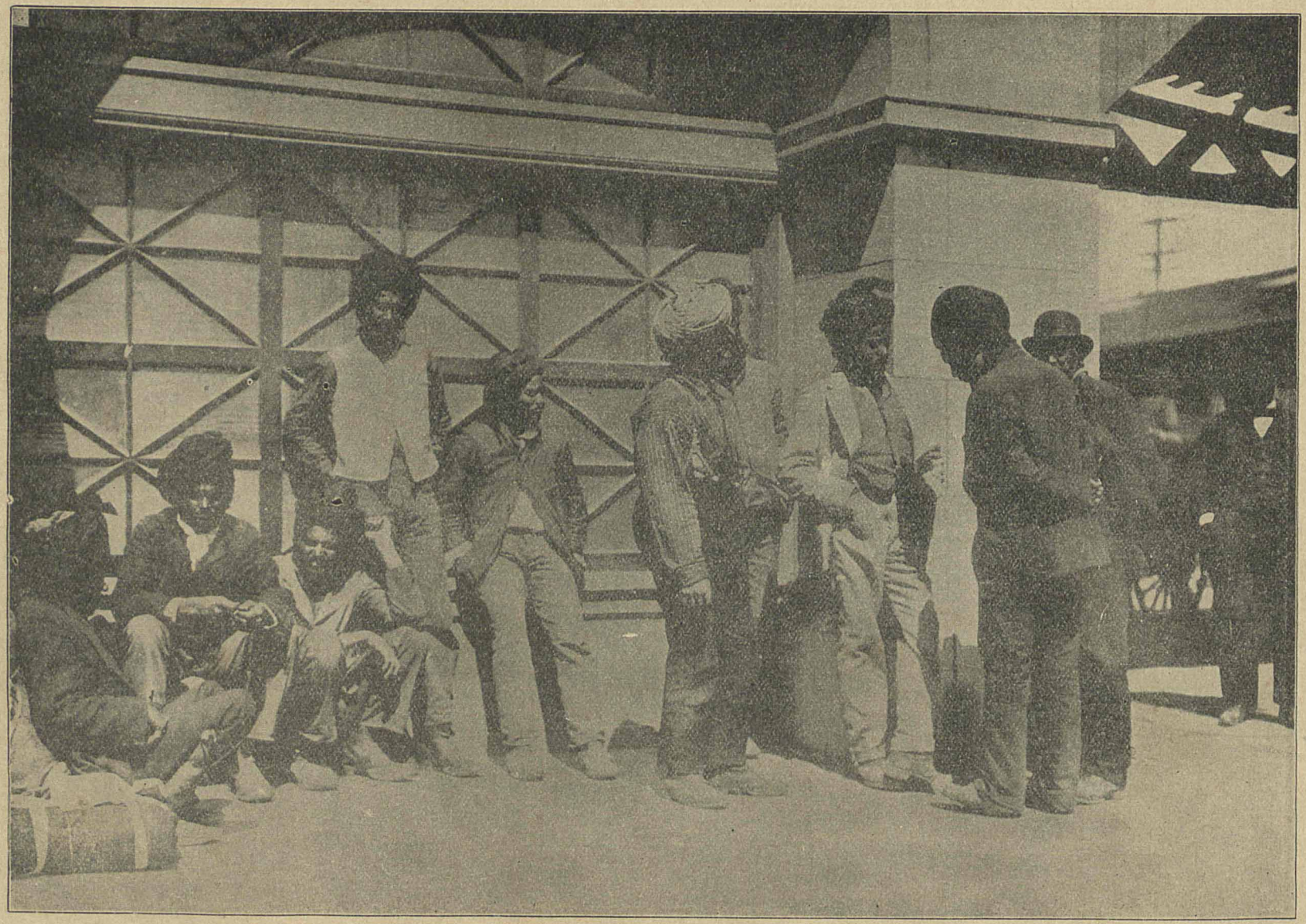


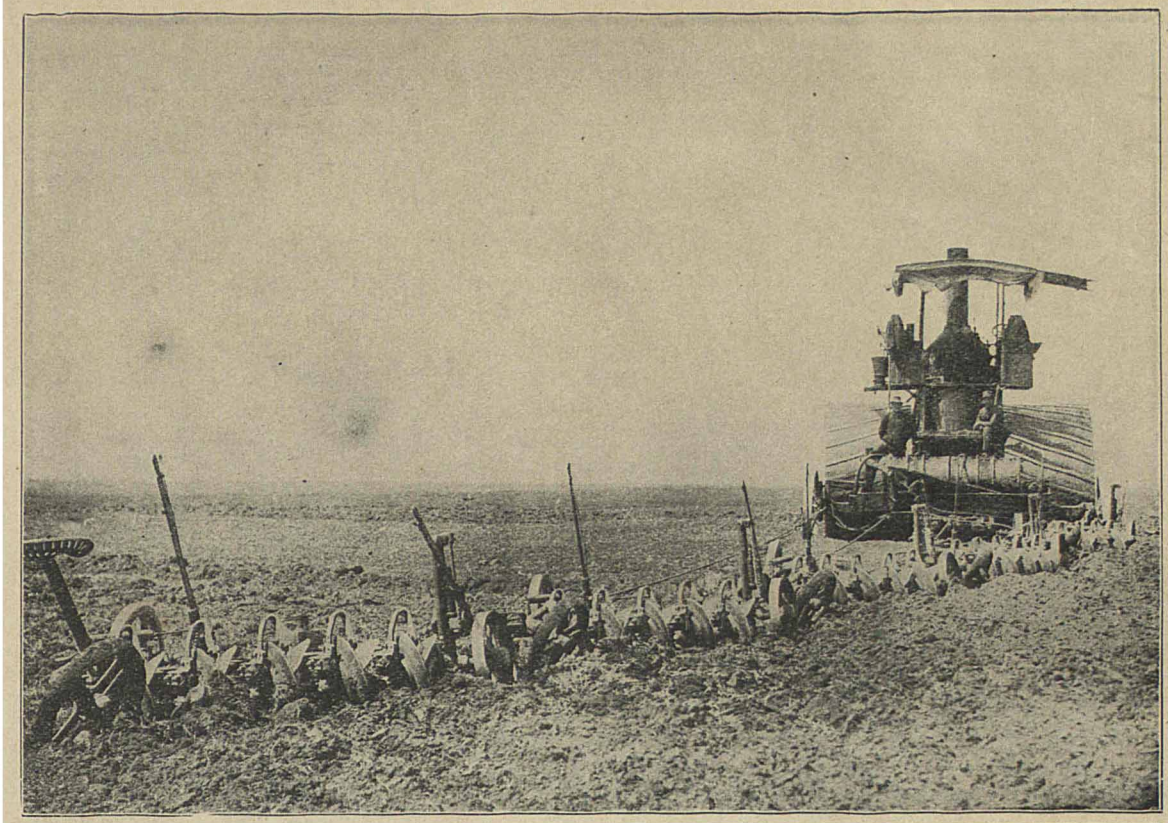
고도의 ゴート島の海兵團

米國의 兵制는 陸軍에 在ㅎ은 平時正規軍과 民兵으로 ᄒᆞ고、戰時에고 正規軍과 義勇軍으로 ᄒᆞ엿ᄉᆞ나 而して正規軍이라 ᄒᆞᄂᆞᆫ것은 我が國の常備團隊와 同じく、其の兵卒은 志願兵으로 ᄒᆞ고 十八歲로부터 三十五歲迄の男子를 採用ᄒᆞ고 三箇年을 服役ᄒᆞ엿다가 更に希望者에고 は三箇年再役을 許ᄒᆞ야 ある、是等兵卒の素質로 言ᄒᆞ면 云へば愛國心이라 ᄒᆞᄂᆞᆫ 感念보다ᄒᆞ에 寧ろ金錢慾の爲に服役ᄒᆞᄂᆞᆫ 傾向なれば 從つて下層社會の者가 多ᄒᆞ고 軍隊の秩序と品位도 劣等이요 である、民兵은 服役期間을 短ᄒᆞ고 唯幹部만 常設ᄒᆞ고 兵卒은 毎年二十四回에 召集ᄒᆞ야 演習을 行ᄒᆞᄂᆞᆫ 케ᄒᆞ고 である、其他第二民兵、第二國民兵이有ᄒᆞ야 ありて是等은 平時에 於て軍事敎育을 受ᄒᆞᄂᆞᆫ 不ᄒᆞ고 ては海軍長官の管理에 屬ᄒᆞ엿고、一級으로부터 四級에 至ᄒᆞᄂᆞᆫ 二十六の海軍鎭守府の外、고도 ニューポートの兩地에 海兵團の設이有ᄒᆞ야 ありて、志願傭募兵을 敎育ᄒᆞ며 居る、而して見習中은 一箇月二十圓、水兵에 熟達せる者에ᄂᆞᆫ 五十圓餘の俸給을 支給ᄒᆞ며 と云ふゴート島는 桑港과 其の對岸なるバークレイ岬との間에 橫ᄒᆞᄂᆞᆫ 一小島인故로 ある、桑港灣の約一哩에有ᄒᆞ고 にある天然の要害たる金門口를 扼ᄒᆞ야 外洋에 通ᄒᆞ고、廣袤六十哩에 餘る灣內の波浪穩かなるは、고도 ゴート島及び燈臺の設이有ᄒᆞ며 ある爲である、米國政府ᄂᆞᆫ 將來桑港과 其の對岸バークレイ岬과 地王府オークランド等の沿岸을 聯絡ᄒᆞ야 せしめ亦十哩以上の海上에 大鐵橋을 架ᄒᆞ야 大桑港을 形成ᄒᆞ코져ᄒᆞᄂᆞᆫ 計畫이有ᄒᆞ다ᄒᆞ며 ありと傳へらる、寫眞은 고도 ゴート島の海兵團으로 於て水兵의 訓練ᄒᆞᄂᆞᆫ 光景이有나라 である。

米大陸の移民

半圓球狀を成せる尨大の面積を有する米國の大陸は天惠的の地理を占め或は農業に工業、林業、鑛業、水產業等其の天然的一大富源として國民が無限の恩澤に浴すること到底世界諸國の比肩すべき所でない、由來亞米利加なる名稱は伊太利の探檢家アメリゴ、ベスプチ氏が一四九九年ベネズエラを發見し次でコロンブス氏が第四回の探檢に依り、其後西班牙人は此の名をエル・ドラド卽ち黃金國の義を意味して歐洲人に傳へられしものなりと云ふ、爾來此地は世界の各方面より移住するもの頗る頻繁となり北米のみにて世界人口の約十五分の一に達せんとする趨勢を呈し其の多くは世界の異人種である、各種族中最も多數を占むるは歐羅巴より移住せし子孫にして、西班牙人は多く大陸の南部、佛蘭人は東部、英吉利人は南部に住す、其他獨逸、露國、伊太利、日本、支那、印度人等恐らく世界の人種中移住せざるはなく、此の如き多數異種族移民の殺到は勢ひ人種上の衝突を免れない、茲に於て米國政府は遂に移民局なる一種の機關を設けて嚴重なる移民制度を布き、就中排日問題は屢々米國各地に起れるを以て東洋人の移民に對して特に禁止的制限を加へられ、幾度か日米政府間に交涉問題起れるは世人の皆知る所である、之が爲め布哇より轉ずる移民を米國に送ること不可能となり從つて加州方面に我が移民を增加すること能はざるは遺憾である、近時勞働を目的として印度方面よりの移民多し、寫眞は卽ち印度人にして米國に上陸し停車場に於て今後の目的を協議する所である。







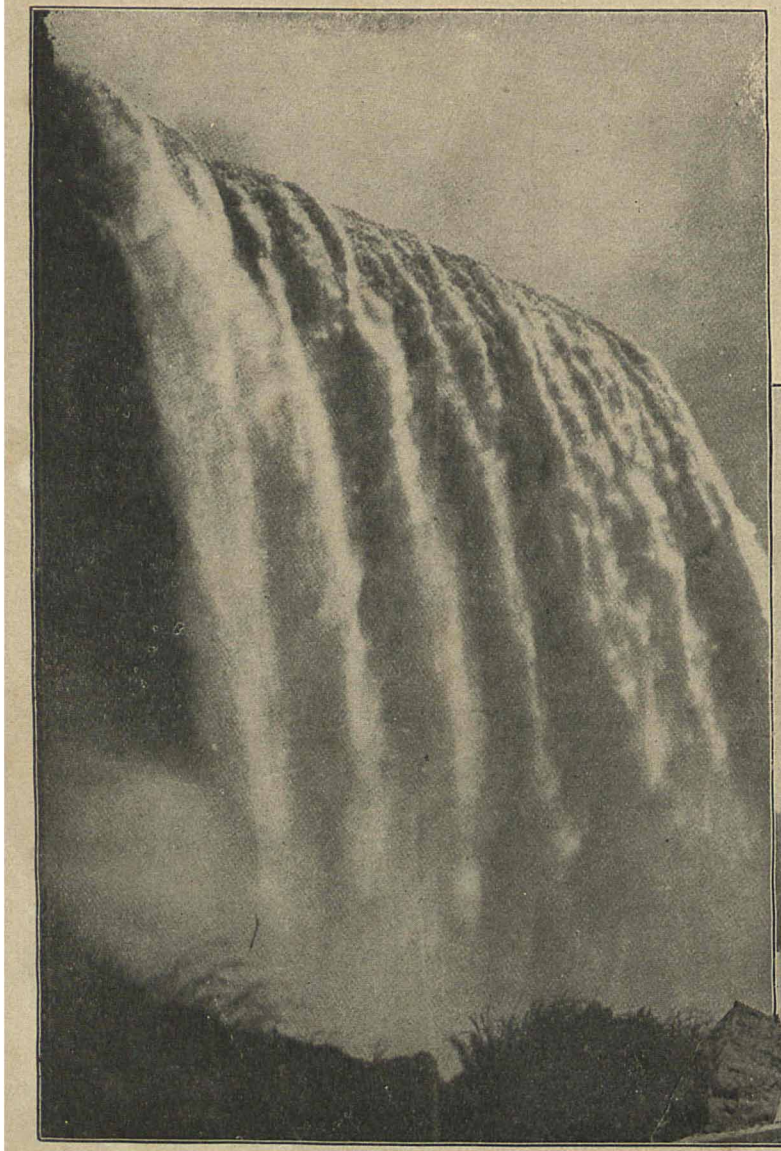
米國の農業

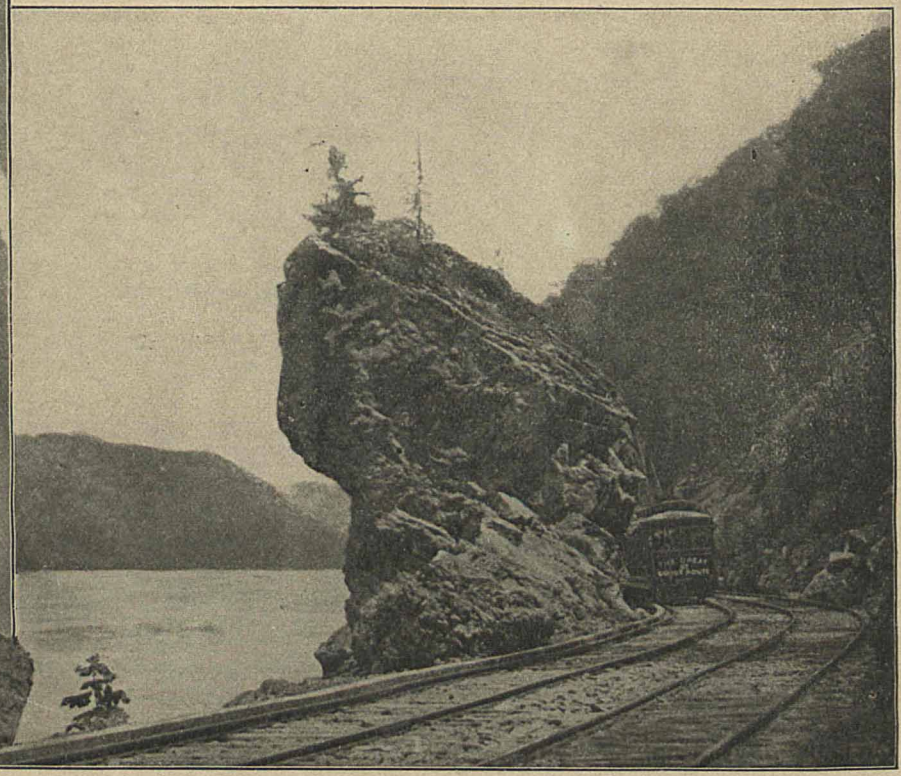
北米合衆國は頗る尨大なる耕地面積を有し概ね土地肥沃從つて其農産額の莫大なることと世界無比にして又本國第一の富源である、最近一ヶ年の農産價額は實に九十億に近からんとする優勢を示すに至つては眞に世界人心を驚倒せしむるのである、重要の農産物として最近の調査に據れば、玉蜀黍は十五億六千萬弗、烟草九億一千萬弗、乾草七億五百萬弗、小麥六億三千萬弗、燕麥四億二千萬弗、馬鈴薯三億一千萬弗、大麥一億七千萬弗にして更に棉花に至りては實に全世界棉花の産額中約六割を出すと云ふ、又牧畜の如きも甚だ盛んにして家畜の産額約五十二億一千萬弗と註せらる、世に富を以て世界を動すものは合衆國ならんと稱せらるゝも決して偶然でない、此の如き莫大なる農産額は世界何れの國も比肩する所でなく米國民が此天惠地福の恩澤に浴するは眞に多幸と云ふべきである、然して國民も亦非常に勤勉努力と奮鬪主義に依り且つ産業上に關する諸機械の發明及び利用に就ては特種の才幹技能を有するを以て、農業的智識も近時益々發達し、廣大なる肥沃の耕地は總て大農組織となり各種の器械を巧に應用して大規模の耕作法を實施して居る、從つて大農的に伴ふ牧畜も亦盛んに行はれ其の肥料の供給と農用の使役に利用する等農業上の進歩發達は其の極に達せり、而も尨大無限の大平野未開地を有する米國の産業が將來尚幾何の富力を出現するや計り知るべからず、寫眞は廣漠たる耕地に於ける大規模の耕農的光景である。

나이아앙라의 ナイアガラの大瀑布

나이아앙라의 ナイアガラの瀑布는 世界第一로 夙히 有名한 것인데 에리 湖의 吐口로부터 온다리오 湖에 至하는 間은 一水路에 依하야 加奈陀 及 合衆國의 境을 流하는데 나이아앙라 인데 의 幅狹き 所는 半哩、廣き 所는 三哩餘에 及하니 此는 卽ち ナイアガラ 河에 して 幅狹き 所는 半哩、廣き 所는 三哩餘에 及び 此河의 ゴート島에 達せんとする 河底의 傾斜甚しく 河는 急湍에 變じ 直進す 도 에 요 ること 半哩中央 ゴート島에 より て 二分され、其の 西方 加奈陀에 屬する ものは 도 에서 요 る 하니 馬蹄瀑라 稱하고 高さ 百七十五呎、幅、千九百呎으로 成る 斷崖에 より 落下하니、一 가 를 를 と 合衆國에 屬する ものを アメリカ 瀑라 云ひ、幅百六十呎의 直線을 成し 高さ 은 は 에 を 를 は 百八十呎에 達하며、其の 凄しき 勢로 以て 落下する 水は 河底를 打つて 跳躍狂奔し 는 에 를 と 或は 岩石에 激하야 泡沫를 飛ばし 日光과 相映じて 種々의 色彩를 呈하며、其の 爆下의 轟然たる 音響과 雄大猛烈な 狀은 實に 壯絶을 極む、其の 水量은 一秒時間七〇 과 노 은 の 를 を 를 一、二五〇噸에 及하고、其の 水力은 實に 四十五萬馬力이라 と 云하고、又 瀑下하는 大 은 노 에 하며 は 地의 振動은 周圍十五哩에 達하고、瀑下의 音響은 靜かな 夜間 順風에 會する 方面은 의 은 에 하고 遠く 五千哩의 地에 於て 聞くことを 得べく、實に 世界無比의 大瀑布이다。 을 을 히 의 라

毎年 觀客의 此地에 來遊하는 者이 數十萬人에 及び 從つて 觀瀑의 機關其他의 設 에 하는 을 하야 備도 完全にして、陸上에는 나이아앙라의 兩岸을 往復하는 電氣鐵道에 より 瀑布 에는 하는 로부터 及び 附近의 絶勝을 觀望し 得べく、河中에는 激流中을 上下する 觀瀑乘合小汽 의 을 함을 을 船 有하야 あり て 四邊의 光景을 眺むることが 出來る、寫眞은 最も 壯絶なる 大瀑下의 偉 에 을 할진요 은 히 觀及び 觀瀑의 客을 運ぶ 電氣鐵道である。 의 을 하는 가有하니라 의 き







米國に於ける印度人

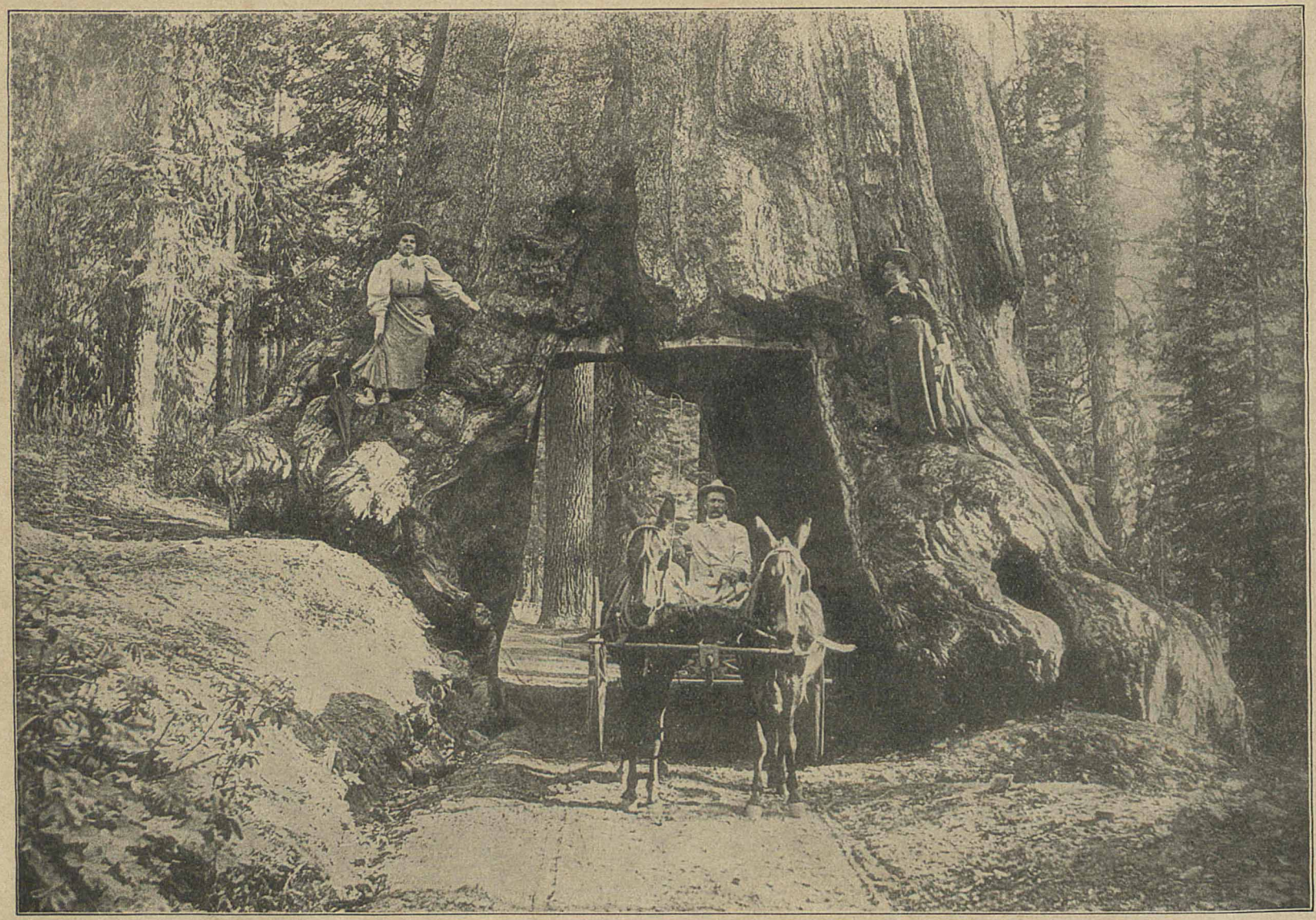
印度の人種は其の種族極めて多く、而して其の原種族はネグリト派及びオスト、ドラヴィダ派の黒種なりしが、屢々黄白兩種族の來襲し相互に混化せるを以て幾多の雜種を生じ八十有餘種に分れ從つて言語を異にするもの數十種に及び甚しき種族の複雜せるものである、古來族制の發達最も顯著なるは印度に於けるヒンヅー種にして其の階級も甚だ嚴格に且つ多數である、然れども印度は種族の錯綜、宗教及び言語の多種多樣にして而かも迷信百出到底一國として統一すること能はず、英國は早くも玆に注視する所あり多大の困難なく又血を見ずして領有することが出來たのである。

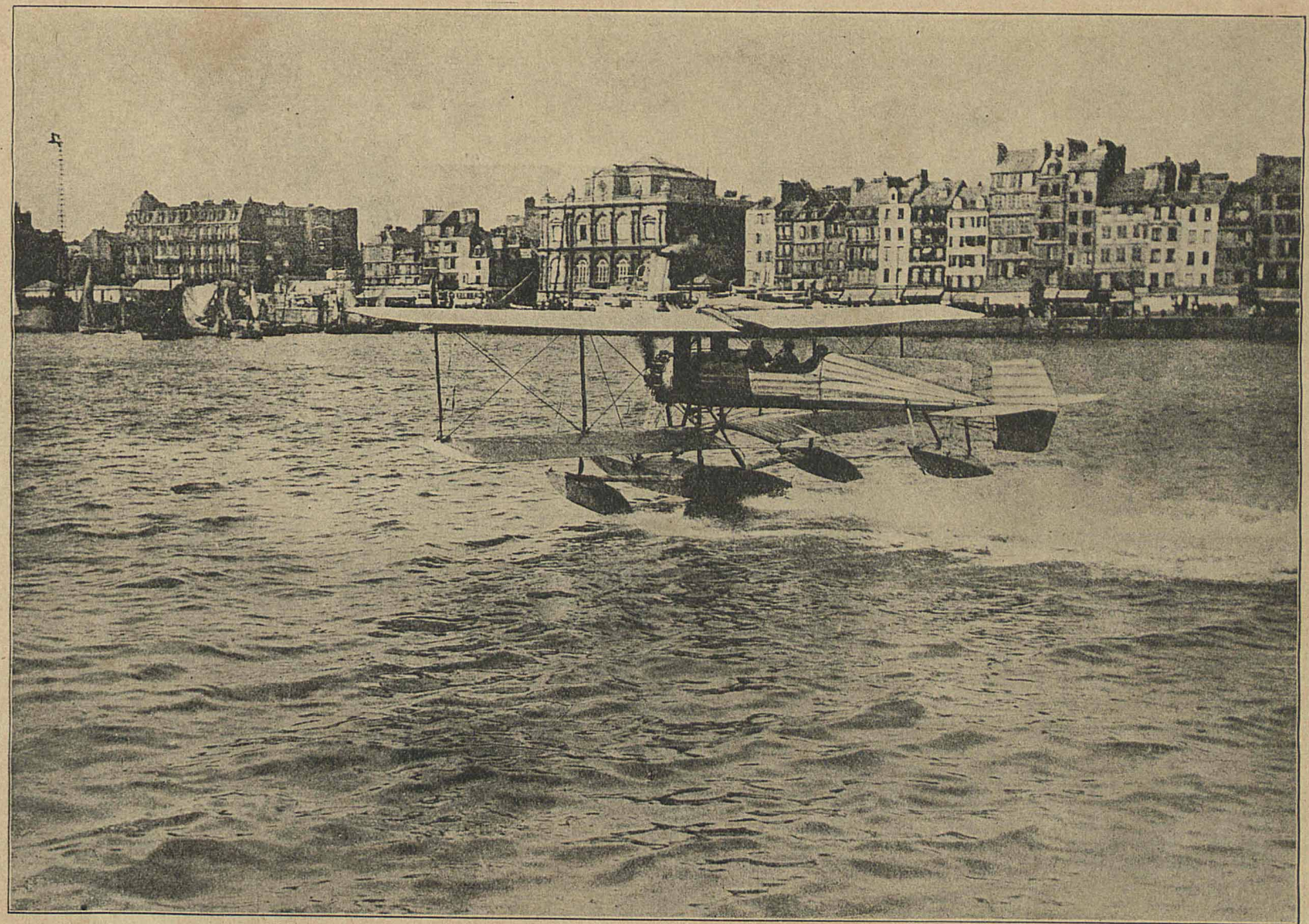
然るに北米大陸に印度人種を見るは甚だ奇異の感に打たるゝも、考古學者の一說に據れば彼等は太古より此大陸に棲息せるものなりと云ふ、彼等は歐洲人種の來襲するに及び遠く僻地に逃れたものであらう、此人種は今尙山中に在る純然たる土人にして專ら動物の狩獵を以て生活して居る。

北米大陸は特有の生物も勘なからず、就中白熊、亞米利加獅子と稱するピューマ、及びプレイリー犬の如き特種の動物がある、土人は白熊の毛皮を衣服、手袋、足袋又は敷物として居る、犬の如きは土中を掘りて住み穴の上に監視者ありて外敵を護ると云ふ、此寫眞は北米大陸に棲む印度人にして其の骨格と云ひ風俗と云ひ印度本國の種族と異なる所なく、銅黑色の皮膚と厚き鼻の幅廣き奇異の容貌を爲して居る。

가리후올니아의 カリフォルニアの巨木

北米大陸의 地勢中西部의 高地는 全く コルヂレラ山系로부터 되엿고、其의 山系는 數條의 山脈로 成る、卽ち 東部에는 록기山脈이라 稱し 西北으로부터 東南에 走れる 最も 高峻なる 大山脈이有を고 其의 中部는 雄大にして 幅約五百里、平均高度五千呎乃至一萬呎에 及び 平行して 西에 카스케드山脈及び 시에네바다山脈은 南北에 連り 西に 西方海岸의 山脈을 成を니라 シエネバダ山脈は 가리후올니아의 카리フォルニアの巨樹と 稱するは 卽ち 시에라비바다山脈の 西斜面に して 桑港の 東方約五十哩なる カルベラス郡より 南方 마리포사郡に 亙る 地方に して、樹木의 種類は 多く 松柏科に 屬し、海拔四千呎より 六千數十呎に 達する 地域에만 のみ 生長す、其 最も 古きは 實に 七千年より 八千年の 老樹 ありと 云ふ、此 附近に 於ける 巨木と 認むる もの 約百樹以上を 數へ 就中 其の 最大なる もの は「礎石州」(キーストーンステート)と 稱せられ 周圍四十五呎、高さ三百二十五呎に 達し、又「森の慈母」(マザー・オヴ・フオーレスト)は 周圍六十一呎、高さ三百十五呎である、而して「森の嚴父」と 稱する ものは 老朽して 倒れたが 周圍實に 百十二呎を 有せりと 傳へらる、今は 其 切り株の 跡に 直徑二十四呎の 小屋を 建てゝ ある、又 마리포사과 マリポサ森の 如きは 四方哩に 亙れる 大森林が 官有區に 屬して 保護されて 居る、寫眞に 示せるは ウィノナと 稱する 一大木の 根幹より 高さ及び 幅共に 約十呎、直徑二十七呎の 隧道を 穿ちて 四頭立の 馬車を 通せしむる 奇觀である、此 附近の 一樹を 倒せば 數千弗に 上るも 政府は 世界の 名勝として 今尙ほ 保存されて 居る。





勃士敦市

勃士敦는마사지우셋도에ᄒᆞ니勃士敦은마사주셋도에臨ᄒᆞ야北米合衆國의東海岸에於ᄒᆞᄂᆞᆫ第二의貿易港으로人口約六十七萬餘를有ᄒᆞᄂᆞᆫ本國第五의都會이니今으ᄅᆞ부터五十四年前에於ᄒᆞ야、베네디이구진의셔도보도루후의管區로ᄒᆞ야建設ᄃᆞᆫ거신ᄃᆡ此에ᄒᆞ야ᄃᆞ다ᄒᆞ니라ᄉᆞᆫ地名ᄋᆞᆫ之에因ᄒᆞ야起ᄒᆞᆫᄆᆞᆫ것이라ᄒᆞ니라。

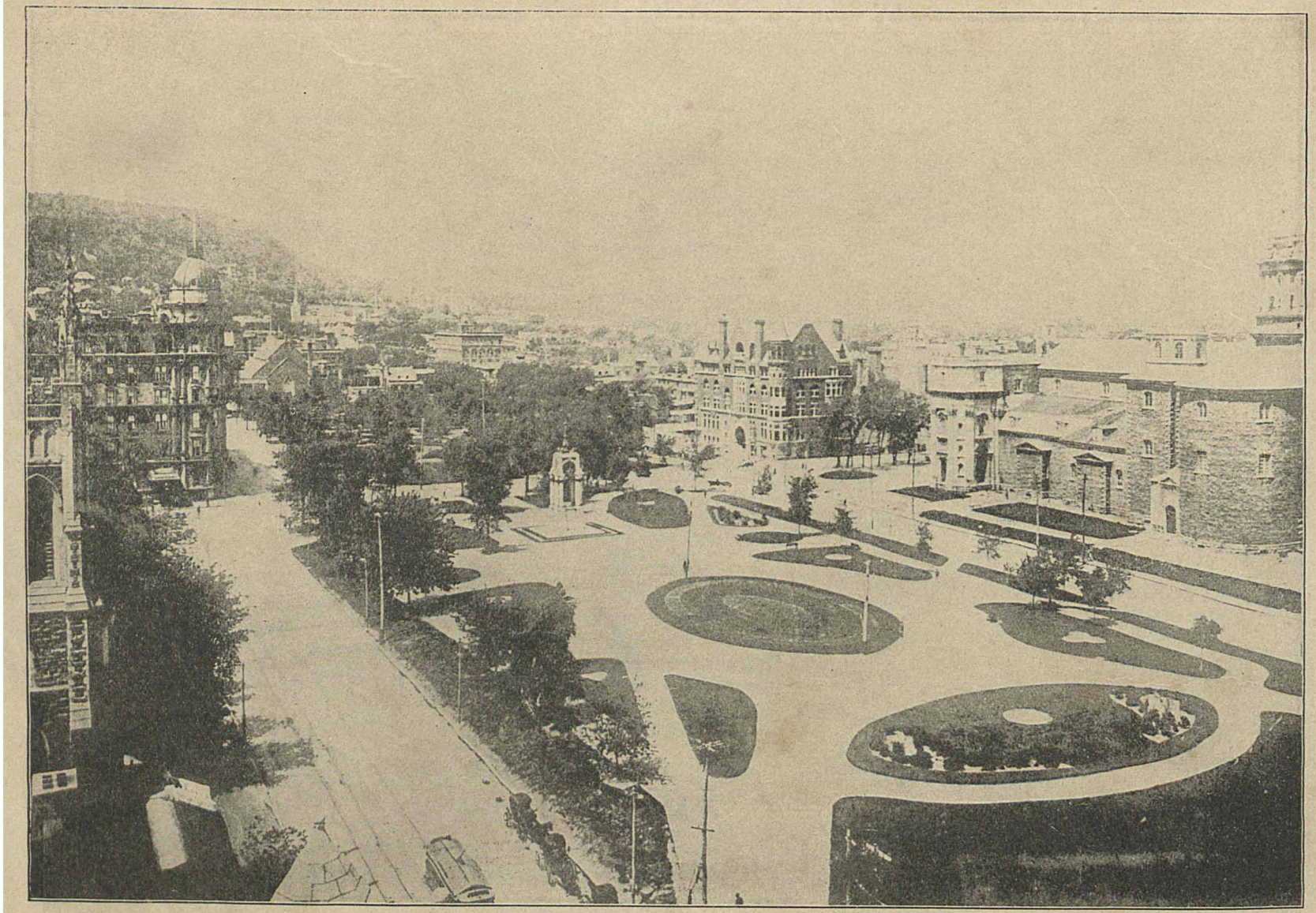
此市街ᄂᆞᆫ以前市令을布ᄒᆞ야十二層以上의高閣建築을禁止ᄒᆞ엿ᄂᆞᆫ고로紐育과桑港、市俄古의如ᄒᆞ所謂米國式의高樓大廈를羅列ᄒᆞᆫ거시나와ᄀᆞᆺ치雖ᄋᆞᆫ、街衢ᄂᆞᆫ整然ᄒᆞᆫ區劃을成ᄒᆞ고敢ᄒᆡ豪奢ᄒᆞᆫ裝飾을不施ᄒᆞ엿고ᄒᆡ古雅風을體現ᄒᆞᄂᆞᆫ가有ᄒᆞ니ᄒᆞ야居ᄒᆞᆫ趣가ᄒᆞᆺ다。

合衆國行政府의宏壯ᄒᆞᆫ建築物及市廳、法衙、敎會、稅關等을始ᄒᆞ야文藝美術의中心地로ᄒᆞ야、하바도ᄒᆞ바ᄃᆞ大學과圖書館及美術館等何ᄅᆞᆫ지雄大壯麗ᄒᆞᆫ建築物이屹立ᄒᆞ엿고ᄒᆡ居ᄒᆞᆫ다。殊히有名ᄒᆞᆫ거슨三一敎會堂(トリニティーチャーチ)인ᄃᆡ十字形의堂樓ᄂᆞᆫ內部의裝飾絢爛을極ᄒᆞ야實로莊嚴ᄒᆞᆫ偉觀과共ᄒᆡ合衆國의建築史上有名ᄒᆞᆫ伽藍이요、圖書館과ᄀᆞᆺ흠은伊太利文藝復興式의建築인ᄃᆡ數百萬餘의書籍을包藏ᄒᆞ엿고ᄒᆞ야其의設備의完全ᄒᆞᆫ흠은合衆國第一이라稱ᄒᆞ야ᄆᆞᆫ하ᄀᆞᆺ치ᄒᆞ며、尙ᄒᆞᆷ此地ᄂᆞᆫ特히商工業盛ᄒᆞᆫ곳이니라ᄒᆞ야諸機械及船舶의製造로始ᄒᆞ야就中靴의製造ᄂᆞᆫ全米中最히主位를占ᄒᆞ야ᄆᆞᆫ며居ᄒᆞᆫ다。其의他肉類、酪乳、麵麭、綿、煙草等의產出最히多ᄒᆞ고、人口의比例로ᄒᆞ면米國中最히富有의都會라稱ᄒᆞ야ᄆᆞᆫ니라ᄒᆞᆫ다。

寫眞은마사주셋도에臨ᄒᆞᆫ市街의一部인ᄃᆡ空低ᄒᆞ야海岸을飛行機의雄飛ᄒᆞᄂᆞᆫ光景을示ᄒᆞᆫ거시라ᄒᆞᆫ다。

몬도리오루 モントリオル市

몬도리오루는 센도로렌스의 웃다과의 モントリオル市はセントローレンス河の支流オッタワ河の本流と會する一大島嶼에 を니 市外附近을 合すれば人口約六十萬餘를 有し、實に加奈陀聯邦第一의 都會이요、港內水深く して大船巨船은 埠頭近く出入碇泊에 最も 便利치아니홀곳아니라 なるのみならず、大西洋航行의 汽船發著所であり、又加奈陀太平洋鐵道의 起點로 なれば加奈陀貿易의 中心을 占め歐洲大陸에 輸出する 貨物의 大集散地로 して世界著名의 貿易市場이요、此地에는 元と寂寥たる土人의 一寒村이러니 の殖民地로 して知られたのは一六四二年以來의 이라 を며 ことである、而して英佛은 加奈陀領有의 爭點으로 なつて兩國의 戰爭이되엿드니 は佛軍은 大に敗れ遂に ケベック陷落의 後一七六〇年以來英領을 成 を엿고 なつたのである、爾來著しく發達 を고 且つ 教育機關도 備 を야 彼의 マッギル大學과 の如き은 世界에 其名高く 商業又頗る 繁盛に して何れも大厦高樓軒을 竝 べ を고 港內는 常に歐洲航路의 汽船이 黑煙朦朧 으로 として灣內를 充し、陸には鐵道各線으로부터 發著する 汽笛과 轟然たる 音響과 相俟つて其의 繁劇豪盛なること自ら當市의 活況을 示して 居る、殊にグランドトロンク鐵道는 セントローレンス河上에 世界第一이라 稱する 管狀橋約一哩四分의 三을 架して本市와 相通ずるが如きは亦實に 偉觀である、然れども此地는 英佛國民性의 間에 甚しき人種的感情의 潛在あるが如し、輸出의 重なるものは木材、牛酪、家畜、穀類、麥粉、羊毛等にして輸入品은 機械、鐵、茶、珈琲、葡萄酒、硝子等이라 である、此寫眞은 港灣에 沿ふたる 市街의 光景이라 である。





구에벡구 ケエベック市

구에벡구는센도로스의에있ㅅ며ケエベックはセントローレンス河の左岸に在る丘陵に位置し、몬도구오루モントリオル로부터鐵路百八十哩를隔ᄒᆞ야居ᄒᆞᆫ고、人口二百萬以上을有ᄒᆞᆫ구에벡구州의首府로ᄒᆞ야ᄂᆞᆫ本히ᄂᆞᆫ러니의ᄒᆞᆫ바ᄂᆞᆫ昔時는加奈陀全土의首府ᄒᆞᆫ러니라、此地는元ᄒᆞ土人의棲息ᄒᆞᆫ一僻村ᄂᆞᆯ이러니、一六〇八年頃에至ᄒᆞ야伊太利人이此地에住ᄒᆞᆫ으로ᄇᆞᆺ터漸ᄎᆞᆨ殖民地로ᄒᆞ야ᄂᆞᆫ케되엿더니ᄒᆞᆫ고로써知ᄒᆞᆯ케居ᄒᆞᆫ엿ᄉᆞᆷ이나、其後佛蘭西가殖民地에注視ᄒᆞᆷ이有ᄒᆞᆫ에屬ᄒᆞᆫ엿ᄉᆞᆷ이라、然ᄒᆞᆫ에英佛이加奈陀領有의爭點으로ᄒᆞ야ᄂᆞᆫ히久ᄒᆞᆫ이ᄂᆞᆫ兩國은干戈를交ᄒᆞᆫ고로ᄒᆞ야ᄂᆞᆫ히遂에英國의領有에歸ᄒᆞᆫ엿ᄉᆞᆷ이라、一七六三年英領에屬ᄒᆞᆫ엿ᄉᆞᆷ이ᄂᆞᆫ구에벡구州全體의佛人은漸次ᄂᆞᆫ히七萬位에過ᄒᆞᆫ엿ᄉᆞᆷ이ᄂᆞᆫ히ᄒᆞᆫ고로ᄒᆞ야

墨西哥市

墨西哥는 合衆國의 南에 隣接せる 狹長의 邦土로 其의 面積은 我國의 約三倍를 有す、此國은 自古로 天惠의 國이라 稱せられ 列國民의 羨望する 所이었つた、然るに 建國以來 既に 八十餘年의 間에 於て 恆常に 國內의 紛擾를 惹起し 或은 列國의 侵略을 受けて 幾度か 戰亂의 巷と 化し、一八六七年에 次ず 獨立した、爾來 北米合衆國의 憲法及び 政治機關을 模倣して 所謂 聯邦共和國이라 稱し、二十七州三地方及び 一聯合區를 包括して 居る、又 各州는 自治의 權을 有し 別에 聯合政府가 有하야 大統領에 依りて 全國의 政治를 行ふのである。

墨西哥市는 本國의 首府にして 아나와구 高原의 中央海拔二千二百六十米突의 地에 位し 人口約五十萬이 有する 大都會にして 中央政府를 置き 大統領의 所在地である、아쓰덱구 民族의 大寺院跡には 十六世紀より의 創建에 係る 加特力敎의 大本山なる 高閣은 半空에 聳え 其他 宮殿、國立博物館、大統領官邸、諸官衙等의 宏大なる 建築物로 始め 市街의 大廈高樓 櫛比し、自動車、電車、馬車의 來往 頻繁을 極め 殆んど 紐育의 繁榮과 倫敦의 雜閙를 調和せる는 偉觀을 呈して 居る、殊に 市街의 壯麗にして 大官或은 富豪의 華美를 競ふ는 狀態는 殆んど 巴里風의 趣가 有하며 尙 各種의 學校、美術館、造幣局等의 設이 有하고 生産物로서는 金銀細工、陶器、器具、葉卷煙草의 製造가 重하고 亦 附近一帶의 百貨集散地를 成하야 居る、寫眞은 延長三哩에 亙れる 大通의 最히 繁華를 極めつゝ ある 市街의 光景을 示したる 것이다。


Panderia
УКАЗА ІЗ МУЗЕМБКО
384

죠안데페구 テウァンテペク美人의 風俗

墨西哥의 地形은 合衆國의 西半部에 相當하니 록기山脈과 슈라네바다가 國內에 入하고, 東西 슈라마드레山脈은 海岸에 沿하야 連하고, 其의 間에 아나와구高原을 作하며, 其의 餘勢는 南에 走하야 陵夷하니 죠안데페구는 太平洋과 太西洋을 聯絡하는 重要한 地를 成하엿고 而하야 죠안데페구는 太平洋과 太西洋을 聯絡하는 重要한 地點을 占하니 卽 東西의 兩洋 相接近하고 幅最히 狹한 地峽을 爲하야 氣候는 概히 熱帶에 屬하엿스나 土地의 高低 及 海岸의 遠近에 依하야 同一하지 아니하며 卽 沿海地의 平低濕潤한 地로 부터 千米突의 高度에 至하는 間은 熱地인 故로 最히 暑氣烈하야 健康에는 不適하나 一千米突 以上 二千米突 內外는 氣候溫和하야 甚히 激變이 有하지 아니하며 죠안데페구 テウァンテペク地方은 熱地에 屬하야 熱帶植物 生育하는 故로 綿、藍、果實、珈琲、煙草、藥用植物等을 産하니라

죠안데페구 テウァンテペク地方의 家屋은 又는 竹을 用하고 或은 椰樹葉을 以하야 葺하고 殆히 南洋土人의 家屋과 大差가 無하며 殊히 熱帶地인 故로 彼等은 股引을 穿하고 外上衣를 著하지 아니하며 兒童의 如한 者는 全히 裸體로 居하며, 住民의 多數는 亞米利加印度人의 種族으로 其 風俗의 奇異한 點으로 於하야 最히 其의 名을 知케 하여 居하며, 此地의 女子는 體軀는 大하고 矮小한 方이나 美貌하야 性質도 慧敏하고 且 智才에 富하므로 以하야 女尊男卑의 風이 有하고, 女子의 服裝은 上衣는 極히 短하고 裙은 細하야 刺繡或은 レース의 長裾는 下部에 於하야 大히 廣하게 하여 居하며, 又 富豪의 女子는 金貨를 頸飾으로 하며, 此寫眞은 卽 美人의 服裝이니라

伯剌西爾の珈琲採收

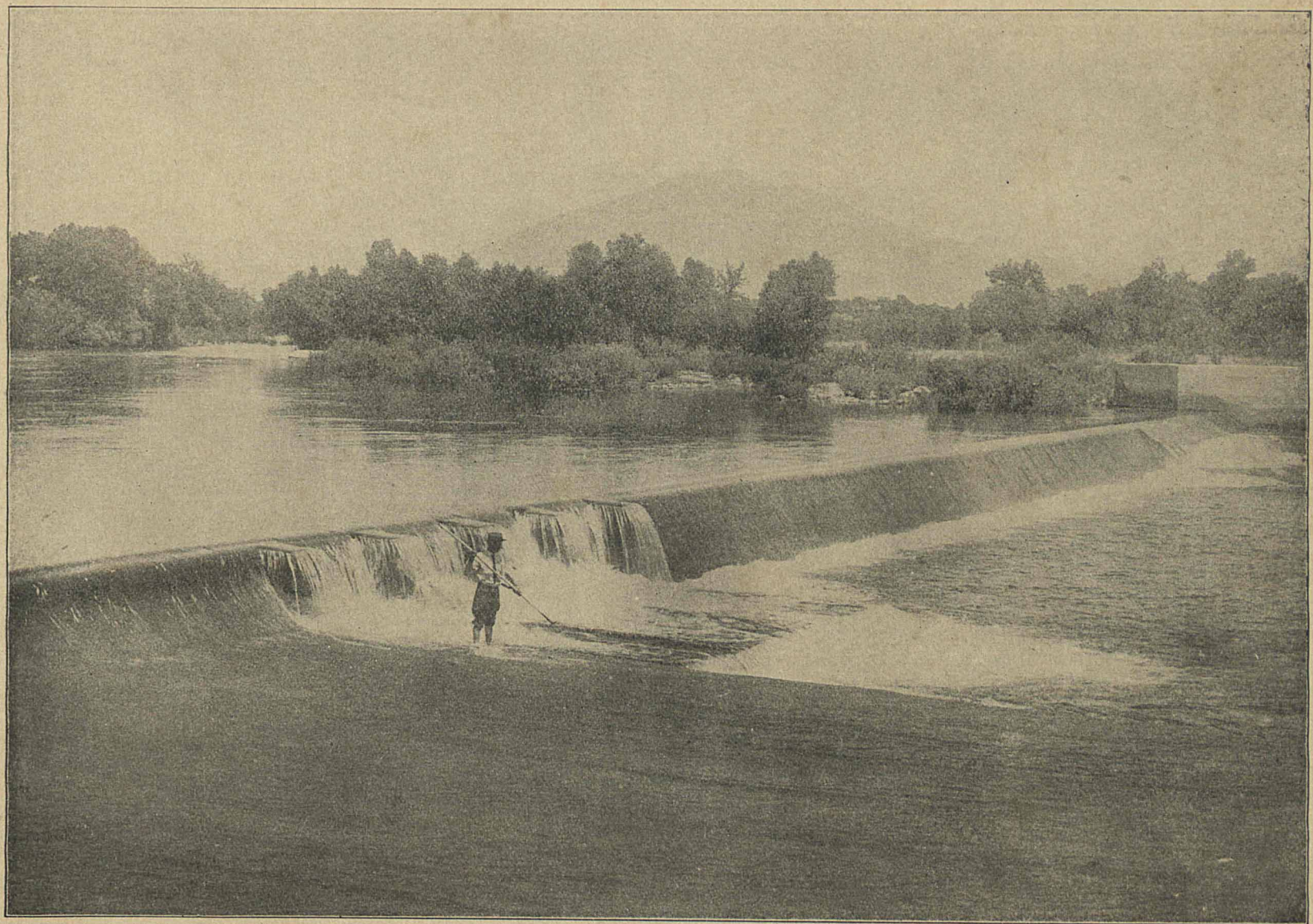
南亞米利加の諸邦は大平原ありて概ね土地肥沃なるも人口稀薄にして十分の開拓を見ること能はざりしが、歐洲人が採檢して以來陸續移住するもの多くなるに漸次產業開發の趨勢を呈したのである、が元來南亞米利加が北米に反して甚だ不振なるは他の洲に比して人文甚だ遲々たるのみならず、港灣半島及び島嶼少くとも北米に比すれば海岸の狀態甚だ不良にして、大平野あるも大森林鬱蒼として稀薄の人口は之を開拓し且つ利用すること甚だ困難なるなるべし、殊に其の芳香の佳良なること他產に卓越せるを以て世界の市場を壓倒せんとする趨勢を示して居る、寫眞は卽ち農夫がブラジルの珈琲採收をなしつゝある狀況である。

南米の珈琲は全世界の總產額中伯剌亞西爾產は殆んど其の產額の九割を占むると云ふ、故に如何に其の栽培の盛大なるかを推知するに足るべし、

南亞米利加の諸邦は大平原にありて概ね土地肥沃なるも人口稀薄にして十分の開拓を見ること能はざりしが、歐洲人が採檢して以來陸續移住するもの多くなるに漸次產業開發の趨勢を呈したのである、が元來南亞米利加が北米に反して甚だ不振なるは他の洲に比して人文甚だ遲々たるのみならず、港灣半島及び島嶼少くとも北米に比すれば海岸の狀態甚だ不良にして、大平野あるも大森林鬱蒼として稀薄の人口は之を開拓し且つ利用すること甚だ困難なるなるべし、殊に其の芳香の佳良なること他產に卓越せるを以て世界の市場を壓倒せんとする趨勢を示して居る、寫眞は卽ち農夫がブラジルの珈琲採收をなしつゝある狀況である。

南米の珈琲は全世界の總產額中伯剌亞西爾產は殆んど其の產額の九割を占むると云ふ、故に如何に其の栽培の盛大なるかを推知するに足るべし、





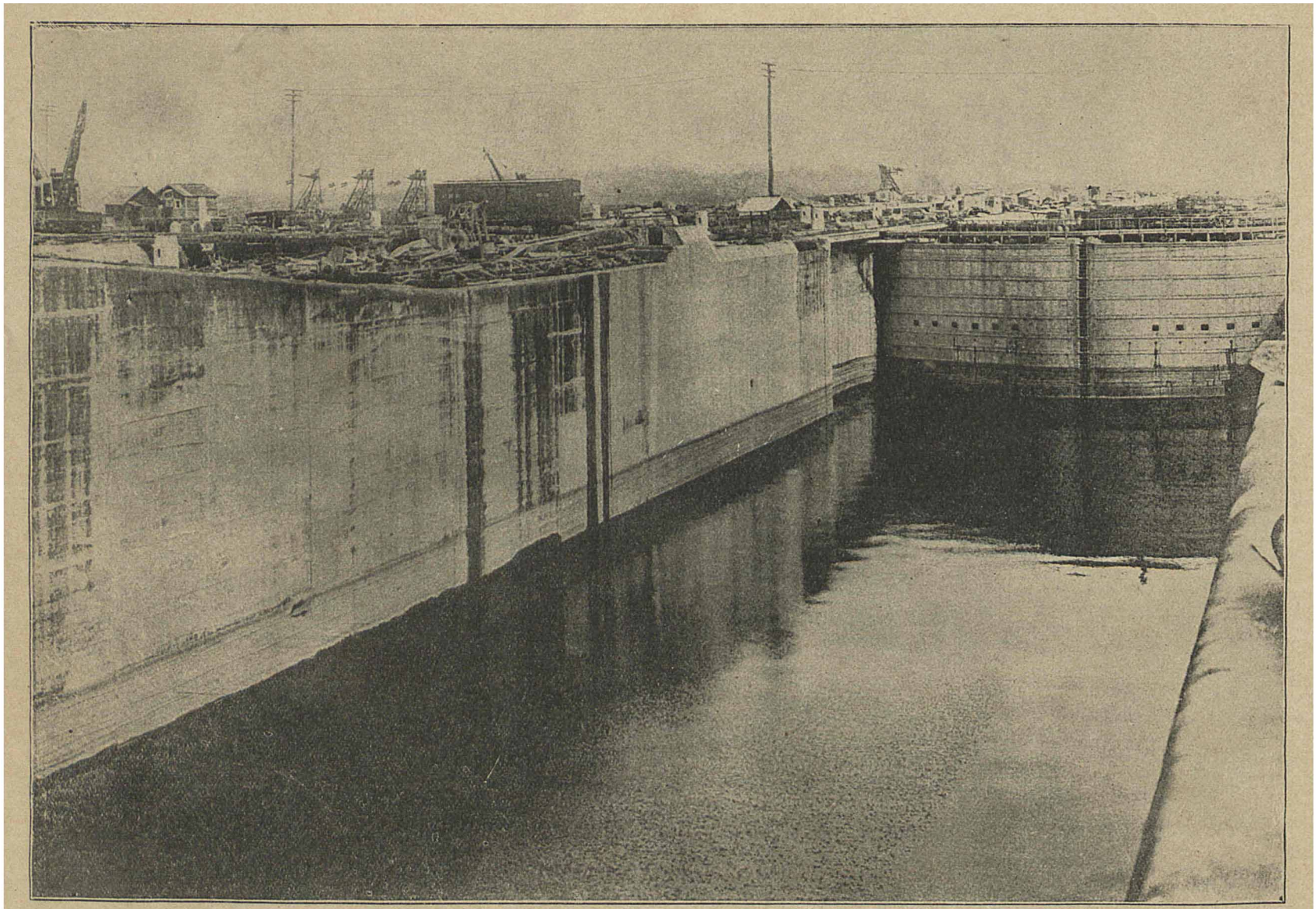
祕露(ペルー)荒蕪地灌漑の光景

南亞米利加の西方に在る祕露共和國は面積我が國の二倍半を有する大國である、此國の土人インカは夙にコカ、規那等を栽培し又金銀を採取して居たのであるが、其後西班牙人の移住せし以來國勢屢々變轉し遂に獨立國となつて、政體は立憲共和制にして行政權は大統領に屬し立法權は元老院及び代議院の兩院に委す、此國は我が條約國の一である、本國の首府たるリマは商業の中心にして人口約十萬を有し殊にリマの大學は米國の最も古き建設である、地勢は土地の高低に依り沿海地、アンデス高原、アンデス山脈に分れて居り從つて氣候、風土、產物も自然地域により相異あるが、沿海の地方は一にコスタと云ひ、卽ち海岸より起りてアンデス山脈の西方に在る、一帶の斜面は熱地にして雨量少き荒蕪地或は砂漠地があり河川の灌漑利便を得て開拓するもの少なからず、故に祕露政府は此の灌漑事業に投資する外國人に對しては特に其の土地所有權を與へ主として植民政策竝に國土開發の奬勵に努めて居る、本國の沿海にして土地肥沃の地方には珈琲、綿、甘蔗の栽培盛んにして所謂三大產物と稱せられ、其他山間部には有名なる硝石を始め金、銀、銅、石炭を產し、又海岸に產する鳥糞は本國の一大富源である、寫眞は沿海の荒蕪地にしてアンデスより流れ來る河川を利用して灌漑事業を行ひつゝある光景である、小額の資本を以て廣大の地面を所有するには最初に灌漑利權の許與を受けて後ち著手するを得策とし又灌漑地は永久の所有に歸すと云ふ。

巴奈馬運河

파나마 共和國은 亞米利加의 稍々南部에 位하니 兩洲의 最히 緊鍵된 地點에 있어로, 面積三萬千五百方哩에 不過ᄒᆞᆫ 最小國인ᄃᆡ, 南北은 太平洋及び大西洋에 瀕하고 海岸은 屈曲하야로, 이 港灣多く 就中大ᄒᆞᆫ者는 パナマ灣이니라 である。

巴奈馬運河는 世界의 人目을 驚케ᄒᆞ고 世界의 最難事業이라 目せられたのであつた、一八七九年佛人レセップが萬國大洋運河會社를 設하고, 佛人으로부터 資本을 求하야 翌年二月工事를 起하고 爾來專心進捗을 計하야 九箇年에 하야 漸く其の五分의 二를 了ᄒᆞᆫ 데 셔ᄉᆞ루가 지나지 못하야 會社가 破産의 運命에 陷하야 其後佛蘭西パナマ運河會社、米國のニカラグヮ運河會社等續いて勃興せしも悉く失敗に歸し、更に一九〇三年北米合衆國이 四千萬弗로써 半成의 파나마 運河를 買收하고, 爾來極東에 對하야 優勝의 立脚地點를 占ᄒᆞᆫ 데 同時에 太平洋政策의 基礎를 鞏固케 하기로 하야 全力을 傾注하야 運河의 開鑿에 努하야, 十二箇年의 間工夫四萬人을 使役하고 工費實에 三億七千五百萬弗을 投하야 거우 漸く此의 大事業을 完成ᄒᆞ니 此가 開通을 記念하기 爲하야, 前年桑港에 世界大博覽會를 開催ᄒᆞ엿나니라 파나마 地峽中에 最短距離는 파나마, 콜론 間三十六哩에 して 運河의 全長은 五十哩半、其의 水面과 同一平準なるは十五哩에 して 他는 海拔八十五呎의 高所로써 湖水를 作하야 所謂閘門式(ロックキャナル)이라ᄒᆞ고 船舶을 通過케 하엿나니라 である、寫眞은 大西洋에 面ᄒᆞᆫ 나단 ガタン閘門에 水를 湛ᄒᆞᆫ 光景을 示ᄒᆞᆫ 거이요 ものである、今や此大運河의 開通하ᄆᆡ 에 至하야 世界交通上에 新生面을 啓ᄂᆞᆫ 데 同時에 我が橫濱을 始하야 神戶其他의 交通貿易에 一大利便을 得ᄒᆞᆫ 나니라 のである。



南米의 土人

南米의 住民은 最近의 統計에 依ᄒᆞ면 人口ㅣ 每一方哩의 密度가 僅히 數人의 割合에 不過ᄒᆞ니, 尨大無限의 大陸되에 反ᄒᆞ야 其人口의 稀薄ᄒᆞᆫ 은 實에 豫想의 外이며, 本大陸은 十獨立國、三殖民地及一領土로 成ᄒᆞ엿ᄉᆞ며 而ᄒᆞᆫ고로 獨立國은 卽ち哥倫比亞(コロンビア)、에구아또루(エクアドル)、秘露(ペルー)、보구비다(ボリビア)、智利(チリー)、亞爾然丁(アルヘンチナ)、파라구아이(パラグアイ)、우루구아이(ウルグアイ)、伯剌西爾(ブラジル)、베네쑤라라(ベネズエラ)를 云ᄒᆞ니 三殖民地는 ᄀᆞᆺ이야 나의 英佛三國의 分領地로ᄒᆞᆫ 一領土는 卽ち후란또(フランド)、또루지아(ギアナ)의 英佛三國의 分領地로ᄒᆞ야 一領土는 卽ち후란또루지아(フランド)及び南ジョルヂア(ジョルヂア)의 群島의 英國領地가有ᄒᆞ고 住民의 種族은 歐洲人約三分의 一、안지(アンヂアン)人六分의 一、黑人七分의 一로ᄒᆞ야 其他는 雜種이요 而ᄒᆞ야 本洲는 西班牙人及び葡萄牙人의 植民에 依ᄒᆞ야 興ᄒᆞᆫ 바이라 現今에 皆悉ᄒᆞ 獨立을成ᄒᆞ니라。

南米는 太古에 如何ᄒᆞᆫ 人種의 棲息ᄒᆞ야 居ᄒᆞᆫ 지 學者間의 研究問題라ᄒᆞ야 居ᄒᆞᆫ 바이나 別로 歷史的古記의 存ᄒᆞᆫ 바가 無ᄒᆞ며 然ᄒᆞ나 南米의 原住民이라 稱ᄒᆞᆯ 만ᄒᆞᆫ 者ᄂᆞᆫ 印甸人(インヂアン)等과 近似ᄒᆞᆫ 바가 有ᄒᆞ고 今에 他人種과의 混血이 多ᄒᆞᆫ 바 內地山間地方에는 尙純粹ᄒᆞᆫ 原人種의 血統을 傳ᄒᆞ고 其의 風俗習慣等도 略ᄒᆞ 類似ᄒᆞ야 居ᄒᆞ며, 此 人種中의 有名ᄒᆞᆫ 者로ᄂᆞᆫ 인까(インカ)帝國을 建設ᄒᆞ엿ᄉᆞ나 西班牙人의 侵入ᄒᆞᆫ 바되ᄆᆞᆫ 안데스(アンデス)高原의 廣大ᄒᆞᆫ 地方에 所謂 인까帝國을 建設ᄒᆞ엿ᄉᆞ나 西班牙人의 侵入ᄒᆞᆫ 바되ᄆᆞᆫ 當時ᄂᆞᆫ 旣에 아즈떼까(アズテカ)의 優ᄒᆞᆫ 文明을 有ᄒᆞ엿ᄉᆞ며 寫眞은 伯剌西爾의 우루데자네이로(ウルデジャネイロ)地方에 住ᄒᆞᆫ 바 인디(インヂ)는 珈琲栽培에 從事ᄒᆞ야 居ᄒᆞᆫ 者이라

印度及び南洋諸島

印度半島は亞細亞三大半島の一にして通常印度帝國と稱す、面積は百七十六萬六千百三十方哩を有し我國の約十倍餘を有す、印度國名の起れる由因は詳かでないが外國人の稱呼に起れりと云ふ、漢人又は我が國人は天竺と稱して居た、此國は世界最舊國の一にして今を去る四千年前アム、シル兩河の間よりアリヤ人種起りて東南に移り恆河流域に一小國を形成してより人民に四種の階級を生じ卽ち婆羅門、殺帝利、吠舍、首陀の四姓と云ふ、印度には昔より傳來せる吠陀と名くる經典ありて祭祀敎法を掌れる婆羅門は此を研究して婆羅門を創め遂に摩奴の法典を作り他姓の反抗する者あれば嚴刑を加へて壓制を極めたが、大聖釋迦弁尼の出づるに及び大勢は一變し釋迦弁尼の布敎すること前後四十年遂に他種族は爭ふて佛敎に歸依するに至つた其後印度は盛衰興亡幾多の變遷を經て遂に英國の支配下に屬したのである。

中央政府をカルカッタに置き其の長官を印度總督と稱し、總督府會議員は勅選議員六名より成り、府は內務、外務、財務、商工務、農務、軍務、陸軍經理、工務、司法の九部に分れ、主法事務は員外評議員十六名も亦評議員會に列席して議決に參與す、地方政治は英國直轄部及び藩部の二に分れ、直轄部の各省州知事は英國皇帝の勅任せらるゝものにして、藩部は各藩王の所管に屬し大藩には特に駐在理事官がありて之を補佐する。

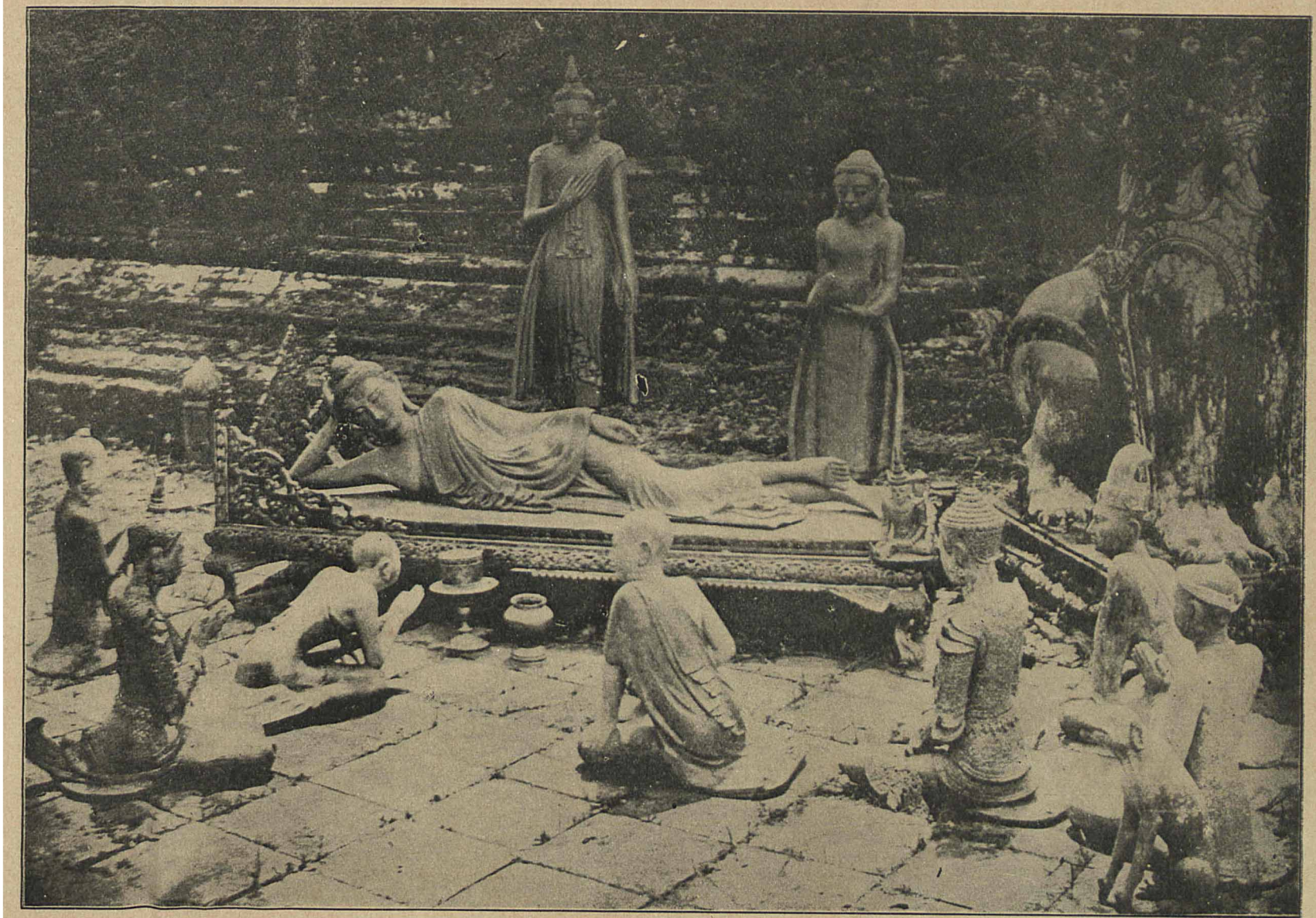
印度の氣候は土地廣大にして起伏の變化多く從つて溫度も一樣でない、ヒマラヤ山地を除けば熱帶若くは亞熱地である、又乾熱季、溫熱季、冷涼季の三期節ありて乾熱季は每年三月に始りて六月に終り、溫熱期は六月より九月に至る高溫にして雨量多く、冷涼季は秋分後より翌春に至る間にして氣溫高からず印度に於ける最好の季節である、印度の最近人口は約三億萬と註せられ、其の種族極めて多く、原種族はネグリト派及びオーストラリヤ派の黑種なりしが其の後黃白人種の侵入以來混血の雜種頗る多數となり細別すれば八十餘種に及び從つて言語の如きも多種多樣である、其風俗の如き頗る奇異なる點あり、卽ち五六歲にて結婚約束し十歲乃至十二歲で子を有し二十五歲にして祖母となるものあり、又上流社會の婦人は家の奥に幽居し所謂奥樣にて家を出でず又他人の男には決して逢はない、偶々外出の必要あれば頭より顔にかけてショールの如きもので覆ふを常とする。

印度は廣大なる平野と肥沃の土壤多く、熱帶地方なれば各種の植物は發育良好にして實に天與の農產國である、古來印度は農を以て產業の大本となせるを以て今尙人口の七割は農民である、又ヒマラヤ山地方には椰子樹、檳榔樹、簗、竹、麻栗サル等の良材到る所に繁茂して居る、農產の重なるものは米、小麥、棉花、黃麻、茶、珈琲、阿片、藍を始め各種の產物枚擧に遑あらず、從つて近時外國貿易も隆盛となり最近の貿易年額約三十億に上ると云ふ、要するに印度は無限の寶庫にして尙未開の地多く前途甚だ有望なれば近時漸く世界に重要視せらるゝと同時に益々植民政策の爭點となつた。

가루가스다 カルカツタ(印度の首府)

가루가스다는 (カルカツタ)의 恆河(ガンガ)의 本流 혹은 구리(フーグリ)河口의 上流約八十哩의 東岸에 位한 河港으로 써 全印度의 首府且는 印度第一의 貿易港이라 稱하나니 人口約百二十三萬餘가 하며 를 有한다、此地는 一六九〇年英人이 年額一千二百留比(ルピー)의 借地를 納하고 市街를 建設한 以來二百餘年間을 經하야 今日의 隆盛을 見하기에 至하였다。

가루가스다는 (カルカツタ)강가 河의 舟楫에 便利가 有한 관계로 은 벵갈(ベンガル)灣에 臨하고 太洋航行汽船의 連絡點으로 써 又世界의 寶庫라 稱하여 도 可하며 印度大平原의 農産物이 皆悉히 各處에 集하며 殊히 鐵道는 內地到る所에 四通八達하고 水陸共에 交通의 要衝點에 在한 관계로 써 百貨의 一集散地로 써 所謂印度의 倫敦이라 稱하여 도 可하며 殊히 政治文藝의 中心을 占하며 印度總督府의 所在地인 관계로 써 勿論印度五大學의 一大學、博物館、植物園을 始하야 官營工廠及造船所、諸官衙、商店、會社의 宏大한 建築物이 有하고 市街는 最히 壯麗하야 繁華雜鬧를 極하여 居한다、輸出貿易의 重要品은 黃麻、阿片、皮革、茶、棉花、珈琲、藍等이요、輸入品은 金屬、砂糖、木綿織物、機械、鐵道用品、油類(石油)等이 有하고、市街의 北方河畔에 沿하야 幾多의 埠頭가 有하야 磯岸(ストランド)을 有한 관계로 써 棧橋를 設하고 太平洋을 航行하는 大船巨舶의 繫留에 便하야 其의 設備의 完全한 것과 歐洲의 良港에 遜色없이 하지 마 되어 라 其他俱樂部、劇場、大旅館等이 皆悉히 歐羅巴風의 新建物이 有하야 市街의 美觀을 添하여 라 居한다、寫眞은 가루가스다 市街의 中心으로 써 最히 繁華를 極한 場所이다。



佛教의 靈地 가야의 涅槃

印度는 世界最舊國의 一로서 既에 四千年以來의 古き歴史를 有して居る、此國은 異種族의 多數된 이라 稱せられ從つて言語、風俗의 多數多樣なるは勿論、宗教의 如き 頗る複雑을 極め 殆んど世界의 宗教를 網羅し迷信은 最も 甚だしきものである。

그리셔 印度에는 브리 而して印度には昔より傳來せる吠陀と云へる經典ありて祭祀教法を掌れる婆羅門教は益々勢力を得ると共に他姓の反抗するものは悉く抑壓して專横を極めたのであるが、大聖釋迦牟尼의 出づるに及びて大勢は一變したのである、

釋迦牟尼名을 喬答摩悉達多라 云ひ、刹帝利姓釋迦種なるを以て釋迦牟尼と號し西紀前五五八年中印度北嶋薩羅國迦比羅坂에서 生れ、年少壯にして現在의 無常을 厭ひ 帝王의 富貴와 妻子의 恩愛とを捨てゝ宮城을 遁れ 山間溪谷에 幽居し 六年의 星霜을 經て 艱難苦學의 後ち世に出でゝ始めて佛教를 說き吠陀를 排斥し 又婆羅門에 反抗して一切衆生을 平等으로 認め 能く迷想을 拂ひて名利情愛의 繋縛을 脫離せば何人も 未來는 等しく無限의 幸福을 享くべしと主張した、爾來他種族의 佛教에 爭ふて歸依함에 至れり、而して釋迦牟尼는 布教すること 前後四十年にして紀元前四七八年拘尸那揭羅의 地에 入滅された のである。

가야는 빠트나市의 南方鐵路約七十哩의 地에 在り、人口約七萬을 有し 寺院의 舊跡多く 佛教史上最も 著名의 地である、寫眞은 가야의 涅槃지라 稱し 所謂釋迦의 靈像을 示せるものである。

印度ブタガヤ(부다가야)의 大本山

釋尊入滅後의 印度에 於ける 佛敎徒는 漸次衰退して(를야) 現今에는 甚だ(히) 少數と(로되고)なり、順禮者の如きは(와 같은것은) 緬甸(비마)、錫蘭(세일론)、暹羅(샴)、ネパール及び本邦等에서(에서) 來るもの(는것이) 僅々(히) 百餘名を(을) 數ふるに(함에) 足らず(지못하다)と(를) 云ふ(더라)。

印度敎徒の狀態は(는) 實に(로) 奇異の感に(의에) 堪へぬ(치못하는)ものがある(것이있스니)、或は(은) 河水に(에) 浴して(를야) 自己の罪惡を(의) 消し(를) 或は(고) 父母の冥福を(의) 祈り(을고)、死者の骨灰を(를) 河に(에) 投ずる(함)を(이) 例と(로)する(고)、順禮者の如きは(와 같은것은) 早朝河に(에) 入りて(를야) 身體を(를) 洗ひたる(씻은) 後祈禱し(를고) 或は(은) 死者を(를) 水流に(에) 洗ひ(씻) 後ち火葬に(에) 附し(를야) 全く(히) 灰化せし(된) ものを(것을) 更に(히) 河中に(에) 投じて(를야) 大往生を(을) 遂げたる(씻은) ものとする(것이라고)、故に死者及び將に死せんとする(코져하는) 者を(를) 他所より(에서) 運び來る(는) 者甚だ(히) 多く(를야)、河岸の石段到る(에) 所に(는) 火葬を(을) 行ふ(는) 光景は(은) 眞に(히) 焦熱地獄の如き(과 같은) 狀態を(를) 感せしむる(케하는)のである(것이더라)。

此寫眞に(에) 揭げたるは(씻은) 有名なブタガヤ(부다가야)の大本山にして(의) 最も(인데) 高塔である(미라)、塔の基脚は(의) 長さ(은) 各四十八呎(이오)、高さ(가) 百七十呎(이)、其の四隅に(에) 小塔あり(아마라가 있)、全部甎瓦より(로) 成る(하니)、第六世紀の始め(에) 婆羅門(사마라가)、アマラが此大塔を(을) 建築せる(한 것인데)ものにして(를)、內部には(는) 如來成道の像を(의) 安置してある(하였고)、樹下の石像は(의) 阿育王の(은) 建設に(의) 係り(에) 印度最古の彫刻物なり(이라)と(를) 云ふ(하고)、石佛其の他の古物は(의) 發掘の上政府が(은) 之を(이를) 監督し(하고)、大塔は(은) 敎徒の所管である(이라)、而して(그리하여) 印度及び錫蘭の佛敎徒は(는) 之を(이를) 同敎徒の手に(의에서) 恢復せんとして(코져하야) 屢々法廷に(에) 爭ふも(하였스나) 未だ(아즉) 其の目的を(의) 達しない(치못하고)、往昔繁昌せし(한) ブタガヤ(부다가야)の都會も(의) 今は(도) 數十戶の寂寞たる(은) 寒村と(으로) なつた(되었더라)。

파 오 손 면
[p.185~186]





얍섬 ヤップ島各酋長의 妻

얍섬는 가로린 의 인디 이라 오세아니아의
ヤップ島はカロリン諸島の一にして獨逸領である、オセアニア洲の各群島
는 에잇스나 함으로써 도
は南北兩回歸線內にあれども滿洲たる太平洋に散點するを以て溫度も割合に
치안코 히 이라 은 인디
高からず概ね海洋的氣候である、本群島の生物は亞細亞的にして濠太利の生
사를것은 히 히하더라
物に類するものは甚た少ない。

의 을하는 히 의 이잇스니
群島の習慣及び風俗等に就ては種々なる奇異の事情がある、婦人が出産の時
에 無論産婆 又혼것은업고 을 여도 고 치안코
に無論産婆などはなく腹痛を始まるも決して橫臥せず、愈々苦痛を覺ゆれば
의 을 하고 은 의 에 함을 사
椰子の實を當て靜かに分娩を待ち赤兒は椰子の實の中に生み落すを例と
로하더라 를 하 량이업고
して居る、又人の死せし時は非常の哀情を現はして悲哀慟哭限りなく、死體
는 에 치안코 의 에 을하 하 함을
は棺に納めず家の內に直立せしめ家族親戚等集り白布で卷き付けるを死
에게 를하니 그리셔 을하고 으로
者に盡す禮となす、而して葬儀は回教の儀式で土葬とする、又結婚に就
하야는 가잇스니 이 의 를 납하야 로하고져하는
ては面白き一例がある、酋長が自己の好める處女を容れて妻にせんとする時
는 로써 히 의 을 의 에 케하니
は從者をして穗先に黃金の著きたる槍を其の處女の門前に立てさせ、此槍の
立ちたる家の 처 이잇더라도
處女は如何なる事情ありとも酋長の命に從はねばならぬのである、
에 에 서 로서 체로
此寫眞に示せるは卽ちヤップ島に於ける各酋長の妻にして裸體の儘腰
에 로 을하고 을하는
部に草で編めるものを纏ひ、頭髮は卷きて草の類を飾り附け一種奇異の風
이 더라
俗をなして居る、本島も日獨戰に依りてトラック島及びマーシヤル諸島附近
과 히 로된것이더라
と共に本邦の占領地となつたのである。

도랏구 トラック島土人의 舞裝

도랏구는 가로린의 에 속하여 居る、本諸島는 西紀一五二六年 トラック島はカロリン諸島の一部に屬して居る、本諸島は西紀一五二六年

葡萄牙人에 依하야 發見된 세계이라 稱하는 것이더니 後ち一六八 葡萄牙人に依りて發見せられセケイラと稱して居たのであるが、後ち一六八

六年 이스빠니아 으로되야 가로로의 에의하야가로린이라 칭함 イスパニア領となつて國王カロロ二世の名によりてカロリンと名づけた

것이라 하며 獨逸이야쁘를 占領코저 謀하는 處ありものである、然るに一八八六年に至り 獨逸がヤップを占領せんと謀る處あり

도 紛爭을 起하고、 一八九八年西米戰爭의 結果로 구아무는 北米合衆國에 て紛爭を起し、一八九八年西米戰爭の結果としてグアム島は北米合衆國に

割讓하고 其殘部는 一八九九年을 以하야 마리아가 群島、 가로린 諸島及 베레우 割讓し其殘部は一八九九年を以てマリアナ群島、カロリン諸島及びペレウ

와 島と共に一千六百八十一萬馬克의 代價로써 獨逸에 賣却한 것이라、 가로린 諸島는 마리아나 諸島의 南方에 散在하야 北緯十度より赤道間에 於て、東

로 西に長く八百五十里에 並列한 群島인데 五百二十個의 島嶼로 成하며 面積 約三百七十二方哩、住民約四萬五千을 數함에 치못하고、土人은 一般에 身長高く最も强壯なる體格을 有하야 居る、氣候는 其位置赤道에 近하엿스나 雖も海風의 調和에 由하야 四時爽快함으로 하야 健康에 適하고 土地亦肥沃하야 椰子樹、鳳梨、バナナ等의 產出도 多いのである。

나나 의 도 ㅎ더ㅎ

本島의 土人은 槪히 黑色人種에 屬하며 或은 肌膚의 黑褐色이오 或은 淡褐色도 있고 て男女共に裸體を常とす、此に揭げたる寫眞はトラック島の土人にして容貌

가 례라

殆んど亞細亞人種에 類하고、腰部에 裳와 如き것을 纏하고 耳에서 連鎖를 胸部에 垂하야 多數의 土人이 所謂舞踏을 爲하는 奇觀이라 此島는 逼迫

ㅎ 이 ㅎ 를 ㅎ 이

て我軍이 占領하는 것이더라 ㅎ 이 ㅎ 라